

# 2022 栄光への軌跡

2022年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による  
大学合格までの軌跡



## 一般選抜

東北大学、一橋大学、筑波大学、岩手大学、宮城教育大学、  
山形大学、福島大学、横浜市立大学、尚絅学院大学

東北大学 医学部 保健学科看護学専攻に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
東華中出身

## 仙台育英は目標達成のために努力する生徒に 必ず救いの手を差し伸べてくれます

### ■在卒懇で輝いている先輩方に 触発され本気になりました

野球と緑とライオン、これが中学生の頃の私の仙台育英に対するイメージです。それくらい縁のない高校だと思っていましたが、そんな私が唯一合格したのは仙台育英でした。ぼんやりした気持ちで迎えた1年生、遊んでばかりで勉強といえば模試数日前に少しです。こんな私でも目指している大学にいきたいという気持ちだけは強く、2年生では選抜のクラスに入ります。2年生、この1年を一言で表すなら焦燥です。周りに比べて自分の勉強に対する甘さを痛感し、私が遊んでいた間に周りは受験のスタートを切っていたという事実には焦りを覚えました。そんな中私を大きく変えた行事、在卒懇が行われます。受験という壁を越えた先輩方は、みえている世界から何まで私とは異なっていました。私もこんなカッコいい大学生になりたい、けど今のままでは無理だ。こうして高校2年生の夏、私の本格的な受験生活が始まります。

ここで私が学習を進める中で後悔した点、よかった点を記します。後悔一つ目は化学の対策が遅かったことです。特に理系の人、化学が得意でなければ早めに対策するべきだと思います。3年生になると無機・有機という手強い分野が待ち受けていて、これらは暗記と演習量を必要とし時間を要します。早めに理論を完璧にした方が圧倒的有利です。後悔二つ目は英単語についてです。3年生からは難しい長文を読む機会が増え、難しい単語が当たり前かのようにでて、よりもよってそこに下線を引き、訳せといわれます。単語を多く知っているのに損はないでしょうが、それでもこんな知るはずないと思うような単語も多く出ます。文脈から推測するしか術がない、そんな時は接頭語・接尾語の意味を覚えるのがおすすめです。単語の持つイメージが広がります。もっと早くから覚えていればと思いました。逆によかった点一つ目は文型科目もしっかり対策したことです。二次試験で使わないからといって他教科の学習を疎かにするのは良くないです。実際に私は共通テストの数学・化学で足を引っ張られ、文系科目の点数が良くなければ東北大学に願書をだせませんでした。よかった点二つ目は全力で学校生活を謳歌したことです。進路達成に向けて先生方、友人と相談を重ね、励ましあった日にはやる気に繋がり、強い味方となりました。

### ■一番の理解者である自分を 信じ受験を乗り切りましょう

仙台育英は頑張っている人、自ら求める人には必ず救いの手を差し伸べてくれます。受け身の姿勢のままでは伸びに限度があります。精神的にきつく、成績に左右される生活に嫌気がさす時期は必ず来ます。が、目標にむかって励み続けたことは本当に価値のあるものになります。受験生活はみんなが思っているほど綺麗ではないし、思い通りにいかないです。泣いてもいいし、落ち込んでもいい。それは何より頑張っている証です。でも引きずりすぎはだめです。合否は最後まで誰にも分かりませんよ！ 自分が自分の一番の理解者となって辛い日にも乗り越えて欲しいなと思います。

東北大学 文学部に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 難関大学合格のカギは 理解できるまで繰り返し学習することです

■英・数・国の3教科を重点的に勉強、  
得意の英語が武器になりました

入学当初から、難関大学への合格をめざそうと意識していました。そのため、英・数・国を重点的に勉強しました。特に日曜日の“10時間勉強”では、3教科を3時間ずつみっちり3年間続けました。この3教科の中でも英語の勉強が楽しかったので、特に英語を武器に受験に臨むことが勝因だったと思います。

■友達と一緒に勉強し  
モチベーションを高めました

どんな場合でも、しっかり解答ができるまで、繰り返し学習することが、難関大学合格のカギだと思います。自分は理解するまで時間がかかるタイプですが、続けることが大事だと思っています。クラスでは、特に数学の問題を友達と解き合っていました。自分よりもできる人と一緒に勉強することで、モチベーションの維持ができたし、勉強が楽しかったです。

一橋大学 経済学部 経済学科に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
涌谷中出身

## 自分自身のやる気と努力で 現役合格は掴み取れます

### ■傾斜配点で得意科目が 有利に働きました

社会科学の分野に興味があった私が一橋大学を選んだのは、他学部間の垣根が低く、他学部の開設科目を自由に履修することができる点に魅力を感じたからです。また傾斜配点で得意科目の配点が高かったため、他の大学を受験するより有利だと思いました。

### ■あっという間に受験生になります できることを毎日コツコツ続けましょう

家から学校までは片道1時間半かかったので、往復の通学時間は貴重な勉強の時間でした。単語帳や一問一答を使って繰り返し勉強しました。通学時間を考えると予備校に通うのは無理でしたが、学校での勉強と自分自身のやる気と努力で現役合格は掴み取れます。私は授業にプラスして、参考書やスタディサプリなどを使いながら勉強しました。

のりくらしと過ごしているとあっという間に受験生になります。毎日できる単語帳や網羅系の参考書はコツコツと地道にやっておくといいと思います。頑張ってください。

筑波大学 人文・文化学群 比較文化学類に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
南中山中出身

## 志望大学の目標は高く掲げましょう 妥協はマイナスに働きます

- 1 カ月単位で計画を立て  
着実にこなすよう努力しました

文系科目について色々な学問分野から研究してみたいと思い、筑波大学の比較文化学類を志望しました。

まず、1 カ月単位で計画を立てて着実にこなし、一方で自分の時間を大切にしました。授業では不得意科目もしっかり学ばなければなりません、自分で勉強する時は得意な教科を伸ばすよう心掛けました。得意教科を伸ばし、リラックスして勉強したことが合格に繋がったと思います。

- 自分のリズムを作りしっかり勉強、  
時には息抜きも必要です

やるべきことをしっかりこなす自信があるなら、ゲームをしてもよいと思います。読書も大切です。読書をするこ  
とで問題文を読むスピードが上がり、問題を解くためにかけられる時間が増えます。当然、知識も増えます。

3年間の思い出として残っているのは、友達と参加した東北大学主催の模擬裁判です。自分が志す学問分野とは異なる方向の仕事に触れることが、自分の視野が思っていたよりも狭かったことに気付かせてくれました。時間に余裕があるなら、催し物には参加した方がよいと思います。

自分なりのリズムを作ってしっかり勉強し、志望大学に関しては妥協しないことが大事です。目標を下げると、下げた目標にすら届かないことがあります。

岩手大学 農学部 応用生物化学科に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
岩沼中出身

## 自習室には同じ志を持つ友達がいま 励まし合いながら一緒に勉強しました

### ■部活との両立は時間の使い方が大事です 移動時間を利用し不足を補いました

生命現象や食について興味があったので農学部を目指しました。特に岩手大学には、私が興味を持っていた、病気と食品成分の作用について研究している研究室があり、志望することになりました。

バドミントン部に所属していたので、部活で忙しい時は移動時間などを活用して勉強時間の足りない部分を補いました。部活のない放課後は集中して勉強できるよう、学校の自習室を利用しました。自習室には同じ志を持つ友達がいま。励まし合いながら一緒に勉強をしたことで、受験を乗り越えることができたと思います。

### ■部活の仲間と切磋琢磨しながら 成長することができました

部活は多賀城校舎で活動していたので、様々なコースの友達と関わることが、高校3年間の一番の思い出です。仲間達と切磋琢磨し成長することができました。

受験勉強中は、途中で悩んだり諦めたくなったりすることもあると思います。そんなときは適度に休憩をとって気分転換をしながら、最後まで頑張ってください。

宮城教育大学 教育学部 初等教育専攻に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 学校の授業を真面目に受けることが 私の一番の勉強法です

■質問に丁寧に答えていただいた  
先生方のご指導のおかげです

宮城教育大学は東北で唯一の教員養成単科大学です。教師になるという夢を叶えるために最適の環境だと思い、志望大学に決めました。

学校の授業を真面目に受けることが私の一番の勉強法と考え、努力してきました。そして、定期考査や模試など目の前のことに集中するようにしました。

合格できたのは、どのような質問にも丁寧に答えていただいた先生方のご指導のおかげです。

いつも前向きにご指導してくださった先生方やお互いに切磋琢磨し合った友達など、多くの素敵な人たちに出会えたことは、高校3年間の素晴らしい思い出です。最後まで諦めなければ、自分の目標を達成することが出来ます。後輩の皆さんが一人一人自分の可能性を信じ、充実した高校生活を送ることができるよう願っています。

宮城教育大学 教育学部 中等教育専攻に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
幸町中出身

## 返却された模試を復習し、苦手分野を一掃！ 不得意分野に臆せず向き合いました

■学習時間を大幅に増やしたことで成績が上昇  
好結果が自信につながりました

高校に入学する以前から社会科教育について関心を持っており、最初の模試から宮城教育大学を志望大学として記入していました。また社会科の学習を通じて、次の世代に東日本大地震の伝承をする教員になりたいと考えているので、この大学を選ぶことは考えられる限りで最高の選択肢だと判断しました。

人間は苦手なことから無意識に逃避しようとする性質を持つことを1年次の倫理で学習したので、2年次の数学の先生に推奨された参考書を中心に、返却された模試の復習を行うことで苦手分野を一掃し、他の科目も同様に参考書や資料集などを用いて自分の不得意とする分野に臆せず向き合いました。また一度解いた問題を復習する方法として実際に入試で採点される時に何処を見られるか、模範解答との表現の差異から生じる減点について細かく先生に質問して、模試や定期テストで実践しました。

私は3年間部活動をしていたため学習に割ける時間が他の特別進学コースの生徒より少なく、加えて楽観的な態度で勉強に向き合っていたため1年次では勉強に消極的に取り組んでいました。しかし、2年生になってからの新型コロナウイルスの感染症対策のリモート学習の期間で一念発起して、自分を変えようと学習時間を大幅に増やし、3年次には学年全体で上位の成績を収められるようになったことが自信につながり、比較的人気のある学部に出願できたことが勝因だと分析しています。

■多くの人の支えがあって頑張ることができました  
ひとりで思い悩まず、誰かに相談してみましよう

私は行事をほとんど経験することなく高校生活を終えてしまいました。一方、ほとんど毎日参加した部活動、クラスの同級生との雑学対決や問題を出し合う知識対決、トップの成績を持つ生徒達に挑戦し続けたこの3年間は決して楽ではなく、寧ろ苦しいことが多々ありましたが、学びや人生での目標が定まり大幅に成長することが出来ました。

私と同じように国公立二次試験で合格を目指す一般試験受験者は、周囲の友人が指定校推薦や総合型選抜等で合格しているなか、独りで戦うことになると思います。きっと非常に苦しく長い戦いとなります。早く終わらせたいがために意志が揺らいでしまう時もある筈です。その時には、友人以外にも先生や家族に自分の思いや悩んでいることを正直に話してください。決して恥ずかしいことはありません。私も周囲の友人や先生や家族に支えられて頑張ることが出来ました。本当に感謝です。仙台育英の中で精一杯努力し、後輩のみなさんが自らの納得ができる結果を得られることを切に願っております。

山形大学 地域教育文化学部 地域教育学科文化創生コースに  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 勉強の継続は想像以上に難しいですが 最後まで諦めずに努力を続けましょう

### ■積み上がる学習計画表が

私に勇気をくれました

私が一番伝えたい事は勉強における地道な努力を継続し最後まであきらめずにはいけないという事です。継続すると一言で言っても実際には難しいです。勉強を続けるためには、しっかりと計画を立てる事や勉強のモチベーションを保つ必要があります。

私の場合は、まず1ヶ月ごとに大まかな目標を立て、さらに1週間ごとに学習計画を立てました。それにより「今月は何を勉強しよう」という事はなくなりました。また積み上がってきた計画表を見ることは勇気にもなりました。

私は勉強のモチベーションを保つ事の方が特に難しいと思います。誰も定期考査の前に集中的に勉強した事があるでしょう。私は早いうちから目標大学を決め、それに向けて勉強してきました。また、やる気が出ない時には休んで趣味に打ち込んだり、自分の大学生活を想像したり、友達と一緒に勉強したり時には点数を競うなどの事を行いました。

さらに継続するという事において私の場合には、共通テスト形式の問題を早いうちから取り組んでいました。また、仙台育英で受ける模試以外にも外部の模試も積極的に受けるべきです。

### ■担任の先生の励ましもあり

後期試験で合格できました！

しかしこのような努力をしても思い通りの結果や点数が得られるとは限りません。私も希望の大学の前期試験は不合格となりました。そのような落ち込んだ中、これまでの努力を思い出して勇気づけるといった事を行い、後期の試験のための勉強に取り組みました。

また、私の担任の先生は失意の私を勇気づけた上で残りの時間で行うべき事を示し、小論文の添削や指導をしてくださいました。その甲斐あって後期試験では、合格する事ができました。先生にはとても感謝しています。改めてあきらめなくて良かったと思いました。

このように、思い通りの結果にならなかったとしても最後まであきらめないでいる事が大切です。

後輩の皆さんには、勉強の継続を目指して最後の最後まであきらめないで欲しいと思います。

山形大学 人文社会科学部 人文社会科学科人間文化コースに  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 試験日直前まで先生方にお世話になり、 過去問や模試の添削をしていただきました

### ■学校で集中して勉強

理系科目は同じ問題集を繰り返しました

私が取り入れた勉強法は音読で、社会を除く文系科目で役立ちました。また、習い事が忙しくてまとまった時間を取るのが難しかったので、英単語などの暗記物は通学時間を利用しました。英単語は言われたら即答できるまで繰り返し覚えと良いでしょう。理系科目は解法を覚え、同じ問題集を何周もやりました。特に数学と化学基礎は、演習でつまずいたら教科書に戻り、基本を確認しました。

私は共通テスト後に気持ちが不安定になり、かなりグダグダしましたが、志望大学を決めた後は切り替えて2次対策に集中しました。試験日の直前まで毎日学校に通い、先生に過去問や模試を添削していただいたことが合格に繋がったと思います。家にいるとだらけてしまうので、できる限り学校で集中して勉強したのも良かったと思います。

### ■素晴らしい仲間と生徒思いの先生方に

恵まれて充実した3年間でした

コロナで行事がなかったので、直近の思い出として残っているのは、受験直前期の放課後や昼休みに友達と勉強したり、執務室に行った時に息抜きに先生方と雑談をしたことです。冬はGPホールや廊下冷はえるので、寒い中毛布を抱えて勉強したことや、食堂で友達と温かいスープで休憩したこと、閉門時間ぎりぎりになり、友人と校門まで走ったこともいい思い出です。

皆さんの中には望んで仙台育英に来たわけではない人もいるかもしれませんが、ここでしか出会えない仲間がいたり、生徒思いの先生方がいらしたり、他では経験できないことがたくさんあります。このことを3年間過ごして実感しました。現役合格も多くの友人、先生方のおかげです。皆さんも周囲への感謝を忘れず、志望大学合格に向け頑張ってください。心から応援しています。

山形大学 人文社会科学部 人文社会科学科総合法律コースに  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
鶴が丘中出身

## 合格できた一番の勝因は意識の変化です 厳しい現実を受け止め自分を変えました

■共通テスト対策として、3年生の秋から  
学校の教材を中心に取り組みました

大学では民法に関わる研究をしたいと思っていました。コロナの影響もあり、東北圏内を優先して探そうとしましたが、法学部を持つ大学は限られていました。まして…共通テストでは数学と地理でかなりの低スコアをたたき、先行きを悲観していたところ、幸運にも得点での判定がAだったため、受験することができました。

共通テスト対策としては、不安な教科は赤本で単語を覚えました。3年の秋頃に学校から教材が配られるようになったので、以降、その教材を中心に、授業中も休日も取り組みました。受験大学を決めたのが遅かったので、1月終盤に、赤本と学校の講習に絞って前期試験の対策を始めました。時間を短めに設定して、大問ごとにラップタイムを計りながら、短縮していくように工夫しました。本番と同じ行程で問題を解くことも試みました。

合格できた一番の勝因は意識の変化だと思います。実際、私はあまり褒められた受験生ではありませんでした。本気を出さねばならない、と意識が変わったのは、なんと12月の三者面談の「このままじゃ厳しい」という先生と母の言葉からでした。しかし、ひとたび変化すると、一気に点数が上がっていきました。中途半端に低迷していた教科が急上昇していく達成感は忘れられません。

■最後に笑うことができるよう、  
今は頑張って勉強しましょう！

高校3年間で印象に残っていることはたくさんあります。高1の育英祭で出し物ができたこと。スプリングチャレンジ、修学旅行がなかったこと。Zoomでの授業中、先生が話すと飼っている鳥が負けじとさえずること。体育があるたび筋肉痛になっていたこと。クラッシーの学習記録にゲームへの熱意を書いたら、先生が熱意のこもった返信をくださったこと。ちょっとしたことですが、いずれも鮮明に覚えています。

志望大学を目指して頑張っている皆さん！全く状況が分からずとも、対策をしていなくても、少しずつでも記憶していけば、案外なるようになります。受験が終わるまでは緊張はほぐれませし、合格の通知を見るまでは、ずっと不安なままです。でも、最後に笑えればいいんです。今はそのためにも、勉強頑張って下さい！ 休み休み、ね…！

福島大学 人文社会学群 経済経営学類に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
塩竈第二中出身

## 自分との戦いが不可欠な受験生活に打ち勝つには、 一緒に戦ってくれる仲間が必要です

### ■結果はすぐには出ません

未来の自分に期待し、勉強を続けました

私の勉強法は、暗記科目は、毎日決まった時間に声に出して覚えるようにして、回数を重ねることを意識しました。それ以外の科目は、模試などで解けなかった問題を抽出してノートにまとめ、完璧に理解できるまで何度も解きました。

志望大に合格できた勝因は、「結果はすぐには出ない」と思いこむようにしていたことだと思います。そうすることで、思うような点数が取れなくても、未来の自分に期待を続け、くじけずに勉強を継続することが出来ました。

### ■友達や先生のアドバイスを素直に受け取り

後悔のない学校生活を送ってください

受験生になってから毎日放課後に2階 GP ホールで勉強をするようになりました。自分の他にもそこで勉強する人もいたので、今まで喋ったことのなかった友達と話す機会が増え、人脈がより広がりました。特別進学コースでは部活をしている人が少なかったため、他クラス、他学年の人との出会いは貴重で、とても印象に残っています。

受験生活では自分との戦いが不可欠です。その戦いに打ち勝つためには、自分の強い意志の他に、一緒に戦ってくれる仲間が必要になってきます。後輩のみなさん、友達や先生にたくさん質問をして、アドバイスを素直に受け取って、努力を惜しまず、後悔のない生活を送ってください。がんばれ！

横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 努力した分だけ確実に成長できます 最後まで目標に向かって進んでください！

- 早めに勉強の基礎固めをし、  
夏休みには10年分の過去問対策を済ませました

学びたいことが一つに絞りきれなかったため、文系のさまざまな学問を自分で選んで専攻できる、国際教養学部を選択しました。

勉強法は、まず1カ月毎、1週間毎に課題や目標を紙に書き出して、毎日ノルマをクリアするようなルーティンを作ることから始めました。2年の冬から受験勉強に取りかかり、高校の範囲を早めに終わらせ、基礎を固めることを中心に夏まで勉強しました。夏休みの間に共通テストの過去問対策を10年分ほど済ませ、冬に2週目以降をやりました。秋頃は志望大学の2次対策に力を入れつつ、共通テストの形式の感覚を忘れないように、たまに過去問を解いていました。共通テストでしか使わない科目は、早めに片付けておくことをお勧めします。

また、過去問は解ける解けないに関わらず、早めに取り組んでみるといいと思います。

- 全教科に穴を作らないようにし  
得意教科を伸ばすよう努力しました

高校生活はコロナ禍でオンライン授業が増えた分、普通に友達と会えた日々が1番の思い出になっています。

合格できたのは、毎日コツコツと勉強したからだと思います。平日放課後も十分に自学時間を確保できました。休日は平日中の勉強で見つけた課題を復習し、足りない知識を補うような勉強をしました。とにかく全ての教科で穴を作らないようにするのが大切です。得意教科を伸ばすことはもちろん、苦手を少しでも減らせるように頑張りました。

受験生の間は不安だらけで辛い思いをすることもたくさんあると思いますが、終わったあと振り返ってみると、いい思い出です。勉強した分確実に自分が成長していることを感じられます。最後まで目標に向かって頑張ってください！

尚絅学院大学 心理・教育学群 心理学類に  
一般入試で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
六郷中出身

## 本番までに何が起こるか分からないので 合格への強い意志を持ち続けましょう

### ■コロナ禍での環境の変化に

工夫して対応し勉強しました

高校一年の終わりごろから新型コロナウイルスが日本で流行し、しばらくの間は自宅でのオンライン授業や分散登校に対応しながら勉学に励みました。自宅でのオンライン授業は今までにないことで慣れるまでに時間がかかったのはもちろんのこと、対面形式の授業よりも集中できませんでした。それでも周りに後れを取ることを無きよう自宅で過ごす時間を有効に活用し日々自分で計画を立てながら勉強をしました。コロナウイルスへの対応策がある程度確立されてからはマスクをつけた状態で対面授業が再開されました。今までとは異なる環境の中での授業でしたが、毎回集中して授業を受けました。放課後は友人と共に GP ホールで勉強をしました。分からない問題があった際は先生方に質問し、自分が理解できるまで丁寧に解説してもらいました。また土日祝日は午前中の頭が冴えている時間は数学や理科科目、午後は英語や国語、夜は単語や用語暗記といったように時間帯ごとに区切り勉強をしました。私は一つの単語・用語暗記するまでに時間がかかる傾向があったので、毎晩暗記を行うだけでなく、朝起床してすぐに前日の夜に暗記した内容を復習するというやり方で暗記をしていました。

### ■共通テスト後のスランプから

周りのお陰で立ち直りました

共通テストが終わってから、私は高校生活の中で最大のスランプに陥りました。今まで真剣に勉強してきたのに、共通テスト本番で思っていたような良い成績が取れず努力が全て無駄になったように感じたからです。しかし先生方・友人からの励ましや私自身の第一志望に受かりたいという強い意志でなんとかスランプを脱しました。そこからは時間を無駄にしないよう集中して勉強に取り組みました。二次試験では数学・英語・生物・生物基礎が必要で、今まで学んだことの無かった生物の勉強は自分一人で進めなくてはならず、Youtube に投稿されている映像授業や参考書を頼りに毎日勉強しました。映像授業を見ている時は、重要な単語や内容は授業中に覚えてしまおうという意気込みで一言一句真剣に聞きノートを取りました。数学・英語・生物基礎は応用問題に取り組みどんな問題にも対応できるようにしました。こうした努力と最後まで諦めない気持ちのおかげで、第一志望に合格することができました。

受験は最後まで何があるか分かりません。想定外の事態に振り回されることもあると思います。それでも最後まで諦めず絶対に志望大学に合格してやるという強い意志を持ち、時にはクラスメイト達と高め合いながら勉強に取り組んでください。

# 2022 栄光への軌跡

2022年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による  
大学合格までの軌跡



## 学校推薦型選抜【指定校推薦】

立教大学、中央大学、東京理科大学、芝浦工業大学、  
日本女子大学、同志社大学、立命館大学、東北学院大学、  
東北工業大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、  
宮城学院女子大学、尚絅学院大学、仙台大学、  
仙台青葉学院短期…

立教大学 社会学部 現代文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 今の生活は将来の自分のためになるので 努力を惜しまず色々な事に励みましょう

### ■模試で全国での実力を把握し 学習を見直していました

指定校推薦を視野に入れたのは、高校3年からです。それまでは、総合型選抜を考えていましたが、学校の指定校推薦枠が幅広く展開されており、自分の希望する学部があったことから指定校推薦を希望しました。

学習面では、総合型選抜を念頭に置いていたため大学への出願に必要な評定平均を維持するように心がけてきました。その結果として、指定校推薦の受験資格を得ることに繋がったと考えています。定期考査で点数を落とさないためにも、普段の授業の予習・復習や宿題には必ず取り組んでおくことを大切にしました。定期考査はもちろん、模試にも積極的に取り組むことで全国レベルでの自分の実力を認識し、学習の見直しを行う事が効果的だと思います。評定平均と並んで重要なのが、第一回校内模試です。この校内模試の成績によって推薦への道が大きく左右されます。受験方法に関係なく、普段の学習に丁寧に取り組み、コツコツと学力を確実に積み上げていきましょう。現時点で将来の目標がなくても、いざ目標が見つかった時、今までの自分が積み上げてきた学力が助けてくれます。

### ■課外活動や読書などは 成長に繋がります

また、早い段階からの情報収集を行うことが肝心です。ほとんどの人が受ける英語の資格試験は、高校の後半になってから焦ることのないよう、計画的に受験すると良いです。出願資格を得るために英語の資格・検定のスコアが必要であったことから、規定のスコアを目指して日頃から英単語の暗記に取り組むなど、英語の学習をしました。時間のある時には、好きな英語の音楽や映画を視聴していました。どの大学に入ってからでも英語は必須となるため、英語に親しんでおくに越したことはありません。そして、高校1年の時から少しずつ受験を意識し始め、雑誌の『蛭雪時代』を読んでいました。数多くの受験の情報や学習へのアドバイスが掲載されているため、学習の合間の息抜きや行き詰まった時に読んでみると良いかもしれません。

中学2年から日本舞踊を習い始めました。その他に、模擬裁判やボランティア活動などに積極的に取り組みました。様々な課外活動に参加することで自分の視野を広げると共に、成長させることができます。加えて、本を読むことをお勧めします。多くの文章に触れることで、読解力を高めることができるからです。人生の様々な場面で文章を書く機会があるので、たくさん本を読んでおいて損はないと思います。

誰もが、これからの自分の将来を考えていると思いますが、努力を惜しまないで下さい。今の学校生活は将来の自分のための時間でもあります。健闘を祈ります。

立教大学 グローバル・リベラルアーツ・プログラムに  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
丸森中出身

## クラスメイトに留学生がいるのは 仙台育英の大きな強みの一つです

### ■IBDPでの学びを活かせる 環境への進学を目指しました

高校入学時から英語教育に力を入れている大学へ進学することを目標としていたため、夏休みを利用して大学のオープンキャンパスに行ったり、新型コロナウイルスの流行後はオンラインでの学校説明会に積極的に参加しました。

1年生から大学についての情報収集を行っていましたが、3年生になってもまだ明確に自分が何を専攻したいのか決めることができませんでした。私は指定校推薦での進学をあまり考えていなかったのですが、立教大学グローバル・リベラルアーツ・プログラム（GLAP）が指定校推薦の枠にあることを知り、そこへ進学したいと考え始めました。私がGLAPを志望した大きな理由は、専攻を3年次に選択できるからです。そのため自分が本当に学びたいことを大学で追求できると考えました。また、GLAPの特徴として挙げられる、少人数教育や授業を英語で受講できることは、私が2年間受講していた国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）での学びを活かせる環境であると考え志望しました。

私が指定校推薦で合格するために、最も時間を費やしたのは校内模試の勉強です。英語に比べて国語が苦手だったため、通学時間は四字熟語を勉強したり、朝早く登校し授業が始まるまでの時間を問題演習にあてたりしました。この時期IBDPの課題もありましたが、時間の管理を徹底し校内模試では目標としていた点数を取ることができました。

### ■資格は複数回挑戦できるよう 余裕を持って受けましょう

また、指定校推薦では校内模試の結果に加え、出願の際に英語資格が必要となる場合があります。私はどの大学を志望しても出願条件を満たせるように、最終的な志望大学を決める前からIELTSの勉強に取り組みました。ライティングの添削は自分ではできないため、留学生のクラスメイトに頼み添削してもらいました。クラスに留学生がいるという特殊な環境は仙台育英ならではの強みであると感じました。私は2回目の受験で自分の満足するスコアを取得できたため複数回受験することを前提に余裕を持って資格の勉強に取り組んでほしいと思います。

進路とIBDPの両立はハードで精神的にもつらいと感じることが多くありました。しかしこの経験を振り返ると「諦めずにやり遂げることができてよかった」と強く思います。後輩のみなさんには、後悔することがないようにコツコツと勉強に取り組みつつ、今しかできないことにチャレンジしてほしいと思います。進路達成に向けて頑張ってください。

中央大学 商学部 経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
宮城教育大学附属中出身

## 受験は一人で乗り越えられないので 周りへの感謝を忘れずに頑張りましょう

### ■友達の勉強方法を参考に

工夫し高成績を維持しました

私が指定校推薦で大学に入学しようと思ったのは高校3年生になってからでした。推薦入試は高校生活での取り組みが重視されること、進む学科の専門分野を先取りで学習できることに利点を感じたからです。

1年生の時は、評定5.0を取ることを目標に、苦手分野を克服することを常に意識して学習に取り組みました。しかし、模試の成績が伸び悩んだため、友達の勉強方法を参考にしながら、授業の予習をしたり間違えた問題に印をつけて何度も繰り返し解いたりしました。その結果、学年順位一桁を安定してとれるようになりました。3年生の校内模試でも実力を発揮でき、志望する大学から内定をいただくことができました。

### ■努力している友達に触発され

何でも精一杯取り組みました

大学入試で重要なことは、日々努力し続けることだと思います。第一志望の高校に入学することができず、コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となり、入学当初は怠惰な生活を送っていました。しかし、周りの友達が環境を言い訳にせず、勉強や部活動に懸命に取り組んでいるのを見て、自分もできることに精一杯取り組もうと思いました。英検や漢検といった資格を取得したり副室長としてクラスをまとめたりしました。結果として推薦入試で大学に入学することができ、本番の面接試験での自信にもつながったと思います。また、帰宅したら勉強することを習慣にすることで、塾に通わず合格することができました。

後輩の方々には、継続し努力することで自信をもって受験に備えてほしいです。また、一般受験を決めている人も定期試験にしっかり取り組み評定を取ることで、基礎学力を身に着けることができ、推薦入試に変更しようとするときにも役立ちます。最後に、受験は一人で乗り越えることはできないです。周りの友達や先生、家族への感謝を忘れずに、充実した高校生活を送ってください。

東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
岩沼西中出身

## 様々なチャレンジにより進路に繋がる 適性や能力に気付くことができます

### ■ コロナ禍を経て病気の研究に 携わりたいと考えました

私の高校生活は、入学前に思い描いていたものとは全くの別物でした。その大きな要因は「新型コロナウイルス」です。行われるはずだった行事は次々となくなり、部活動においても、練習の制限や大会の中止がありました。そんなコロナ禍を経験した私は、生物学の観点から既存の病気や新たに出てくる病気の研究をしたいと思うようになり、進路を決定しました。

### ■ 3年間という短い高校生活で 挑戦を重ね成長できました

私が一年生のときから常に意識していたことは、三年生になり、進路を決定するときには多くの選択肢を持てるようにすることです。生徒会執行部に入ることや、中学までしていたスポーツをやめて陸上をはじめると、多くのチャレンジをし、自分自身、選択の幅を広げていきました。もちろん、勉強も手を抜くことなく取り組みました。そのようなチャレンジは、私を様々な面から成長させ、自身の進路達成を実現することができました。特に、「客観的な視点」を持つことは非常に大事だと思います。大学進学をするにあたって勉強するということは当たり前のことですが、やみくもに勉強すればいいというわけではないと思います。自分の学びたい分野や興味のある分野を見つける、主観的な視点も大切です。しかし、自分に向いていることや、自分が持つ能力が求められていると気付く「客観的な視点」を持つことは、自らの選択肢の幅を広げ、今まで考えもしなかった新しい目標を見出せるかもしれません。高校生活の3年間で様々な事にチャレンジをして、自分の知らなかった一面に気づくことも、進路達成の一步となると思います。

高校生活はあっという間だよ、などとよく耳にしますが、本当にその通りだなと感じます。これは経験した人にしか分からないことですが、あっという間の中でも充実した生活ができます。この3年間で培ったものを存分に活かして、これからも前に進んでいきたいと思っています。

芝浦工業大学 工学部 電気工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五城中出身

## 英検は校内模試と時期が重なるので できるだけ早めに取得しましょう

### ■友達と点数を競い合うなど 定期考査対策を工夫しました

私は、2年生の前半に指定校推薦での受験を考え始めました。元々興味があった大学の枠があることを知り、チャンスは多い方がいいと思ったことが理由でした。校内選考で内定を頂くために私が取り組んだことは、平均評定を上げるための定期テストの勉強と課題提出、英検2級の取得、校内模試に向けた勉強の3つです。

まず、定期テストの勉強に関して。私は色々な工夫を交えながら取り組みました。例えば、モチベーションを維持するためにテストの度に友達4人グループで点数の勝負をしました。ビリだった人は罰ゲームのペナルティーを設けることで、勉強の楽しさや張り合いを持たせていました。また、メモ帳を使った勉強法を取り入れてからは格段に勉強効率が上がりました。少し大きめのメモ帳に公式や単語、理科の図解や全体像の流れなどをコンパクトにまとめることで、暗記量の多くの内容が複雑なテスト勉強をスムーズに進めることができました。

### ■英検は実践的な問題練習を 多く取り入れました

次に、英検の取得については、勉強法は、専用の単語帳で英単語を覚えた後、過去問や予想問題などで、とにかく実践演習を積みました。2次試験の対策では母に試験官役をやってもらい、より本番に近い形で演習を行いました。

校内模試の勉強に関しては、自分は英語と数学の成績が校内選考に関わる教科だったため、この2つの教科の勉強に取り組みました。校内模試直前は定期テストや英検もあったため、自分も含め慌てて勉強する人が多かったです。そのため、2年生のうちから英検勉強として対策をしておかなければならないと思います。

少しでも参考にさせていただければ幸いです。努力を積み重ね、将来の夢に近づきましょう。

芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
上杉山中出身

## 進学の準備を効率良く行えるように 推薦で早く合格したいと考えました

### ■受験機会が増えるので

推薦受験に魅力を感じました

私が指定校推薦を選んだ理由はいくつかあります。私の第一志望が私立大学だったからです。進路を決めるにあたり芝浦工業大学に進学したいと考えた私は、一つでも合格のチャンスが増やすことができる指定校推薦の入試方法について魅力を感じました。

もう一つは一般受験との差です。指定校推薦は学校によって違いますが、大半の大学は12月上旬には合否が発表されます。その場合、一般受験に比べ3ヵ月ほどの余裕ができ、志望大学で必要とされる教科に勉強時間を割いたり、入学準備に取り組む時間が増えたりと、効率的に時間を使うことができます。これらの理由から、私は指定校推薦に挑戦しようと考えました。

### ■出願条件などの情報を

積極的に収集しましょう

この入試方法で学校から推薦をいただくために私は、普段の生活を見直し、推薦されるにあたり恥ずかしくない生徒を目指し努力してきました。学力を磨いていくことはもちろん、提出物や授業に臨む態度など、当たり前のことに手を抜かずしっかりこなすことが大事だったと入試を通し感じました。またコロナ禍で制限があり厳しいかもしれませんが、学校で企画されている多くの活動にも積極的に参加してみるのも良いかもしれません。他にも、情報収集がとても重要だと感じました。指定校推薦だけに限ったことではありませんが、締め切り、入試におけるルールなど一つでも逃せば手遅れになってしまうものが多々あります。入試期間は情報関係には特に意識して生活すると思います。

卒業が近づき、3年間を振り返ってみると時間の流れがとても速かったと感じます。コロナ禍ということもあってオンライン授業が多かったり、友達と会う機会も減ったりと、今の高校生活は思うようにいかないかもしれませんが、人生で一度きりの高校生活を少しでも楽しく過ごしてほしいと思います。

東京都市大学 理工学部 機械システム工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
東向陽台中出身

## 苦手科目は時間をかけて勉強すれば 段々と克服できるので頑張りましょう

### ■ 苦手だった英語を克服し 校内模試で高成績でした

推薦を取る為に必要なことは日頃から勉強し、成績を維持することです。私は理系科目が得意で文系科目は全くできませんでした。英語はできるようになろうと頑張った結果いつも赤点ぎりぎりだった点数が定期テストで6割を維持して取れるようになりました。英語の理解が上がったことにより校内模試で自分が思っていたよりも点数が取れました。苦手なものも時間をかけて勉強することで少しは苦手意識がなくなり点数も上がっていくので、頑張ってください。また、私は取っていませんが、時間があるときは英検などの資格を取っておくと入試のときに役に立つので余裕のある人は取ってみてください。

次に、推薦を受ける人でやっておいた方がいいことは生徒会や部活動、そのほか学校外での活動を何かしておくことです。私は生徒会も部活動もしていなかったので高校時代に頑張ったことについて書くのが大変でした。結局私はたまたま1年生のときにしていたフットサルのことについて書きました。もしフットサルをしていなかったら書くことがなく苦労したと思います。今はコロナの影響でなかなか思うような活動が出来ないと思います。また、コロナもいつ収まるのか分かりません。他に新しいのが出てくる可能性があります。高校生活を楽しむのもいいと思いますが、推薦を狙いたい人は時間があるときに何か活動をするといいと思います。

東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五城中出身

## 特別進学コースで部活動に励むのは 大変ですが決して無駄にはなりません！

### ■部活動での様々な経験が 合格に繋がりました

私は入学当初から指定校推薦での大学進学を考えていました。3年間、特に定期考査に力を入れて、評定平均が大学からの条件を満たすように努力し続けました。また、テストの素点だけでなく平常点も評定に関わるため授業を欠席しないことや、提出物をしっかり出すことを心がけました。2年生の頃から新型コロナウイルスの影響でオンライン授業になることが増えて、勉強のモチベーションを保つことが難しい時期もありましたが、図書館やカフェを利用するなどの工夫をしました。

また、私は陸上競技部に所属していました。練習や大会の他に入試補助員や除雪作業などの陸上以外での活動も行ってきました。時々、勉強との両立が辛く辞めたいと思うこともありましたが、部活動での経験が大学合格に繋がったと確信した時は辞めずに続けて良かったと思えました。私の所属するコースでは部活をやっている人が少ないため、周りとの学力で差が付いてしまうのではないかという不安がありました。後輩の方の中にも同じ不安を抱えている人がいるかもしれません。不安が消えることは無いかもしれませんが、3年間続けてきたことは決して無駄にはなりません。これは部活に所属していない人にも言えますが、今後の入試は勉強以外の部分も高く評価されるので、外部の活動を行うことも重要だと思います。

### ■入試前に大学の雰囲気 を体感せず悔いが残っています

高校3年生の夏の面談で、今の学力では志望大学の校内選考を通るのは厳しいと担任の先生から言われ、志望大学を変えることになりました。部活動に所属していたり、新型コロナウイルスの影響から、3年生になるまでオープンキャンパスには参加していませんでした。キャンパスの雰囲気を体感することもなく志望大学を決めてしまったことには後悔が残っています。後輩の皆さんには、早い段階でオープンキャンパスに参加することをおすすめします。また、英検などの資格も早めに取りすることで志望大学の選択肢が広がります。目標達成に向けて精一杯頑張ってください。応援しています。

東京都市大学 情報工学部 情報科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
佐沼中出身

## やりたいことがあったら積極的に挑戦し 一日一日を大切に過ごしましょう

■メリハリをつけることで  
充実した高校生活を送れます

東京都市大学を目指そうと思ったきっかけは、システムエンジニアになるためにより専門的なことを学べる大学を探したときにこの大学を見つけ、指定校推薦があったためです。

推薦枠を取るためにしていたことは、まずは早めに校内模試に向けて勉強を始めることでした、2年生の時から始めるのが理想です。英検などの資格も取れるなら取っておいた方がいいです。

周りとの差をつけたいのであれば休み時間などで少しの時間でも利用した方がいいです。

面接練習はなるべく多くの先生にしてもらうのがベストです。

プレゼンはどんな質問が来ても大丈夫なように対策するのが必要です。

高校生活に関しては、自分がやりたいことをどんどんやっていくべきです。やらないで後悔することが一番よくありません。遊びすぎるのもよくはないですが、遊ばないよりは遊んだ方が充実した高校生活を送ることができます。その中で勉強であったり部活動も頑張ることが大切です。

勉強は基礎だけでなくに 응용にもチャレンジしていけば必然と学力が身につけてきます。

何事においてもコツコツと地道に積み重ねていくことが大切だから、ちょっとした時間でも有効活用することが大事です。

3年間は長いようで一瞬に過ぎてしまうので、一日一日を大切に過ごす中で自分のしたいことだっったり積極的にチャレンジしていくことがより良い高校生活を送ることができるとともに、悔いなく楽しい生活を送ることができます。学業も部活動も何事にも全力で取り組んで下さい。

東洋大学 経済学部 国際経済学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
東豊中出身

## 1年次の資格・検定の取得から 既に大学入試は始まっています

### ■資格取得をせずに危うく 出願できないところでした

私は高校一年生の冬にこの大学のことを知りました。ある知り合いの先輩がこの大学に受験したので、私も興味を持ち調べましたが、その時は本当にこの大学に入りたいとは思っていませんでした。実際に入りたいと思ったのは高校二年生の夏です。そろそろ大学を考えて、早めに決めないと思い本気で大学を調べようと思った頃です。私が興味あったのは心理学、国際系、経営経済方面でした。その時に、私はこの大学のことを思い出しました。そしてもっと詳しく調べたところ私が学びたい学科がすべて指定校推薦があったので、この大学に入りたい、目指したいと強く思ったので挑戦することにしました。

私は一年生の時から指定校推薦を取得したいとは思っていませんでした。しかし将来のことを考え、何が起こるかわからないので、私は一年生の時から提出物の提出や期限、定期テストの点数などを心がけました。そのおかげで、出願条件の評定を満たすことができました。しかし、人気の大学やトップクラスの大学の指定校推薦を取得するためには、英検や数検などの検定が必ず必要となります。私が一年生の時では全然焦らず何も取得しませんでした。大学を決めてから取得することになりましたが、本当に後悔をしています。もっと早く取得すべきでした。早めに取得しなかったせいで条件を満たすことが出来ず受験できないところでした。なので、後輩の皆はこのようなことが起きないように、本当に一年生の時から色々な検定に挑戦してほしいと思います。

### ■オンラインでも良いので 活動歴を増やしましょう

まだ、学校の学習だけではなく部活動や課外学習、短期留学などにも積極的に参加して欲しいです。コロナの関係で難しいかも知れませんがオンラインでも良いので、自分の経歴を増やして欲しいです。推薦入試の時にとっても役に立ちますし自分の視野を広げることもできるので挑戦して悪いことはないと思います。

後輩の皆さん、本当に一年生の時から大学入試はも始まっています。まだ早い、大丈夫だと思わないでください。推薦入試にしても一般入試にしても簡単ではありません。とにかく、たくさんの資格を取得して悪いことはありません。私も先輩方や先生方から「早めに取りなさいよ」と言われましたが、本気にする事なく、今はまだ早い、大丈夫だと思っていましたが、本当に後悔しました。皆には後悔をして欲しくないなので、本当に早めに取得して、例え使わなくても、将来に何が起きるかわからないので取って悪いことはありません。大学受験はとっても辛い戦いですが、それを乗り越えれば幸せな将来が待っているので頑張ってください。応援しています。

東洋大学 国際学部 国際地域学科国際地域専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
南光台中出身

## 皆が自分自身と闘っていることを 忘れずに受験期を過ごしましょう

### ■ IB の課題と校内模試対策の 両立に苦戦しました

私は2年時の後半から、大学の受験資格を得るために英語資格を取ることに力を入れました。大体の大学は受験資格に英語資格を設けているため、英語資格をとっておくことで行ける大学の幅が広がります。また私自身2年次から国際系に行くことを考えていたため、英語資格を取ることは必須条件でした。英語資格の勉強は日々の授業に直接的に役に立つため一石二鳥です。英語資格に限らず資格は時間が許す限り取るべきです。

3年次から校内模試に向けての勉強を本格的に始めました。私はIBのクラスに所属していたため、IBの課題と校内模試の勉強を並行して行っていましたが、うまく両立するのはそう簡単ではありませんでした。校内模試に勉強の比重が傾いてしまったり、IBの課題に比重が傾いてしまったりとバランスを取ることに苦戦しました。私自身、校内模試の勉強を始めるのが遅かったので、前々から後先を考えて準備しておくことをお勧めします。余裕がある時にできる限り備えられることを準備してください。私自身、先輩や先生方に何度も前々からやるべきだと言われていましたが、準備が遅れてしまったことを少し後悔しています。結果として第一志望に進学できることになりましたが、本当に自分の望む大学に行くために準備を怠らないでほしいです。私は校内選考をってから、大学からの正式な合格通知が送られてくるのが周りの人よりも時間がかかったため、不安になることもありました。周りとは違う状況に置かれていると不安になるものですが、落ち着いて過ごすことが第一です。

### ■ IBの仲間の気配りのおかげで 受験に集中できました

大学受験期である3年生は周りとは違う状況に置かれていることにとっても不安を感じやすい傾向にあります。そのような時は周りの状況と自分の状況を比べるのではなく、自分自身に今何が必要なのか、何をすべきなのかを考え自分自身のために出来ることをしてください。しかし、周りへの配慮は忘れては行けません。私が所属していたIBクラスはお互いにお互いのことを気遣って相手の状況を理解し接してくれるクラスでした。私はこの環境に置かれていたために受験に集中することが出来たと思います。そのため、クラスの雰囲気作り、周りへの配慮を心がけることが出来る人が一人でも多くいると、より受験に集中しやすくなると思います。受験は自分自身との闘いでもありますが、周りの人も同じように自分自身と闘っていることを忘れないでください。

東洋大学 国際観光学部 国際観光学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
涌谷中出身

## 1年次から将来に向け努力したことが 受験期の自分を救ったと実感しています

### ■吹奏楽部での経験は将来も 大いに役立つと思います

仙台育英に入学を決めた時、私には2つの目標がありました。それは、外国語コースで英語はもちろん、第二外国語など様々な言語文化に触れ、それらを習得することと、海外へ留学に行くことでした。しかし、高校1年時が終わりかけた時、新型コロナウイルスの発生により、私たちの行動は制限されることになってしまいました。未確定でどう転ぶかわからない状態だったにもかかわらず、大学進学という人生の分岐点の選択をしなければなりません。

例年通りという言葉が聞けない中、私は指定校推薦入試を選ぶことに決めました。これは、高校入学時から意識していたことだったので、私は期末考査に力を入れ、部活動の活動にも意欲的に励むことができました。指定校推薦は、3年間の頑張りが認められる入試だと私は思っています。また、指定校推薦では、大学側が出す条件のほかに、高校に指定する枠に限られているため、志望する大学に行くためには、誰が来ても戦える成績が必要でした。そのため、私が最も力を入れて取り組んだのが3年間の期末考査でした。期末考査が始まる4週間前から計画を立て、どの科目も満遍なく、徹底した反復学習を行いました。テストが近づけば、その学習に費やした時間は1日10時間の日もあったと思います。そのおかげか、3年間成績を落とすことなく、好成績を残すことができました。

さらに、私は部活動へ参加することとても大切だと思います。吹奏楽部に所属していた私は、放課後に活動することはもちろん、土・日・祝日の活動にも参加して、様々なコンサート、演奏会を行ってきました。練習時間は長く、期末考査週間と重なると、辛いところもありましたが、生活面において、コミュニケーション能力や予定管理能力等の習得につながったと強く思います。吹奏楽部での経験はこれから先の将来にも役立つものだと感じています。

ここに加えて、私は英語検定の学習にも励み、大学の出す条件には、高校2年時には既に取得済みでした。しかし、私は現状に満足することなく、更なる英語運用能力の向上のため、検定の勉強は続けていました。それも、校内模試という指定校推薦を狙う人にとって重要な試験だと思います。とても役立ちました。

### ■高校で断念した留学を 大学で実現したいです

私がこの大学を選んだ理由については、2つあります。まず1つ目に、興味を持っている国際観光という分野について重点的に学べる点です。これは、漠然とした夢ですが、英語を学び、第二外国語も学習できた高校生活において、この先も様々な言語に携わる職業に就きたいと考えるようになりました。また、部活動の経験やハワイでの研修を通し、観光という一生の思い出になる場で、観光客を笑顔にできる魅力的な仕事に興味を持ちました。次に2つ目に挙げる理由は、高校生活の目標として達成できなかった海外留学が、叶えられるという点です。私が進む学部学科は、海外のフィールドワークが充実しており、国外での活動が盛んに推奨される、まさに理想的な学びの場でした。高校生活において、留学を断念したことが非常に心残りだったので、自分の視野を広げるためにも、大学で今度こそこの目標を果たしたいと思います。今回、指定校推薦入試での大学側が出す試験においては、書類選考のみでしたが、私にとって、この入試は3年間の頑張りが判断される機会に感じられ、1年時から努力し続けた自分に救われたと思っています。

私はこの3年間を通して、当たり前の日常は、これから先も当たり前過ぎていくものではないと痛感した高校生活でした。イレギュラーな日々を送ったからこそ、悔しい思いと同時に、学んだことがたくさんあります。入学したてでは、自分の将来をはっきり見据えて努力することも、何が自分に必要なものか想像することも難しいと思います。ですが、少しでも進路を選択する未来の自分を考えて、何らかの努力を始めることは、必要不可欠です。それが今の自分を救うものになると、私は身をもって体験しました。不測の事態はこれからもきっとあると思います。実際、新型コロナウイルスの終息もはっきり見えず、不安な部分がたくさんあります。しかし、そのような事態に陥ったとしても、焦らない努力を重ねていくこと、努力を怠らないことが本当に大切です。私はこの3年間の努力の積み重ねが、また将来の自分のためになることを信じて、これから先も頑張り続けていきます。

東洋大学 理工学部 電気電子情報工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
神奈川 丸山台中出身

## 早くから将来のビジョンを描くことで 何をすべきなのかが明確になります

### ■父と同じ職業に就くという 目標に邁進しています

私はこの度、第一希望の東洋大学理工学部電気電子情報工学科に合格することができました。高校1年の前期には将来就きたい職業について決めており、その目標に向かって勉強し、努力が報われてとても嬉しいです。

これから私が高校生活で努力してきたことについて述べようと思います。

まず大学進学において一番大切なことは高校2年前期までには将来のビジョンを描いておくことです。私は昔から電気工事に携わっている父に憧れていたため高校1年前期には自分がすべき勉強を理解できていました。ですが、自分が将来何に就きたいのか全く考えていない人も多くいます。私は部活やボランティアなど色々なことを経験し少しでも自分が目指したい、興味があると思えるジャンルを見つけるだけでも高校生活の勉強の質は変わってくると思います。自分が将来なりたい、頑張りたいという様な明確な目標を持つことで自分がすべき勉強や進路を理解することができます。

また、私は高校生活で勉強だけでなく部活動も頑張りました。毎回しんどいメニューばかりで何度もくじけそうになりましたがみんなで全国制覇をするという目標の達成のために頑張りました。

私は3年間の高校生活で目標を掲げ、それに向かって努力することの大切さについて知りました。人生においても同じことが言えると考えます。皆さんも高校生活で何事にも目標を掲げ、日々頑張ってください。

東洋大学 理工学部 生体医工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
柳生中出身

## 受験対策を早く始めるほど 進路の選択肢が広がります

### ■仙台育英の豊富な推薦枠の 活用を先輩に勧められました

入学当初は一般入試での受験を考えていたため、指定校推薦での受験は正直ほとんど頭にありませんでした。しかし、同じ部活の先輩から「仙台育英は推薦枠が多いから、それを活かさないのはもったいないと思うよ」と言われてから、推薦という選択肢もありだなと感じるようになり、徐々に推薦での進学を考えるようになりました。私が推薦をもらうために心がけたことは2つあります。

1つ目は体調管理の徹底です。推薦の資格を得るための条件で、欠席日数の制限が設けられており、それを満たしている必要があります。なので、睡眠時間をなるべく固定する、夜更かしを極力しないなど、規則的な生活を送ることを意識しました。その甲斐あって1年時は無欠席、2年も殆ど欠席せず学校に通うことができました。

### ■対策プリントで集中して テスト勉強に打ち込みました

2つ目は評定をなるべく落とさないことです。私は陸上競技部に所属していたため、定期考査に向けての限られた時間を有効活用する必要がありました。なので、試験前の授業で教科担当の先生から対策プリントを配布されることがあるので、そのプリントを中心に定期考査の対策を行いました。集中して勉強に取り組むことができたおかげで、推薦に最低限必要な評定を維持することができました。

志望大学に合格するために必要なことは、早めに準備を始めることです。これはどの受験形式においても言えることだと思います。私は初動がかなり遅かったので、いざ志望大学を決める時には選択肢が狭まってしまっていました。裏を返せば早く動き始めれば始めるほど、選択肢が広がるということなので、これから大学受験に挑む皆さんは、早めに行動することを心がけて頑張ってください。

日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
東向陽台中出身

## 新しいことへの挑戦によって 将来の目標が明確になります

### ■IBDPでの学びを活かし

国連職員になりたいです

私は、高校3年生の夏頃にこの大学の志望を決定しました。この大学へ志望したきっかけは主に2つあります。1つ目は、1年次で行ったハワイ研修です。ハワイ研修では、綺麗な海はもちろん、私が想像していたのとは違った地域や環境にも触れることができました。私はそこで、「地域の環境の格差」を感じ、もっと世界を知り、学習したいと考えるようになりました。2つ目は、外国語コースにある国際バカロレア ディプロマ プログラム (IBDP) を2年次から選択肢、私にとって様々な新しいことに挑戦したことです。このプログラムでは、ディスカッションやプレゼンテーションといった授業や論文を書く機会があったので、自分自身で探究することが多く、探究心や積極性、プレゼンテーション力を身につけることができました。私はそれらのスキルを活かし、自分の興味のあることからボランティア活動の企画やプレゼンテーションを行ったり、論文を書いたりして、将来は未解決の問題を解決する国連職員になりたいという目標を立てることができました。

### ■口頭試問対策を通して

将来像が明確になりました

私は、英検やTOEICなどといった資格を計画的に取得していなかったので、これらの経験は、大学受験の際の書類や面接に多いに役立ったと考えています。志望理由書や面接では、担任の先生や他の先生のご指導の下、たくさん書き直し、たくさん練習し、本番で最善にアピールできるようにして行きました。私の大学では、面接の他にも口頭試問があり、自分の興味のある分野や最近ニュースについての自分の見解をしっかりと準備しました。しかしながら、想像よりも深掘りされた質問をされなかったもので、準備してきた私は少し残念に思いましたが、より大学で「何を学びたいのか」「将来何をしたいのか」というのが明確になりました。

私は3年間という短い期間で、「自分が大学で何を学びたいのか」「将来何をしたいのか」ということのきっかけを作ることの大切さを知りました。これらを決めるだけでも、自分の将来を導けると思います。頑張ってください。

日本大学 国際関係 国際教養学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 受験における障壁や想定外の出来事と どう向き合うかを選ぶのは自分自身です

■やりたいことがあったので  
意志を貫き進路を決めました

私は進学先をすぐに志望したわけではありませんでした。将来を変える転機が訪れたからです。

私は志望大学のことで家族と意見が合わず衝突することがありました。私に期待してくれている家族の気持ちも理解出来る分、志望大学を否定されたときは、自分の将来まで否定されたように感じ、本当に辛く、心が折れました。それでも、自分の未来の人生のために、決めた道を進みたい一心で、何とか説得して自分の意志を貫きました。

■先生との練習の成果を  
面接本番で発揮できました

志望する大学の推薦枠を獲得することができ、試験当日に向けて対策に取り組み始めました。試験内容に面接が含まれていたため、練習に向けてノートを作成し、練習を重ねました。場の空気に押し潰されて緊張しやすい方だったので、最初の方は礼儀作法も詰めが甘かったり、質問されて頭が真っ白になって言葉が出てこなかったり、声量が十分ではなかったりと、全く形になっていませんでした。しかし、練習の度に先生方が指導して下さったり、アドバイスを頂いたりしたお陰で、本番は全く緊張せず、練習の成果を十二分に発揮することができました。

何もかも自分の思い通り、ということはありません。そうでなくとも、受験に際して必ず現れる多くの障壁は避けずには通れません。障壁だけではありません。想定外の出来事に阻害される可能性もゼロではありません。それらとどのように向き合い、その先の道を進むか。決めるのも、生きるのも自分です。自分のために学業を怠らないのはもちろんですが、それ以上に、何があっても自分のやりたいこと、将来の目標などを絶対にふいにしないで下さい。皆さんの努力が実ることを祈っています。

駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
鶴が丘中出身

## やりたいことを明確にし 確固たる目標を持って進学しましょう

### ■部活動以外の新たな目標を 掲げて猛勉強しました

自分はサッカーをやりたくてこの学校に来ました。ですが、前十字靭帯断裂2回、腰痛、この大怪我に見舞われリハビリ期間も長く、さらにコロナの影響で部活動、学校へほとんど行くことができませんでした。前十字靭帯断裂1回目の時は復帰するまでに1年かかりました。復帰した時は、よっしゃこっからだ！と思ってやっていたのですが、再び断裂し人生が真っ暗になりました。サッカーをしている時は目標を持ってやっていたのですが、サッカーをやれない期間が長かったので、他の目標を見つけようと思い、とりあえず、数学と英語の勉強に励みました。その中で目標を見つけました。英語とICTについて勉強できる学部へ進む。そのために、猛勉強しました。ですが、中々結果が出ず、試行錯誤しました。今となっては自分の努力がものすごく足りないと感じていますが、自分のやりたいことができる駒澤大学の学部に入ることができました。

### ■3年次の校内模試を見据え 模試に慣れておきましょう

推薦で大事なことは毎回の定期テストでいい点数を取り続けることと、第1回校内模試でいい成績をとることです。自分たちの一個下の代の人達は2年生のうちに何回か受けられると思います。私たちは1回で受けたので、その経験が無駄にせず、校内模試に挑んでほしいと思います。とりあえず目標もなく大学に入るのは、個人的には何かが違うと思います。目標をちゃんと持って大学に入るべきだと思います。推薦は推薦でいい所があると思いますので、しっかり目標を持って勉強に励んでいけば、しっかりとした大学生活が送れると思います。伝えたいことは、ちゃんと自分のしたいことを明確にし、それができる大学に進学することです。

獨協大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
南郷中出身

## 高い評定平均をキープしておけば 推薦受験のチャンスが広がります

■資格取得やボランティアなど  
自分の強みを増やしましょう

私は指定校推薦枠をいただき、小論文と書類選考を経て獨協大学法学部法律学科に合格することが出来ました。

指定校推薦を受験するために大切だと思うことは、継続的に勉強に取り組むということです。なぜなら、校内選考の枠を得るためには3年間の評定平均や、校内模試の結果が大きく反映されるからです。私自身、指定校推薦を受けたいと考えるようになったのは三年生になってからでしたが、1年生のころから継続的に勉強してきたため、良い評定平均を修めることができ、結果として指定校推薦の枠を得ることが出来ました。3年生になってから後悔しないためにも、1年生の時から定期テストで良い成績を修めることが大切になってくると思います。

また、私は生徒会執行部やソフトテニス部に所属していて、その中で積極的に活動したことが大きな強みとなりました。新型コロナウイルスの影響で行動が制限されているとは思いますが、様々な資格の取得やボランティアなど、積極的に活動し自分の強みを作ることで自己推薦書を作成するときや面接での自己PRなどに役立つと思います。

高校三年間は本当にあっという間に過ぎ去ります。それぞれが明確な目標を持ち、それを達成するために行動することで残りの高校生活をより有意義なものにしてください。

獨協大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
茨城 城ノ内中出身

## 部活動だけではなく授業をしっかり受け 定期考査は満点を目指して勉強しました

### ■部活動の先輩がきっかけで 推薦入試に挑戦しました

大学をめざしたきっかけは両親からの勧めからではありませんでしたが、大学で将来やりたいことを見つけることや様々なことを学びたいと考えたからです。推薦入試を目指した理由は、部活動の先輩が推薦で大学へ進学したことがきっかけであり、私が目指した大学と自身の学力を考えた結果、推薦入試が適していると考えたからです。指定校推薦を受けるために努力したことは、日頃の授業をしっかり受け、提出物を、期日通りに提出し、テストの点数をしっかりと、評定をしっかりととることです。そして、校内模試と高い点数をとるために、英語の単語の勉強をしたり、文法の勉強や過去問を解くなどしました。そして、国語の過去問を解き、校内模試に向け、努力しました。部活動をする中で、気を付けたことは、部活と勉強を両立することです。野球だけでなく、日々の学習をしっかりすることを気をつけました。定期考査では、問題集を3回以上解き、100点を目指して勉強しました。

### ■小論文練習が校内模試の 国語対策につながります

小論文対策は、まずは志望大学の過去問を解き、先生に見てもらいました。試験の2ヶ月前から書き続けました。そして、志望大学の過去問だけでなく、他校の問題や、今ニュースになっていること、新聞などの記事で、小論文を書きました。大学進学に向けての勉強の内容の大半は、校内模試に向けての英語でした。校内模試で高得点を得ることが一番大事なことなので、英単語や文法を主にやりましたが速読の練習をやれば良かったと思います。国語は小論文をやれば、読解力がつくので、できると思います。受験大学を絞り込むにあたって、大切なことは、やりたいことができるか、自身の学力と合っているか、大学の場所などを考えて選びました。大学受験に成功した要因は、日々の努力だったと思います。日々の努力を怠らず、頑張ることが大切です。

獨協大学 国際教養学部 言語文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
高森中出身

## 好きなことに全力を注ぐことのできる 仙台育英で勉強と部活を両立できました

### ■書類作成は自分自身を 振り返る良い機会でした

高校3年の夏にオープンキャンパスに行き、広くて落ちついたキャンパスで、先輩方がとても生き生きと活動していたのが印象的でこの大学を志望しました。指定校推薦を頂くにあたって、自己推薦書を仕上げるのにとても苦労しました。その度に多くの先生型に添削・ご指導してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。自己推薦書を書くのは大変でしたが、自分の長所短所、高校生活でがんばったこと、自分の興味を改めて考えることができ、とても良い経験ができたと思います。

高校に入ってから指定校推薦を狙っていたので定期テストはもちろん、普段の生活にも気を配って行動しました。仙台育英は自習室の設備が整っているので勉強に集中しやすく、学習意欲の高い友達と勉強を教え合い、定期テストに臨んでいました。私の志望した大学では英検2級を習得する必要があったので資格取得も心がけました。単語を中心に、時間を決めて問題を解き、英作文も学校で何回も添削していただき、合格することができました。

### ■選抜クラスではレベルの高い 環境におかれ奮起しました

私は部活をしていたので勉強と部活の両立に心がけました。宮城野校舎から多賀城校舎まで電車移動をする必要があったので大変でしたが、移動中は単語勉強をしてスキマ時間を有効活用しました。他の高校では特別進学コースでは部活ができない所もあるかもしれませんが、仙台育英は特別進学コースでも部活をすることができるので、自分の好きなことに全力を注ぐことのできる学校だと思います。高校ではいろんなことがあるので勉強時間がなかなか取りにくいことがあります。スキマ時間で効率良く勉強することが大事だと思います。調査書を書くときに、部活に所属し、がんばったことや大会での結果を反映してもらえるのでそういう点でも部活を一生懸命やって良かったと感じました。

私は、指定校推薦をもらえた一番の要因は選抜クラスに入り、自分を高められたことだと思います。高校1・2年生では部活を中心に組み合わせたので進学クラスでしたが、高校3年生になり選抜クラスでやってみないかというお声をかけて下さり、挑戦してみたいと考えました。難関大を目指す人が多く、周りのレベルが高かったおかげで、自分も遅れずついていきたいと奮起することができました。勉強に対する姿勢が変わり、少しずつではありましたが、偏差値を上げることができました。偏差値が上がると勉強するモチベーションにもなるので、大変なことも多いですが、前よりも楽しみながら勉強に取り組むことができたと思います。

大学合格できたからと言って勉強を疎かにしていたら大学入学後に一般で入ってきた人と大きな差が生まれてしまいます。これからは英検準1級やTOEICなどの資格取得のための勉強や自分の興味ある分野の本をたくさん読み、高校生のうちでできることをこなしていきたいと思っています。

日本女子大学 文学部 英文学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
佐沼中出身

## 興味・関心のある分野を大学で 深く学びたい一心で努力しました

### ■得意教科である英語を 受験の武器にしました

私は最初から指定校推薦での進学を考えており、指定校枠があるこの大学に出願しました。コロナウイルスの関係でオープンキャンパスには行けませんでした。出願までの間に資料を請求するなど、大学の情報を集めるようにしました。また入学当初から英検準1級の取得を目標に英語力の向上に努めました。私は元々理数が苦手で、好きな教科である英語をひたすら勉強して進学することに決めました。期末試験では全体的に評価を落とさないよう満遍なく勉強し、学校生活ではあまり欠席しないよう心がけました。その結果3年間無欠席で登校することができました。部活動に入っていない分、とにかく勉強に専念して日々受験の意識を高めました。

内定をもらった後は決して気を抜かないように小論文や面接の対策をしました。小論文はテーマが分からなかったため、なるべく幅広い分野のテーマを書けるようにしました。最初は書き方に苦戦しましたが、授業で何回も練習を重ねるうちにコツを掴むことができました。面接練習ではどんな質問をされてもその場で答えが思いつくように、質問の答えを暗記するよりも知識として情報を集めたり、言いたいことをはっきりさせておくなどの対策をしました。そのおかげでどちらも本番は思ったより苦労しませんでした。今年は直接会場で受験することができ、キャンパス内やその周辺を見ることもできました。

### ■合格後も英文学を沢山読み 自ら学ぶ習慣を続けています

合格した後は勉強習慣を絶やさないう、英語の勉強だけでなく大学で専攻する分野の勉強をしました。大学で英文学を学ぶため、入学までに文学作品をたくさん読むようにしています。

私は1学年の時から明確な夢がなくて進路を考えるのに苦労しましたが、好きなものを学びたいという思いで勉強し、大学に合格することができました。そのため、自分が好きなことを大前提に進路を考えるのも一つの方法だと思います。最後に、この3年間はとてもあつという間でかけがえのないものでした。その時間を有意義に過ごし、高校生活を楽しんでください。

日本女子大学 人間社会学部 文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
七北田中出身

## 普段から「？」を持って生活するうちに やりたいことが見つかるはずです

### ■指定校推薦に対応できるよう 学校生活に気を配りましょう

私は高校での様々な経験から、文化を多角的視点から学びたいと思ったため日本女子大学人間社会学部文化学科への進学の道を選びました。

私が指定校推薦を利用する際に心がけたこと、努力したことがいくつかあります。

まず1つ目は、校内模試です。校内模試は指定校推薦の校内推薦を通過するための大きな基準の一つです。そのため、少しでも良い結果が出せるように何度も過去問を解いたり、国語便覧を使って文豪や四字熟語の暗記をしたりしました。その結果、予想していたよりも良い点数を取ることができたので、校内選考通過につながったのだと思います。

次に2つ目は、普段の生活です。指定校推薦で内定をいただくためには、校内模試だけではなく、1年次からの遅刻・欠席の数や評定、生活態度などにも気をつけなければいけません。ですから、1年生の段階で指定校を視野に入れている人はもちろん、視野に入れていない人もいつ指定校推薦にシフトするかわからないので、ぜひ普段の生活にも気を配ってほしいなと思います。また、生活態度や評定が良いと、大学へのアピールポイントにもなるので、重要なポイントの一つだと考えます。

### ■推薦枠を争う相手よりも 自分の熱意が大事です

次に3つ目は、気持ちを強く持ち、自分の事に集中することです。指定校推薦でも、同じ1枠を狙う人が複数人になってしまう場合があります。もしその状況に直面したとしても相手のことはあまり気にせず、「自分はこの大学で〇〇を学びたい。この大学じゃなければだめなんだ」と強い気持ちを持っていれば大丈夫だと思います。

最後にまだ進路が決まっていない人へ。焦る必要はありません。意外とすぐ近くに、自分のやりたいことが転がっているのです。少し普段の生活を「？」を持って過ごしてみるとやりたいことが見つけれられると思います！

日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
宮城野中出身

## 仙台育英の自主学習をサポートする 環境を有効に活用しました

### ■英検を機に本格的に 受験対策を始めました

私は高校二年生の春くらいから推薦での入試の利用を考え始めました。このことを担任の先生に相談したところ、英検の受検を勧められました。このアドバイスを受けて英検を取得したことが私の大学受験のスタートだったと思います。私の学校では受験資格の一つとして英語外部試験を受けていることがあったので、英検を取得していることは大きな助けになりました。

指定校の推薦枠をもらうための校内模試は何度も過去問を解き、傾向をつかむことが大事です。周りはまだ受験モードではないかもしれませんが、同じく校内模試で良い成績を取ることを目標としている仲間が存在がとても大きく、頑張ることができました。

### ■受験対策で将来に生かせる スキルが身に付きました

推薦枠を頂けることになってからは志願理由書を書かなければなりませんでしたがとても不明瞭だったのですが担任の先生に何度も添削していただき、自分の納得のいく志願理由書を書くことができました。また、受験では小論文とグループディスカッションが課されました。小論文も先生に何度も添削していただき、文章力だけでなく物事の論理的な考え方を養うことができました。グループディスカッションではお題に沿って意見をまとめたり、新たなアイデアを出したりというようなことをたくさん練習しました。回数を重ねるごとに自分のスキルが上がっていくのを感じ、本番でもしっかり実力を発揮することができました。どちらも受験に限らず大学生活で生かせるスキルだと思うので、この受験対策がとてもいい経験になったと感じています。

仙台育英には勉強をしたい生徒をサポートする施設がたくさんあります。私のお気に入りには図書室です。オークルームに比べて空いていることが多かったのでよく使用していました。GPホールは複数人での利用が可能なので、友達と勉強するときやグループディスカッションの反省会でも使用していました。

日本女子大学 家政学部 住居学科居住環境デザイン専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
東華中出身

## 評定と平常点を維持していたことが 後の推薦枠獲得にプラスになりました

### ■私立大学に興味を持ってから 指定校推薦を目標にしました

私は、元々国公立大学を志望していました。そのため、指定校推薦の枠を取ることを考えて学校生活を送っている訳ではありませんでした。しかし、ふとしたきっかけで授業内容の濃さやサポートの手厚さ、企業と連携していることなどの私立大学の良さを知り、惹かれるようになりました。また、私は多くのことに興味を持っていたので、私立大学には単位互換制度があることも魅力的に感じていました。そこから私立大学を視野に入れるようになり、指定校推薦のことも考えるようになりました。この時期と、父が入院し始めた時期が重なり、大きな不安を抱いていた私は、本格的に指定校推薦を目標にしようと決意しました。

### ■推薦書類の作成に追われる中 工夫して勉強に励みました

このように急に目標の方針を変えたので、苦労したことがたくさんあります。その中の1つ目は、特に強みがないことです。1年生の頃から目標にしていた訳でもないのに、アピールポイントは真面目なことくらいで、他の人と差別化できるようなものはありませんでした。一方で、留学経験のある人は、国際系の学部でなくてもかなり強いと感じました。2つ目は、面接です。聞かれたことをすぐに考えて言語化することが、私にはとても難しかったので苦労しました。面接の練習をいろんな方に手伝ってもらったことと、小論文で要約と感想を制限時間内に書く練習をしていたことのおかげで、少しは鍛えられたと感じています。3つ目は、周りとは比べると一般の勉強に充てられる時間が減ることです。自己推薦書は添削を繰り返して出来上がるので、かなり時間がかかります。それと並行しての勉強は身が入らないときもありました。克服するために、気分が乗らないときには一問一答の問題を解いていた気がします。

一方で、やってよかったことは、定期考査で頑張って評定を保っていたこと、課題はしっかり出していたこと、欠席日数はできるだけつくらなかったことです。これらは、推薦のことを考えて頑張っていた訳ではないのですが、結果的に自分のためになったと思っています。後輩の皆さんも、新型コロナウイルスの影響でいろいろと不自由なことが多いと思いますが、自分のために努力し、前向きに過ごしてください。

武蔵大学 経済学部 金融学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東京 光が丘第一中出身

## 3年間で何かに一生懸命打ち込むことが 推薦入試に大いに役立ちます

### ■ 学業とラグビーを両立できる 進学先を選びました

私は武蔵大学経済学部金融学科に指定校推薦で合格しました。私が武蔵大学進学を希望した理由は、大学卒業後の将来の事も考えてのことです。私は、高校入学当初からラグビー部に所属し、最初はラグビーの強豪大学に進学する事を希望していました。また、両親から学業もしっかり取り組んだ方が進学できる大学の選択肢が増えるというアドバイスをもらい、学業と部活動の両立を3年間目指して取り組んできました。

3年生となり、進路を決める際に、さまざまな大学の中から、武蔵大には経済学部金融学科という日本でも数少ない専門的な学科がある事、学業とスポーツが両方とも高いレベルである事から、武蔵大学進学を希望しました。また、ラグビー部の先輩も指定校推薦で入学しており、心強いと感じた事も進学を決めた理由の一つです。

### ■ 受験では高校生活を振り返る 機会が多くありました

武蔵大学指定校推薦入試では、面接と小論文、英語の実技テストの3つが試験の内容でした。私はその中でも特に小論文が苦手だったので、武蔵大学の小論文の過去問や経済についての事を自分なりにテーマに設定し、繰り返し、繰り返し解くという事を一生懸命取り組んでいました。また、面接においても想定される質問内容を事前に調べて、答えられるように自分自身の経験や話しやすい言葉や文書にして、準備しました。

私が指定校推薦の受験を経験して強く感じた事は、小論文や面接において高校生活の中で一生懸命取り組んだ事や強く感じた事を書いたり、答えたりする機会が多かったので、高校生活を過ごす上では、何か一生懸命取り組めることをみつけた方がよいということです。また、成績によって、進学を希望できる大学や学部が変わってくるので、日々の学業への取り組みもとても大切だと思いました。

最後に私自身の経験から後輩に伝えたい事は大学進学、受験というと2年生の終わりから3年生から始まるイメージがありますが、入学時から大学進学への道がスタートしているという事です。まずは自分自身が将来どの様な道に進みたいのかを考え、目標設定し、分からない時には先生や部活動の監督、両親とも相談する事も大切だと思いました。

明治学院大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
小牛田中出身

## 一生懸命に高校生活を送ることが 指定校推薦合格に直結します

### ■友達との会話を通して 自分を見つめ直しました

私は、指定校推薦での受験で学んだことが3つあります。

1つ目は、授業や家庭学習に真剣に取り組むことです。指定校推薦では、3年間の成績が重要になってきます。そのため、授業に真剣に取り組んだり、テストでは常に70点以上をとれるように勉強したり、提出物は期限内に提出することを意識すると良いと思います。私の志望した大学は、校内選考での倍率が高かったので3年生になってからは、この3点をより意識して過ごしました。また、校内模試も重要になってきます。模試は範囲が広く、これまで学習した知識を使って解かなければいけないので、3年生になってから模試の勉強を始めるのは大変です。しかし私は、授業や提出物に真剣に取り組んだことで、英語と国語で良い点数をとることができ、指定校推薦をいただきました。

2つ目は、友達とたくさん話すことです。私が受験で一番苦労したのは自己推薦書と志望理由書でした。自分の強みに何があるのか、大学への想いを上手くまとめることが出来ず苦労しました。そんなときに助けてくれたのが友達でした。友達との思い出から自分の強みを見つけることが出来ました。また、友達と文章の書き方について話し合うことで、適切な表現やまとめ方が浮かび、より良い文章を書くことが出来ました。何気ない日常から文章を書くヒントを得たり、友達と話し合うことで自分を見つめ直せたりすることができます。

### ■堂々とした自己アピールが 合格には不可欠です

3つ目は、自分自身のことを書くときは自信を持って書くことです。自己推薦書では自分の強みとなる部分を書かなければいけません。私は自分のことを書くことが苦手でした。しかし、大学合格を目指すためには自分の強みや大学への想いを先生方にはっきりと伝えて、アピールする必要があります。そのため自信を持って書くことが大切です。

このように、指定校推薦での受験では高校3年間全てが関係してきます。そのため、授業や家庭学習に取り組みつづ、友達や先生との交流も積極的に行ってください。充実した高校生活を送り、合格を掴み取ってください。

明治学院大学 心理学部学部 心理学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 勉強に懸命に励むクラスの仲間を気遣い 集中しやすい環境を皆で作しましょう

■努力を積み重ねていたの  
進路変更にも対応できました

高校3年生は予測不能な1年でした。私自身高校3年の春まで、確固とした目標を持っており、その道しか考えていませんでした。しかし、些細なことがきっかけで初めて別の分野に興味を持ち、大幅な進路変更を行いました。受験科目も志望大学も大きく変わり、今まで明確に進路を考えていたこともあって非常に勇気のいる選択でした。

その中で自分が第一志望大学に合格することができた最大の理由は、高校3年間の積み重ねであると考えています。普段の定期テストや生徒会活動、部活動はもちろんのこと、高校2年生から受験に向けて英語と国語を強化してきました。具体的には、普段の自学自習で苦手教科を潰すために、しつこいほど学校の先生に質問しに行きました。新しい問題を多く解くことよりも、疑問を解決することに重点を置くことは、心のしこりが解消され、自分の学習に対する自信が積み重なります。また、学習面以外にも生徒会や部活動で役割を担ったりと課外活動にも力を入れて取り組みました。進路変更の意志を固めたのは校内模試の直後でしたが、日頃の学習の積み重ねで得た学力や課外活動への取り組みのおかげで第一志望の推薦をいただくことができました。

また、学年の人数が少なかったため良くも悪くも影響力の大きさを実感しました。例えば、複数人が賑やかにしているとすぐに全体の空気が緩み、騒がしい環境になります。一方複数人が勉強していると、その空気が伝染し、静かな環境づくりが可能となります。つまり、受験生として勉強しやすい環境づくりを行うためには、クラスの仲間を気遣うことはもちろんのこと、自分も学習に懸命に取り組むことが最重要なのだと学びました。

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
東仙台中出身

## 勉強に費やせる時間は想像以上に 少ないので有意義に使いましょう

### ■卒業生から話を伺った上で

東京農業大学を志望しました

私は指定校推薦でこの大学に合格しました、この大学を選んだきっかけは、この大学の資料に興味を持ち、実際にその大学を卒業した人から話を聞いたことです。お話を聞いてから、指定校推薦のリストを見てみると、その大学があり、元々農業系の大学を目指していた私は、これはチャンスではないかと思い、挑戦しました。

初めに、私が高校生活の中で意識したことについてお話します。まず一番に意識したのは授業を休まず、きちんと出席することです。一見、当たり前のようなことに感じますが、指定校推薦を狙う場合、評定がとても大切になってきます。ただ定期試験で良い点を取っても、提出物などを出さず、授業態度が悪いと評定をつける際に、低い点をつけられ、出願条件を満たせず、推薦を諦めることに繋がる可能性があるからです。これは総合型選抜や公募制推薦で受験を考えている人にも言えることかと思います。

### ■サイエンス・コ・ラボは

理系ならぜひ参加しましょう

次に意識したことは、実績を作るということです。推薦制度で受験をする場合、志望理由書を書く必要があります。志望理由書を書く際に、志望理由だけではなく、自己アピールも含めた文を書かなければなりません。そのためにも、学校主催のイベントやボランティア活動、生徒会活動への参加、英語検定や数学検定などの取得をしておく方が良いと思います。特に理科の実験講座のサイエンス・コ・ラボは、実際に東北大学に行き実験をすることもあるので特におすすめです。英検、TOEIC、GTECなどは私立大学の一般入試の際にも活用できるので、早いうちから取得しておくことを勧めておきます。

志望理由書を書く際には、自分がなぜその大学に進学したいのか、何を大学で学びたいのか、将来はどのようなことをしたいのかをある程度明確にしておくことが大切です。加えて大学の賞賛のみにならないこと、そして選んでいただく意識をもち、謙虚な姿勢で臨むことも大切です。

最後になりますが、3年間の長いようで短い高校生活の間には多くの誘惑があるかと思います。しかし、実際に勉強に費やせる時間は思っている以上に短いです。そのような大切な時間を、皆さんはどうぞ有意義に過ごしてください。

國學院大学 文学部 史学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
東仙台中出身

## 問題を自力で解決しながら一つのことに 一生懸命になることで成長できます

### ■ 1年次から指定校推薦を意識して 高い評定の維持に努めました

私が指定校推薦で受験しようと思ったのは高校2年生の中頃でした。指定校で受験しようと思ったきっかけは、私は勉強面だけでなく部活動も一生懸命に取り組んでいたため、その努力を生かして大学受験をしたいと思ったからです。

私は、高校1年生の時から、指定校推薦で大学を受験できるということを知っていたので、1年生の時から高い評定を得ることができるよう、定期テストや小テストの勉強を頑張りました。具体的には、私は部活動に所属していたため日常からまとまった勉強時間を確保出来ていなかったため、定期テストの1か月前からはテスト勉強を行い、対策に時間をかけていました。高校1年生の頃は特に、テストの科目数が多いため、1か月半ほど前からテスト勉強をコツコツやっていたと思います。英検などの資格取得については、私は英検を2,3年生で取りました。英語に関しては、さほど苦手意識はなかったため、参考書を買って勉強しました。

### ■ 色々なことに挑戦することが 受験にもプラスになります

勉強ももちろんですが、私は高校生活のうちで何か一つでもいいので、自分が夢中になれるものを見つけることが大切だと思います。私の場合は、自分が夢中になれるものが部活動でしたが、部活動だけでなく自分の趣味などでもいいと思います。指定校推薦を利用するとき、出願する際に自己推薦文のほかに活動レポートなどを課す大学もあります。そのような大学を受験する際に、自分が高校生活で一生懸命に頑張ったことがあるとスムーズに書け、自分をアピールすることができると思います。自分が真剣に取り組んでいく中で、上手く行かないことや苦しい思いをすることがあるかと思いますが、それに対して、自分なりに工夫して問題を解決することが、自分を成長させるために大切なことだと思うので、自分が一生懸命になれるものを持つことが大切だと思います。

受験のために一生懸命になれることを探すだけでなく、ただ純粋に面白そうや楽しそうといった興味から、何かを始めるのも高校生活を豊かにしてくれると思うので、いろいろなことに挑戦してほしいです。

東京経済大学 現代法学部 現代法学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 先生方に親身に支えて頂いたからこそ 合格できたのだと実感しています

### ■国内外の社会問題について

考えていきたいと思いました

私は中学校3年時の頃に、ニュース検定の受検を先生に勧められ、ニュースの勉強をしていく中で、今の社会で問題になっている解決法は一体何であるのかと疑問になりました。だが、最後まで解決法は分からず、調べても現状はそのままのものが多かったです。ニュースを勉強する中で、実際の現地ではどうなっているのかと何度も疑問に思いました。実際に見てみなければ分からないことがあり、現地で見ることができる環境や社会問題を専門的に学べる環境は東京経済大学しかないと思いました。

私は高校3年間、英語の学習に力を入れて取り組んできました。中学3年時にカナダ・リーダーシップ研修に参加したことがきっかけで、英語の重要性に気づいたためです。そこから授業に集中するだけでなく、英語科の先生にライティング・スピーキングの個別指導を依頼し、文法に重点を置いた学習にも取り組みました。自宅ではBBCニュースを視聴することでリスニング能力を高めました。その結果、高校3年時に実用英語技能検定2級を取得することができました。

### ■地域の合唱団に参加し

率先して活動しました

私は、小学3年時の頃から地域の合唱団に参加し、8年間に渡って活動してきました。合唱団のメンバーは、年齢層の幅が広く、高校生として小学生の手本にならなければいけません。そうした心掛けによって、合唱団のために自分ができることは何かを常に模索し、周りよりも早く行動することを意識してきました。

推薦入試の試験では、私の受ける前の年から小論文が始まり対策することが難しく感じました。対策として、学校の先生に他の大学と似た過去問を用意していただき、1週間に何度か添削をしてもらいました。そして色々な問題に触れることができ、あまり緊張せずに受験を迎えることができました。改めて、受験は一人で乗り切れるものではなく、多くの人に支えてもらって合格できるものだと感じました。

東京経済大学 経済学部 経済学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
秋田 山王中出身

## 相談に乗って下さった担任の先生を始め 先生方には本当に感謝しています

### ■進路を決める前から 推薦受験を考えていました

指定校推薦で東京経済大学経済学部合格させていただきました。私は当初、行きたい大学や、将来なりたいことが決まっていませんでした。しかし、指定校推薦を駆使し、大学に進学したいという抽象的な目標はありました。そこで、指定校推薦で行ける大学の選択肢を増やし、後から行きたいところに行けないようなことをなくすために、様々なことに挑戦し、努力してきました。一つ目は定期考査です。日々、予習と復習に力を入れて高得点を保ち、内申点の向上を図りました。二つ目は検定の資格取得です。私は特に実用英語技能検定に力を入れました。準1級まで挑戦しましたが、これは力が及びませんでした。これら二つのことが指定校推薦の選択できる大学に大きく関わります。

また、指定校推薦を勝ち取るには校内模試の結果が一番大切です。もし行きたい大学が被り定員が限られている場合は、その順位で決まってしまう。私は3年生になってそれに気づき、出遅れて校内模試の勉強に取りかかりました。その時期は、ハンドボールの大会と重なっているため、両立がとても大変でした。

### ■小論文は日々新聞を読み 社会問題に触れていました

私は、指定校推薦が決まるまでニュースや新聞を読み、時事問題などの知識を慌てて入れました。指定校推薦が取れた後はその大学の受験に力を入れないといけません。私の場合は、60分で800字の社会問題に対しての小論文でした。大学によって異なりますが、日々新聞に触れることを推奨します。早めにこれに気づけたら、ぜひ校内模試の過去問に取り組んだり、志望する大学について調べ、募集要項をきちんと確認しておいてください。

最後に、私の進路に親身に相談に乗ってくださった、担任の先生には感謝しています。多くの先生方、本当にありがとうございました。

東京薬科大学 薬学部 薬学科（男子部）に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
七北田中出身

## 進学後も仙台育英と先輩方のおかげで 合格できたことを忘れずに頑張ります

### ■英検やTOEIC等に挑戦し 周りとの差をつけましょう

高校に入学した時点での私は指定校推薦という制度があることすら知りませんでした。また、大学進学に関して具体的な目標はなかったので、まずは学期毎にある定期考査で良い点数をとることを目標にしました。テスト直前に詰め込むというよりは、授業中にある程度完成させられるように日頃から手を抜かずに頑張ってきました。そのおかげで最終的な評定平均値は5.0と良い成績を残すことができました。指定校推薦という制度を知った際にも「評定基準を満たしていないから諦めよう」といったように選択肢を減らすことなく、進学について考えていくことができました。可能性を狭めないためにも課題や提出物など今できることをしっかりとやっておくということが大切だと思います。余裕のある時に英検や漢検のような資格を取得し、周りの人と差をつけるというのもひとつの手です。私は英語が得意ではありませんでしたが、過去問を用いて対策することで英検2級に合格しました。私は、英検S-CBTというコンピュータを用いて一日で3技能を測る試験を受けました。これは従来の英検と異なって自分の好きな日に試験日を設定することができるというメリットがあります。従来型もS-CBTもどちらも長所と短所があるので自分に合った方式を選びましょう。一般入試においても、英検やTOEICなどのスコアが基準を満たしていれば英語の試験の免除や加点という大学もあるので、ぜひ挑戦してほしいです。

### ■大学で必要な物理の勉強を 合格後に進めています

合格後、大学から物理、化学、生物全てやっておくとより良いという連絡がきたので、共通テストが終わってからは理科の科目選択で選ばなかった物理を参考書を用いて学んでいます。分からないところがあれば、同じく推薦で合格した友だちに聞いたり、インターネットを活用して調べたりしています。一般入試よりも早く結果が分かるので大学入学へ向けて自分なりに予習を持って準備していけるところもこの制度の魅力です。

高校と大学との信頼関係、そしてこれまで進学していった先輩方のおかげで入学することができたということを忘れずにこれからも頑張っていきます。

皆さんも自分に合った進路を選択できるように情報を集め、目標に向かって頑張ってください。

東京薬科大学 薬学部 薬学科（女子部）に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
仙台第一中出身

## やりたいことや今だからできることに 後悔しないように挑戦しましょう！

### ■コロナ禍で在宅時間が増え 進路を深く考えました

私は2年生まで指定校推薦を使うことは全く考えておらず、一般入試しか頭にありませんでした。新型コロナウイルスの流行によって、家で過ごす時間が増え、自分の進路についてより考えるようになったとき、薬学を学ぶことに興味を持ち始めました。3年生になり指定校推薦の枠に志望大学があることを知り、推薦を志しました。

推薦に決めたのが3年生からという遅い時期だったのにもかかわらず、校内選考を通り、無事合格できたのは日々の学習や学校の活動を積極的に取り組んでいたからだと思います。学校の予習・復習はもちろんですが、1・2年生の頃は考査の1ヶ月前から準備するよう心がけていました。私は苦手な暗記科目や、考査後に提出物のある科目から手をつけることで科目数が多い高校の考査も安定して点数を取ることができました。また、私はよく執務室に通って分からないところを溜め込まないようにしていました。結果として理解が深まるだけでなく、先生に顔を覚えてもらえたり、質問や相談がしやすくなったと思います。3年生になってからは毎日朝早くに登校して勉強時間を確保していました。1・2年生でも早く登校していたり、同学年の勉強に励む姿にたくさん刺激を受けました。

### ■特別進学コース生でも 部活に励むことができました

私たちの学年は天候や新型コロナウイルスの影響で行事がほとんど行われなかったため、個人の活動が自己推薦書や校内選考、そして面接ではとても重要だったと思います。仙台育英では一般的な行事の他にも、サイエンス・コラボや中国語講座など自主的に参加する活動がいくつかあります。時間に余裕のある1・2年生のうちにこういった活動に参加することをおすすめします。

次に部活動です。仙台育英は特別進学コースでも入部が可能です。私は入学当初は、勉強を頑張りたいと思っていたので部活は諦めようと考えていましたが部活がどうしてもしたくて同好会に入りました。私の部活は、週に3回でテスト前は休みだったので無理なく続けることができました。また、私は面接で面接官がその部活の顧問だったというもあり、話題を広げることができ、リラックスして面接に臨めました。

私が高校生活を通して一番伝えたいことは今やれることや、やりたいことは思ったときにできるだけやっておくべきだということです。私たちが新型コロナウイルスの流行を経験したように何が起るかわかりません。後悔のないよう頑張ってください。応援しています。

帝京大学 文学部 史学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
蛇田中出身

## 仙台育英では行動次第で可能性を どこまでも広げることができます

### ■進路決定後からのスタートは 校内模試対策は遅すぎます

私は高校入学した当初はフレックスコースでした。1年生の秋前から大学進学について考えている時に試験に合格すればコースを変更できると聞き、合格して2年生から英進進学コースに編入しました。私は歴史が好きだったので文理選択では文系を選択しました。そして大学受験を考えたとき指定校推薦で入ることに決めました。指定校推薦で大学に入るには3年生の1学期までの評定と3年生最初の校内模試で入りたい大学に見合う点数を取る必要があります。私は2年生時点では明確にどの大学を受けるか決めていなかったもので、評定を落とさないことを意識しました。3年生に入り大学を決めている時担任の先生の紹介もあり進学したい大学が決まり、そこから校内模試の対策を始めましたが、はっきり言って遅かったと反省しています。なんとか私は指定校を頑張りましたが、もっと早い段階から準備すべきでした。振り返って思ったのは日々の積み重ねがとても大切だということです。校内模試は国数英と3教科あるのですが、これからの皆さんは先を見通して少しずつでも毎日やった方がいいと思います。自分自身のために頑張ってください。

### ■面接と小論文の上達は 練習あるのみです！

次に指定校推薦に入るには面接と小論文をしなくてはなりません、大学によってはさらに追加の試験をするところもあります。基本的に2つとも練習しない限り上達しません。小論文であれば様々なテーマを何回も書いて推敲を繰り返しやっていく、面接であれば聞かれそうな質問を練習するのはもちろん、視野を広げて疑問を持つこと、自分の良さを知ることが大切だと思います。

最後に仙台育英は自分の行動次第で幅広い選択が可能な場所だと思います。学習に部活、多彩なことが可能なのがこの高校だと思います。高校生活の3年間でたくさんの方に挑戦してみてください。

帝京大学 外国語学部 外国語学科 コリア語コースに  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
渡波中出身

## 進路を決めていなくても1年次から 資格や評定を意識して過ごしましょう

### ■将来の指針を見つけるため

進学しようと考えました

まず初めに、私が大学進学を志した理由として、親戚のアドバイスを聞いたからです。具体的に述べると、大学とは高校と異なり、自分が学びたい分野を集中的に学ぶことができる場所である。しかし、自分の興味あることを見つけ、社会に対して視野を広げるための場所である。その言葉を聞いて私は、大学へと進学しようと思いましたが、夢がないからこそ大学に行き、自分の合った方向性を見つけ、それを学ぶことで未来への可能性が広がっていくのだと思います。また、大学へ進学するということはたくさんの費用が必要になります。しかし、色々な奨学金制度があるので、お金のことは問題視せずに、自分自身の将来や興味のあることを追求していただける進路を優先して欲しいです。

### ■校内模試対策は過去問で

傾向をつかみました

大学の進学方法として指定校推薦を利用して進学しました。指定校推薦は校内模試を受け、その結果次第でもらえるかが決まります。その校内模試の勉強方法として私が行った方法は、過去問を解くことです。校内模試は、定期テストと異なる問題の形なので、高校3年間の学習を振り返るのも大切ですが、模試の過去問や実力テストの過去問を解くことで、傾向と対策を立てることが出来るはずです。数学は、数I、数A、数II、数Bを中心に、国語では、四字熟語と漢字、ことわざ、英語では、英単語、長文が何を説明しているか、あるいは示しているか、結論はどこに記述されているかを意識して取り組んだと思います。

最後に、進路はまだ先だからと考えないで、あらかじめ、目安を立てておくほうが良いと思います。なぜならば、先になって自分の進路が決まった時に、指定校推薦を受けようと考えたが、受験資格が満たせないため諦めなければいけない場合があるからです。なので、英検や定期テストの評定などを高校1年生の時から意識して欲しいです。夢や目標がない人達でも、資格や良い成績を取ることは得しかないのです、どんどん挑戦していただきたいです。そして、後輩である皆さんが、有意義な高校生活、幅広い将来の中で、自分に合った道を選択することが出来るように願っています。

拓殖大学 外国語学部 スペイン語学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
中国出身

## 先生方から教わった答えではなく 大学では自力で正解を探していきます

### ■周囲の優しさを感じながら 多くを学んだ3年間でした

高校三年間は、高校のカリキュラムの中で最も難しい年であり、挑戦の年であると私は考えています。練習問題をたくさん書き、学校や校外で試験を受け、挫折してもあきらめない勇気が必要な一年です。校内推薦を得るためには、二つの重要な要素があります。一つは、高校三年間の学業成績です。この三年間、真剣に試験に向き合ってきたかどうかというのが、この成績です。もうひとつは、資格を取得しているかどうかで、特に提出を義務づけているボランティアスクールを志望する場合は、資格の取得が必要です。仙台育英で過ごした三年間は、日本の文化をたくさん学び、クラスメートや先生の優しさを感じ、勉強の辛さも楽しさも経験し、忘れられない高校生活となりました。高校時代の三年間を振り返ってみると、あっという間でしたね。学生時代は「早く卒業したい」と思っていたのですが、いざ卒業となると心の中ではとても寂しい思いをしていました。

### ■高校を卒業しても まだまだ勉強の日々です

この先、クラスメイトや教えてくれた先生方に再会できるかどうかはわからない。でも、こんな素敵な思い出ができたことに感謝しています。新型コロナウイルスの影響で、高校時代の特別な行事に参加できなかったことが悔やまれますが、高校生活で特別な思い出といえば、オンライン授業です。現時点では、私たちは三年生として卒業しますが、まだまだ勉強を続けなければなりません。まもなく私たちは大学生になり、そろそろ将来の計画を立て始める時期です。未来はどうなるでしょうか、美しいキャンパスで憧れの大学生活を体験するのか、それとも社会に出て生活のために働き始めるのか。いずれにせよ、ここでは時間が縛られ、過去と未来がこの瞬間に一緒になるのです。この日、私はある考えを皆さんにお伝えしたいと思います。今までは答えがある問いばかりを教わってきたけど、今から自分だけの正解をいざ探しにゆくんだ、解答用紙はこれからの人生、採点基準もこれからの人生。

拓殖大学 国際学部 国際学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
名取第二中出身

## 海外の講師との会話で進む OST は 生きた英語を学べる貴重な授業です

■観光業など英語力を活かす  
職種に就くのが目標です

私は指定校推薦で拓殖大学国際学部を志望し、合格しました。志望した理由は、中学生の頃から、将来は英語を活かした職業に就きたいと思っていたからです。そして、留学制度が整っており、観光実務研修や世界最先端のホスピタリティ・マネジメントを体験できる機会が設けられているからです。

高校在学中は英語の勉強を中心に、英語検定や GTEC の受験をしてきました。学校の授業では予習を欠かさずに行い、授業中に分からない単語や熟語があったときには、すぐに電子辞書で調べ、覚えるように心がけていました。また、週に1回行われていたオンライン型で海外の講師の方と教材を使って会話をする OST は、普段は英会話をする機会がない私にとって、日常会話やネイティブな発音を学べる貴重な授業でした。英語に力を入れて勉強する一方、生活態度なども気を付けるようにしていました。3年間、遅刻、早退、欠席なしを心がけました。そのため、体調面に気を付けて過ごしました。

私は志望大学を3年の時に決めました。今思うと、1,2年の時から自分が将来就きたい職業、したいこと、そのために何をすれば良いかを考えておけば良かったなと思いました。

後輩の皆さんは、指定校推薦がとれるかが決まる6月の校内模試に向けて、日々、勉強に励みつつ、大学についてよく調べてほしいと思います。

桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 アビエーションマネジメント学類に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
福島 中村第二中出身

## 多くの先輩方が乗り越えた受験に 自分を信じて突き進みましょう！

### ■茶道部での経験が受験や 海外研修で役立ちました

私が推薦入試合格のために心掛けたことは5つあります。

一つ目として、推薦入試での合格へ近づくには評定が非常に重要だと考えます。自分の入学したい大学の評定をしっかり意識しておくことで、定期考査への心意気の度合いが変化すると思います。一年次では卒業後の進路がまだ正確には定まっていないとは思いますが、どんな選択をするにしても評定はその人の得意分野、どれだけの努力をしたかを見ることのできる大事な要素であり、基準、そして重要な判断材料になるため気を抜かずの一つ一つのテストをこなしていくことが重要だと考えます。

二つ目は、部活動に入部したことです。私は一年次から日本伝統文化である茶道部に入部していました。部活動で取り組んだことを卒業後の進路でも役立たせたいと考えたからです。部活動での経験は、ハワイでの二週間の海外研修でも生かすことができました。特に、推薦入試の際に部活動での経験は大学へのアピール材料になりました。三年間継続をして、部活動に真面目に取り組むという熱意が大学側にも伝わったのだと思います。

### ■一生懸命勉強した努力は 必ず自分に返ってきます

三つ目に心掛けたことは、資格取得です。大学での出願条件には、英検などの資格条件が含まれている大学も中にはあります。受験を申し込む前から対策を長く行い、取得に向けて勉強したことで、高校三年間で二つの資格を取得することができました。

四つ目に心掛けたことは、通学時間や隙間時間の有効活用です。私は自宅と学校との距離がかなり長かったため、その時間を有効活用して勉強をしていました。単語帳を何度も繰り返し見ることや、授業の復習、教科書を読み返すことなどをしていました。定期考査の日は、前日取り組んだ内容の復習をすることで完璧に点を取っていました。

五つ目に心掛けたことは、普段の生活態度です。規則を守り普通に過ごしていれば何事もなく自分のやりたいことに集中して打ち込むことができます。高校生の間は学校の規則を守り、楽しい高校生活を送ってほしいと思います。

最後に後輩の方たちへ。三年間はとてもあっという間に過ぎてしまいます。入学式の日が昨日だったかのようです。もちろん思い出を作ることも大事ですが、勉強も遊ぶぐらいに怠らず取り組むことで、必ず結果が自分に返ってきます。受験期は大変ですがみんなが通ってきた道です。自分を信じて突き進んでください。仙台育英の卒業生として心から応援しています。

桜美林大学 航空・マネジメント学群 フライト・オペレーション（パイロット養成）コースに  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 悩んだときは周りに相談して 一人で抱え込まないようにしましょう

### ■いつかはパイロットになると 以前から決めていました

私は高校2年生の夏休みの時に国公立大学の看護学部に進路を決め、受験勉強を始めました。だから、私は指定校推薦について全く考えていませんでした。私が今の進路を決めたのは高校3年生の5月です。どのような進路を辿ってもいずれパイロットになるとは決めていたのですが、フライトオペレーションコースを志望した理由は大学からパイロットに必要な資格を取れること、パイロットになるためのカリキュラムが組まれていること、コロナ禍における航空会社の採用状況など様々なことを考えて決めました。

### ■先生方や友達に励まされて 苦しい時期を乗り越えました

また、私は周りの人より少し早く受験勉強を始めたいも関わらず、模試などでも想像以上に伸び悩み、高校3年生の4月の模試でも思ったように成績が上がらず、むしろ下がってしまって本当に気持ち的にも苦しかったことも進路に影響したのかもしれませんが。両親にも苛立って強くあたってしまったり、教室が受験の雰囲気でないことにイライラしてしまったり、体も気持ちに追いつかなくなり、体調を崩してしまったりと高校3年生の4月、5月が一番私の中では苦しい時期でした。そのとき、私は先生方に悩みを相談してアドバイスをもらったり、仲の良い友人に悩みを相談し、一緒に勉強をしたりして乗り越えました。受験は一人では絶対に乗り越えられないのだと身をもって実感しました。そのような意味で受験は団体戦なのだと思います。

大学合格後は、航空無線通信士という国家資格の勉強をしたり、TOEICの勉強をしたりととても充実しています。後輩の皆さんは、変わっても良いので行きたい大学を決め、目標を作ってください。そして一人で頑張ろうとせず、困ったときや悩んだときは先生や一緒に受験勉強を頑張る仲間と相談して抱え込まないことが大切です。周りの人への感謝を忘れず、自分の納得のいく進路に進めるように後悔のない受験生活を送ってください!!

立正大学 文学部 社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
台原中出身

## 校内模試は過去問を何度も解き 自信をつけて臨みましょう

■英検取得や委員会活動などに  
積極的に取り組みました

私は1年生の頃から、指定校推薦での大学進学を考えていました。自分が学びたいことが決まっているのなら、確実に合格に近づける指定校推薦を狙うのが良いと思います。私は、この大学の指定校推薦をいただくために英語検定の取得や育英祭実行委員の活動を積極的に行いました。また、教科を問わず授業を真剣に聞き、基礎を定着させていきました。期末テストは苦手な教科を重点的に勉強し、良い結果を出せるように取り組みました。推薦枠をいただくためには、テストの点数はもちろんのこと、日々の授業態度や提出物を期限内に提出するといった生活面も含まれるので、一つ一つを怠らないようにすることが大切です。

そして、指定校推薦をいただくにあたって最も重要なものが校内模試になります。少しでも良い結果を残そうと思い、校内模試の過去問を何度も解きました。過去問を何度も解けば自信がつくのであきらめずに頑張ってください。

受験内容は、事前にレポートを提出することと、面接でした。面接では、なぜこの大学を志望したのかといった志望理由を聞かれたり、大学に入学してから何をしたいかといった質問をされ、あまり難しいことは聞かれませんでした。

コロナ禍で状況が大きく変わって大変ですが自分を信じて諦めずに頑張ってください。皆さんの成功を心から願っています。

学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
稲井中出身

## 毎日を大切に過ごしたことが自信になり 第一志望合格につながりました

### ■ 共通テスト用の教材を使い 校内模試対策を行いました

私は1年生の頃から指定校推薦を視野に入れていたので、平均評定が高くなるように定期考査には特に力を入れていました。また資格取得だけでなく部活動に所属し、大会や日々の練習を一生懸命に励み、文武両道をこなしました。指定校推薦では、評定や資格も大切ですが、一番重要なのは校内模試です。どれだけ高い評定でも、部活を頑張っても順位によって自分の志望する大学への推薦が取れるかが変わってきます。私は高い順位を取れるように共通テストのワークを何度も解き、問題に慣れるようにしました。そのため徐々に点数が上がり校内模試でも思った以上の点数を取れました。

### ■ 高校で学んだ華道などを 大学でも続けていきたいです

私が学習院女子大学を目指したきっかけは、日本伝統文化の授業があり、国際的な事を深く学ぶことができ且つ就職率が女子大の中で高いということが、私の求めていた条件に一致していたからです。茶道の授業を通して、日本伝統文化に興味を持ち、大学でも続けていきたいと思い、授業の一つとして香道や華道などを学ぶことができる学習院女子大学に、とても魅力を感じました。他大学の国際学部とは違って、幅広く国際について学ぶことができます。また1学部3学科ととても小規模な女子大ですが、自分の学びたいことを集中して伸ばすことができると感じました。他にも国際交流が盛んで、留学制度や途上国へのボランティア活動があります。私は今までに海外に触れる機会が少なかったため、大学で多くのことに挑戦することの環境が整っていると思いました。さらに就職のサポートが手厚いため、大学で4年間を過ごしていくにあたって、良い大学生活を送れると思いました。

7時間授業や長時間の通学、部活では宮城野だったので、遅れての参加や10分だけの練習など、毎日が時間との闘いでしたが、諦めずに毎日を大切に過ごしていったことで、自信を持てるようになり、大学の合格にもつなげることができたと思います。高校3年間は本当にあっという間です。一日一日を大切に意味のある3年間にしてください。

工学院大学 情報学部 コンピュータ科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## これまで学んだ知識を大学で掘り下げ 実践的に使えるようにしていきたいです

### ■ 高度なプログラミング言語を 大学で習得したい

私が大学進学を目指したきっかけは、プログラミングなどに興味があり、大学でプログラミング言語の習得をしようと考えたからです。また、より確実に早期の合格を決めたかったので推薦入試で受験しようと考えました。

指定校推薦を頂くために努力したことは2つあります。1つ目は、定期考査です。定期考査に向けて日々の授業内容を後から復習できるように見やすくまとめることや、その日に復習しないといけない箇所は付箋を貼って復習するようにしていました。結果として、満足のいく成績がとれました。2つ目は、指定校推薦を頂くためにあたって重要な校内選考です。校内選考に向けて3か月ほど前から、1年次の内容から順に復習しました。これらの経験から自分が思ったことは、大学受験は、私の場合は、少し出遅れたのですが、1年次から学校以外での勉強習慣を作るべきだったと感じました。2年次の夏休みから受験に向けて勉強するべきだと感じました。

### ■ BGM や休憩等工夫しながら モチベーションを保ちました

私がおすすめる勉強法は、50分勉強して10分休憩する方法です。また、勉強のし始めは作業用BGMなどの歌詞が無いものを聴きながらモチベーションを上げてやっていました。自分の場合、そのうちやっていると休憩を挟まなくても集中力が続くようになり、ずっと作業に打ち込んだりしていました。勉強へのモチベーションが下がってきたときは、新しい文房具を買うなどして、モチベーションを維持していました。

私にとって大学とは、小・中・高で習った知識をさらに学び実践的に使えるようにする場所だと考えます。そのため、大学では、専門的な資格を取得するなどしてこれまで学んだ知識の意味を自分なりに見つけたいと思います。また、大学では自分の短所を長所に変えられるように、色々なことに挑戦したいと思います。

工学院大学 情報学部 情報デザイン学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
青森 浪岡中出身

## 仙台育英の多彩な講座やイベントは 新たな学びや情報に触れるチャンスです

### ■大学連携講座に参加して 研究したい事ができました

私は指定校推薦で進学する予定は元々なく、海外の大学進学を目標としていました。1年のときから継続して大学連携講座に参加しており、開発内容に興味をもちはじめました。そのため将来の夢について考え方が変わり、興味をもった研究ができる大学に志望変更しました。

まず大切なことは積極的に自分から参加することだと思います。さまざまな人や物事に関わることで将来のやりたいことがはっきり見えてくることがあります。仙台育英では定期的に外部から講師を招いて講座を開いたり情報を配信したり、授業では習うことができないことを詳しく学ぶことができます。面接時のアピールポイントにもなりますし参加してみる価値はあるのではないのでしょうか。

### ■推薦枠を争うライバルと 資格等で差をつけましょう

そして最も重要なことは良い成績をキープすることです。欠席をなるべくせず授業をよく聞き、提出物を期限までに出していれば平常点は心配ないです。テスト前には教科によって対策プリントが出ることがありますので苦手な範囲を再確認し、復習を怠らないようにしましょう。他には、条件として資格を取得しておくことが求められることもあります。情報科学コースは英検や数検等に加え MOS 試験をはじめとした専門の資格をいくつも取得することができます。個人のペースで学習を進めることができるので自分に合った勉強方法を見つけてみてください。資格は今後の就職活動の際にも見られるところですのでタイミングを逃さないようにしましょう。

人気の大学・学部からの推薦枠は、そこを狙う校内のライバルも多くなりがちで確実に自分が推薦をもらえるとは限りません。資格を取得することと定期考査で全科目を全般的にしっかり取り組み、評定平均を上げることが志望大学の選択肢が広がり、たとえ同じ大学を狙っているライバルがいたとしても有利になります。時間は皆平等ですので後々後悔しないよう空き時間を有効に使っていきましょう。

工学院大学 先進工学部 環境化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
逢隈中出身

## 欠席することなく授業に集中し 定期テストで高成績を修めましょう

### ■コロナ禍でいち早く合格を 手にしたいと思いました

私が大学生を目指した理由は、父が建設会社に勤務しているの、小さい頃からの夢だった建築士になろうと考え、そのために必要な資格の取得において、大学進学が必須だったからです。3年生までは一般入試で工学部を受けようと思っていましたが、その後、夏休みの三者面談の直前に、別の進路として自分がやってみたいことを見つけることができたので、いち早く合格を手にしたい気持ちと、コロナ禍ということもあったので、一般入試はリスクが高いと思い指定校推薦での入試を選択しました。

合格のために心がけたことは、入学当時から学校を休まず、遅刻・早退をしないことでした。次に、普段の生活の中でも仙台育英の生徒として恥じない身のふるまいを心がけることにも努めました。それから、特別進学コースでは部活と勉強の両立が難しいのではないかと、入部はせず、塾にも一切行かず、帰宅後は一日5時間程度の学習時間を設けました。そういった毎日の努力が、おのずと学習評価に繋がっていったと思います。また、その他にも英語検定等の取得に向けて勉強を行ったり、苦手教科を克服するための努力はもちろんですが、得意分野を伸ばし、試験の成績を上げようと思いました。

自己推薦文ですが、完成まで10回はねり直しました。初めに提出したときは、今になって考えるとまるで書いていなかったと感じます。推敲に推敲を重ねていくうちに、最終的には自分でも納得のいく内容の自己推薦文が書きました。そういった点では、担当してくださった先生方の助力あっての合格だったと感謝の気持ちでいっぱいです。

### ■夢を実現するための進路を 高校生活で見極めました

私にとって大学とは、将来の就職の際に自分のなりたい職業に就くために、必要な学問を身につけるための場です。そのための前段階として、高校での生活は、自身の将来の夢を叶えるために、目指そうとしている大学が自分に合っているのかと考えるための大切な3年間になったと思います。私は高校生活での3年間の半分は学校へ行けず、オンライン授業だったような状態だったので、これから後輩達が高校で、教室で先生方から授業を受ける時間は私より多いと思います。休まずにしっかり先生の話聞くこと、そして学校の勉強をおろそかにせず、定期テストで満足できる成績を得ることはとても大切なことです。その努力がおのずと、高校3年生の期間で自分が希望する指定校に対する評価を得られる道につながると思います。

実践女子大学 人間社会学部 人間社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
幸町中出身

## 苦手教科もできる限り精一杯取り組みば 努力を評価していただき自信になります

### ■県外の大学で学ぶのが 中学生からの目標でした

私は以前から県外の大学に進学するという目標を持って勉強に励んでいました。その目標を達成するための第一歩が仙台育英に入学することでした。なぜなら、仙台育英は宮城の中でも特に指定校推薦枠が多いからです。県内だけでなく、県外の指定校推薦枠もたくさんあるので、県外の大学進学を希望していた私にはぴったりでした。そのため、中学2年生ぐらいから仙台育英に入学するために努力を始めました。

入学してからは、指定校推薦の枠を獲得するために、普段の生活態度に気を付けることはもちろん、生徒会に入ったり、定期テストで良い点数を取れるように勉強に取り組みました。その他習い事等も成果を残せるように努力しました。

特に勉強面では得意教科と苦手教科があるので大変でした。しかし、苦手なものは何度も繰り返し問題にチャレンジしてみたり、提出物に力を入れたりなど、自分のできることに精一杯取り組みました。そうすると苦手なものでも評価していただけるようになり、自分の自信にも繋がりました。

また、受験大学が決定してからは、小論文対策と面接対策に力を入れました。過去に同じ大学を受験した卒業生の方のレポートを見ながら過去問を解いたり、何度も面接の練習をしたことが大学合格の要因だったと思います。

高校生活で経験した事や学んだ事はどれも自分にとって必要な事であったと思うので、大学生になっても活かしていきたいです。

東京工科大学 デザイン学部 デザイン学科工業デザイン専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城中出身

## 専門分野の知識を蓄えていたことが 課題や面接で大いに役立ちました

### ■ものづくりについて専門的に 学びたいと考えました

大学合格に向けて意識して行ったことをいくつか紹介したいと思います。

まず、最初に行ったことは将来自分が何をしたいか。そしてどんなことを学びたいかをしっかりと考えることです。私は高校入学当初、自分の将来について明確に考えてはいませんでした。しかし大学に進学し、より専門性の高い分野を学ぶ上で大学の四年間で学ぶだけでなく、将来に直接繋がる可能性が高くなるため、自分が本当にしたいことを明確にしなければなりません。私は将来について考えたとき、ものづくりをしたいと考えたため身近な小物から建築まで様々なものづくり分野に関心を持ち、たくさん調べることで自分に合うと思った大学への進路決定に役立てました。

### ■学校生活では自ら進んで 責任ある役割を担いました

次に、決めた進路に進むために行ったことを紹介します。私は決めた学部が、文理はっきり分かれている学部ではなかったため、自分の進む分野にあった学習も少しずつ取り組んでいきました。早めに大学での学びを進めることで入試に面接がある大学では、専門的な質問に対してスムーズに答えやすくなり、入学前の課題等にも取り組みやすくなるため、進路決定した際に行っていてよかったことの一つです。また高校での学びを生かすために検定や資格にもいくつか挑戦しました。高校だけでなく同世代の人全体と比べて学習が身につけているか確かめる意味でも、検定や資格の受験をしておくメリットはあると思います。

また全体を通してイベントや役割に積極的につくようにしました。部活動では副部長をすることで、それまでチームのための行動や指示を意識していなかったことも考えるようになり、部活動以外の場面でも活かせる力が身についたと感じています。他にもリーダーシップ講習に参加することで、自分がリーダーになった時以外でもチームの中で意見を考え発表する力も身につけられました。

これらのことを大学進学に向けて行うことで、無理なく高校生活も充実させて将来への行動が出来ると思います。

神奈川大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
大衡中出身

## 教室で友人たちと過ごす時間を大切に 充実した高校生活を過ごしましょう

### ■警察官を目指しているので 法知識を身につけたいです

私は将来警察官になりたいと思っています。そのために法律の知識を蓄え、活用する力を身につけたいと思い、夢を実現できる環境が揃っている神奈川大学の法律学科に進学しようと決めました。その中で推薦入試を目指そうと思った理由は、他の受験方法よりも合格が早くわかるため、大学生になるための準備にすぐに取りかかることが出来ると思ったからです。指定校推薦は大学ごとに評定基準が違うため、自分が志望する大学の基準を下回らないように、定期テストや日々の授業態度をしっかりとすることが重要です。また、3年生になって行われる校内模試もとても重要になってきます。なぜなら、人数枠よりも志望者が多い場合模試の点数で決められるからです。校内模試で良い成績を残すために4月から本格的に対策を始めました。先輩から過去問題を譲り受けたのでその問題に取り組みながら分からない所を先生に質問して苦手をなくしていきました。本番では自分の力を発揮して良い成績をおさめることができました。なので、指定校推薦を狙っている人は校内模試で良い点数を取れるよう早くから対策を行うことをお勧めします。

### ■コロナ禍での受験において 志望理由書はとても重要です

神奈川大学の指定校推薦の受験方法ですが、最初は志望理由書を提出し後日面接を行う予定でした。しかしコロナに対する感染予防として面接による選考がなくなり、事前に郵送する志望理由書で合否が判断されることになりました。なので志望理由書で自分の思いを伝えられるよう、何回も添削していただきました。神奈川大学に限らずですが、コロナ禍である間は志望理由書で合否が判断されるケースは少なくないと思います。しっかり志望理由書からも熱意が伝わるように書くことが大切です。また、私は神奈川大学で毎年行われている奨学金を受け取るための「給費生試験」を受けました。その試験に合格すると給付型の奨学金を受け取れるのですが、例年倍率がとても高いです。なので私は3年生になってからすぐ夏休み明けまで、たな各科目の基礎固めをひたすら行ってそこからは問題解きを行いました。結果は惜しくも不合格でしたが、過去問題を勝手対策すれば充分狙うことが出来ると思いました。もし挑戦したいと考えてる方はなるべく早く基礎を固め問題を多く解くことをおすすめします。

私は2年、3年生の時はコロナの影響で行事がほとんどありませんでした。なので、教室で友人たちと過ごす日々の学校生活を大切にしていました。もちろん受験に向けて時期が近づいて来たらそれぞれ対策をしなければなりません。しかし、みなさんもコロナ禍で行事がなかなかできない状況で日々の生活を送っていることと思います。どうか、クラスの友人たちと過ごす時間を大切にしてください。そうすることによって、学校生活も充実したものになります。それぞれの進路達成に向けて、頑張ってください。

神奈川大学 経営学部 国際経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東京 大森第三中出身

## 支えてくれる家族の存在の大きさに 寮生活を通して気付かされました

### ■授業で基礎を固め学習と 部活動を両立できました

高校入学当初から指定校推薦で大学へ進学したいと考えていました。まず、評定を4.3から3年間落とさないことを目標とし、毎日の授業を受けていました。授業をしっかり受けることで学びの基礎を築くことが出来ました。私は部活動に所属しており寮生活を送っていたので、勉強時間の確保が難しく短い時間の勉強でしたが、日々の授業で築いた基礎のお陰で良い点数を取ることが出来ました。私はこの3年間で積み重ねることの大切さを学びました。このことは勉強だけでなく部活動や普段の生活にも当てはまります。部活動では頑張れば頑張るほど結果が付いてくるということを学びました。また、普段の生活は寮生活を通し、積み重ねることで作業の効率化を学び、親のありがたみを身にしみて感じました。寮生活では部屋を自分で掃除しなければ部屋はきれいになりません。温かいご飯も好きな時間に何もせず出てくるのは親のお陰です。寮生活にチャレンジする人、そうでない人も日々の生活を見直し親への感謝を忘れずに生活してみてください。

### ■人生で1度の高校生活を 有意義に過ごしましょう！

私は校内模試で自分でも驚くような順位を取ることができたので大学の選択肢が広がりました。大学は自分が学びたいことを学びに行く場なので、ビジネスに興味があった自分は経営学部を探しました。そして、神奈川大学経営学部国際経営学科に興味を持ち、調べていくうちにとても魅力を感じ、この大学で学びたいと思いました。無事に志望大学の指定校推薦を勝ち取ることができたのは、3年間の日々の積み重ねだと思っています。

ぜひ皆さんも仙台育英で過ごす3年間、明確な目標を持ち、目標に向かって日々の積み重ねを大切にしてください。そして、人生で1回だけの高校生活を楽しんでください。

神奈川県 外国語学部 中国語学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
青森 白山台中出身

## 大学や学科の特徴を調べるほど 志望理由書が書きやすくなります

### ■必要な基準よりも高めの 評定を目標にしていました

私は指定校推薦で神奈川県外国語学部中国語学科に合格することが出来ました。

私は高校入学時、専門学校への進学を考えていました。しかし、高校生活を送りながら言語やアジアの国々の文化などに興味を持ち、大学進学することを決め、高校2年生の時には神奈川県進学を志望しました。最初、私は公募制推薦で受験しようと考えていたので過去問なども解いていました。また、その頃にはコロナ禍でオープンキャンパスなどが無くなっていたのでとにかく資料を集めたり、大学ホームページを見て学校について調べたりしていました。校内模試の対策は3年生になってから本格的に始めました。英語の単語帳などを使ったり、教科書などを利用したりして特に英語の復習をしていたと思います。また3年生の三者面談で評定が下がってきていることを指摘されたのもあり、推薦のために必要な評定を意識し始めました。前年などの指定校一覧を見て必要な評定を確認し、余裕が持てるようにそれよりも高めの評定を取ることを目標に定期考査に取り組みました。私の年から、指定校推薦のために必要な評定が高くなっていたので、余裕を持てるよう一生懸命勉強して良かったと感じています。

### ■大学のオンラインイベントに 積極的に参加しました

評定を意識することだけでなく、私が受験するにあたってして良かったと思ったのは大学についての知識をつけることです。推薦を受けるための自己推薦書を書くには志望理由や自己分析が必要になってきます。また、私はコロナ禍で受験方法のうち面接がなくなり、書類のみの志望理由書を書くこととなりました。パンフレットや大学ホームページを読み込んで詳しくなっていた分、この学校に通いたい、この学校で学びたいという思いが強くなり、大学や学科の特徴を調べることで文章の制作がスムーズにいったと思います。またオンラインオープンキャンパスなどにも参加し、学校の雰囲気や画面越しではありますが感じたり、実際にオンラインで授業を受けたりして自分のためにも、自分のアピールのためにも大学について調べていたのは良かったと思いました。

進学についてなかなか考える気にはなりませんが、3年間はあっという間です。少しでもインターネットで調べてみるとしたいことが見つかったり、後に自分のためになったりします。自分の今後の可能性を広げるためにも頑張ってください。

神奈川大学 理学部 生物科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
七北田中出身

## 大学でどのように夢を実現させるか 自己推薦書でしっかり伝えましょう

### ■中学時代の先生の影響で

教諭という夢を持ちました

私が大学進学を目指したきっかけは、教師になりたいという目標があったからです。中学生の頃の理科の先生に影響を受け、自分も教師になりたいと思うようになりました。そして、進学の方法に指定校推薦を選んだ理由として、一般入試に比べて進路が決まるのが早く、さらに仙台育英は指定校推薦の枠も多く選択肢が多いため、この方法で進学することを決めました。

指定校推薦を受けるにあたり、私たちは二つの関門を通らなければなりません。一つ目の関門は校内推薦です。校内推薦の大きな基準となる校内模試に向けて、それまでの復習や過去問の対策などを少なくとも2ヶ月ほど前から取り組まなければ、自分にとってプラスになるような結果は出すことができません。さらに校内模試の結果だけでなく、それまでの授業の評定や取得した資格、部活動の成績など、様々なものを加味して選考が行われるため、入学したうちからできることは取り組んでおいて絶対に損はないです。もちろんその中には日頃の勉強も含まれます。評定を上げる努力を怠ると自分が志望する大学が少しずつ遠くなるということを心に留めて頑張ってください。

### ■納得できる自己推薦書を

完成させることができました

次に二つ目の関門として、学校ごとに面接や小論文の試験があります。面接に関しては、私の場合は、新型コロナウイルスの影響でなくなってしまいました。その分、面接で伝えなかったことを志望大学に届けるためにも、自己推薦書に力を入れました。自分の将来の夢や、それを叶えるために大学ではどんなことを学ぶか、なぜその大学を志望するのかなど、自分の思いが相手にしっかりと伝わるように先生の助けを借りながら、最終的には自分の納得できる文章を書いて、大学に送ることができました。このように、二つの関門を突破して初めて、指定校推薦の権利を掴むことができます。

これまで述べたことを全て実践するのは大変ですが、自分の将来の夢を叶えるためだと思って、常日頃からの努力を怠らないように高校生活を楽しみながら頑張ってください。

文教大学 経営学部 経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 私達が受験に集中できる環境があるのは 先生方や家族のおかげです

### ■運動など定期的に息抜きをし ストレス解消していました

私が指定校推薦を受けるために頑張ってきたことは、2つあります。1つ目は普段の課題を期限までに提出することです。学校から推薦をもらって大学に進むので、他の生徒の見本とならなければいけません。課題の提出は評定にも関わるのでとても大切です。私は余裕を持って取り組むことができなくて、再提出になった経験もあるので、皆さんは前もって取り組むように意識してください。2つ目は定期考査で全力を尽くして結果を残すことです。自分が苦手な教科に対して「捨てても大丈夫」などと思ったりしてはいけません。そのような考えを持っていると、自分が満足できる結果がでませんし、校内模試の結果に影響を与える可能性があります。私は定期考査の重要性を理解し、取り組み、それ相応の結果が付いてきました。何事にも意味が存在していると考えられることができれば一つ一つの教科の大切さが理解できると思います。

私が1年間大切にしてきたことは息抜きを定期的にするということです。毎日勉強を継続するのでストレスなどが溜まると思います。ゲームやSNSを見るといった発散の仕方は今後の勉強に影響するのでおすすめできません。例えば、本を読んだり運動するなどです。私自身は勉強の合間に運動をして気分転換していました。

### ■合否を決めるのは 毎日の過ごし方です

受験に合格した要因として考えられるのは、面接と小論文の練習を繰り返し行っていたからだと思います。面接練習に関しては何回も練習し、慣れておいた方が本番の時には緊張せず練習の成果を発揮できると思います。私は週3回のペースで本番直前まで取り組みました。面接で大切なことは、相手の目を見て伝えたいことを伝えることだと思います。小論文は本や新聞などを日頃から読んでおくことをおすすめします。

最後に、受験するにあたって、自分の勉強の実力はもちろん大切ですが、先生方や家族の協力があってこそ今の環境があります。周りへの感謝の気持ちを忘れないでほしいです。合否を決めるのは毎日の過ごし方で決まると私は考えています。皆さん頑張ってください。

東京国際大学 商学部 経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
福島 西根中出身

## 面接は練習回数を重ねることが 上達への一番の近道です

### ■大学で英語力を磨き社会に出て グローバルに活躍したい

私がなぜ大学進学を目指そうと思ったのかというと、自分の将来の目標を達成する、近づくということを考えた時に一番効率が良く現実的だと感じたからです。私は将来、海外の方と繋がった仕事または海外で仕事をしたい、活動したいと考えています。その目標を達成するためには独学で英語を勉強し、海外と繋がった職種に就くという方法論もあると思いますが、私は一番は大学に行き留学を経験し語学力を向上させ、海外と繋がった職種に就くという方法が効率よく良いと思いました。その中で大学探しをしていたところ、目に留まったのが東京国際大学でした。東京国際大学には様々な留学プログラムがあり、留学制度が非常に充実しています。また、語学力の習得にも力を入れており、私の求めている条件にピッタリと合う大学でした。それから私は経営学科を選んでいました。その理由としまして、将来のために習得しておくスキルとしてマーケティング論や経営に関する知識を学びたいと思ったからです。

### ■本番のグループ面接では 思ったよりも上手く行きました

実際に受験する大学、学部学科が決まり、私は部活を引退した後の夏頃受験準備を始めていきました。あらかじめ受験方法は指定校推薦と決めていました。まず、選考方法を確認しました。私はグループ面接のみでしたので他大学と比べると比較的少ない方であったと思います。複数の先生と面接練習を繰り返し少しずつ上達していきました。面接練習に関しては、本当に数を重ねることが上達への一番の近道だと感じました。数を重ねたお陰で、本番の面接では他の受験生よりも話すことができました。

これから進路選択が控えている在校生の皆さんの参考に少しでもなれば嬉しいです。

文京学院大学 外国語学部 英語コミュニケーション学科国際ビジネスコミュニケーション専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
塩竈第一中出身

## 1年次から力を入れてきた勉強や 提出物などが合格に繋がりました

### ■ビジネスと英語の両方を 学べる大学に出会えました

私が志望大学を目指したのは、将来外資系企業に入社したいという目標があるからです。元々ビジネス学科へ進学しようと考えていました。しかしそれと同時に、外国語も学びたいと考え始めていました。ビジネスと英語の2つ一緒に学べるところはないだろうかを探しているうちに、やっと見つけることができました。今回、私は指定校推薦で受験しました。入学時の頃から、それで受験することを視野に入れていたので、授業中の態度はもちろん、小テストや提出物は早めに提出することを心掛けていました。特に、一番気を付けていたことは学期末テストです。苦手教科は最初に手を付けて頭に入れていました。それが大体済んだら、得意教科の勉強をしていました。他にも、テスト対策プリントを紙に書き写して、答えを赤ペンで書いたものに、赤い下敷きで答えを隠して問題を解いていました。この方法は、英単語、歴史等様々な教科で使用できるのでおすすめです。他にも、教科書から1文を抜粋して自分で問題を作成する事も、面白いです。この大学を志望するのなら単語帳を購入するのも良いと思います。

### ■時間を効率良く使えたので 毎日が充実していました

高校生活ではもちろん、学友と過ごしたり部活動をしていました。しかし休み時間には授業内容の復習をしたり、または友人と勉強を教え合ったりしていました。学生生活の中で、自分の好きなように時間を活用したりアルバイトと勉強も両立することができました。何より、1年生の時から日々頑張った勉強や提出物等が結び付いて無事合格することができて本当に良かったです。これから大学受験をする皆さんや、まだ志望大学がまだ決まっていない人達でも、毎日少しでも良いので、勉強したり、今日習った授業内容を復習することから始めてみましょう。とにかく、やる気という気持ちや、すぐに行動することが大事です。皆さんも志望大学に向かい、自分の時間や体調にも気を使いながら頑張りましょう。応援しています。

日本薬科大学 薬学部 薬学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
鳴瀬未来中出身

## 自分に合う勉強方法を見出して 学習習慣を付けることが大事です

### ■授業に集中していないと テスト前に苦労します

私がまず始めたことは「日々の授業の1回1回を集中すること」です。当たり前のようなことですが、授業中に上の空になっていたり、眠気に襲われたりしている人は結構いるのではないのでしょうか。実際私もそうでした。これではテスト前に焦って授業の内容を詰め込むことになり、短期詰め込みの記憶はすぐに頭から離れていってしまいます。なので、日々の授業をきちんと受けていれば、テスト前にさらっと復習すれば頭に定着しやすいです。大事な内容であれば何度も授業で繰り返されるので、より定着しやすいし、そのような内容はテストにも出やすいです。指定校推薦では評定も大事になってくるのでテストはとても大事です。

### ■友達と勉強する約束をして 自習を習慣付けました

次に私が始めたことが、テスト期間や前は自習しているだけだったので、「毎日授業以外でも勉強する習慣を身につけること」です。1人で勉強していても誘惑に負けてしまうことが多々あったので、学校で友達と毎日残る約束をしていました。帰りたくなっても約束したことだからと我慢することができますし、周りには大学に行こうと頑張る人もいますので、サボっていても遅れを取ってしまうという気持ちが湧き、無理矢理勉強に手を付けられるようになります。

毎日毎日勉強しているとだんだんやりたくなっていくこともあります。たまには根詰め過ぎず休息することも大事だと思います。ただ、休息のし過ぎは禁物です。色々と言いましたがこの話は参考程度にして、一番自分に合っていると感じる勉強方法を見つけ出すことが大事だと思います。後輩の皆さん、自分の目指すものが手にできるよう頑張ってください。

埼玉学園大学 人間学部 人間文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
青森 江陽中出身

## 準備や練習にやりすぎはないことを 受験を経験して実感しました

### ■就職に向けて自分の可能性を 広げるために進学しました

私が大学進学を決めた理由は、将来の自分の可能性を広げたかったからです。高校在学中に将来に対しての明確な目標が無く、このまま社会に出て働くことへの不安が大きかったことから、高校三年生に上がる時に本格的に進学先を探し始めました。高校入学時から大学進学をしたいとぼんやり考えていましたが、高校二年生の冬に中退してしまったことから、大学進学を諦めた時期もありました。しかし新しいことを学ぶことの楽しさや、自分の学びたいことを専門的に学べるという魅力に惹かれ、大学進学を決めました。指定校推薦を選んだ理由ですが、一般受験で合格する自信が無かったことや、必要な平均評定に達していたことが理由です。指定校推薦で受験することを決めてからは、レポートをしっかりと提出することは勿論、内容を充実させるよう意識したり、テストで結果を出せるように今まで以上にテスト勉強に力を入れました。

また、校内選考で合格するための自己推薦文の内容も、簡潔にわかりやすい文章で自分の伝えたいことを伝えられるように、何度も自分や先生に読んでもらって書きました。自己推薦文を書く際に苦労したこともあります。通信制課程ならではの苦労ではありますが、高校在学中に勉強以外に力を入れたことが書けませんでした。私の場合は特に、資格も無く、特別活動にも参加してこなかったため、最後まで書くことが見つけられず、先生に相談して自主的にボランティア活動をして乗り切りました。

### ■先生のアドバイスを胸に 面接本番に挑みました

私が受験した埼玉学園大学は、面接のみの受験だったため、面接練習はとても頑張りました。オープンキャンパスで面接既出の質問内容を教えてくれていたので、その質問はしっかり答えられるように、他にも調査書に書いたことから聞かれそうなことを書き出して、すぐに答えられるように練習しました。実際の面接では、準備していた質問の中から出たものが殆どだったので、緊張で完全に練習通りにはいきませんでした。練習中から先生によく言われていた「自分らしさ」を出すことを意識してやりました。受験を実際に受けて感じたことは、準備や練習にやりすぎはないということです。準備や練習をした分だけ自信や結果がついてくると思っています。特に通信制は受験に対しての不安が人一倍多いと思いますが、不安の分だけ練習すれば必ずついてくるので、先生や周りの人の協力も得ながら頑張ってください。

日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
西山中出身

## 志望大学のどんな所に惹かれたのかを 面接ではっきり伝えましょう

### ■視野を広げたいと考え

県外の大学を選びました

私は進学するにあたって、まずは、自分の興味があるのかという事や、どの分野が向いているのか、どんなことが好きかなど、まずは自分自身をよく知り理解して、興味のある分野を明確にすることから始めました。その結果、私は小学生の時の体験から、リハビリテーションに興味がある事に気づきました。そして、リハビリテーションについて、深く学ぶために大学の資料を取り寄せて、大学それぞれの学びを比較しました。

昨年に引き続き、コロナ禍ということもあり、県外への進学をやめて、県内の大学に進学することも考えましたが、大学生活だけではなく、そこでの日常生活も含めて自分の価値観や視野を豊かにし、今後の将来のために、柔軟な思考を身につけたいと考え、県外への進学は自分の将来の大きな経験になると思い、決めました。

そこから、少しずつ大学の候補を絞り、大学の学科を超え多方向からの視点で患者さんのことを考えることが出来るカリキュラムや、就職活動のサポート、施設が充実していることから日本医療科学大学に進学することに至りました。

### ■本番の面接では緊張して

上手く話せませんでした

推薦で受験をしようと思ったのは、ほかの受験方法よりもスムーズに行えると考えたからです。指定校推薦は、3年間の成績や校内模試の結果、大学から提示されている受験条件、部活に所属している場合は活動成績なども含まれて判断されるので、3年間の生活が大事になってくるということを意識して、早くから面接練習など、少しずつ準備をする必要があります。

受験では、部活のことや学校生活のこと、これまで努力したことやそこからの学び、将来についての質問をされました。私は緊張してしまい、上手く話せずまたそれに焦ってしまいました。落ち着いて丁寧に話すことを意識して挑めば、大丈夫だと思います。志望動機は他の大学にないカリキュラムに魅力を感じたことなどを話しました。その大学にしかないカリキュラムや、魅力を感じたこと、どんな学びがあるのかを、前もって調べておくことは面接官の方に自分の進学したいという強い思いが伝わる1つの方法だと思うので、予め調べることが大事だと思います。

日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
幸町中出身

## 不安に駆られても冷静さを失わず 最後まで諦めずに頑張りましょう

### ■弓道の稽古に打ち込みながら 毎日自宅学習にも励みました

私は部活と勉強の両立を目指して頑張ってきました。両立するためにはいくつか重要なことがあると考えています。部活では弓道部に所属し、毎日真剣に取り組みました。高校で初めてする競技で他の人よりも練習量が少ない状態で始まるのでより多くの時間の練習量が必要だと感じ、日々の練習、自主練習に打ち込み、県大会決勝リーグに出場することができました。勉強でも同じことが言えます。

私は指定校推薦により希望する大学に入学を決定することができました。希望する大学に入学するにはいくつか重要なことがあると考えています。

まずは3年間の積み重ねである授業態度や定期考査が大切だと思います。指定校の選考には評定平均が直接関わってきます。そのため毎日の自宅学習を欠かさず行うべきだと感じました。また授業態度や生活態度もしっかりしていくべきです。またわからないことをそのまま放置しないことも私は心掛けてきました。すぐに先生に聞きに行き、放置しないと良いと思います。

### ■面接は本番を想定して 実践的な練習をしましょう

次に面接についてです。私の受けた大学は面接試験でした。私はギリギリまで大学を決めかねている状態で、口頭試問か面接試験で迷っていた状態でしたが、面接試験にしました。口頭試問への時間が足りなかったので口頭試問を受ける際は早めに対策しましょう。面接対策は担任の先生や自分が頼んだ先生、学年の先生達にたくさん実施していただきました。しかし、1回目の練習では私は自分の行く大学の情報を知らずに行ったのでひどい結果でした。2回目からは前の結果より良くなっていくのでより多く面接練習に励んでください。

面接で大事なものは面接を想定した準備だと思います。私は受験大学の過去質問された内容や一般的に聞かれやすい質問へ話す内容を考えてから受験に臨みました。その結果、質問の回答が早くなり試験官からの印象が良くなると思います。また緊張感を和らげて臨めると思います。

受験では不安に駆られて焦る時もたくさんありますが、物事をマイナスに考えたり、焦りのせいで冷静さを失ったりしては、受験を勝ち抜くことはできません。また辛いことや辞めたくないようなこともたくさんあると思います。ですが、最後の瞬間まで、自分を信じて根気強く、冷静になることが大事だと思います。最後まで諦めないで、後悔のない進路選択をしてください。

日本医療科学大学 保健医療学部 臨床検査学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
七ヶ浜中出身

## 不安に駆られたり焦りを感じても 冷静に自分を信じれば未来は拓けます

### ■当日はギリギリに会場入りし 面接に影響してしまいました

私は指定校推薦により希望する大学に入学を決断することができました。希望する大学に入学するにはいくつか重要なことがあると考えています。

まずは三年間の積み重ねである定期考査や授業態度が大切だと思います。指定校の選考には評定平均が直接関わってきます。そのため毎日の自宅学習を欠かさず行うべきだと感じました。また授業態度や生活態度もしっかりしておくべきです。またわからない事をそのままにしないことも私は心掛けてきました。すぐに先生に聞きに行き、放置しないと良いと思います。

次に面接についてです。私の受けた大学は面接試験でした。面接対策は担任の先生や学年の先生たちがたくさん行ってくれました。ですが、私は面接当日集合時間ギリギリになってしまいそうでした。そのせいか面接受験中も何度もミスをしてしまいました。もう少し時間に余裕をもって出発すべきだったと受験を終えてから後悔しました。ですので皆さんは余裕ある行動を心がけましょう。また面接で大事なものは面接を想定した事前準備だと思います。私は受験大学の過去質問された内容や一般的に聞かれやすい質問への話す内容を考えてから受験に臨みました。それにより質問への回答が早くなり試験官からの印象が良くなると思います。また、緊張感を和らげて臨めると思います。

### ■最後まで諦めることなく 根気強く頑張りましょう

受験では不安に駆られたり、焦る時もたくさんありますが、マイナスに考えたり、焦って冷静さを失ったりしては、受験で勝ち抜くことはできません。また、辞めたくることや辛いこともたくさんあると思います。ですが、最後の瞬間まで、自分を信じて根気強く、冷静になることが大事だと思います。後悔するなら、受験が終わってからにしましょう。最後まで諦めないで、後悔のない進路選択をしてください。困難を乗り越えた先に、人生の大きな何かがあると思います。最後まで諦めずに頑張りましょう。

千葉科学大学 危機管理学部 危機管理学科に  
提携校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
名取第一中出身

## 校内模試から受験対策まで 多くの先生方に支えていただきました

### ■ 消防士として社会に貢献する 夢に近づくことができました

指定校推薦で千葉科学大学 危機管理学部 危機管理学科に合格することができました。私は、幼い頃から消防士になり人々を助けたいという思いがあり、その夢を叶えるため、より専門的な知識などを学ぶために大学を志望しました。

指定校推薦を貰うために私は校内模試で点数を取れるよう、数学や英語の勉強に励みました。分からないところがあった時は先生方が親切に教えてくださったり、過去問なども用意してくださったりするなど、多くのサポートをしていただきました。しかし私が校内模試の勉強を始めたのは2年生終盤だったため、点数には納得することが出来ず後悔があります。そして何より過去2年間の評定が出願条件にもあるため、目標は高く目指し進路の選択肢を幅広くできるよう心がけることが大切だと感じました。そして私は大学の特待生試験というのも受けました。数学などを受けたため、チャートなどを使い勉強に励みました。難しい問題も分かりやすく指導などして下さり、とても良い環境で勉強することが出来ました。そのため無事、特待をいただくことができ、非常に感謝しています。また志望理由書や、面接練習などの試験対策も多くの時間指導して下さりました。そのため受験対策の際、分からないことや上手く出来ないことがある場合はすぐに先生に質問などをすれば親切に教えてくださるため、安心して受験することが出来ました。

これからの大学生活では、自分の夢を叶えるべくさらに努力を積み重ね、必ず消防士になり人々を守ることを出来るようになりたいと思います。3年間本当にありがとうございました。

城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
塩竈第二中出身

## 自分に合う勉強法を見つけることで 定期テストに向けた勉強が捗りました

### ■コミュニケーション能力と 語学力を留学で磨きたい

私は、グローバルな業界で語学を生かした活躍をしたいという夢があり、外国語を学ぶことのできる大学への進学を考えていました。また、外国語の中でも特に中国語と韓国語を学びたいと思っていました。同時にコミュニケーション力をつけながらその国の文化などを肌身で感じることのできる留学をしてみたいと思い、私の条件に合いそうな大学を探しました。数多くある大学の中で城西国際大学では私が学びたいと思っていたことや実現させたいと思っていたことをその大学の先輩が実現していることを知り感銘を受けました。気になっていたところ仙台育英に城西国際大学の推薦枠が来ていることを知り城西国際大学の推薦入試を目指しました。

推薦を受けるために努力したことは、大学によって評定の指定があるため、日々の授業態度はもちろんのこと、定期テストには力を入れました。また、6月に行われる校内模試に向けた学習も大切だと感じました。定期テストの対策としては、自分に合った勉強法を見つけるということは本当に大切だと思います。私自身、今までの勉強法を見直して自分に合った勉強法を取り入れたことで効率も良くなり、はかどらないという悩みも改善できたと思います。定期テストとは違って模試形式の問題には苦手意識がありました。模試では基礎がなっていなければいけないため1年生からの復習と問題をこなすことが大切だと思いました。

### ■早く英検に挑戦していればと 少し後悔しています

推薦入試を受けるにあたり、資格をより多く取得していることは強みになると思います。私は外国語を学ぶ大学に進学を希望していたため、英語検定を1年生のうちからもっと挑戦していれば良かったのと思うことがあります。自分のためにも後悔のない行動をするべきです。英語だけではなく学びたいと思う第二外国語の資格に挑戦するのもいいと思います。私は面接試験でしたが受験に成功した一番の要因はやはり面接練習だと思います。友達同士での練習も良いのですが、先生方に面接官をしてもらって何度も練習すると鍛えられます。そのおかげで本番の面接でしっかり答えることができました。

大学進学を目指すにあたって最も重要だと思うことは、自分に合った大学をしっかりと調べて考えて見極めることだと思います。このようなコロナ禍の状況で難しいことではあるかと思いますが、実際に大学に足を運び、オープンキャンパスに参加することも大学を決めるにあたって大きなことだと思います。

城西国際大学 看護学部 看護学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
福島 郡山第二中出身

## 休みを惜しまず勉強に励み校内模試では 予想以上の結果を出すことができました

### ■入学次から大学進学を目標に 評定の維持に努めました

私は多くの友人に励ましてもらったり、家族の支え、先生方のご指導・ご鞭撻のおかげで指定校推薦を利用し城西国際大学看護学部看護学科に合格することができました。

私は高校入学時から大学への進学を考えており、そのためジャンプクラスに入り勉強を頑張りました。その中でも高い合格率の指定校推薦を頂くことを目標にしていました。私は指定校推薦を頂くために校内の定期テストだけでなく、外部の模試にも力を入れて成績を維持することを努めました。特に校内模試は指定校推薦を頂くうえでとても大きく見られるため、平日だけでなく休日に対策勉強を頑張りました。私は文系科目で受けたため国語と英語を重点的にやりました。国語は例年通りだったため、過去問を何度もやり傾向を掴むことや、漢字の練習や四字熟語など繰り返し練習し細かいところも落とさないようにしました。英語は、私達の代から共通テスト風になったため過去問などの対策ができなかったためターゲットなどの英単語を何往復もし、単語力を身につけることや長文が多く出るため速読練習をたくさんしました。その成果が出たのか結果は自分の中ではかなり良い方だったと思います。私は部活動もしておらず、資格も何も持っていませんでしたが校内模試や平均評定のおかげで指定校推薦をとることができました。だから部活も資格もなくてもそれで諦めてしまうことはありません。勉強のほうで頑張れば何とかできます。頑張れ、後輩。

推薦が決まってからは面接の練習を特に頑張りました。面接では実際中身よりいかに話せるかや態度の方が重視されていたと思うので、内容もですが、質問に対するアンサーのレパートリーを増やしていくこととしっかりとした態度で挑むことが大切です。また面接練習はいろいろな先生とやることをおすすめします。

受験期は進路など多くのことで悩むと思いますが、目標をしっかりと立て諦めず頑張ってください。

千葉工業大学 創造工学部 建築学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
秋田 仁賀保中出身

## 英検等の資格・検定取得に向けた学習は 第1回校内模試対策にも有効です

### ■英検の学習が校内模試にも 役立ち一石二鳥でした

私は指定校推薦の受験資格を得るために3つのことに取り組みました。

1つ目は、評定を意識することです。私は1年生の頃から提出や授業態度をしっかりとし、良い評定を取ることを意識していました。行きたい大学の評定に届かない場合、大学を決めるときに後悔すると思い、評定を出来るだけ高く保つようにはしてきました。

2つ目は、検定資格を取ることです。指定校推薦は各大学によって募集条件が異なるので、検定資格が必要な場合、後で困ることがないように必要な検定を取ることになりました。私は英語検定2級を取るための学習に取り組みました。検定の日まで過去問題に取り組んだり、毎日暇な時間に単語帳を繰り返し読んだりしていました。英語検定のための学習をしたことは第1回校内模試にも繋がるので一石二鳥でした。英語検定に限らず数学検定でもいいと思うので、もし検定資格をもっていないのなら、その学習もしたらいいと思います。

### ■頑張って文武両道に励み 校内模試に備えました

3つ目は、第1回校内模試に向けた学習です。このテストで順位が低かった場合、もし行きたい大学学部学科が他の人と被っていたら枠を取られてしまうので順位を上げないとはいけません。そのための学習を私は校内模試まで部活がある日でも毎日自宅で行っていました。文武両道は大変ですが、頑張って取り組んだ方がいいと思います。私は理系なので英語と数学を中心に学習に取り組みました。得意な英語を伸ばし、苦手な数学にも積極的に取り組みました。

私は3つのことに取り組み、志望大学に合格することができました。志望大学の指定校推薦枠を取るには、運の要素もあると思いますが頑張ってください。

千葉商科大学 サービス創造学部 サービス創造学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
岩切中出身

## 部活動に励んだことを強みとして 面接試験でアピールできました

### ■レベルの高い授業のおかげで 校内模試で結果を出せました

私は指定校推薦で大学進学を決めることができました。このためにしてきた努力が何点かあります。まずは勉強です。私は英進進学コースの中でも大学進学を目指す人が集まるジャンプクラスというクラスに所属していました。一般クラスよりレベルの高い勉強をしていたので、校内模試で良い結果を出すことができました。普段からレベルの高い勉強をすることで、模試で良い結果を出すことができたので、授業の大切さを知りました。また評定もなるべく4.0以上を取っていた方がいいと思います。指定校推薦で受験しようと考えている人は、決められている評定を満たさないと出願すらできない可能性があるので、普段から勉強をしっかりと、テストで80点以上取れるようにした方がいいと思います。評定に余裕を持たせて目指したい大学に出願する準備をしておくといいでしょう。

### ■目標をしっかりと定めて 進学することが大切です

あとは部活動にも力を入れました。私はハンドボール部に所属していて、そのことを大学進学に活かすことができました。部活で頑張ったことを大学進学に必要な書類に書くことができるのでやっておいて良かったと思いました。また、面接のときにも部活動の話ができるので部活をやっておくといろいろな面で役に立ちます。このように勉強と部活の両立をさせることが、大学進学において大切なことだと思います。勉強面では評定を意識しつつ、校内模試に向けてコツコツと励みをおすすめします。そして部活動にも力を入れて経験したことを話せるようになることが大切だと思います。なにより大事なことは、将来したいことに向けて、学ぶことができる大学を選ぶことが大切だと思います。学びたいことがないまま進学をしても意味があまりないので、しっかり目標を持つことがいいことだと思います。

流通経済大学 経済学部 経営学科に  
提携校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高崎中出身

## オープンキャンパスや進路相談会等に 参加して具体的な目標を定めましょう

### ■推薦受験を志していたので 定期テストを頑張りました

私の場合は、2年生の三者面談の時に4年制大学へ進学したいということは決めていましたが、本当に進学できるのか、どういう準備をすればいいか漠然としたまま過ごしていました。ただ、推薦での受験を目指すということで、評定を少しでも良くするために、定期テストへの取り組みには力を入れるようになりました。3年生になって部活を引退した後、志望大学の進学相談会に参加しました。そこで、面接や小論文のために準備することを具体的に聞くことができ、そこから小論文の過去問を調べたり、受験のための準備をしたりし始めました。

### ■先輩のアドバイスを参考に 面接練習に励みました

夏休みが終わると、学校へ提出する推薦願書や、大学へ提出するための志望理由書の準備に予想以上に時間がかかり、試験は11月でしたが、あまり時間がなく、もっと早く準備を始めればよかったと思いました。推薦願や志望理由書では、その大学を選んだ理由や自分がそこでどういうことをやりたいかなどを書くので、そのために大学のホームページやパンフレットを何度も読み返して、自分が大学でやりたいことはどういうことなのか、すごく考えました。それと同時に、学校の先輩に過去の面接での質問などアドバイスをもらって、それを参考にして面接の準備をしました。自分は面接当日までに、様々な質問の受け答えをする練習をしたのですが、オンライン面接だったので面接練習は2週間くらい前からすれば良いと思い、始めました。しかし、面接当日に練習した言葉がすらすら出てこなかったもので、面接練習は1ヶ月以上前から始めて、完璧にした状態で受験に取り組んだ方が良いと思いました。小論文や大学に出す書類は、自分だけではうまく書けているかわからないと思うので、担任の先生や国語の先生に添削していただくのが一番いいと思います。

具体的な目標ができれば、それに向かって準備を進められると思うので、オープンキャンパスや進路相談会などに積極的に参加するのはすごくいいと思います。頑張ってください。

流通経済大学 社会学部 社会学科に  
提携校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
矢本第二中出身

## 推薦基準にはなくても目標を掲げ 努力したことが合格に繋がりました

### ■色々な先生方との面接練習の 成果を本番で発揮できました

私は流通経済大学に合格するために、面接練習と勉強に励みました。面接対策では、合計7回程ローテーションで違う先生に相手をしていただき、面接練習を繰り返しました。先生ごとに厳しさや質問の系統にも違いがあり、予想外の質問を投げかけてくる先生もいましたが毎回自分の面接のどこがダメだったのか分析し、回答できなかった質問の回答を考え、次にもっと良い回答ができるように努めました。また過去に流通経済大学を受けた先輩方が、面接で聞かれたことについて書いているプリントを見て、どのようなことが聞かれるか分析し本番に備えるなどしました。その結果本番では練習時より比較的受け答えしやすく感じ、緊張せず面接することが出来ました。

勉強面では高校1年生、2年生までテストでも良い点数が取れなかったため評定が低かったのですが、3年生になって本格的に進学について考えるようになったとき、この状況を変えようと思い勉強ををはじめました。特に努力をしたのが期末試験勉強と資格勉強です。

### ■定期考査対策や資格取得に 目標を定めて取り組みました

期末勉強では範囲の復習や対策プリントの暗記、範囲の要点をまとめたノートなどを見て通学中やテスト直前に見るように心がけました。また友人のアドバイスを参考にしながら勉強する事で、効率よく点数を取ることができ目標だったオール5は達成できませんでしたが、数Bとコミュ英以外5を取り評定を0.7あげることに成功しました。

資格勉強では私は漢検準2級取得を目標に勉強に励み参考書の内容を合格できるレベルまで覚えるため、毎日3ページ進め2日前にやった単元の復習を繰り返し、解けない問題を極力少なくするよう努めました。しかし試験直前に過去問を解いてみると合格点より20点下の点数しか取れず焦ってしまいましたが、配点の高い分野を重点的に復習することで本番では合格点より15点以上高い点数で合格することが出来ました。

私は提携校推薦で流通経済大学に合格しました。流通経済大学の推薦を貰う上で評定の条件はありませんが、なにか目標に向かって努力した事はとても良い経験になったと思います。

同志社大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
長町中出身

## 3年間はあっという間なので 早いうちから自分自身を見つめましょう

■校内模試対策が遅れたので  
とても苦労しました

私は志望大学や入りたい学部、学科が決まっていませんでした。一方、指定校推薦を利用し大学に進学したいという思いはありました。そのため、日頃から予習復習を行い、定期考査ではできるだけ良い成績を取る事を心がけていました。しかし、3年生になり校内模試での順位で指定校推薦がほとんど決まるということを知りました。それからは、校内模試へ向けての勉強に取り組みました。

私は3年生になってから校内模試の大切さに気づき、対策を始めましたがそれでは遅いと思います。もっと早い段階から担任の先生にお願いし、校内模試の過去問に取り組んだ方がよいと思います。もし、志望する大学があるなら過去の指定校推薦の募集要項を確認し、必要な資格があるのか、評定平均値はどれくらい必要なのかを確認しておくべきだと思います。

また、私は志望理由書を書いたり、面接の練習の際にとっても苦労しました。それは、将来の目標や自分がやりたいこと、好きなこと、得意なことなど自分自身に関する事を深く考えたことがなかったからでした。高校3年間はあっという間です。まだ時間があると思わずに、早いうちから自分について考えてみてください。

それから、志望理由書と小論文の添削、面接の練習や必要な書類の記入などをして頂いたり、多くの先生方のおかげで大学に合格させていただく事ができました。本当にありがとうございました。

同志社大学 経済学部 経済学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
将監中出身

## 推薦受験は大学進学後の自分自身を 考える良いきっかけになりました

### ■進路決定で困らないように とにかく勉強していました

私は2年生の冬になるまで、定期テストの勉強は頑張って取り組んできたものの、受験を意識した勉強はほとんどしてきませんでした。それに気づいた時には、模試での偏差値や校内順位はとても低く、6月にある校内模試で良い成績を取るには時間が足りないと考えて、指定校推薦で大学に進学することは考えていませんでした。その頃は自分が将来なにをしたいか、どの大学・学部に行きたいか具体的な目標がなかったため、いつかやりたいことが決まった時にその道に進めるよう、とにかく勉強することを決意しました。朝はホームルームまでの1時間半学校で自習して、放課後は出来るだけ早く自習室に行き、6～7時間勉強しました。その結果、自分が予想していたペースより早く成績が向上し校内模試で良い成績が取れたので、指定校推薦を本格的に目指し始めました。それから色々な大学や職業のことを調べていく中で、将来やりたいことを見つけ、そのために同志社大学の経済学部を志望しました。

### ■ニュースについて理解を深め 経済への興味が深まりました

無事、校内選考が通った後は、入試に向けて面接や口頭試問対策をしました。口頭試問課題として、大学から1年以内の気になったニュースを5つ調べてくるという内容のものがありませんでした。最初は選んだどのニュースも内容が難しく理解出来ませんでした。しかし、日本経済新聞を毎日読み、理解を深めながら、細かいところまで、社会科の先生方が丁寧に教えて下さったことで、自信を持って入試に臨むことができました。本番では練習と同じような質問はあまりありませんでしたが、経済にさらに興味を持つ良い経験になりました。指定校推薦で受験したことは、自分が大学で何を学びたいか、将来、どんな職業に就きたいかということを考える良い機会になりました。

同志社大学 生命医科学部 医情報学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
石越中出身

## 仙台育英の生徒や先生との交流で 人生が良い方向に変わった気がします

### ■友人との会話がきっかけで 志望大学が見つかりました

私は元々国立大学志望で、高校3年生になるまで指定校推薦を意識したことはありませんでした。受験生になっても志望大学が決まらなかった私が、指定校推薦を取ることを決めたきっかけは友人との日常の会話でした。その友人は元々は国立志望でしたが指定校推薦を利用するか迷っていました。その話を聞いた私が推薦枠を見たところ、自分がやりたいことができる学部を見つけ、指定校推薦を視野に入れ始めました。このような急な方向転換は珍しいことでもなく、全員にあり得ることだと私は思っています。そこで皆さんに伝えたいことは、授業や日常生活、定期テストなどの学校生活は全て手を抜かない方が良いということです。そうすることによって、いざ自分が悩んだ時に自分自身の将来への選択肢を増やしてくれます。推薦枠を取る、取らないに関わらず、本気で学校生活を送ることは間違いなく将来の自分を助けてくれると私は思います。

### ■状況の変化に対応できるよう 普段から努力を続けましょう

また、高校生活において私が最も大切だと思うのは、人との交流を積極的に行うことです。仙台育英は全校生徒数3,000人を超えるマンモス校で生徒も先生方も個性豊かな人がたくさんいます。そんな中でいろいろな人達と交流することは世の中の見方が広がり、間違いなくこの先の人生に役に立つと思います。実際私もたくさんの人々と関わりを持つことで考え方が変わったり、先述したように友人のお陰で自分の進路を見つけることができたりと、この先の人生が良い方向へ変わったと思います。

最後に、近年の新型コロナウイルスの状況のように、数年後、もしくは数日後にどのような状況に陥るか分かりません。そのような状況に左右されないためにも、学校生活をはじめとした日々の積み重ねを大切にして、楽しく全力で高校生活を送ってほしいと思います。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科英語コースに  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
塩竈第三中出身

## 高校生活で様々な挑戦ができたことで 主体的に行動できるようになりました

### ■様々なアプローチを試み 英語力の向上に励みました

私が同志社大学グローバル・コミュニケーション学部への進学を志望した理由は、学生が主体となったカリキュラムや必須である一年間の留学を通して、実践的な英語力や国際社会で必要となる能力や教養を身に付けることができると考えたからです。

私は三年間の高校生活を過ごす上で心がけてきたことが二つあります。

一つ目は常に明確な目標を持ち、達成に向けて努力を続けることです。私は高校入学当初から国際・語学系の大学に進学したいと考えていました。そのため、実用英語技能検定やTOEICなどの資格取得の目標を常に持ち、英語力の向上を目指す姿勢を持ち続けてきました。目標達成に向けては、通学時や外出時の移動などの時間を単語学習に活用したり、苦手意識のあったイギリス英語のリスニングを習慣化したりなど、日々の努力を積み重ねてきました。また、ニュースの社会問題に対する考えを英語で考えるようにするなど、これまでの学びを「使う」ことも常に意識してきました。定期考査や校内模試においてもより高く、明確な目標を持つことで、今自分が何をすべきなのかを考え、計画的に日々の学習に取り組むことができたのだと思います。

### ■留学が中止になった悔しさが 努力の原動力になりました

二つ目は、何事にも挑戦をすることです。私は高校生活で、留学やボランティア活動など様々なことに挑戦をしてきました。留学に関しては、新型コロナウイルスの影響により渡航予定の約2ヶ月前に中止となってしまいましたが、その悔しさがより高い英語力で、再び留学を目指す今の私の原動力になっているのだと感じています。高校生活での全ての挑戦は、主体性といった面において自分自身を大きく成長させてくれました。

高校三年間を通して、家族や先生、友人など沢山の皆さんにサポートしていただきました。支えてくださった全ての方に本当に感謝しています。

私は受験を通して、日々の努力の積み重ねがいかに重要かを改めて実感しました。後輩の皆さんには多くのことに挑戦をしながら、進路実現に向けて日々勉強や部活動に励んでほしいと思います。皆さんが志望大学に合格できますよう、心よりお祈りしています。

立命館大学 経済学部 経済学科国際専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
富谷第二中出身

## 自分自身としっかり向き合い 悔いのない決断をしましょう

### ■ IB コース挑戦にあたり

様々な葛藤がありました

自分自身の高校生活を改めて振り返ってみると、いかに、自分が歩んできた道のりや過ごしてきた環境が特殊なものであったのかに気づかされます。それ故に、この体験談が後輩たちにとってどのくらい役に立つかは想像もできませんが、何かの参考になればと思います。

1年次の多くは宮城野キャンパスでの生活でした。2019年の4月、特別進学コースに入学した私は、当初一般受験での大学進学を大きく視野に入れていました。むしろ、一般受験のみしか見えていなかったと表現する方が正しいのかも知れません。高校受験での失敗や、勉強漬けの日々などから、変に受験方法に固執してしまい、選択肢を自ら狭めていたのです。

しかし、同年の初秋頃に転機が訪れました。IBコースというものについての説明会があり、たくさんの魅力に包まれた、その学習環境に少しずつ興味を持つようになったのです。

「環境を全て変える」。これが恐らく、高校生活の間で下した、一番大きな決断だったと思います。当時、英語を全く話せなかった私にとって、IBコースの選考試験で不合格になる可能性は十分にありました。仮に合格したとしても、宮城野キャンパスで一から築き上げてきた知識や人間関係から身を引くリスクや、その先で授業についていけるか等々の不安などがあり、簡単なものではなかったです。

### ■何を重要視するかを考え

進路を選択しましょう

しかし、IBに行くという決断をした後は、英会話スクールに通ったり、海外の大学生とのスカイプ通話、ホームステイに申し込んだりと、出来る限りのことをやっていた印象です。このようにして、なんとか新しい道を切り拓くことができた私は、2年次、3年次と、この時掴み取った小さな火種を大きな炎へとするべく奮闘し、今に至ります。

長くなりましたが、伝えたいことは一つだけです。ぜひ、高校生の間自分と向き合う時間を見つけて欲しいです。「私」は、自分のやりたいことが出来る環境を重要視し、指定校推薦という形で立命館大学を選びました。「あなた」は何を重要視しますか？ 学費、立地、大学のブランド力、就職率など、色々あると思います。大学に行かないという選択も十分に考えられます。

大事なものは、「自分が」という意志です。自己と対話を重ね、下した決断に後悔は生まれません。あなたの核となる想いを…自己を尊重するあなたを応援しています。

立命館大学 理工学部 環境都市工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
宮城教育大学附属中出身

## 高大連携プログラムへの挑戦で 自分を高めることができました

### ■ 友達の大存在の大きさを 生徒会活動で実感しました

私自身、生徒会執行部の役員として3年間活動しました。本学校や地域の垣根を超えて活動できることが最大の魅力であり、自分達で一から企画・運営することで誰よりも強い達成感を味わうことができます。もちろん議題を進めていく中で壁にぶつかることもあります。そんなときに気付くのは友達の大存在です。相談を聞いてくれたり率先して活動に携わってくれたり、友の支え無くして成功はあり得ません。自分が行き詰まったり落ち込んでいる時に手を差し伸べてくれる友達に感謝することの重要性を再認識できた生徒会活動、興味があればぜひ入学してください。一人の人間として成長できます。新しい景色が見えるはずですよ。推薦文や面接にもとても有効ですよ！

### ■ 高大連携プログラムでの 講義体験に圧倒されました

次に、勉強法については他の方々がアドバイスをしてくださると思うので、立命館大学理工学部高大連携協定校アドバンスト・プログラムについて体験談をお話ししようと思います。私は2年生の冬から立命館大学と他大学のどちらを第一志望にするか迷っていました。中々決められないなか、推薦枠を有利に獲得すべく本プログラムの受講を決断しました。4回にわたる数学、物理の課題提出や4コマの講義を通しての考察レポートや感想文提出など、想像を超える難易度・量の学習であり、校内模試対策の勉強と並行して行うことが大変だと感じる時期もありました。そんな中で、8月に実施された確認テストが一番大変でした。1回目は不合格に終わり、大学のテストの難しさや自分自身の勉強不足を痛感しました。本当に悔しかったです。この悔しさを糧に、3週間死に物狂いで勉強して臨んだ2回目でも無事合格することができました。テストに合格して修了証を頂くことは狭き壁だということを承知した上でも挑戦したことに大きな意味があります。私が立命館大学への進学を決定した最大のきっかけは教授の講義です。もの凄い力があります。皆さんも驚きますよ。

龍谷大学 経済学部 に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 学年が上がれば難易度も上がるので 早くから高い評定を維持しましょう

### ■入学時から決めていた

志望大を直前で変更しました

私は高校に入学した当初から指定校推薦を用い、ある大学へ進学するという目標が決まっていました。高校3年次の夏頃前は今志望している大学とは違う大学へ行くことを考えていましたが、大学のオープンキャンパスへ行ったり、学際という新しい授業の中で大学を調べていく中で、少しずつ自分の心が変わっていきました。他大学との比較や良い点を見つけることが重要であり、志望大学を変更したことで、龍谷大学の推薦を頂くことができました。

### ■1年次から平均評定値は

4.5を目指しましょう

指定校推薦で必要なことは、第一に検定を多く取得することです。最近では英検の取得を出願条件にする大学が増えています。そのため私は英検2級の取得はとても大きいと考え、2年次で取得しました。3年次の第1回目の検定では校内模試と定期考査が被るため、2年次の第3回目までに取得出来ると良いと思います。また私は学校で中国語講座を受講していたため、漢語水平考査（HSK）を受験し、2級を取得しました。多くの検定、様々な分野の検定を取っておくことで、受験の際に自分をアピールするものになると思います。第二に、1年次から定期考査の点数をしっかりと取ることです。校内選考では3年間の評定値で選考されます。上位の大学の指定校推薦枠は1名がほとんどであり、競争率が激しいです。上位大学の推薦を頂くには最低でも平均評定値4.5は必要であり、そのためには1年次の1学期から手を抜かず高得点を取ることが大切です。学年が上がる程授業内容が難しくなっていくので、1年次からしっかりと頑張ってください。

指定校推薦を考えている方は今からでも勉強に力を入れ、生活態度を改めましょう。そして学校内で行われている特別授業や、課外活動を行うことで進路達成はもちろん、有意義な高校生活を送れると思います。うまく伝えられたかは分かりませんが、少しでも参考になれば幸いです。

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
インドネシア出身

Out of all the universities that I could have chosen, the first reason I chose to study at Ritsumeikan Asia Pacific University (APU) is that I want to be a diplomat in the future that works in a Japanese embassy around the world, especially in Asian countries. As APU focuses its studies on Asian countries, it is a perfect place for me to develop my particularly deep interest in many cultures and situations and the relations of Asian countries that I think is important for me to take in. The second reason is because of its way of acquiring knowledge that allows both international and domestic students to directly engage with each other. Presentations, discussions, writing essays and research papers are considered to be the main method of studying, which I already have gotten used to since my junior high school years back in Indonesia and further developed during my 2 years at the International Baccalaureate Diploma Programme (IBDP). The spacious environment both indoors and outdoors also in its dorm, AP House, encourages students of different nationalities to have interactions that can lead to being open-minded to new knowledge.

A famous philosopher called Socrates once said, "education is the kindling of a flame, not the filling of a vessel." This was the quote I was searching for a very long time and have finally found it two months before my graduation. I agree with this quote very much as information filling the planet earth is unlimited and the things we study at school should not be the end of all knowledge. It should be the starting point for motivating students to try out new things and to know new things from their own. Moving away from Indonesia, my three years studying in a new environment and education curriculum in Sendai Ikuei High School gave me new experiences, new challenges, and new memories.

Firstly, as a returnee from Indonesia, I was not confident with my Japanese in both reading and writing. Those two were something I knew I had to work hard in order to keep up with my friends and class. So, after returning home from school, I would always restudy what I have learned that day and try to use new word that I have remembered in a conversation. I have also challenged myself into reading Japanese novels recommended by my friends. Moreover, thanks to the Japanese traditional culture class during my first year, I was introduced to Japanese traditional flower arrangements that piqued my interest in Japanese culture as a whole. This motivated me into studying Japanese even harder so that I can understand my own culture.

From my second year, I joined the IBDP and had my studies in English while also continuing to study Japanese and practicing the flower arrangement at home. During the IBDP course, time management was something crucial to control. It might sound exaggerating but it was almost a matter of chasing time or being chased by time. There are many things to do that you will have to make sure to find a way to relieve the stresses you will receive from all the works. I used CAS to make time for myself and balance my schoolwork and my free time.

Secondly, I made sure to get involved in many events especially through volunteering. Helping and getting along with people I have or never met was something I love to do for a very long time. Through many events, I was welcomed to many perspectives in society. It could be a new approach from a cultural or religious perspective, or a problem recognized while the event, or even developing skills in socializing with people of different ages and critical thinking skills by being observant of your surroundings. This kind of experience outside of school will be really helpful later on during university and even in life after that. Involving yourself in these kinds of events where it requires teamwork will also make you realize how little you know of the world you are living in.

That connects to my third point. During your studies at Sendai Ikuei High School or even throughout your whole life, always stay eager in learning new things. After joining the IBDP, I was introduced to many knowledge that made me more curious about anything that surrounds me. Research on social problems, having a discussion with classmates about a certain topic, listening to stories from other people of different cultures, made me realize what I know now is nothing compared to information flooding the earth. What I can stress out to you is to keep being open to new knowledge and information, in and out of school.

Furthermore, whilst gaining many experiences I also made sure to keep in mind to maintain a high GPA to receive my position to be recommended by school. Each university will have its GPA requirements for the students to be recommended. What I can advise you is to keep your scores on every subject above 3 (out of 5) and take one of the language proficiencies tests (either Japanese or English for international students or domestic students respectively) during the second year because most universities require a certificate that is within two years after receiving it to be submitted when you apply. Though I do not have a strong preference on which proficiency test to take, especially English, I recommend taking TOEFL as you can use it for many applications such as future study abroad and is admitted by many.

Studying is an important thing to do as a student but experiencing new things is also equally important to study. I hope your three years of high school are filled with a lot of experiences and new knowledge that would help you in the near future.

立命館アジア太平洋大学 国際経営学部に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
加茂中出身

## 仙台育英のグローバルな環境で 学んだことは将来に大いに役立ちます

### ■言語学習に最適な環境で

スキルアップできました！

私は指定校推薦の枠を獲得するために、一年生の頃から良い成績を取れるように努力しました。定期テストでは80点以上を取れるように対策をしていて、分からないところはそのままにせず、先生や友達に質問して解決するようにしていました。また、授業で使ったノートやプリントを自分の言葉でまとめる工夫をしていたので、学習内容への理解を深められました。私は、週に1回英単語のテストがあったのですが、通学時間や休み時間などの隙間時間に勉強をしていました。そのおかげで、自然と学習習慣が身につく、時間を有効活用できるようになりました。

私は高校生活で、自分の得意な語学をもっと得意にすることができました。高校3年間で、英語と韓国語の二つの言語を磨けたことはとても良かったです。特に、第二外国語である韓国語を教科として勉強したことで、まじめに取り組みました。また、ハングル検定などの資格を積極的に受験したので、自分の韓国語に自信を持つことができました。他にも、英検やTOEFLなどの英語検定もたくさん受験しました。ライティングは英語の先生に添削してもらい、スピーキングは外国人の先生に練習をしてもらいました。クラスには、語学が好きな人が多くいたので、言語学習においてとても良い環境にあったと思います。みなさんにもこのグローバルな環境を生かし、多くの刺激を受けて今後にかかしてほしいです。

八戸学院大学 健康医療学部 看護学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
岩手 厨川中出身

## 部活動で多くの苦勞を乗り越え 人間性が磨かれたと実感しています

### ■看護師になる夢が家族の病で 達成すべき目標になりました

幼い頃、入院している祖父を見舞ったことがきっかけで、看護師になることが夢になりました。高2の時、父が命に関わる重病を患ったことがきっかけで、夢が「絶対に達成すべき目標」に変わりました。この大学の看護学科は、施設や学習環境が充実していて、少人数制を導入し、学生一人ひとりを大切に見守りながら看護師に必要な知識と技術を授けているので、ここで学びたいと思い志望しました。

私は全国に通用するなぎなた選手になるために、親元を離れて仙台育英に入学しました。1年生の高総体で2種目で優勝し、インターハイに出場することができました。またその年の国体選考は2位で通過し、国体にも出場しました。しかし2年生の時は新型コロナの影響で、インターハイも国体もなく、目標を見失いそうになりました。3年生になり、大会は再開され、高総体では全種目優勝することができ、2年振りにインターハイに出場しました。これらの戦績の影に、多くの苦勞と努力があり、これまで何度も部活動も学校もやめて実家に帰りたいと思いました。しかし、それを乗り越えた結果、部活動を通して技術や体力だけでなく、高い人間性も身につけることができました。様々なありましたが、今では部活動に関する全てに感謝しています。

高校生活に関して、最もこだわったのは「無欠席」でした。寮生活だったので当然親には頼れず、自分で健康管理をするのは大変でしたが、3年間の無欠席を達成することができたのは大きかったです。また教室清掃の時は丁寧に掃き掃除を行い、ゴミ捨ても率先して行いました。

### ■部活動以外のことにも しっかり取り組みました

私は部活動に入っていたため、入っていない人と比べて寮で勉強する時間が少なかったと思います。だから普段の授業を真面目に受け、その日のうちに理解できるように心がけました。また、課題や提出物など、平常点に関わるものはしっかり取り組みました。その結果、推薦基準を超える評定を取ることができました。忙しい中でも隙間時間を利用して学習し、漢字検定や英語検定などの資格も取得しました。

私は高3の今年度も国体選手に選出されました。国体は10月上旬に開催されます。受験勉強の時期と国体強化の練習が重なるため、私は指定校推薦受験を選びました。指定校推薦を頂くには校内選考を通過しなければなりません。校内選考用の自己推薦書の準備を夏休み前から始めましたが、とても大変でした。しかし、普段から部活動だけでなく、学習も生活もしっかり取り組んでいたこともあり、無事、指定校推薦を頂くことができました。

受験のために私はまず、志望大学のオープンキャンパスに言ったり、ホームページや学校案内を調べたりするなど、大学の特色やアドミッションポリシーを知ることから始めました。また看護に関する本も読みました。そして、小論文と面接が試験内容だったので、先生方に添削や練習を何度もくり返して頂きました。先生方はとても親身に指導して下さいました。合格できたのも先生方のおかげと感謝しております。

最後に、後輩の皆さんに伝えたいことは、学習、部活動そして日常生活など、当たり前前は当たり前に取り組んでほしいということです。それが進路実現につながります。応援しています。頑張ってください！

八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
青森 湊中出身

## 大学では社会人になるための 素養や心構えを習得したいです

### ■仕事をしながら勉強に励み 推薦入試に挑戦しました

私は、最初就職を考えていましたが、社長である祖父が入院してしまい会社を継ぎたいと思ったため大学に行く事を決めました。指定校推薦を受けるために努力したことは、スクーリングとレポートを頑張る事です。しっかり継続してやる事が大事だと思います。普段の学校評価のために、仕事と学校の両立をしつつレポート、スクーリングをしっかりやるということを大事にしてきました。受験大学を絞り込むにあたって、自分の将来に合う大学をまず複数選んで、自分に合った大学を選びました。私自身が受験に成功した一番の理由は、人とたくさん話せるからだと思います。私にとって大学は、社会人になるためのはじめの第一歩だと思っています。私にとって高校生活とは、仕事の大変さを知り、社会人の経験をできる良い場所だと思います。仙台育英に来てから、仕事の大変さ、大切さをたくさん学びました。人生の中でいい経験をしたと思います。

後輩の皆さんは、自分のやりたい事もやりつつ自分がやらなきゃいけない事をしっかりやって楽しんで欲しいと思います。

八戸工業大学 工学部 工学科システム情報工学コースに  
指定校推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
青森 下長中出身

## 普段から当たり前のことをきちんと できているかをチェックしましょう

### ■希望の分野への就職を 大学で実現したいです

私が八戸工業大学工学部システム情報工学コースに入りたいと思った理由は、自分の趣味に近いものを仕事にできる可能性を高められると思ったからです。

私の趣味はパソコンで3DCGをいじることです。まだまだ大雑把なものしか作れていないのですが、スイッチが入ると時間を忘れて作業してしまいます。また、ゲームや映像作品なども大好きなので、そういった作品を制作できる仕事に携わりたいと思ったのでシステム情報工学コースを志望しました。

最初は首都圏にある大学を目指していましたが、金銭面を考えて地元の大学を目指すことにしました。とても悔しかったけれど、仲の良い友達も地元の大学に進学すると後に知ったので気持ちに整理がつかしました。目標達成が不可能になってすぐに落ち込まないように、他の選択肢をあらかじめ考えておくことも大切だと思いました。

### ■適当な授業態度は後々 不安要素に繋がります

指定校推薦での受験で、準備の期間は面接練習を主にしていました。面接をする上で一番意識したことは、人の目を見て話すことです。当たり前のことだと思いますが、その上でも意識するべきだと思います。自信が無いように見られないようにするためです。

この受験を通して学んだことは、当たり前のことをおろそかにしないことが、合格へ近づく第一歩だということです。授業を平気で適当に受けているようじゃ、推薦の資格すら得られないし、後に自分自身に対しての不安要素でしかなくなります。そうならないためにも、普段から当たり前のことをできているかどうかを確認することをオススメします。

これからの将来に向けて大学でも頑張りたいと思います。

岩手医科大学 歯学部 歯学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 自分の理想像に限りなく近づく才能を 学生ならば誰もが持っています

### ■ 歯科医になることを

常に意識して行動しました

私が岩手医科大学歯学部歯学科を目指したきっかけは、幼い頃から歯科医院に通い、歯のメンテナンスを定期的に行ってもらった経験から、私も歯科医師となって多くの人の歯の健康を守りたいと考えたからです。その理想を叶えるために、私は英検やなぎなたの段数審査に積極的に参加し、諦めずに努力を続ける姿勢、様々な困難にも立ち向かうことができる強みがあるということ、指定校推薦で評価していただけるように努力しました。

私は、中学生のときになぎなた部に所属していて、技術の向上はもちろん、将来、歯科医師になるために必要なコミュニケーション能力を、様々な年齢の人と交流を通して培うことを心がけ、日々お稽古に励んでいました。私が指定校推薦で受験した大学は、小論文と面接が選考方法であり、特に小論文は苦手意識があったので、隙間時間に小論文のネタ本を読んで、医療系のテーマに関する小論文を書く練習をしました。私が書いた小論文を担当の先生が読み、訂正していただいた内容をもとに、また書き直すという作業を繰り返したことによって、試験当日では、教えていただいたことを発揮することができ、合格を勝ち取ることができました。

### ■ 徹底的に自分探しをして

目標達成に邁進しましょう

私にとって、中・高校生活とは大学進学に向けて、必要な知識を養う時間だと考えています。知識とは単に学力を指すのではなく、自分の長所や興味があることを見つけ、どのような形で社会に貢献できるのか、と自分をよく知ること含まれると思います。私は中・高校生活を、ただのんびりと過ごしてしまったせいで、自分のやりたいことがはっきり決まらず、行きたい大学はあるものの本当にこの大学へ受験して私は後悔をしないのか、というふうに悩んでしまう時期がありました。このようになってしまうと、将来の夢が決まっていて、それに向かって走り続ける人とブランクができてしまい出遅れてしまいます。そうならないためにも、中・高校生活では自分探しを徹底的にして欲しいです。中・高校生は、誰でも自分になりたい姿になることができる才能を持っています。思い描く夢に向かって皆さんが走り続けることができるように祈っています。頑張ってください！

ノースアジア大学 経済学部 経済学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
台原中出身

## 進路は最善の選択ができるよう 幅広い視野を持って考えましょう

### ■ 苦手教科は平常点に注力し 高い評定を維持しました

私は指定校推薦を受けるにあたって、評定平均を高く保つことを意識しました。定期考査で高い点数を取るために熱心に勉強することはもちろんですが、普段の授業態度や提出物を忘れずに提出することを意識してください。そして平常点を満点近くとることが、評定を高く保つために必要不可欠だと考えます。実際私は数学や化学といった理系の教科が苦手で、定期考査では高い点数を取ることができませんでした。しかし、ワークや授業中に配布されるプリントなどにしっかり取り組み、平常点を高くすることで、評定4を保つことができ、3年生時の評定平均は4.3を取ることができました。私が合格したノースアジア大学は評定平均3.2以上の数字でしたが、他の大学では少なくとも評定4以上が条件の大学がほとんどなので、1年生のうちから評定を意識して学習に取り組むべきだと思います。

### ■ 情報を収集するうちに この大学に興味を持ちました

はじめは県内の他の大学が第一志望でしたが、その後他の指定校推薦の募集一覧を見て、インターネットや学校のパンフレットを見て、ノースアジア大学に行きたいと思い、指定校推薦を希望し、無事に合格することができました。当初は県外に行くことにためらいがあり、大学選択の視野が狭い状態で志望大学を決定していました。しかし、実際に県外の大学を調べてみると魅力的な大学が多く、最初から県外の大学も視野に入れておくべきだったと、少し後悔しました。結果的に県外のノースアジア大学に合格が決定し、自分の将来の夢に向けての進路を実現できたのでよかったです。これから大学受験する後輩の皆さんには、広い視野を持って自分の進路選択をして欲しいです。自分の行きたい大学は1つと決まっているのならその大学を目指すのがベストですが、もし行きたい学科だけ決まっているのであれば、県内だけでなく、県外の大学を調べてみるということも進路選択においては重要なことだと思います。

東北文教大学 人間科学部 人間関係学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
塩竈第三中出身

## 興味のある学問をもとに進路を決め 後で目標を見つけることも可能です

### ■問題を自作することにより 学習の理解を深めました

仙台育英に入学してから、指定校推薦をとるため、主に高い評定を取り続けることを目標に過ごしてきました。私が中学生だった頃は平均評定が4以下で定期テストでも80点以上を取ることは難しいことでした。しかし、英進進学コースは各生徒の習熟度に合わせて学べる科目もあり、また、授業で習った内容やそれに適応したワークの問題、自ら考えた問題等をまとめた自分なりのノートを作成し復習することで入学してからずっと平均して評定4から5につながる点数をとることが出来ました。自分で問題を作ったり、ノートにまとめたりすることで、内容理解にも結びつくと思います。勉強方法に悩んでいる方は試してみてください。テストの点数だけで評定が決まる訳ではないので日々の生活態度、提出物等にも気をつけましょう。また、高い評定をとることだけで推薦枠を貰えるとは限らないと思うので、英検などの資格取得や模試レベルの問題を解けるようにするために過去問や問題集を活用して対策しておく自分のプラスになると思います。

### ■企業の広報活動への関心が 進路決定後に芽生えました

私は、進学先を考えるまでに将来の夢がありませんでした。進学先を東北文教大学に決めたのも将来の夢を目指すためではなく、コミュニケーションについて興味を持ち、コミュニケーション学を学ぶことが出来る大学に進学したいと思ったからです。東北文教大学に進学することを決めてから、コミュニケーション学などを学んで得た知識と身につけた力で役に立てる仕事はないかと考えている時に広報という仕事を見つけ、広報員になって社内の士気を上げて会社の利益増加に貢献したいという将来の夢が出来ました。進学先を決めてから将来の夢が見つかり、それを目指す。という並びで高校卒業後の人生計画を組み立てる方法より、自分のなりたい像があってそれを目指すために進学先を決めるというような方法の方が多数いるのかなと経験上思いますが、まだ将来の夢がないから進学先をどうしようと思っている人がいるなら、興味を持ったことや学びたいことから進学先を選んだ上で将来の夢を見つけることもできることをこの大学合格体験記で伝えたいと思いました。

奥羽大学 歯学部 歯学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
女川中出身

## 様々な職業について学ぶことにより 将来の選択肢が増え可能性が広がります

### ■早く合格しゆとりを持って 入学したいと考えました

3年の秋まで指定校推薦ではなく、一般受験で大学へ行こうと考えていましたが、両親からの提案で、どこの大学へ入学しても最終的には国家試験合格が目標であり、国家試験に合格すればどこの大学を卒業しても歯科医師として働くことができることから、指定校推薦という受験方式で受験しました。指定校推薦の良さは早期合格です。そのため、残りの高校生活では、大学での基礎学力として必要とされている科目に絞って勉学に励むことができ、より良いスタートを切ることができると考えています。また、私は高校受験の時に失敗し、気持ちを切り替えることができないまま引きずり、十分に勉学に励むことができなかった経験から、早期合格によって大学入学に向けて、期待と向上心を持ち、精神的に落ち着いた状態で入学ができると考えています。

### ■探求授業で色々な職業に触れ 目標が鮮明になりました

私は幼い頃から歯科医師になりたいと考えていましたが、逆に言うと歯学部以外の学部には関心がなかったため、歯学部に入れなかった時にその学部に入りたいのか考えたことがなく、曖昧なままでしたが、高校3年間では、探求授業というものがああり、様々な職業について学ぶ機会を得たことにより、そこで少しでも感じたことや感心したことを大切に、記録にまとめたことで、自分がやりたいこと、なりたいことを少しずつ知ることができました。この経験を通して私が伝えたいことは、選択肢は自分次第で変えられることです。私のように幼い頃からずっと夢を抱き、他の職業について関心がなくても、様々な職業について調べていくと、自分にとって魅せられるものばかりでした。将来、なりたい職業について揺らぐことがない人も、その気持ちを大切にしつつ、なりたい職業に関係する他の職業について理解を深めることで、様々な視点から自分がなりたい職業について知ることができるかもしれません。多くの選択肢を持つことで、もし今成功していなかったとしても、いつか違う形で成功できると私は信じています。

奥羽大学 薬学部 薬学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
玉川中出身

## 進路が決まっていなければ 好きな事を突き詰めてみましょう

### ■幼少時の投薬治療を機に 薬学に関心を持ちました

私が3年生になった時は将来の夢すら決まっていませんでした。将来何になりたいかと考えていると、小さい時に色々な病気にかかって身体を自由に動かすことができなかつた時に薬を飲んで助けられたことを思い出しました。そこから薬の研究・改良をしたいと思うようになりました。最初は他の大学を目指していましたが、その大学に行くのはとても難しく今の大学になりました。そこからは面接練習を試験5週間前くらいから始めていき、1回目の面接はズタボロで先生とも目を合わせることもできなかつたり、質問になかなか答えることもできませんでした。ですが回数を重ねるたびに色々な質問に答えられるようになり、緊張もほどけて大きな声を出せるようになってきました。試験当日は今までで一番緊張していると思うように言葉が出なくて落ちてしまうじゃないかと不安でいっぱいでしたが無事に大学を合格できました。まだ将来の夢が決まっていな人は自分の好きなことを見つけて、それを将来の夢にしてみるのもいいと思います。面接練習は早くて試験の1ヵ月前あたりから始めたり、色々な先生とやると対策や姿勢などが体に染みついてくると思います。

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
玉川中出身

## 伸び悩んでいた科目の過去の考査を 解き直して復習し成績が上がりました

### ■一般入試の倍率が高かった為 推薦入試に挑戦しました

私は高校入学時は公立高校に入れなかったため、勉強面を頑張ろうと部活には所属せずに勉強に取り組みました。

そして、高校2年の頃までは一般入試での進学を目指していたのですが、その後指定校推薦での進学を目指しました。理由は、行きたい大学の一般入試の倍率が高かったことです。一般入試という学力が問われる方式に自信がなかったということで目指しました。その日から指定校推薦での進学を目指し、一日の勉強量を増やしました。そしてテスト前には教科書の小さな所まで見直すことを徹底して行いました。ですが、1, 2年生の成績は良かったのですが、3年生で成績が伸び悩んでしまいました。得意教科である日本史や現代文でも赤点ギリギリを取ることが続きました。そこから私は日本史や現代文の過去の考査の問題をひたすら解きました。そしたら成績がどんどん伸びました。そして校内選考を通り受験することができました。

入試当日はまず15分前には会場にいること、最後の小論文の見直し、あまり緊張しないことが重要だと思います。皆さんには、成績が落ちても悩まず、今できることをやってベストな状態で入試に臨めるよう願っています。

東北学院大学 法学部 法律学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
古川学園中出身

## 1, 2年生のうちから定期考査に注力し 高評定を維持できるように努力しましょう

### ■準備や対策の大切さを

受験を通して実感しました

私は入学当初から指定校推薦での大学合格を視野に入れていたので、1年生の時から定期考査の学習に力を入れ、評定を維持できるようにしていました。3年生になってからは周りも良い評定を取ろうと意識するようになるので、肝心なのは1, 2年生のうちに良い結果を残しておくことだと思います。そして、3年生の6月にある校内模試の結果は校内選考に大きく関わるものですが、定期考査も同じ月にあるため、同時並行で勉強するのは大変でした。そこで、過去問を解いたり、過去問と同じような傾向にある共通テスト対策の問題を解いたりという対策を早めに行っていると気持ちに余裕を持てると思います。特に英語は文章量が多いため、時間配分に気をつけて問題演習を行うと本番も焦らずに解けると思います。また、推薦を狙う人は自己推薦をする機会が何度もあります。英検などの資格を持っていたり、ボランティア活動に参加していると自分の強みが増え、良いアピールポイントになると思うので、1, 2年のうちから積極的に資格取得やボランティア活動に励むと良いと思います。

校内選考に通ってからは、受験内容である小論文や書類作成などの受験対策を毎日行っていました。過去問の題材を使って書いた小論文は毎回先生に添削をしてもらいアドバイスをもらって自分の文章の癖を直せるようにしました。毎日ニュースを見たり、時事に関する記事を読んだりして知識を身につけていたことは、小論文を書く際にとっても役に立ちました。

私が受験を通じて感じたことは、何事も準備や対策が大事だということです。高校の3年間は短く、あっという間に過ぎてしまうので、後悔しないように楽しみながら日々を過ごして欲しいと思います。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城中出身

## 苦手教科は地道に学習に取り組み 徐々に克服していきました

### ■システムエンジニアに必要な 知識と技術を習得したい

私は将来、様々な技術を幅広く理解しているシステムエンジニアを目指したいと考えています。そのため、電気に関する専門知識を幅広く学べ、1年次に専門知識を学ぶための基礎をしっかりと学べる東北学院大学の電気電子工学科に志願しました。

推薦入試で受験した理由は、過去に高校受験に落ちてしまうという苦い経験があり、もう二度と同じ過ちを繰り返さないためです。

学校推薦型で指定校枠を取るために努力したことは、成績を下げないように維持し続けたことです。そのために「やるべきことはしっかりと取り組む」ということを常に心がけていました。提出物や課題などは大きく成績に関わり、テストで多少低い点を取っても救われることもあります。また、その逆もあり得ます。だから私は、やるべきことをしっかりと取り組んでいました。

### ■大学生活を謳歌しつつ しっかり学んでいきます

勉強面で心がけていたことは、毎日地道に勉強に取り組むことです。その日受けた授業の予習や復習を行い、テストで良い点数を取るために準備しておきます。「塵も積もれば山となる」というように、繰り返し行うことで、最初は全く分からなかったところでも、徐々にできるようになります。更に積み重ねることで完璧にできるようになりました。私は英語と数学が苦手だったのでこの方法でできるようになりました。

大学受験時の小論文対策は、過去の小論文の問題を見て出るお題をある程度予想することが重要だと考えます。大学に行く以上、しっかりと学び、精一杯楽しみたいと思います。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高崎中出身

## 入学前から志望大学を決めていたので 勉強のモチベーションを維持できました

### ■ 3年1学期の校内模試は 早めに対策を始めましょう

私は高校受験の際、滑り止めで受けていた仙台育英に入学しました。まず入学する前に目標の大学を親と話し合っ  
て決めました。これは中学校時代に目標の高校を決めずに勉強して勉強する意味を見失ったからです。

学校生活では、指定校推薦の枠をもらうために全ての教科で最高評価が取れるように努力しました。特に数学と英  
語の授業は、3年間あるので分からないところを理解できるまで勉強し授業に置いていかれないようにしました。指  
定校推薦の枠をもらうためには評定をしっかりと取ることも重要ですが、3年生の1学期に行われる校内模試で点数を  
取るの方がもっと重要です。校内模試では国語・英語・数学の3教科の試験が行われます。文理選択で文系を選  
んだ人は国語と英語、理系を選んだ人は数学と英語を重点的に学習すると良いです。また、勉強を始める時期とし  
てはできるだけ早い方が良いですが、3年生に上がる前の春休みに始めると余裕をもって試験に挑めると思います。

### ■ MY・PROJECTは 推薦書類の作成に有効です

指定校推薦の枠を無事にもらえたら、次は大学受験の準備をします。推薦受験の場合、必ずその大学への志望動機  
を書くと思います。志望動機を書く時は志望大学のパンフレットやホームページによく目を通してから書くことが良  
い志望動機への近道だと私は考えます。また、理系を選択した人は授業で行われているMY・PROJECTを真剣に取り  
組むと研究的学習の書類を楽に書くことができると思います。皆さんも目標の大学に合格するために毎日コツコツ頑  
張っていきましょう。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 授業で積極的に発言し熱心な姿勢と 理解度を先生にアピールしました

### ■ 推薦受験の準備と並行して 一般入試対策にも励みました

私が指定校推薦を利用しようと思ったきっかけは、高校1年生の時に従兄弟の受験勉強を必死でしている姿を見て、もっと早いうちから自分に出来ることは無いかと思い辿りついたのが指定校推薦でした。

殆どの大学が推薦条件で評定という基準を設けています。まずこの条件を満たさないと受験することができません。そのためには1年生の頃から、提出物や出席日数などの生活面と、日頃の小テストや定期テストでの点数などの学習面とをどちらもこなす必要があります。特に理系では、物理をとるか、生物をとるか学科の内容が大きく変わってくるので重要な選択になると思います。

私が推薦枠を獲得するために努力したことは、まずは出席日数です。病気や怪我は別として一番心がけやすい簡単なことだと思います。また、授業での発言も大切です。先生に自分が理解していることをアピールするための場もあるので、積極的に発言しました。これらは自分の授業への積極性と理解を示すという目的のものです。次に「推薦をもらえなかった時の対策」です。推薦と言えど、学校内で成績を競うものなので必ずしも自分がもらえるという訳ではありません。もしも推薦がもらえなかった時、一般入試で失敗しないために、志望理由書などを準備しつつ、英語や古文の練習を欠かさずやっていました。

### ■ 3年間で積み上げた努力を 発揮するのが推薦入試です

最後に志望理由書についてです。私は高校入試の際に一度書いたことがありますが、それとは比にならない量と内容が必要です。学校を代表していくので、たくさんの時間をかけて仕上げます。実際に私は、約1ヶ月かけて仕上げました。何度も添削してもらい、言葉遣いや句読点の一など、様々な先生方に事細かに指導していただきました。内容は、志望理由や自分の長所など一般的なものがほとんどです。その中でも私が特に重要だと思ったのは、「高校生活で頑張ったこと」です。私はここで一番悩みました。コロナ禍ということもありましたが、特に力を入れて頑張ったということがさほど無く、何を書こうか一日中考えていました。なので高校生活での努力や功績をいくつか残し、把握しておくことが大事になってきます。

指定校推薦は一般入試と比べて結果が早く出たり面接だけで済んだりと楽なイメージを持っている人も少なくないと思います。ですがそこに至るまでの努力の結果が「推薦」という形となるので、今指定校推薦を考えている人は学校生活、定期テストを頑張ってください。今からでも遅くはありません。応援しています。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
涌谷中出身

## 今の環境でもっと成長するために どう過ごすべきかを常に考えています

### ■時間を有効に使えるように

工夫して学習しました

私は、勉強と部活動の両立を目標に仙台育英に入学しました。仙台育英が多くの大学の指定校推薦を持っていたのも入学した理由の一つです。

私は空手道部に所属していました。部活動は、放課後、土日もあり、勉強する時間があまり取れませんでした。1年生の頃は朝の練習もあったので、朝は5時前に起床して、学校に電車で通学していました。学校の休み時間や通学時間を利用して、日々勉強をしていました。通学のときは、読みものや暗記の勉強をし、学校では数学や化学などの書きものの勉強をするなどして工夫しました。私はこの勉強方法で指定校推薦を取ることができました。

### ■部活動の副キャプテンを担い

成長できたと実感しています

自己アピールをするためにも部活動にも力を入れて取り組みました。部活動では副キャプテンを務めました。副キャプテンの仕事は主に練習の指揮を執ること、練習中の良い雰囲気作りなどです。最初の頃は部員にうまく指示が出せず、監督から「指示が遅い、チームの雰囲気が悪いのは副キャプテンがしっかりしていないから」と指導されました。どうすれば自分たちの指示が通るか考えました。部員個人の名前を呼んで移動させたり、学年ごとに並ぶ位置を決めるなどをして工夫をしました。また、自分から積極的に声を出したり、ポジティブな言葉をかけるなどを工夫しました。副キャプテンの仕事はとても大変だったけれど、インターハイや全国選抜大会にも出場でき、とても嬉しかったです。また、人としてもこの3年間で大きく成長できたのではないかと思います。

時間がないから勉強はやらないとか、勉強が忙しいから部活は手を抜こうとかなどは正直言い訳に過ぎません。周りの環境に文句を言っている、時間の無駄です。今の環境をどう過ごしたら、より良い生活が送れるのか、もっと成長できるのかを考えて、これからも私は生活していきたいと思っています。

東北学院大学 教養学部 情報科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
上杉山中出身

## 資格は取得する毎に挑戦意欲が増し スキルアップすることで自信になります

### ■東北学院大学は入学時から 第一志望の大学でした

私は高校入学後、指定校推薦という制度の存在を知りました。その頃から第一志望であった東北学院大学の指定校推薦を考え始めました。1年生の頃から評定を意識し、定期テストの2週間前から対策を行い、提出課題を漏れなく提出したことで3年間評定5をキープすることができました。また、資格取得についても、日頃の情報の授業を真剣に取り組み、試験日の2週間前から資格の対策をしました。そのおかげで私は、情報処理検定1級、MOSのExcel、Word、PowerPointと、Excel、Wordのエキスパートを取得することができました。様々な資格を取得することで、次の資格取得に対するモチベーションに繋がります。また、自分に自信が付くし、アピールポイントにもなります。

指定校推薦を狙うにあたり、重要なことが二つあります。一つ目は、3年生の序盤に行われる校内模試です。コース関係なく3年生全員が受けるため、順位が非常に大切になります。指定校推薦の選考はこの順位が良い人から選ばれやすいので、とても重要な点です。私自身も過去問を解いたり、講習に出るなどして順位を一つでも上げるよう努力しました。二つ目は自己推薦文です。その大学を志望する明確な理由や高校時代に培ってきたことを1,600字程度にまとめて高校側に提出します。文字数が1,600字と多いので、その分アピールポイントや志望動機、将来の夢などの流れを読み手に分かりやすく納得させる必要があります。

指定校推薦が取れるかどうかは3年生の夏休み頃に分かるので、もし取れなかった場合の選択肢を用意しておくことがとても重要になります。コツコツと努力し自分の武器を増やしていけば、必ず役に立ちます。後悔のない3年間を送ってください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 自分なりに工夫して苦手を克服し 得意なことを増やしていきましょう

### ■講義履修前の学習サポートが 手厚い大学を選びました

私は東北工業大学工学部情報通信工学科に指定校推薦で合格しました。その際には大きく2つのことを努力しました。

まず1つ目は、基礎的な学力を伸ばしたことです。特に私は数学を苦手としており、情報通信工学科に行くには不安がありました。在学中に解消しようと努力をしました。私は応用問題が解けないので、兄や姉が使っていた参考書などで勉強しました。私は応用問題を解けないのは数をこなしていないからだと考え、それからたくさん問題を解きました。そのうちにその問題の系統への解答パターンが見えてきて少しずつ解けるようになりました。

また、私は高校では文系選択をしていましたが、前述の通りに工学部の情報通信工学科に進学を決めたため勉強の面がとても不安でした。東北工業大学では、学部ごとに勉強をサポートしてくれるところがあり、さらに入学前学習もとても充実していて、勉強面の不安をサポートしていただけたので選択をしました。

### ■校外イベントにも積極的に 参加し視野を広げました

また、2つ目に努力したのは様々な会合に行って、経験を積んだことです。

まず1つ目に学んだことはプログラミングです。さまざまな研修や講習会に参加して学びました。工学系統に進んでいくなら学んでおいて損はないと考えたからです。

2つ目はINTILAQ主催の『高校生アントレプレナー養成ゼミ』で社会問題をどうやったら解決できるか考えました。これによって、社会問題の根の深さや一つを解決するともう一つ解決しないといけない事象が出てくるといった問題のことを学びました。

私は以上のことをがむしゃらに学び、無事志望大学に合格することができました。高校在学時に苦手をつぶし、得意を増やすというのはとても大切なことだと思います。皆さんも高校のうちに様々な経験を積んでおいて下さい。

東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府西中出身

## 1年次から勉強に励むほど 進路の選択肢が広がります

### ■大学進学は決めていたものの 志望大学の決定に悩みました

私が大学進学を目指し始めたのは中学生からです。仙台育英に入学してきた人の大半は大学、専門学校への進学を目指しているのではないかと思います。でもきっとどここの学校か、何を学びたいといった具体的な内容は入学してから決めるのではないかなと思います。実は私も、私は3年生になってやっとどの学校に行つて、何を学びたいかが決まりました。決まる前は3、4個大学を出して、その中から決めて、どこの学科か決めようとしていました。それは何を学びたいのか、何を将来したいとかがまだハッキリしていなかったからです。でも、その候補の中に興味湧くようなものが私にはなかったので引き延ばしになり、どうしようかと悩んでいる中、学校説明会に初めて足を運びました。学校説明会には候補の大学が少なく、名前を聞いたことのある大学もいくつか聞きに行きました。この大学にはこんな学科があったんだなといった新たな発見がありました。その中に私の興味湧く学科がありました。私は高校で地域研修等の色々なものに参加していました。そういった色々な経験もこの学科なら活かせると、その時思いました。そしてその大学にいけるように、大学とその学科について色々調べました。そして学校からその大学の推薦枠をいただいた私はその大学の試験内容であるプレゼンテーション、面接の準備、練習をして、本番当日では緊張せず自分の全てを出して合格しました。

### ■色々なことに挑戦すれば 新たな発見があるはずです

私が言いたいことは、焦って決めずじっくりと考えても間に合うということです。学校内外問わず、色々なことに挑戦していくことです。全く関係の無いことでもやってみると意外と自分に合うかもとか面白いとか新発見があるかもしれないからです。

最後に高校3年間で思ったことはもっときちんと勉強しておくべきだったということです。私は大丈夫でしたが、ぎりぎりになってこの大学に行きたいと思っても学力が足りなければ行こうと思っても行けないからです。だから、勉強すればするほど選択肢が広がるので少しずつでもいいので勉強することをおすすめします。

東北工業大学 工学部 電気電子工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
桃生中出身

## 早くから将来の方向性を定め 自分の意志で進路を選びましょう

### ■将来はエンジニアとして 社会の役に立ちたい

私は指定校推薦で大学を受験しました。大学進学を目指した理由はファームウェア系やインフラエンジニア、サーバーエンジニアなど人々の役に立つ仕事を目標にしている私は特に、その職業に必要な資格や検定を取得し専門知識や技術を身につけたいと思ったからです。そしてなぜ推薦入試を受験したかということ、大学4年間でこれらの目標を達成に近付けるためだからです。

学校推薦型で指定を受けるために力を入れたことは二つあり一つ目は学校での生活態度です。当たり前を中心に授業を受けるときは姿勢を良くし先生の話の聞いたりくらすで困っている人がいたら率先して手助けしたりしてきました。また、提出物関係を忘れずに出すことや時間を守り常に5分前行動をし勉強は毎日コツコツ進め予習復習に取り組み期末考査は手を抜かずに力を入れました。そして私が学校で生活していく上で気づいたことは積極的に行動することです。今のうちにクラスや行事などには自分から手を上げて恥ずかしがらず行動に表すことが大事だと感じました。

### ■コミュニケーション能力を 部活動で伸ばしました

二つ目は部活動と検定です。部活動では仲間との協力や自分の意見を主張したり相手の意見を聞いて、尊重することを学びました。私は軽音楽部に所属していて毎年行われる文化祭に参加していました。演奏する曲を決めるとき必要になるのがチームワークで私はこうしたいという意見があっても周りを優先してしまうところがありました。しかし私はこのまま流されてはいけないと思い自分の意見を伝えたところ周りは快く受け入れてくれ、私はそこで自分の意見を伝えることを知りました。活動面では後輩に分かりやすく教えたり部長や副部長を支えてきました。検定では自分から率先して英語検定や数学検定に挑戦し自分が出来ることを増やしていきました。検定や資格は将来的に有利になってくると思うので今できる範囲で挑戦していくのも良いと思います。

最後に私が思うことは早めに自分の方向性を決め、大学の情報を資料請求やオープンキャンパスを利用して集めておくことと普段の学校生活の行い、期末考査などで点数をとっておくことだと思います。そして一番大切なのは大学は周りが決める所ではないのでしっかりと自分の意志で選び人生を拓くことです。

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
六郷中出身

## 大学で専門分野を集中して学ぶために 高校では良い評定を維持しましょう

### ■部活動で特技が磨かれ 息抜きにもなりました

私が大学進学を目指した理由は、将来の選択肢を増やすためです。高校までの知識で就職をするより、大学を出てから就職をした方が知識量も多いので進学を決めました。しかし、興味のない道へ進んでも途中で飽きてしまっただけでは意味がないと思い、小学校の頃からデザイン系の仕事に就きたかったのでデザインを学ぶことができる大学を選びました。私は中学3年生の時から、仙台育英に入学し、指定校推薦で大学を受験したいと考えていました。そのため高校1年生の初めの定期テストから気を抜かず、大学受験が終わるまでの3年間、自分の中で納得のいく成績を維持し続けました。また、勉強だけでは推薦を取るのに厳しいかも知れないと思い、部活動は軽音楽部に所属しました。私は幼稚園の頃からピアノをやっていたため、それを活かしキーボードを始めました。毎日部活動へ参加はできませんでしたが、自分の特技をさらに伸ばすきっかけになりました。軽音楽部は自分が行ける日だけ行っても大丈夫で、部員の雰囲気も良かったため、息抜きにもなる良い時間でした。それだけでなく、新しいことに挑戦したことで自分の技術向上にも繋がる自分に合った部活動でした。

### ■定期考査対策を軸に勉強し 確実に成績を残しましょう

私は普段からコツコツ勉強するのが苦手なのでテスト前につめこんでいましたが、それだとテストが終わった後すぐ忘れることが多いです。しかし、次の範囲に進む際、前の範囲を理解していないといけませんがほとんどなので、ワークを使用し復習していました。特に理科系の教科は復習が大変になります。私は数学が得意だったので理系に進みましたが、高校3年生の最後まで、1年生で習った知識を使いました。暗記教科は苦手でしたが、読みながら書くをずっとやり続けていました。正直、将来使わない知識も多いとは思っているので、テストがあるごとに勉強していました。テスト前に勉強して成績を維持し、大学で本当に学びたいことを学べるようにそれまで成績は落とさせませんでした。年に4回のテストさえ頑張れば、自分の学びたい分野を集中的に学ぶ事ができるので、大学進学を目指す人は成績維持は確実にやった方がいいです。また、3年生に入ってすぐの校内模試ではある程度高い点を取れば、指定校推薦を取れる確率も上がるので、過去問を4年分解き直して勉強しました。2021年度からは英語の出題が共通テスト型式になったため、少し難しかったですが、しっかり対策をして校内模試を受けることが大切だと感じました。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科言語聴覚学専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
矢本第一中出身

## 友達と一緒に学んだり笑い合い、 とても充実した高校生活でした

■平日は授業の理解に充て  
休日は復習に注力しました

私が大学を目指したきっかけは4年間で豊富な知識を得て、亡くなった祖父との約束を叶えるためです。

東北文化学園大学は高校1年の時の面談で先生から勧められて志望し、そこから推薦を取れるよう努めました。1学期の面談では点数がギリギリと言われたので、2学期の期末テストでは得意な教科はノートにまとめ復習したり、苦手な教科は基本的な部分を繰り返し復習したことで、1学期のテストの点数より上げることができました。そして無事指定校推薦を頂き、仙台育英の代表としての心構えと入試に向けて面接練習に力を入れました。面接練習だけでなく学校の授業も怠らず両立しました。また、大学進学を志望するにあたって、この大学に入りたいという心構えで面接練習などに取り組んできました。勉強時間は平日では2～3時間で、休日は4～5時間勉強に取り組んできました。内容としては、授業で習った部分を教科書で確認してノートにまとめたりするなどに力を入れてきました。長期休暇期間・休日の活用法は1, 2年生の時のやってきた部分の復習や、3年生の授業で分からなかった部分、そして次にやる授業の予習・復習をやることを活用法にしていました。

■勉強できる環境や設備、経済面なども  
志望大学を決めるにあたり大切です

受験大学を絞り込むにあたって、どのような配慮・検討をしたか、2つあります。まず1つ目は、自宅から通えるという点です。県外の大学だと授業料だけでなく一人暮らしをするお金も無いと駄目なので、自宅から通えた方がいいということです。2つ目は、私が入学する大学では、学習環境や設備が十分あるので安心して勉強に取り組むことができます。この2点に私は配慮しました。

私はこの仙台育英での3年間は、友達と一緒に学んだり笑い合い、とても充実した高校生活でした。

大学ではコミュニケーション能力や相手との協力が必要になってくるので、学校生活で練習した方が良いでしょう。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科視覚機能学専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
折立中出身

## 先生方からの進路についてのお話は 重要なのでしっかり耳を傾けましょう

### ■部活動に没頭したあまり 勉強が疎かになっていました

私は指定校推薦入試で志望大学に合格することができました。私が指定校推薦を受験する上で最も大切だと思うことは、勉強は少しずつでもいいからコツコツすること、早めに志望大学を決めて受験方法も決め、余裕をもって生活することです。推薦は高校3年間の自分の行動、努力を評価するものだと思います。推薦するところがなければ推薦入試が受けられないため、受験する学校が定めた評定より余裕をもった成績を取った方がいいです。

私は高校1,2年生の頃は所属していた書道部での活動に没頭し、勉強はテスト前日しかしていませんでした。その結果、評定はとても低く志望大学が定めた評定に全然達しませんでした。このことに気付いたのは2年生の後半だったため、4学期の期末考査は頑張って良い点数を取ることができました。しかし、今までと平均するとはまだまだ足りませんでした。最終的には3年生での期末考査で少し巻き返すことができ、無事志望大学への受験資格を得ることが出来ました。私のようにギリギリに焦るよりも、入学当初から少しは勉強を頑張るか、すぐ志望大学を決めて、それに合わせた生活をした方がいいです。

### ■1年から努力を続ける姿を 周りにアピールしましょう

進路についてLHRの時間や小論文の時間などで、先生方から入学当初から話をされて資料を渡されることがたくさんあると思います。その時私は「受験はまだ先のことだ」と聞き流していました。しかしそれは間違いで、本当に本当に重要な話をしていたのだと後悔しました。話を聞いていなかった私は受験シーズンになって色々やらなければいけないことをギリギリで進めました。先生方にたくさんの迷惑をかけました。自分のためにも周りの人々のためにも、受験について理解を深める必要があります。

ここまで話が転々としてしまいましたが、全部の話に共通するのは、1年生の頃から色々物事を進めた方がいいということです。これは推薦・一般に関わらず全生徒に言えることです。努力は必ずどこかで認めてもらえます。認めってもらうために精一杯頑張って周りにアピールしてください。また、私は志望大学のオープンキャンパスに同じ見目で何度も行き、教授に顔を覚えてもらおうとしました。意欲、気合いをアピールすることも少しは大事なのかもしれません。私は面接の時まで顔を覚えてもらうことができました。皆さんのことを心から応援しています。頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
郡山中出身

## 先生とイメージトレーニングを繰り返し 本番の面接はとても上手く行きました

■ 普段の学習を怠っていた部分を  
3年生で必死に頑張りました

私は、指定校推薦型で大学受験を受けました。指定校推薦型ではまず、校内選抜を勝ち抜かなければいけません。しかし、私は2年次が修了するまで定期考査の試験勉強や、校内模試などの試験で手を抜いて取り組んでしまっていました。そのため推薦を取るために必要な評定平均値まで達していませんでした。担任の先生にこのままでは指定校推薦を取れないと聞いて、とても焦ったことを覚えています。3年に上がってからは指定校推薦枠を勝ち取る為に定期考査の試験勉強、そして校内模試で上位を取るための勉強をひたすらしていました。

■ 対策プリントに何度も取り組むと  
成績が一気に伸びました

定期考査での点数をあげるために私が行った勉強方法は対策プリントをひたすらに解きまくると言うものでした。幸いにも英進進学コースの先生方は私達生徒のために対策プリントなるものを作ってくれます。その各教科の先生方によって作られた定期考査用の対策プリントをひたすら解きまくって、そのプリントの正答率を引き上げると言うものです。テストの問題は対策プリントの問題から出題されることも多く、対策プリントの正答率をあげれば比例してテストの点数も上がるからです。そして、もうひとつ心がけていたことは、午前2時になったら必ず寝るということを徹底して行っていました。それ以前まではそれよりも遅くまで起きて勉強をしていましたが、勉強後はしっかりと睡眠を取ると言うことを心がけるようにすると成績は2つの定期考査の間でグッと伸びました。

そして、入試が近くなると、空き教室やゼミを活用して先生方が面接練習をしてくれます。私は担任の先生に「予想される質問の答えを丸暗記して覚えて答えようとするのはダメ。キーワードごとにまとめて頭に入れ、自分の言葉にして話すこと」とアドバイスをいただき、先生を相手にイメージトレーニングを繰り返したのが役立ち、本番では詰まらずに自分の意見を述べることができました。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
宮城野中出身

## 看護系は新型コロナウイルスについて 詳しく知り考えをまとめておきましょう

### ■授業に真面目に取り組めば

基礎はしっかり身に付きます

私が大学合格のために頑張ったことは勉強です。部活動に所属していなかったため、学力で差をつけるしかありませんでした。そこで一番大切なのは日頃から勉強することです。普段から勉強していないと長時間勉強することは不可能だし、何より学習内容を理解することが出来ません。私が焦り始めたのは高校2年生の冬でした。それまでは査前しか勉強しておらず、解き方もこれでいいかなぐらいの軽い気持ちでいました。分からない問題があっても放っておくこともありましたが、答えを暗記することもありました。だから、1年、2年の復習をする時は基礎を身に付けていませんでした。基本的な問題や単純な問題は解けても応用問題は一切解けませんでした。そこで学んだのは普段の授業を真面目に受けることの大切さです。授業は応用問題を解く時間はあまりなく、公式内容や基本的な説明が多いです。だから、授業を聞くことで基礎学力を身につけることが出来ます。授業を真面目に聞き、その日のうちに復習することが大切なのです。しかし、部活動で時間が取れないという人もいます。そういう人は授業が早く終わったときや、なかなか先生の来ない空き時間に勉強するのが良いと思います。先程も書いた通り、日頃から勉強することが大切です。私は高校3年生になって後悔したのでぜひ気を付けてほしいです。

### ■面識の無い先生方にも

面接練習をお願いしました

私は指定校推薦で受験しました。受験内容は面接と口頭試問でした。面接練習で気を付けることは多くの先生と行うこと、また、その際、知らない先生とも行うことです。実際の受験では質問の仕方が練習とかなり異なっていました。本番になると緊張してしまい質問の意図を理解するのが大変です。だから、さまざまなパターンでの質問方法に触れておくことが大切です。口頭試問については、私は看護学科なので他の学科は分かりませんが、コロナのことを十分理解しておくことです。また、その際、日常生活に結び付けて考えることも必要です。その対策は意味があるのかなどといった全てのことに自分の考えを持っていると良いと思います。

受験する皆さん、頑張ってください！

東北文化学園大学 経営法学部 経営法学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
柳生中出身

## 評定や資格取得だけではなく 常に受験を意識して過ごしましょう

### ■映画の字幕を活用して 英単語を暗記しました

私は指定校推薦入試を得るために大きく分けて3つの努力をしました。1つ目は英語の勉強です。私は英語が得意だったのでその能力を伸ばし、資格を得ようと考えました。日常にもそれを取り入れました。朝、学校に行く際の電車では単語帳を読んで英単語を少しでも覚えようと努力しました。又、映画を見る際も字幕で見て、気になる単語や発音があったら調べてアウトプットしました。それらを見る際はなるべく心の中で英単語と発音を合うように心がけながら視聴しました。その結果、私は実用英語技能検定準二級に合格することが出来ました。

2つ目は評定です。指定校推薦では評定が一定数ないと資格を得られないので、評定を上げるために様々な工夫をしました。例えば、英語や世界史の小テストなどはしっかりと予習復習を予めやっておき、それ以降も自身の知識として定着させる事を意識し、平均点を取れるように努力しました。他にも、授業中で意見を求められたら積極的に自分の考えを話すようにしたりしました。また、定期テストではワークなどの提出物をしっかりと出すようにして、内申点に響かないように心がけました。

### ■ディスカッション等では 積極的に発言しました

3つ目は生活態度です。遅刻はもちろんのこと、早退も極力しないように体調管理をしっかりと次の日に備えるようにしました。また、服装髪等もきちんと整え、人前に出ても恥ずかしく無いように精進し、日々を過ごしました。また、日常的なクラスメイトの友好関係も大事にし、コミュニケーションを積極的に図り、グループディスカッションでも意見を言えるようにしました。仲の良い友達とも授業中に話し合いの機会を求められたら話し合い、見解を述べました。以上が私が受験資格を得るためにした大学体験記です。

東北文化学園大学 工学部 知能情報システム学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
高砂中出身

## 授業以外でも気が緩まないように 落ち着いて行動するよう心掛けました

### ■実際に大学に足を運び 講義などを体験しました

私が大学進学をめざしたきっかけは、オープンキャンパスで実際に大学を訪問したことです。写真や文章だけでは分からない部分を知ることができました。例えば、大学の講義を体験したり、校内を回ったりしました。

そして、推薦入試をめざした理由は勉強があまり得意ではないからです。そこで、面接や小論文で補えると考えました。そのために心がけたことや、努力したことは生活態度です。問題を起こしてしまうと、推薦は厳しくなります。選択肢が一つなくなる可能性が高くなるので、生活態度を気を付けました。特に、休み時間や授業が早く終わった際に、気持ちがゆるくなってしまうので、落ち着いて行動することを意識しました。また、移動教室のときには、遅れないようにすることも大事だと思いました。また、学校をなるべく休まず登校し続けて、色々な授業に参加しました。義務教育ではないので、授業に参加する姿勢が推薦にも良い影響があったと思いました。

### ■新しい環境での高校生活で 成長を実感しています

そして、授業中での態度も重要だと思います。特に授業中は顔を上げて聞くことです。また、課題の期限を遅れないようにすることも大切です。テストの点数に平常点が加わり、成績が変わるからです。なので、授業中の態度と課題の期限が大事です。

その他にも、情報処理検定の3級に挑戦しました。2級は取得できませんでしたが、面接で資格について問われたので、取得しても良いと思いました。

そして、受験大学を絞り込むにあたって配慮や検討したことは、学べる内容と家からの距離です。学べる内容は興味があるものを選んで、距離はなるべく近い方が良いと思いました。近ければ、季節にも影響されにくいからです。

私にとっての高校生活は、成長です。周りの環境が変わり、今まで通りではなくなったからです。

そして、合格できるように頑張ってください。

東北文化学園大学 工学部 建築環境学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
富沢中出身

## 仙台育英での様々な体験を通して 将来の目標がきっと見つかります！

### ■ 課外授業に積極的に参加し

視野を広げるよう努めました

「大学に進学する」入学当初、進路に対する私の考えは、このような漠然としたものでした。将来ビジョンが全く見えず不安でしたが、自分が目指す方向性が決まった時に焦らず対処できるよう、日々の高校生活で取り組んでいたことがあります。

1つ目は、視野を広げるため仙台育英独自の課外授業に積極的に参加したことです。専門の先生の高度な授業が受けられるのが特徴で、「サイエンス・コ・ラボ」では、初めて触れる実験器具に驚き、貴重な体験ができました。英語の放課後講座では、外国の先生の生の英語を耳にし、聞く力が養われました。

2つ目は自分のスキルアップのため、資格取得に力を入れ、英検・数検・漢検のすべて2級合格を目標としました。こちらは大学入試の面接の際、話の種ともなりました。

3つ目は授業で習ったことは、その日のうちに復習をする、これを毎日徹底しました。

### ■ 授業の題材をきっかけに

建築学に関心を持ちました

仙台育英には素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃいます。先生の話に耳を傾け、いろいろな体験をすることで新しい発見があるかもしれません。私の場合、普段の何気ない英語の授業の中に、進路を決定するきっかけがありました。ある建築物を取り上げた授業内容だったのですが、この建物にとっても興味を持ち、建築学の観点からもっと詳しく学びたいと思うようになりました。このことが指定校推薦への道へと進んでいきました。

最初から目標を明確にできなくても、このように充実した高校生活を送ることで、見えてくることが多々あるように思います。身近なところにこそヒントが隠されているのかもしれません。そして日々の積み重ねが大事だと思います。

仙台育英はたくさんの方が体験できる素晴らしい高校です。「実体験に勝るものはなし！」興味のあることもないこともまずは、自分の目で見て感じてみて下さい。これが何よりも大切なことだと私の実体験から、そう思いました。

東北文化学園大学 工学部 臨床工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
岩沼中出身

## 意志を強く持つことが大切であり 進路決定のカギになります

### ■患者に寄り添い地域医療に 貢献していきたいです

高校1年生の時、私は医療系の道に進みたいという漠然とした目標しか持っていませんでした。そして高校1年生の冬から、新型コロナウイルスが世界中で流行し始めてしまいました。コロナ禍で学校に通えずオンライン授業の日々が続く中、私はマスメディアを通じて“生命維持管理装置を操作できる臨床工学技士が不足している”事実を知りました。当時の私は、臨床工学技士について知識が無く、数日にわたって臨床工学技士とはどのような仕事をするのか、そして必要な資格を調べました。調べていくうちに、臨床工学技士の資格は比較的最近できたものであり、高齢化が進んでいる日本ではより需要が高くなる職業であることが分かりました。最終的に“患者さん1人ひとりに寄り添えるいのちのエンジニアとして地域医療に貢献する！”という明確な進路目標を決めたのは高校2年生の秋でした。しかし、高校3年生の夏、母に本当に臨床工学技士になるのか、そして新型コロナウイルスに感染するリスクが高くなるため心配だ、と言われました。この言葉がきっかけで、私は夏の三者面談直前まで進路目標を変更するか、それとも変更しないか本気で悩みました。悩み抜いた結果、私は進路目標を変更しませんでした。

### ■一度迷って悩んだ末に 意志を貫く決意をしました

ここまで読んで下さった方の大半は「進路目標の決定に至るまでの経緯は分かったけど、結局何が言いたいのか？」と思われるかもしれません。私が一番みなさんに伝えたいのは「自分の意志を強く持つことが大切だ！」ということです。先にも書きましたが、私は母の一言で進路目標を本気で迷い、悩みました。しかし私は、幼い頃からたくさんの病院にお世話になり、優しく励ましてくれた医療従事者の方々のことが頭から離れず、小学生の頃から医療系の道に進みたいと考えていました。この強い意志が、私の進路決定の大きな“カギ”となったのです。進路を決めるにあたり保護者の方と話し合うのは欠かせません。しかし、最終的には自分の意志で自分自身の進路を決定して下さい。自分以外の人に言われた道を進み上手くいかなかった時、後悔するのは自分以外の人、ではなく、自分自身です。是非、このことを頭の片隅に入れておいてほしいと思います。

私が東北文化学園大学の臨床工学科を志望大学に決めた理由は、宮城県内に臨床工学科を設けている唯一の大学であり、実習環境がとても整っているためです。前者はインターネットで調べて分かりましたが、後者はオープンキャンパスに参加したことで分かりました。志望大学を考える際にはオープンキャンパスに参加して下さい。実際に足を運ばないと分からないことがたくさんあります。

最後になりますが、自分の人生を決めるのは自分です。1人でも多くの方に自身の夢を実現するための道を切り開いてほしいです。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
中野中出身

## 分かりやすいご指導で理解が深まるので 先生方にどんどん質問しましょう

### ■先生方に放課後も ご指導いただきました

私は、指定校推薦で東北文化学園大学に合格しました。指定校推薦の受験資格を獲得するにあたって大切な事は授業態度や学校での生活態度を良くすることです。指定校推薦において最も大事な評定はテストの点数も関わりますが、授業態度が一番大事だと思っています。提出物を出し、ノートを取り、先生の話も聞く…これら全てを『しっかり』とこなせばテストも平均点より上を目指せると思います。テスト前は各教科の先生から出される対策プリントやワークに取り組み、自宅や放課後の教室で勉強をするといいでしょう。放課後も付き合っ勉強を教えてください先生もいらっしゃるので、先生に直接教えていただくと自分で勉強するよりも格段に分かりやすく頭に入ります。先生に直接聞く事も大事です。私はその勉強のおかげで指定校推薦を獲得することができました。

### ■面接は練習を積み重ねれば 自信がついていきます

指定校推薦を獲得した後は面接練習に励みました。私は面接を今まであまりやってこなかったのが不安でしたが、放課後、担任の先生に面接相手をしていただき、自分の弱い所や自分の強みをはっきりと言ってもらいました。先生もあらかじめ聞かれるであろう質問を想定して下さって、いろんなバリエーションの質問に答えられるようにしました。担任の先生以外にも、部活の顧問の先生や友達などにも相手をしてもらいました。部分的に想定した答えを暗記し、試験当日に臨みました。面接では試験監督が2人で30分間面接をしました。面接は最初が肝心なので緊張しながらもハキハキとした声で面接を受けました。いざ面接が始まると試験監督の人も優しく、そこまで緊張することなく受けることが出来ました。志望理由も対策してきた通りの回答もできました。面接に慣れるには学校でしっかりと場数を踏んで何回もやり自信をもつことが大事です。

最後に、指定校推薦で受験する人に。仙台育英は人数が多いので、その分競争になることもあります。しっかりと勉強をして自分の目指す大学へ1人でも多く行けるよう頑張ってください。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
大郷中出身

## 3年間でコミュニケーション能力や 積極性を伸ばすことができました

### ■英進進学コースに編入し 大学合格を目指しました

私が大学進学を考え始めたのは、高校1年生の頃でした。私は当時技能開発コースに在籍していたのですが、より良い環境で勉学に励むため2年生から英進進学コースへ編入しました。初めは新しい環境に対して不安もありましたが、新しい友達も増え、充実した学校生活を送ることができました。

そして私は、指定校推薦をもらい大学に合格しました。指定校推薦をもらうために力を入れてきたことは、定期テストで良い結果を維持することと、授業に集中して取り組むことです。定期テストでは苦手教科に重点を置いて勉強するなどの学習計画を立て、テスト勉強に取り組んでいました。また授業で話された大事な所や解き方をしっかり確認することで、効率良くテスト勉強に取り組め、結果を維持することができました。それから普段の生活態度に気を付けていました。遅刻や欠席をなるべくしないように心がけることが大切です。

### ■先生方のおかげでコロナ禍も 毎日が充実していました

指定校推薦が決まった後は、試験に向けた面接練習に入りました。面接練習では様々な質問のパターンを想定し、何度も繰り返し練習しました。先生方も親身になってアドバイスなどを与えてくださり、しっかり面接対策を行うことができました。そして面接本番では緊張はしていましたが、練習の甲斐もあり自分の意欲をしっかりと伝えることができました。

仙台育英での3年間は、コロナによる様々な影響もありましたが、オンライン授業などの先生方の対応のおかげで、楽しく充実した日々を送ることができました。また、この3年間で新しい人間関係の構築やコミュニケーションの取り方、自分から積極的に行動することの大切さを学ぶことができました。私はこれから大学でも仙台育英での3年間を活かし、多くのことを学び一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 進路を具体的に決めていないならば 合同説明会にぜひ参加しましょう

### ■入学後の合同説明会で 進学を志しました

私が、大学進学を目指したきっかけは合同学校説明会に参加したことです。高校に入学してすぐに行った説明会では、1年生ということもあり、細かく自分の進路が決まっていなくても気軽に参加して話を聞きに行けました。決まっていない人ほど最初のうちに一度行っておくと安心です。また、空いている説明場所にどんどん入っていくことで一つの分野に偏らずに様々な分野の学校の説明を聞くことができ、自分が学びたい分野は何なのかを明確にすることができます。まだどの学校がいいか、大学か専門学校かなど悩んでいる場合は、一度行ってみることをお勧めします。合同説明会に参加すると一度に5箇所ぐらいの学校の説明を聞くことができるので、そこから気になった学校のオープンキャンパス等に参加するとスムーズに学校選択ができるかなと思います。

### ■先生方に積極的に質問し 疑問をその場で解決しました

次に、私は入試方法を学校推薦型に決めて受験の準備を進めて行きました。学校推薦型では調査書と面接を行うところがほとんどなので、3年生になった時に評定で焦らないためにも、1年生の定期考査から苦手なところを作らないように勉強を進めていくといいと思います。仙台育英の先生方は、優しく教えてくださる方ばかりなので、積極的に聞きに行くことをお勧めします。また、テスト期間になると放課後に教室や廊下にある机を利用して勉強をする人が増えていきます。友達と一緒に勉強して、分からないところを教えあったりすることでお互いに切磋琢磨して取り組むことができ、やる気も続くとと思います。面接対策としては、学校行事に積極的に取り組んだり、課外活動を行うと話す内容をまとめやすいと思います。今は、感染症が流行していてなかなか行事も行えていないと思いますが、そのときには検定取得や、映画や文学作品に触れておくとか自分が何を頑張っていたのかを説明しやすいので、面接でも話せると思います。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東仙台中出身

## 部活動で学んだ最後までやり通す力が 入試に大いに役立ちました

### ■苦手科目は分からない所を 把握することに努めました

私は、指定校推薦の枠を使い、東北文化学園大学に合格することができました。指定校推薦の受験資格を得るために私は様々な努力を積み重ねてきました。最も力を入れたことは学力を向上させ、それを維持することでした。指定校推薦で重要視されるのは学力ということもあり、得意科目だけでなく、苦手としている科目にも意欲的に取り組みました。特に私は数学が苦手なのですが、授業に先生がおっしゃったことを書くのはもちろん、復習を大切にしました。復習では、何が分からないのか、逆に何を理解できているのかを明確にすることを心がけていました。そして、分からない部分は基本の問題から取り組み、それでも理解できない場合は、先生や周りの友達に聞くようにしていました。また、得意な国語は現代文をさらに伸ばし、主語を正確に捉えるようにしました。苦手な科目を伸ばす努力ももちろん大切ですが、得意科目にも力を入れると、さらなる強みになると思います。

### ■進路関連のニュースを収集し 口頭試問に備えました

勉強だけでなく、部活動や日々の生活も意識しました。部活動では、何かに臨むときの心構えや、集中力、互いに高め合える仲間などたくさんのものでることができました。特に、何かを最後までやり通す力は試験だけでなく、日常生活でもとても役立っています。日々の生活では当たり前ですが、校則を守り真面目に過ごすことを心がけていました。服装や頭髪を注意されると、先生方からの印象も悪いので気をつけて下さい。

私の受けた学科では口頭試問を含めた面接での試験だったのですが、面接の対策にも力を入れました。口頭試問は今までの例がなく、苦戦しましたが、ニュースや新聞を見たり、目指している業界で起こっている問題などを自分なりにまとめていきました。面接官の先生は、私たちが言葉に詰まっても待っていて下さるので焦らず考えてみてください。

以上が私の合格体験記です。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 技能開発コース卒  
袋原中出身

## 技能開発コースならば学校設定科目を 活用し積極的に検定を取得しましょう

### ■授業を真剣に受けテストで 高得点を取ることが基本です

私は東北文化学園大学現代社会学部現代社会学科に指定校推薦で合格しましたが、指定校推薦を取りたいという明確な目標はありませんでした。なぜなら私は、指定校推薦という枠があることを、3年生になってから認知したからです。こんな私が合格するまでに心がけたことを、ここに書いていこうと思います。まず最初に必要なことは、指定校推薦の枠を仙台育英の中で勝ち取ることです。もちろん希望した全員が、この枠を取得できるわけではありません。この枠を取得するためには、どのようなことをすれば良いのかというと、評定を上げることです。当たり前ですが、真剣に授業を受けていることやテストで高得点を取っていれば評定は上がっていくし、授業中に寝てばかりいたりテストで赤点ばかり取っていると、どんどん評定が下がっていきます。そのためにこれらのことを必ず回避しなければいけません。

### ■面接練習で先生方から頂いた アドバイスはとても重要です

2つ目は、面接練習をすることです。これが一番大事だと思います。私は1回につき15分程度面接練習をしました。毎回異なる先生に面接練習をお願いすることで面接に慣れていくことができ、効果を発揮することができると思います。面接練習終了後にアドバイス頂いた内容をしっかりメモをし参考にしましょう。より良い内容になると思います。

私が最後にみなさんに伝えたいことは、大学や専門学校のオープンキャンパスにたくさん参加してほしいということと、検定取得やボランティア活動に積極的に取り組んでほしいということです。検定に関しては、学校設定科目などで取得できる検定がたくさんあるので活用してみてください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
向陽台中出身

## 周りに流されず試行錯誤しながら 自分に合った勉強方法を見つけましょう

### ■自分に向いていると思い

指定校推薦に挑戦しました

私は中学の時に興味を持った職業がきっかけで大学進学をめざしました。ただ私は、高校入試の際に自分が本番に弱いことを自覚していたので、指定校推薦を取るという目標ができました。まず、指定校推薦を取るには評定を取ることが必要です。そのため、定期考査で点数を取るために1カ月前にテスト勉強を始めていました。もちろん、定期考査だけではなくとも勉強に取り組むことが大切です。

部活は2年生の頃に入りました。しかし、コロナの影響であまり活動ができませんでした。コロナが流行る前より後の方が、より自主的に動くことが重要になります。活動があまりないということであれば、他のボランティア等に参加してもよいと思います。

勉強方法に関しては、やはり人それぞれなので、試行錯誤しながら自分に合うやり方を見つけていけば良いのではないのでしょうか。

合格後は大学で必要な科目に取り組んでいます。この時期に苦手な単元はなくしておいた方がいいです。

### ■登校機会が減った中で

主体性などが身に付きました

私の高校生活はオンライン授業が多かったので、学校に来ていた記憶があまりありません。そういった環境下だったので、計画性や主体性が以前より伸びました。おそらく、私が受験に成功した要因もそこだと考えられます。

目標に向かって頑張ることも大切だと思いますが、ある程度の娯楽があった方が楽しく過ごすことができます。そのバランスを見て、自分が快適に過ごせる環境を作ってください。

最後に、指定校推薦をめざす人は11月から2月辺りまで指定校推薦のイメージについてYouTubeなどで調べることはあまりおすすめしません。受験勉強は人それぞれです。しかし、一般受験の人と推薦での人は学力の差がついてしまいがちです。なので、受験対策の際に協力をしてくださった先生方や、支えてくれた家族に感謝しながら根気よく勉強を続けて行きましょう。

東北医科薬科大学 薬学部 生命薬科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
八乙女中出身

## 推薦入試を考えていなくても積極的に 校内外のイベントに参加しましょう

### ■早く合格して大学の勉強の 準備をしたいと考えました

私がこの大学を受験しようと考えたのは、私が興味を持っている薬について生物系の科目などを含め多角的に学べるからです。また、私は生物を履修していなかったのですが大学では生物の知識も必要だったため、指定校推薦で早めに合格して生物の勉強をしたいと考えていました。

指定校推薦を取ろうと決めたのは3年生になってからだったため、1, 2年生の定期テストも手を抜かずに取り組んでおいて良かったと感じました。校内選考を通過するために英検2級をとり、メディカル・コ・ラボに参加し、校内模試の過去問を解きました。英検は必要になる大学も多いため、推薦を考えていなくても2級くらいまで取っておくといいと思います。イベントに参加することも校内選考用の自己推薦書や受験の小論文、面接に活かすことができるため、興味のあるイベントに積極的に参加することが大切です。特に、私の年はコロナ禍だったので学校行事がなく、調査書に書かれる内容もイベント参加がなければ少なくなってしまうかもしれません。何があるかわからないので早いうちから機会を逃さないようにしておくといいと思います。校内模試は校内選考においてとても重要なので、事前に配布される過去問を解いて対策をしました。

### ■周囲への感謝を忘れず 努力を続けていきます

指定校推薦の枠をとってからは、小論文と面接対策を行いました。小論文は事前にテーマがわかるため書いて先生に添削していただき修正するというのを繰り返し最後は暗記しました。面接対策では、先輩たちがされた質問も参考にして質問を予想し回答を考えておき、先生と実践形式で練習を行いました。また、友達と休み時間にも練習し、無事合格することができました。

この合格は、先生方や家族など周囲の協力があってこそのものだと思います。この感謝を忘れずに大学入学へ向けて勉強を続け夢に近づけるよう努力していこうと思います。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
岩沼北中出身

## お世話になる先生方への感謝の気持ちを 常に持って受験対策に励みましょう

### ■分からない所は先生や友達に 質問しその場で解決しました

私は、推薦入試で大学受験を受けるために高校3年間努力してきたことがあります。

まず一つ目は、毎日の授業に出席し積極的に授業を受けて、高校3年間定期テストで点数をおとさずに高得点を取り続ける事です。当たり前のことですが、日々勉強に取り組み3年間実行し続けていくことは大変です。私は、毎日の勉強時間を確保するために朝と放課後の時間を活用して学校の自習室を使って勉強しました。そして、分からない問題があった時は、その教科が得意な友達や先生に質問することで自分の苦手な部分を解決してきました。そうすることで、前回の点数よりも全ての教科で高い点数を取ることが可能になりました。

二つ目は、指定校推薦を貰うために校内模試に向けて勉強したことです。校内模試の過去問を初めて解いたときは、各教科で点数がとれませんでした。試験当日までに高得点が取れるようにと思い、私は校内模試の過去問6年分を3回解きました。何回も回数を重ねるごとに理解度が高まり、各教科のポイントや傾向を押さえることができました。そして、自分の苦手な部分を理解した上で時間配分を考えることで本番では、落ち着いて解くことができ、自分の力を発揮することができました。

### ■先生に英文の小論文を 丁寧にご指導頂きました

三つ目は、推薦入試に向けて小論文と面接対策をしたことです。私は、英文学科の小論文の英文を理解することができず日本語で要約し言葉で表現することが凄く難しかったです。英語の先生に多くの過去問を何回も添削していただき、放課後に沢山のアドバイスや疑問点を丁寧に分かりやすく教えて頂きました。私は、自分が直すべき部分に気づくことができました。また、面接対策では英語と日本語の面接練習をそれぞれ先生方に行って頂きました。面接では、緊張して自分が思っている以上に話すスピードが速くなることや自分の意志を簡潔に伝えることなどをまとめることが大変でした。でも、何度も自分で自分が何を伝えたいかについて考え直し、何回も繰り返し練習することで自信が付き改善することができました。

日々の生活で勉強などをやるべきことをしっかり続けることや自分の行きたい大学に向けて前もって勉強しておくことが大切だと思います。受験対策では、沢山の先生方にお世話になるので、感謝の気持ちを忘れないことが大切です。様々なことに一生懸命に取り組み、高校生活を楽しみながら充実した3年間にして下さい。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 部活動に真剣に取り組んだことが 経験値を高め武器になりました

### ■得意教科と苦手教科の 学習配分を工夫しました

私は英語を得意としていたため、大学では英語を学び、将来は英語を生かせる仕事に就きたいと考えていました。そのため、定期考査では特に英語の成績を落とさず、良い点をキープするために毎日欠かさず単語や文法の勉強や授業の復習・予習をしていました。また、私は指定校推薦での受験を考えていたため、英検などの資格の勉強にも力を入れていました。そして私は高校生の中で英検準2級を取得することができました。また、全体的な成績をいい状態でキープするために、苦手教科も良い点数が取れるよう勉強の時間配分や取り組み方も自分で考えて取り組んでいました。苦手教科には特に時間をかけられるように、得意教科は習ったその日に復習をして、頭にインプットされやすいようにしたり、次習う範囲を予習をし、習っている際に理解しやすいようにするなどの取り組みをしていました。この取り組みのおかげで、苦手教科も良い成績を出すことができ、全体的な成績においても良い成績をキープすることができました。

### ■部活動で疲れても勉強を 絶対に疎かにしませんでした

そして、私は部活動にも力を入れていました。新型コロナウイルスの影響で、部活動の活動の自粛を余儀なくされ、遠征や大会も軒並み中止になってしまいました。正直、悔しくてたまりませんでした。自分たちにできることを見つけ、できる限りの努力をしました。部活動に真剣に取り組んだことは、私の経験値を高め、武器になっています。また、私が心がけていたことは、勉強と部活動の文武両道です。勉強だけ、部活動だけとなることが絶対ないように、メリハリをつけて生活することを常に意識していました。部活動が終わり、帰宅したあとすべきことを迅速に終わらせ、すぐに勉強に取り組むようにしていました。どうしてもできないという日は、早めに就寝し、次の日の朝に早く起床し、朝勉強という形で勉強していました。このように、言い訳にして、どちらかが秀でて、どちらかが疎かにならないように心がけていました。このような努力を重ねた結果、自身の目標とする大学に指定校推薦で合格することができました。高校生活で得た経験や積み重ねてきた努力をこれからの大学生活に生かしていきたいです。

宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
増田中出身

## 疲れたり飽きてしまうことがあっても 地道な努力の積み重ねが最も大切です

### ■国語教諭に必要な素養が

習得できるところに惹かれました

宮城学院女子大学を目指した理由は、日本の文化や文学、言語について、専門的知識をインプットするだけでなく、表現としてアウトプットする手法を学べる、東北地方では数少ない大学だからです。その他の点として、私は将来国語の教諭になりたいと考えています。国語教諭の資格を取れることはもちろん、他にも様々な免許、資格を取得することができる場所に魅力を感じたため入学したいと思いました。

2年生の頃から宮城学院女子大学に入りたいと思うようになり、宮城学院女子大学について調べていた際、指定校推薦があることを知りました。そこから私は指定校推薦で受験したいと思うようになりました。指定校推薦で受験できるように、国語の学習に力を入れ少しでも高い点を取れるように努力しました。国語だけではなく、その他の教科も疎かにならないよう学習に励みました。その甲斐あり、指定校推薦で受験することができました。

その他に高校生活で力を入れて取り組んできたことは部活動です。良い成績を残すことはできませんでしたが、頑張ってきたことや努力してきたことに意味があると思っています。

### ■小論文や面接は練習を

重ねるほど上達します

受験内容としては小論文と面接がありました。私は小論文を書くのがあまり得意ではありませんでした。そのため、授業内で小論文を書く練習をしてきました。書く練習をすればするほどスラスラ書けるようになっていき、受験の時も最後まで書くことができました。

面接も小論文と同じように何回も練習を重ねていくうちに初めてやった時よりも上手く受け答えができるようになっていきました。何度も同じことをするのはとても疲れるし飽きると思います。しかし、自分の行きたい大学に合格するため、将来なりたい自分になるためには地道に続けていくことが大切なことなんだと思いました。

私にとって大学とは自分の学びたい分野に力を入れて学ぶことができる場所だと思っています。私は入学後今まで学ぶことのできなかった専門的知識を学び、将来に活かしていきたいと思っています。指定校推薦で入学したいと思っている人はこれからの時間を大切に過ごし、今まで以上に勉強に取り組み、目指している大学に合格できるように頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
中野中出身

## 自分に合う勉強方法を工夫して 定期考査を乗り切りました

■進路の選択肢を増やすために  
常に評定を意識していました

入学した当時から評定が指定校推薦に関係することを知っていたので、高校3年生になって大学を選ぶ際に選択肢がたくさんあった方がいいと思い、常に定期考査では高得点を目指し、欠席をせず提出物を出すように心がけていました。私はあまり勉強が好きではなくまた得意では無かったため定期考査を苦手だと感じていたのですが、自分の将来のためにも苦手な勉強をどう克服すれば良いかなど考え改善し、自分に合った勉強法を見つけ効率良く勉強をしました。

■先生のアドバイスに沿って  
声に出して面接練習しました

当日の試験は小論文と面接がありました。高校2年生から小論文の授業があり、そこである程度の知識を身につけていたためそこまで苦労はしませんでした。ですがこの試験に向け、書き方はもちろん漢字や送り仮名も勉強しました。私は大学説明会に行った際に前回の試験の小論文のテーマを貰っていたのでそれとそれに似たテーマの小論文をひたすら書いて本番に備えました。

面接は私の学科は何が聞かれるかなどのデータはなかったため、大学面接で聞かれそうな事をインターネットで調べそれを自分なりにまとめ頭の中で整理しながら話す練習をしました。頭の中で出来ていても声に出さないと覚えないと先生からアドバイスをもらったので、家では親に聞いてもらい学校では先生に練習相手になっていただき、声が出せる状況である時は一人で呟いて練習をしました。要点だけまとめることによって自分なりに自然に面接官の方に思いを伝えることが出来ました。

指定校推薦での大学受験を考えている方は、定期考査を真面目に取り組み、試験の内容を前もって確認し余裕を持って練習することが大事だと思います。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
中野中出身

## 何でも相談できる先生方の存在が 受験での心の支えになりました

### ■友達と一緒に取り組んだので 勉強がとても捗りました

私がこの大学に決めたのは、人間の心理学にとっても興味があり、私が学びたい分野にぴったりの学部があったからです。私はインターネットで心理を学べる大学を探していたときにこの大学を見つけ、指定校推薦一覧を見るとその大学があることを知り、興味を持ちました。それから調べていくうちに私にぴったりの学部であることを知り、この大学に指定校推薦でいくことを決めました。その時3年生の夏頃だったので、周りとは比べると少し遅かったと思います。

まず、指定校推薦をとるためには校内模試が一番重要です。その模試の順位で上から決まっていくので、指定校で決めたい人は勉強をしっかりとしなければいけません。私も成績を上げるため、学校で閉門時間ギリギリまで残って勉強しました。私は高1のときから仲のよい友達と一緒に勉強していたので、苦ではなく楽しく勉強できました。友達が存在が私にとっては非常に大切で、そのおかげで勉強できました。そのため誰かと一緒に勉強するとはかどるかもしれません。また、仙台育英の先生はとても親しみやすくお話しやすいので、勉強のことだけではなくそれ以外のことも相談することができ、心の支えになりました。

また、指定校推薦を取るためには、評定ももちろん大事なので、1、2年生の評定をそれ以上下げないように定期テストは力を注ぎました。また、普段の日常生活も真面目に過ごし、信頼を持ってもらえるように努力します。

### ■書類の提出期限が短く 仕上げるのに苦労しました

私の大学は入試までに志望理由書、活動報告書、学修計画書を出し、入試は小論文、面接がありました。一番大変だったのは、志望理由書などの書類の提出です。書類は大学の提出締め切りの10日前に学校に提出するはずだったのですが、締切が早まり、もともと2週間半はあった期間が1週間で完成させなければいけなくなってしまい、とても大変でした。私は毎日書き続けていては提出し、添削してもらおうという行動を必死に行った結果、期限に間に合いましたが、本当に泣くほど辛い期間でした。この経験から書類は1ヶ月前には書き始めた方がいいと思います。

小論文や面接の練習は入試の1ヶ月前ぐらい前から始めました。小論文、面接にはそれぞれ別の先生がついてくれ、とても充実した期間となり、とても役に立ちました。小論文は一つの課題を完璧にするまで次の課題に進めず、何度も書き添削をお願いしました。またストップウォッチを使い時間内に書く練習もしました。その成果もあり本番では自分が納得するものが書けたので良かったです。私を担当してくださった先生はやさしく丁寧に指導して下さい、とてもためになる有意義な時間を過ごせました。日ごとに違う質問をして下さったり、答え方のアドバイスや最初の入り方なども丁寧に教えて下さいました。そのおかげで、本番でも多少の緊張はしたものの、落ち着いてスムーズに答えられました。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高崎中出身

## オープンキャンパスで意欲をアピールし 入試に役立つ情報を収集しましょう

### ■オープンキャンパスに参加し 複数の大学を比較しました

私が仙台育英に進学した理由の一つは、指定校推薦の枠が多いという点でした。そのため、1年次から指定校推薦を目標にして生活してきました。

指定校推薦を得るために3年間通して行ったことは、定期考査で上位を取ることとオープンキャンパスに積極的に参加することです。私はこの3年間の考査で自分に合った学習方法を見つけられたため、比較的高い順位を維持することができました。赤点や点数・順位に大きな差が出ると推薦を取ることが難しくなるため、安定して点数をとる必要があります。先生方からのお話で、よく1年次からの積み重ねが大事だと耳にするかと思いますが、これは本当に大事なことです。また、オープンキャンパスは1年次から参加することをおすすめします。多くのオープンキャンパスに参加することで、進学に対して意欲的なこともアピールできるからです。質問内容のリストを作り、参加した全ての大学で同じ質問をして比較すると、それぞれの特徴が分かりやすいです。

### ■体調管理を怠ったことが 私の受験の反省点です

指定校推薦を得てからは、入試科目の面接と小論の対策に力を入れました。私の場合、オープンキャンパスに参加した際、面接と小論対策講座があり、入試の詳しい話を聞けたので順調に対策を進められました。面接練習は入試の3週間ほど前から始め、入試監督の先生がどんな方が担当となってもいいように男性、女性合わせて5人の先生に見ていただきました。面接はこなした数ほど実力が付きますが、やればやるほど不安になる時もあると思うのでメンタル管理も大事です。小論は過去問を解いて問題の傾向を知り、解答のパターンを作っておくといいと思います。私は表やグラフを使った小論だったので、読み取った情報を文章化する練習をしました。

今回の受験の反省点を挙げるとすれば、スケジュール管理と体調管理が甘かったことです。受験の申請や面接練習のアポなどぎりぎりになってしまったことが多く、もう少し余裕をもって行動するべきだったと思います。また、入試の3日前ほどからのどの調子が悪く、面接練習の詰め込みすぎやケアを怠ったことを後悔しています。これから受験する皆さんは私のように反省点が残らぬよう、早い段階から余裕をもってしっかり準備をして受験に臨んでください。

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科幼児教育専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
亘理中出身

## 高校生活では勉強はもちろん大事ですが 友達とたくさんの思い出を作りましょう

### ■保育士に必要な専門知識を 大学で習得したいです

私は保育士を目指しています。保育士に必要な専門的な知識を学ぶために大学進学を決めました。指定校推薦を目指し始めたのは2年生の後半くらいからです。最初は一般入試で受験することも考えていましたが、志望大学の指定校推薦があることを知り挑戦することにしました。推薦枠を取るために定期考査と校内模試に向けた勉強に力を入れました。特に校内模試の成績は指定校推薦を決める上で重要です。校内模試で良い結果を出すために先生から配信された5年分の過去問を解いたり、苦手な分野は参考書などを使って復習したりして対策しました。5月から6月にかけて英検と定期考査・校内模試があったのですが、特に定期考査から校内模試まではあまり日程がなく、それらの勉強を並行して行うことがとても大変だったのを覚えています。

### ■コロナ禍で友達と過ごす 時間が減ったのが心残りです

無事、指定校推薦の受験資格を得ることができてからは小論文と面接の対策をしました。小論文対策として行ったのは過去問を解いて先生に添削していただくことと、教育や子どもに関するニュースを調べることです。面接対策では、聞かれそうな質問を思いつくだけ書き出し、それにどう答えるかを考えました。面接は聞かれたことに対して自分の言葉で伝えることが大切です。私も答えを丸暗記するのではなく、話したい内容だけを覚えるようにしました。特に志望理由など必ず聞かれそうなことはすぐ答えられるようにしておくといいと思います。その他にも休み時間や放課後に先生と面接練習をして面接時のマナーや話す内容などをアドバイスしていただきました。

ここまで受験についての話をしてきましたが、私には高校生活での心残りがあります。それは友達との思い出作りがあまりできなかったことです。オンライン授業で学校に行けなかったことも多く、修学旅行などのイベントもありませんでした。もちろん勉強は大事ですが、友達と過ごす時間も大切にたくさん思い出を作ってほしいなと思います。

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科児童教育専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
高砂中出身

## 部活動は推薦入試に有利なだけでなく 自分自身を成長させることができます

### ■複数の部活動で積極的に 活動し成長できました

私は1年生の頃から指定校推薦での大学進学を希望していました。そのため、入学当初から指定校推薦の受験資格を得ることを意識し、高校生活を送ってきました。

私が指定校推薦を受けるために努力したことは2つあります。1つは評定を維持することです。指定校推薦では評定基準が設けられており、その基準を満たさなければ校内選考に申し込むことができません。そのため、評定値を落とさないようにするために定期テストは力を入れて学習に取り組みました。

2つ目は部活動や資格取得などに積極的に取り組むことです。私は茶道部と生徒会執行部に所属し、お茶について学んだり、オープンキャンパスなどの学校行事に参加したりしました。部活動に所属することは自分自身の成長にも繋がり、校内選考や大学入試でも有利になるため、所属した方が良いと思います。

また、私は英検2級を取得しました。英検は英語力の向上にも繋がったため、取得して良かったと思います。

### ■本番直前まで面接練習に励み 自信を持って臨みました

指定校推薦の受験資格を得てからは、小論文と面接の練習を行いました。小論文は当日までどのような内容かわからないため、過去問や教育関連の小論文を何度も練習しました。面接練習は受験日の1週間前から様々な先生方と練習し、本番に臨みました。直前まで練習したため、自信を持って受験することができました。自分の苦手な部分を理解し、克服できるまで練習することで自信が付くと思います。

受験当日はとても緊張すると思いますが、今まで努力してきた自分自身を信じ、リラックスして本番に臨んでみて下さい。皆さんを応援しています。頑張ってください。

仙台白百合女子大学 人間学部 人間発達学科子ども発達専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
若柳中出身

## 受験は3年間の集大成！ 積み重ねた努力は裏切りません

### ■生徒会で交流の幅が広がり 毎日とても充実していました

私は高校1年生の頃から指定校推薦を意識し、日々生活してきました。指定校推薦は校内模試の成績でほとんどが決まりますが、だからといってそれだけを頑張れば良いというわけではありません。日々の生活の中で服装を正しく着用するなど学校の校則を守るということも大切です。当たり前のことだと思うかもしれませんが、その当たり前ができていない人もいます。日々、意識して生活するということが大切です。その他にも、私は1年生の頃から生徒会に所属し、活動しました。生徒会での活動で他のコースの人や先生方と関わることができ、とても充実した高校生活を送ることができました。活動によっては調査書などに書けるものもあるので、参加できる活動には積極的に参加すると良いと思います。大学によってはボランティア活動についても書く欄があったりするので、学校から紹介されるものだけでなく、自分で参加できるものをさがすのも良いと思います。

### ■本番は必ず緊張だろうと 想定して準備しました

学校の定期考査については、授業をしっかりと聞き、定期考査へ向けて自分で計画を立て学習すれば問題ないと思います。私は、定期考査の少し前には、苦手教科の先生に放課後ゆっくり教えていただいていたいました。お願いすれば快く引き受けてくださる先生方ばかりなので、遠慮せずにお問い合わせしてみても良いと思います。しかし、どれだけ準備していても本番はとても緊張すると思います。私は過去問を解いたりして、緊張することに慣れるように練習していました。3年間の集大成になるのが大学受験です。努力は裏切りません。勉強頑張ってください。

仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科管理栄養専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
高砂中出身

## 常に妥協せずに努力を続けることが いかに大切かを受験で学びました

### ■合格後も慢心せず進学後を見据え努力しています

私が指定校推薦を受けるにあたって普段の生活で意識したことがいくつかあります。

1つ目は、学校生活における最低限の当たり前を意識したことです。例えば、1日6時間ある授業をしっかりと受けたり、日頃のあいさつを徹底しました。ごく普通のことのように思えるかもしれませんが、人として、仙台育英生としての基本を確立することはとても重要なことだと思っています。大学へ進んだ際にも、在学する大学の生徒としてふさわしい言動を心がけるという点においてこの意識は必要不可欠になると思います。

2つ目は、勉強を怠らないことです。推薦を受けられるか受けられないかに関わらず、普段の学習に加えて、仙台白百合女子大学の一般入試の勉強も続けていました。指定校枠という立場に甘えることなく、自分の基礎学力を確固たるものにすることは大学に入学した後に講義へ参加する際、予備知識を用いることで有意義なものにすることができると思います。

### ■管理栄養士を目指して 大学でも精進します

私が特に大切だと思うことは、自分の置かれた状況に安心し、自分の言動に妥協することなく、努力を続けることです。これは大学受験のみに関わらず、普段の生活においても、社会生活においても重要です。このことを忘れずに心がけていきたいです。

また、大学進学後は自分の学びたいことや将来管理栄養士になるという夢を叶えるために必要な知識を学び、日々精進したいです。

仙台白百合女子大学 人間学部 心理福祉学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
七ヶ浜中出身

## 大学で専門的な内容を学びながら 将来について考えていきたいです

### ■心理学と福祉学の両方を 深く学びたいと思いました

私は仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科に入学します。

もともと心理学に興味があり、人はなぜこういうことをするのか、困っている人に対してどう接すればいいのかなどについて学んでみたいと思っていました。また、小さい頃から祖父母が大好きだったため福祉学にも興味がありました。そのため心理学と福祉学の両方を学ぶことができる仙台白百合女子大学を選びました。

### ■時間をかけて希望の職種を 大学で見つけたいです

最初は、自分自身が高校を卒業したらなにをしたいのか考えるのが難しかったです。やりたいことが決まっているわけでもなかったため、進路についての話をきくときは、自分自身に対して言われているのか実感が湧きませんでした。友達などに進路の話をしていても決まってないと言いながら決まっているため焦り始め、両親と相談しながらいろいろな大学や学部について調べました。しかし、自分がやりたいことを見つけられず、大学だけではなく専門学校について調べました。メイクやネイルなどに興味があったので専門学校のオープンキャンパスに参加しました。とても楽しく、ここにしようとして2年生の後半まで決めていました。専門学校は専門的に学び、大体の人がこの職業に就きたいと決まっている人が入るものだと私自身思うので、2・3年専門的にメイクやネイルなどについて学び職業につくのは興味があるだけの私にはあっていないなと多い、また考え直しました。時間をかけてゆっくり学び、自分のやりたいことをまだ決められていない私には大学の方があっているとわかったため、とりあえず興味のある学科を調べて心理学と福祉学にたどり着くことができました。

私の高校生活はほとんどコロナで制限されることが多く、部活にも入っていなかったため志望理由書の頑張ったことを書くのが苦勞しました。

まだ入学していないのでわかりませんが、自分にあった進路を家族や友達、先生に頼りながら決めるのがいちばん良いと思います。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
七郷中出身

## 英検などの資格検定の受験は 教科の基礎固めにピッタリです

■早いうちに進路を決めれば  
今後の計画が立てやすいです

皆さんの中には一般入試ではなく学校推薦（指定校推薦）で受験しようと考えている人が多かれ少なかれいると思います。私もその中の1人で、学校推薦を使って受験し、合格しました。私からは、推薦を取るためにどのようなことをして3年間の高校生活を送ってきたかを紹介しようと思います。

まずは、志望大学についてです。1年生の頃に、目標とする大学、行きたい大学を考えます。この作業をすることで、必要な評定や学力、条件を知ることができ、今後学習計画や受験計画を立てる時に役立ちます。

■評定での提出物の重要性が  
年々高まっています

次に、勉強についてです。推薦を取るためには、当然学力や評定が必要です。私が学力や評定を上げるために行ってきたことを3つ紹介していきたいと思います。1つ目は、日々の授業に参加し、提出物を出すことです。当たり前のことですが、できていない人が少しいます。授業で学んだことを出された課題で復習することで学んだことを覚えているか確認でき、学力の向上に繋がります。また、提出することで、評定の向上にも繋がります。テストの点数が良ければ問題はないと考える人もいますが、近年評価方法が変わってきていて、テストの点数が全てではなくなっているため、提出物の重要性が高まっています。2つ目は、自習についてです。自習をするにあたって参考書や問題集が必要になります。しかし、多くの参考書を買うのはあまり良くありません。確かに、多くの問題に触れることは大事ですが、全部やろうと理解が中途半端になってしまうので、一つか二つの参考書を集中して取り組むことをお勧めします。3つ目は、英検などの資格についてです。英検や漢検には積極的に取り組んだ方がいいと思います。たとえば、英語では多くの英単語を学ぶ必要があります。教科書に載っている単語は一部でしかないため、英検を受けることで、多くの単語を覚える機会になります。ですから、検定は、基礎を固めるにはピッタリなのです。

紹介したことの他にもありますがこれらのことをしっかりとやれば、高い評定と学力を得ることができると思います。体調に気をつけて勉強頑張ってください。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
玉川中出身

## オープンキャンパスは校風を体感でき 講義体験など情報収集に役立ちます

### ■先生からのプリントで 定期考査対策をしました

私が尚絅学院大学に指定校推薦で受験するために努力したことは3つあります。1つ目はまず指定校推薦の枠を勝ち取るために、模擬試験の勉強を必死で行っていました。主な勉強の取り組み方として、過去の模擬試験の問題をなるべく多く印刷し、問題をひたすら解いていました。私は元々勉強が苦手であったため、効率的な勉強法が分かりませんでした。しかしそれでもなんとか指定校推薦の3つの枠のうち1つを勝ち取ることができました。2つ目は自分の評定をさらに上げるために、高校3年生の時点から普段の勉強をさらに伸ばし、期末試験の点数を伸ばすように心がけていました。各教科の先生方から配られるテスト対策プリントを中心に、しっかりと勉強しました。

### ■面接練習が少なく本番で 上手くいきませんでした

3つ目は面接対策のために尚絅学院大学についてしっかり調べていました。私は最初の方は尚絅学院大学の教育理念や活動行事を調べ、ノートに書いていました。しかし、やはりネットで見るとより直接大学に行って校風を学んだ方が良いと思い、オープンキャンパスへ行きました。オープンキャンパスでの授業体験は、面接の練習に非常に役立ったと思います。私はどちらかというと先生との面接練習よりも友人と面接練習を多くしていたのですが、友人と面接をしても緊張感が出ず本番に弱くなってしまいます。実際、私は面接当日にとっても緊張してしまい、自分の答えなかった回答ができずに面接が終わってしまいました。なので、面接当日に向けてすべきことはやはり先生とたくさん練習を重ねて緊張しないようにすることと、予想外の質問が来たとしても臨機応変に対応できる技量を身に付けることが重要だと思います。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
南吉成中出身

## 「これでいい」ではなく「これがいい」と 思える進路を一生懸命考えましょう

### ■ 体育と英語のどちらの教諭を 目指すべきか迷いました

私が尚絅学院大学を目指したきっかけは、将来、中学校の英語教師になりたいと思ったからです。英語の学習に力を入れているコースがあるということや海外交流が盛んであるという点に惹かれました。

英語教師になろうと決めたのは高校3年生の春頃でした。第一志望決定のギリギリまで悩み、最後の最後で進路を変更しました。それまでは、中学生の頃から体育の教師になることが夢でした。なぜ私が体育ではなく、英語の教師を選んだのかというと、幼い頃から今までの人生を振り返り、その中で何かに一生懸命取り組んだことがあるかと自分自身に問いかけたときに、パッと出てくるものが部活動しかありませんでした。勉強において、自分が胸を張って頑張ったと言えるほどの努力をしたことがないと気付いた私は体育と英語を天秤にかけました。どちらも好きな教科だけれど、学習面で成長したいと考えた私は英語を学びました。私にとって英語を学ぶということは非常に難しい挑戦です。しかし、私は自分で決めたことは最後までやり遂げないと気が済まない性格です。だから、夢を叶えるまで挑戦し続けたいと思います。

### ■ 迷った時は後悔しない道を 選ぶことが大切です

志望大学が決まってからは、受験方法について考えました。1年生の頃から指定校推薦での受験を希望していたので、定期テストで安定して点を取り続けることを意識して日々の学習に取り組みました。安定して点を取り続けるために、登下校では暗記科目の学習、朝早くに学校に行き授業の復習、放課後は苦手を徹底的につぶしました。

他に指定校推薦をもらうために努力したことは、なるべく多くの行事に参加することです、たくさんの行事に参加することで様々な経験をすることができました。そこで身についた力は大きなアピールポイントになったり、強みになったりします。だからなるべく多くの経験をすることは重要だと思います。

進路を考える上で大切だと思うことは、いくつかの選択肢で迷ったとき、その選択をして後悔しない方を選ぶということです。今回も私は体育と英語で迷ったとき、後悔しない、または後悔が少ないであろうと思った英語を選択しました。これが正解だったかどうかは分かりませんが、夢を追う中で、後悔が少ない方、楽しいという思うのが大きい方を選ぶことが大事だと思いました。

これから大学受験を選ぶみなさん、不安な事も多いと思いますが、「これでいい」ではなく、「これがいい」と思える道を見つけるために進路について一生懸命向き合ってください。素敵な高校生活、大学生活を送れるように応援しています。

尚絅学院大学 心理・教育学群 心理学類に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 抽象的でよいので進学の目的や 将来像を明確にしておきましょう

### ■心理学に関連する仕事で

社会に貢献したいです

私は3年生になるまで一般受験を考えていたので指定校推薦の受験資格を得るにあたって学校生活で意識していたことは正直ありません。学校生活のルールを守り成績もキープしていれば問題ないです。逆にその2点が疎かになると校内での推薦枠を取れない、そもそも受験資格を得られない等の事態に陥るので、ほとんどの人は大丈夫かと思いますが、前提として心に留めておいてください。進学にあたり自分がその大学に何のために行くのか、入学して何がしたいのかという意思をはっきりさせておくことが一番重要です。これまでの学生生活の中で実感したと思いますが、在学中の時間はあっという間に終わります。大学での4年間も同じです。何となくで過ごさないためにも何か一つでいいので決めておいてください。私は心理学を学びたい、その分野で適した職に就き社会貢献をしたいという意思を持っていました。この程度でも全然いいです。とっかかりがあればおのずと理由は見つかります。なにか一つでもあれば自己推薦文を書く際であったり、面接があれば将来設計も語りやすいでしょう。

### ■面接は練習で軸となる

答え方を確立しましょう

そして入試で最も努力したのは面接練習です。私の志望大学は筆記試験と面接が実施され、筆記は大丈夫そうだったので面接です。本番では当然答えを用意していないことを聞かれますし、相手もいつも指導してくださる先生ではなく見知らぬ大学の先生方です。そのため多くの人に練習に付き合ってもらい（場慣れ）、質問に対する答えの枠組みをある程度作っておき、それをいかに組み合わせるか（ここでこれを言おう等）を意識して練習しました。なかなか難しいとは思いますが、自分の中の軸がしっかりしてくると出来るようになります。私も本番一週間前のギリギリで急に出来るようになったので安心してください。

ここまで「そんなこと分かってる」みたいな内容だったかもしれませんが、結局は自分の努力次第です。これを読んでくれている人も今自分の目の前にある進路目標、そして大学進学を通過点としたより大きな目標を達成できるよう応援しています。

石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
荒浜中出身

## 高校生活での失敗は今後の糧になるので プラスに捉えて前に進みましょう

### ■進路決定が遅くなりましたが 合格を信じて対策しました

私が大学進学を目指した理由は、将来について考えていき、専門的な知識を得て、社会に貢献できるようになりたいと考え、大学は学びたい分野を好きなだけ学ぶことができるため、大学で学んでいきたいと考えたからです。

指定校推薦での入学を決めてから努力するようにしたことは、家庭学習や授業態度です。私が大学進学を決めたのは3年生の時で、3年生から努力しても遅いと思いました。しかし、何も変わらずに確率を落とすよりも、少しでも確率を上げて後悔しないようにしました。自分を変えるのに遅いと言うことはないと思うので、遅くても諦めずに頑張ってください。ただし、できるのであれば、早い方がいいので、目標を決めた人はどんどん行動していきましょう

大学を決めるにあたってやったことは、まず自分が学びたい分野がある大学を絞り、その中から、アック大学の特色を調べる、そして、自分の性格を書いてみる、そこから、自分に合う大学を選ぶ、ということをしました。

### ■先生方や友人の協力が 合格できた一番の要因です

私が大学に合格した一番の要因は周囲の人たちからの協力があったからです。先生方には面接練習や自己推薦書の添削に付き合ってもらったり、友人にも進学の相談に乗ってもらったりしました。なので、周りの人間関係をおろそかにせずに、困ったことがあったらどんどん相談していきましょう。

私は、高校生活を過ごした中で、人間関係の失敗や勉強面での失敗がありました。しかし、この失敗の経験は、大学生活、社会人生活への糧になっていくので、これをどのように生かしていくかは自分の行動で変わっていくと思うので、二度の失敗を繰り返さないように行動していきたいと考えています。後輩たちも失敗したらプラスになると考えましょう。後輩たちが自分の目標を達成できることを応援しています。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
蛇田中出身

## 焦ることなく自分のペースで しっかり準備を整えましょう

### ■得意教科を集中的に勉強し 出願基準を突破できました

私は、大学に合格して春から新しい生活を始めます。私は指定校推薦で希望する大学に受かりました。指定校推薦で受かるためには色々な条件を満たして、募集された人数の中に入らなければいけません。そこで私が何をして合格に至ったか、どのような努力をしたか書いていきたいと思います。

まず、指定校推薦に受かるためには示されている条件を満たさなければいけません。そこで一番大事になってくるのは自分の成績です。私はそこまで勉強ができる方ではありません。そして数学がとても苦手です。苦手な数学の点数をもっと上げるという考えもありましたが、その考えを改めて、他の教科、苦手ではない教科に特化して勉強しました。そして現代文や古典などで点数を稼ぎ、数学も自分なりに勉強して希望する大学の条件の一つである評定の出願基準のラインを越えることができました。それでも募集していた人数に対して希望する人数が少し多くなってしまいました。しかし、勉強をしてある程度の評定を取っていたのでその募集している人数の中に無事入ることができました。私はそこで少しほっとしました。

### ■様々な質問を想定し沢山の 面接練習をこなしました

そして次に大事になってくるのは面接です。面接は指定校推薦で合格する上でとても大事になってきます。そこで私は面接練習を友達や先生とすることにしました。友達とお互いに志望動機や特技、自分の長所などを質問し合って練習をしました。そして先生とも練習をしました。先生と面接練習をした時は、友達と練習した時よりも緊張感があり、本番に近い雰囲気での練習できました。それでも緊張からか、話すことを決めていても全然話せなかったり、質問に答える時間もたくさん間をあけてしまったりして散々な結果でした。そこでこの結果を踏まえて、自分でもどんな質問が来てもいいように簡単な質問から、難しい質問までたくさん練習しました。そして本番の面接ではスラスラとあまり緊張せずハキハキと話せて無事大学に合格することができました。

このように練習をして自分を信じていればきっと上手くいくので焦らず自分のペースで合格できるように頑張ってください。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 技能開発コース卒  
松島中出身

## 生徒を第一に考え励まして下さった 担任の先生の支えで合格できました

### ■大学で学び夢を叶えるために 推薦での受験を決意しました

高校3年生ではとことん進路に向き合いました。私は夢を叶えるために、何をすれば良いのか考え、大学に行き勉強することを決意しました。簡単に大学に行けるとは思いませんでしたが、想像を遙かに超えてとても大変でした。私一人の力だけではどうすることも出来なかったのが、友達や先生の力を借りて志望理由書を丁寧に書いたり、面接練習を物凄く頑張りました。

志望理由書を書くときに意識したことは、私が書いた文章をたくさんの人に読んでもらうことです。特に担任の先生からは、いろいろな意見を頂き素晴らしい文章を書くことができました。面接が上手くなるために意識したことは、何度も練習を繰り返すことです。回数を重ねれば重ねるほど上達していきます。私が初めて面接練習をしたときは、緊張して殆ど話すことができませんでした。ですが、回数を重ねるうちに、相手の目を見てはっきり伝えることが出来るようになりました。また、志望理由書や面接練習に取り組むために一番大事なことは、予定を立てることです。アルバイトや部活動に気を取られすぎてしまい志望理由書を書いたり面接練習に取り組むための時間が少なくなってしまうため、常に余裕を持って行動することが大事だと私は考えます。

### ■合格した瞬間の喜びは 一生忘れることはありません

努力して結果、私は大学に合格することができました。合格したときの喜びは、この先一生忘れることはありません。応援して下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は途中で何度も心が折れそうになりました。周りの人より劣っている自分に腹が立ち、何もかも投げ出したくなりました。ですが、担任の先生の励ましにより立ち直ることが出来ました。悪い点は指摘し、生徒のことを第一に考え成長させて下さった先生にはとても感謝しています。大学に合格したことがゴールではないので、将来、私の武器になるような知識を得るために、勉強して頑張ります。

石巻専修大学 人間学部 人間文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府中出身

## 悔いの残る受験とならないよう 3年次は特にしっかり頑張りましょう

### ■校内模試対策として

英語と国語に注力しました

私は指定校推薦で大学に合格することができました。私が志望した大学では校内模試の点数、評定、面接が主な試験方法でした。その中でも特に校内模試の点数が重要になっていきます。そこで、私が行った勉強方法について科目ごとに説明していきます。まず、英語は文法を完璧に覚えることが大切です。文法を完璧に覚えることができれば、後は英単語をひたすら覚えるしかありません。私は通学時の電車の中や学校の休み時間などの空き時間は必ず英単語帳を見て英単語の勉強をするようにしていました。またこれは私が怠っていたことですが、音を取り入れることをお勧めします。音を取り入れることで速読力がアップし、リスニング力もつき、発音、アクセント問題対策にもなるので一石三鳥です。国語については、まず現代文はとにかく過去問を解いて共通テスト形式の問題に慣れ、速読力をアップさせることが大切です。また、日頃から本をたくさん読んでおくことも速読力アップに繋がります。古典は単語帳や文法書を毎日眺めるようにしていました。数学に関しては、私は文系科目を選択していたので参考になることは言えません。

### ■志望動機を説明できるよう

練習するのみです

次に、面接についてですが面接は練習あるのみです。面接ではあらかじめ聞かれることが大体予想が出来るので、事前に聞かれそうなことをメモしておくことが大切です。例えば、志望動機を話す際はなぜこの大学が良いのかという理由をしっかりと説明出来るようにしておきましょう。家から近いから、就職率が高いから、何となくなどという理由ではなぜこの大学に入りたいのかという意味が大学側に伝わりません。また、面接を受ける際は相手の目をしっかりと見て、できるだけ大きな声で会話をすることが大切です。

最後になりますが、受験は人生において重要な場面です。この1年頑張るかが将来の決め手となるかもしれません。なので、後悔しないようこの1年を頑張ってください。

石巻専修大学 人間学部 人間文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府中出身

## 受験というラスボスを倒すための アイテムを揃えられるのは今だけです！

### ■資格に挑戦しなかったことを

今では後悔しています

私が指定校推薦を目指すにあたって心がけていたことは、3年間を通しての成績の安定化と先生方や校内で働く方々への日頃からの挨拶です。

まず勉強面では、私は1年生の頃の成績があまり良くなく、赤点をとることが多々ありました。大学受験を考えた時、このままでは評定が大学の求める基準を超えないと考え、苦手な教科は逃げずに周りに聞いたり、先生や先輩方に教えてもらうなどして工夫して勉強を頑張りました。私は文系教科が得意だったのでその長所はそのままに理系に力を入れていきました。部活動があり勉強時間を取ることが難しい中、放課後の少しの時間を学校で勉強する時間にあてました。分からない問題はその教科の先生のところに行って解き方を教わり、効率の良い勉強計画を自分の中で立てていました。そして私は3年間で資格を1つも取ることなく受験に臨みました。理由として、やはり勉強時間を取るのが難しかったことと、面倒くさいなど思っていたからです。結果的には資格を持っていなくても合格できましたが、今振り返れば一つでも取っておけば良かったと後悔しています。たくさんの種類がある中の自分の得意なものだけでいいので取れる物は取っておいた方が良いと思います。まず最初に落ちたらどうしよう、と考えるのではなく、得意な教科に挑戦するのだから自信を持って受けてください。その自信が大学受験の面接などで生かされます。

### ■学園で働く方々への挨拶を

習慣づけていました

そして挨拶です。学園の運営に関わるたくさんの方々と先生方、外国語の先生方もたくさんいます。自分から声をかけるのは少し勇気があるかもしれませんがそれを習慣づけることで良い意味で目立ち先生方間でうわさされるくらいまで頑張って挨拶をしましょう。

きつとここまで読んで正直焦らない人はたくさんいると思います。でも3年生になってから受験と戦うアイテムを揃えられるのは他でもない今の皆さんなのです。未来の自分に期待せず、今からコツコツ頑張って受験というラスボスを倒せるようにしていきましょう。応援しています。

石巻専修大学 人間学部 人間文化学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
矢本第一中出身

## 集中して授業を受けることが平常点と 定期テストの両方にプラスになります

### ■欠席日数の少なさが

校内選考通過に繋がりました

大学を受験するにあたって一番心がけたことは、定期テストです。定期テストで良い点数を取り、高い評定をもらうことが出来れば、自己推薦書を書く時や面接時の自分のアピールポイントとして話せると思います。

指定校推薦を取るには、学力だけでなく欠席日数を少なくすることも重要だと思います。欠席日数が多いと、そもそも校内選考すら受けられなくなってしまうこともあります。実際私が校内選考を通過できたのは、欠席日数の少なさが大きかったと思っています。

定期テストとは、テスト前だけ勉強するのではなく、テスト2週間前ぐらいから各教科満遍なく勉強し、残り1週間でテスト対策プリントを解くといった勉強方法をとれば、テストでは80点以上は取れるはずです。テストで良い点数を取っても、平常点が悪いと評定を5にすることは、難しいので、普段の授業から集中して授業を受けることをおすすめします。

### ■資格をあまり取得せず

受験で苦労しました

面接に関しては、練習の時には話せていたことや考えていた質問があっても、本番では、頭の中が真っ白になってしまったり、緊張で上手く話せなかったりと、ハプニングが起こることが多いので、練習は多すぎると思うほどやったり、本番ではリラックスして臨みましょう。私は面接練習があまり上手くいかず、たくさんの先生方に面接練習をお願いしたり、アドバイスをいただいたりしていました。そういったことがあり、私は大学に合格出来たので、先生方には感謝しています。ありがとうございました。

推薦を取るためにやっておきたかったと後悔していることは、資格の取得です。私は高校生活で情報処理検定2級しか資格を取ることができませんでした。実際、資格が少なく自己推薦書を書く時や面接時のアピールポイントを考えるのに苦労しました。このような経験をしたので、資格は取っておいた方が良いと思います。

応援してくれる保護者やサポートしてくれる先生方への感謝を忘れずに頑張ってください。

仙台大学 体育学部 体育学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
仙台 中田中出身

## 苦手なことを克服しようと努力すれば 結果は必ず付いてくると実感しました

### ■英文に触れる機会を増やし 苦手意識を払拭できました

私は大学に指定校推薦で進学させていただくことになりました。指定校推薦で自分の希望している大学に対して、校内での内定を得るために校内模試に向けての勉強に努めました。移動時間などの手が空いている時間に問題を解くことや、日々の授業の中で質問を積極的にしていくように取り組みました。特に私は英語に苦手意識を持っていたので、英単語を覚えることや英文に多く触れ合う機会を作るなどの対策をして、校内模試に臨むようにしました。その結果、練習していた英文と似たような問題が出題されたり、英語長文に対して時間を前よりも短く費やすことができたりなどの効果があらわれました。また、内定した後は大学に対して自分をアピールするための自己推薦文や入学試験のために小論文と面接の練習を放課後に担当の先生に協力していただきながら練習を繰り返しました。始めは小論文の構成が上手くいかないことや面接で応答に時間がかかってしまうことがありましたが、先生のご指導を聞いて練習を重ねていくうちに自分の中で上達していったという自信を持つことができました。そのおかげで入学試験の時には落ち着いて臨むことができたと思っています。

### ■大学では今まで以上に 意欲的に学んでいきたいです

私はこれらの経験から苦手なことに対して、曖昧にしておくのではなく、自分の中でしっかりと対策を練り、実行することで成果は大なり小なり出るのだということを実感できました。しかし、もっと早くの段階から、勉強に対してこれくらいの意識を持っていれば良かったという後悔も同時に感じました。そういった後悔を無くすためにもこれからの進学先では勉強に対しての意識を高く持つ事はもちろんのことですが、日々の時間の中で有効に活用できる部分があると思うのでそういった部分を見逃さないようにしていきたいと思います。

仙台大学 体育学部 運動栄養学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府西中出身

## サッカー部で培った経験や考え方を 将来に活かしていきたいです

### ■部活動のルールを通して 食事に関心を持ちました

私は将来、「運動」と「栄養」に関する幅広い知識や技能を習得し、多くのアスリートの食事や健康を管理することができる栄養士になりたいと考えています。

栄養学に興味を持ったきっかけは、高校のサッカー部でお菓子や炭酸飲料の摂取を禁じるなど食事制限のルールがあったことです。最初は我慢の連続で欲に負けそうな時もありましたが、徐々に摂取しないことによる身体の変化を感じられるようになりました。動きも軽くなり、自主的に食事にも気を配るように変化したことで体調不良も減るなど好循環が生まれました。普段の食事だけでなく、試合前後の食事への意識も変わりました。アスリートとしての考え方を部内のルールを通して学ぶことができたのは自身の成長に大きく繋がったと考えています。

### ■互いに支え合うことの 大切さを部活で学びました

私は周りをよく見る、助け合うというサッカーの競技特性から協調性が身に付きました。チームメイトやたくさんの方の支え無しでは、ここまで楽しんで競技を続けていくことはできなかったと感じています。勝利という同じ目標に向かって練習を積んでいく中で、考え方の違いから意見や主張がぶつかることもあります。それでもチームの一体感を大切にすることだけは忘れずにいることで、細かな気配りができるようになったと感じます。そのことから、日頃から常にまわりの状況に気を配り、困っている人を見かけたときには率先して手を差し伸べて、周りの人と支え合いながら生活を送れるようになりました。また、毎週学校周辺のゴミ拾いを行い、奉仕活動にも積極的に取り組んできました。今後も共生社会を生きる者としてホスピタリティを大切にしていきたいです。

学生生活では勉学にも力を入れ、日頃からコツコツ積み重ねることを心がけ、学力向上だけでなく、計画性を持って行動する力にもつながったと思います。これらは、栄養士としてアスリートのサポートをするうえで必要不可欠なものであると確信しています。個々に目的意識の違いがあるケースもあり、筋力アップをしたい人、ケガを予防したい人など様々です。個別の要望に応えられてこそ、栄養士としての本質的なサポートになると考え、競技生活を通して培った経験を大切にしていきたいです。

仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
若柳中出身

## 仙台育英で毎日仲間と笑顔で送った 3年間はこの先も絶対に忘れません！

### ■部活動では楽しみながらも 厳しい練習に励みました

私は仙台育英での3年間は毎日楽しく苦のない生活でした。部活動では毎日のように厳しい練習に耐えて心身共に強くなったような気がします。部活動の仲間達と3年間頑張ることができて良かったなと思います。私が思う限り部活は楽しんでやったほうが一番いいと感じています。

定期考査対策としては、例えば数学だと、1年生の時にやる数学I・Aは3年生になっても必要となってくるので、どの教科にしる基礎は大切になってくると思います。定期考査の時に勉強するのではなく日々やった方がいいです。計画を立てて勉強していきましょう。

私には幼稚園教諭という夢があります。そのためには、子ども関係の大学に行くことを決めました。仙台育英の先生方は進路について全面的にサポートしてくれます。なので、私も行きたいと思える大学に行くことができました。私は指定校推薦で大学に行くことができましたが、指定校推薦をもらうには校内模試で良い点数を取らなければなりません。日々の勉強、学習を頑張れば目標に近づけるのでがんばった方がいいです。

### ■何事も諦めずに頑張り 結果を出してきました

誰もが言っていると思いますがあえて私も書かせていただきます。何事も諦めなければ必ず結果は付いてきます。私も諦めないで頑張ってきて結果を出してきたので、この言葉は本当なんだと思います。

仙台育英での3年間は長く感じて短かったような気がします。一度も体調を崩したこともないし、毎日友達みんなと笑った思い出は絶対に忘れないものになると思います。

後輩への言葉は、最初の頃は心配になることもあるかもしれませんが、高校生という自覚を持って行動すれば楽しい学校生活になります。

聖和学園短期大学 キャリア開発総合学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高砂中出身

## きちんとした生活態度も 学習面と同じくらい大切です

### ■校内模試の順位を上げる 努力が支えになりました

私は欠席日数が多く、選べる指定校推薦の枠がごく一部になってしまいました。特に受験資格に欠席日数が条件に入っているものはその時点で断念するしかなく、私は第一志望の大学は受験することができず、とても後悔することになってしまいました。

自分が指定校推薦について詳しく知ったのは高校3年生の春でした。「校内模試の成績で指定校推薦の枠の優先順位がほとんど決まる」という話を聞きました。当時は未だに進路が決まってなく、推薦入試を狙う気持ちはほとんどありませんでした。ですが、次の校内模試が近くなるとこの話がよぎり、念の為に校内模試の順位を少しでも上げようと勉強に力を入れていました。この行動が後から大きな支えとなりました。

私が受験した大学の推薦入試の枠は2つあり、予備調査では自分含めて2人か3人ほど名乗りを上げていました。数回ほど予備調査の結果が知らされるのですが、どれも私はその内で1位の成績を保持できていました。前の校内模試の時の行動がここまで響いてくるとは思っていませんでした。

### ■大学でも必要なので長文を 書けるようになりましょう

推薦入試の枠を獲得するためのことを書きましたが、次からは枠に入った後の事です。自己推薦書や書類を書かななくてはなりません。ここで大事になってくるのは長文を書けるようにすることと、締切日や必要書類などをしっかり確認して間に合うように出すことだと個人的に感じました。自己推薦書はこの合格体験記くらいの長文を書くこととなります。選抜方法に小論が入っている大学を狙う場合や、大学入学後など文字を書く機会は必然的にやってくるので書けるようになって損はないです。

自分は提出物を出すのが苦手な人間であり、そのため出願締切直前に申請するということをしてしまいました。出願受付期間は1週間弱もないところが多いので事前に準備しておくことがとても大切です。準備が出来た後にもきちんと揃っているかなどの確認もしておくと思いいます。

そして、冒頭に私は欠席日数がとても多いことを話しました。理由は自分の持っている症状によるものだったので。病気や症状によって欠席することが多い人は医者からの診断書を貰うことを勧めます。出願する際の書類に使うことがあるからです。そして、試験の面接の時に欠席日数についての話を聞かれるときもあるので、理由と病気や症状を言えるようになったほうがいいと思います。

他の先輩方が言っているように、テストや模試だけでなく提出物や生活態度を日々しっかりしておく事が大事ですが、取って私は合格するまでの数ヶ月で自分が感じたことや気にしたところを書きました。この文章が力になれるかは分かりませんが、少しでもあなた方後輩の役に立つこととあなた方の将来が良い方向に行くことを願っています。

聖和学園短期 キャリア開発総合学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
向洋中出身

## 親身になって進路を考えて下さった 担任の先生にととても感謝しています

### ■きちんと授業に臨み勉強と アルバイトを両立しました

指定校推薦で受験資格を得るためにしたことは、勉強とアルバイトの両立や、学校を休まず出席すること、提出物は必ず期限内に提出することです。私は3年生の夏の後半頃まで進学先が決まっておらず焦っていました。担任の先生にも相談し一緒に考えてくださいました。そんな時に、担任の先生から1つの案として聖和学園短期大学を勧められました。それから自分でもパンフレットを取り寄せたり、インターネットで調べてみたりしました。私は、聖和学園短期大学の存在は知っていましたが、どんなことを学べるのか、どんな学科があるのかなどは知らなく、徐々に他の大学にはない魅力や、今の自分に最も適している大学だと思い聖和学園短期大学に進学することにしました。

また、指定校推薦で受験資格を得るためには小論文を1200字書き、学校からの合格が無くては受験資格が貰えないので、この時に1年生からの活動や成績などが受験資格を得るために必要になります。

### ■小論文は出題傾向に沿った テーマで何度も書きました

学校からの合否を貰ったら、次はそれぞれの進学先の選考方法があります。聖和学園短期大学の去年の選考方法だと、小論文、調査書、面接の3つがありました。小論文は、受験日の小論文の時間にテーマが分かります。私が小論文で気を付けた方がいいなと思ったことは、過去に出たテーマを調べてどんなことについてのテーマが出ているかを大まかに感じて、似ているテーマに沿って何回か小論文を書いてみた方が、本番でも似ているテーマが出た時に使い回しができるなと思いました。私も実際にテーマを自分で決めて書いた小論文が去年のテーマと少し似ていて、あまり焦らず最後まで書くことができました。

面接で私が感じたことは、全文を書いて覚えるのではなく、単語で覚えることの方が大事だと思いました。どんなに覚えていても面接官を前にすると頭が真っ白になってしまうので、単語で覚えた方が頭に残りやすいと思いました。また、指定校推薦で受験する場合だと他の人もだいたい同じ時期にあるので、先生と面接練習するのであれば、早めの予約を入れておきましょう。

東北生活文化大短期大学部 生活文化学科食物栄養学専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
佐沼中出身

## 何が正解なのか分からなくなったら 最も信頼している人に相談しましょう

### ■子どもの食育に貢献できる 栄養士を目指しています

私が東北生活文化大短期大学部生活文化学科の食物栄養学専攻への入学の目指した理由としては、実家が農家ということもあり、幼い頃から食に関心がありました。そこで私は栄養の学習や仕事に興味を持ち、将来保育園などで食育に貢献できる栄養士になりたいと考えました。大学では実習、地元地域と連携した校外学習や外部講師の授業など、短期大学卒業後にも活かすことが出来る授業がある他、様々な資格取得の機会、実習面においても学ぶ事が出来る為、東北生活文化大短期大学部を志しました。

まずは、自分の進路をしっかり定め様々な大学、専門学校を調べたり、実際に資料を手取る事で、東北生活文化大短期大学部に受験する事を決めました。また、進学するにあたり学校推薦で受験する事ができました。勉強とアルバイトの両立で苦悩もありましたが、1年生の頃からレポート提出の期限を守り、コツコツとテスト勉強をしていた事もあり、推薦を受けられました。

受験するにあたって、小論文の練習をし、実際に先生に抜粋していただいたり、面接時にどのような質問が来てもいいよう、事前に15個ほど回答を準備しました。その甲斐あり、受験当日はリラックスして試験を受ける事ができました。

在学中や卒業後も目を配り応援して下さいました先生方、本当に有難う御座いました。

### ■先が見えない日も諦めず 第一志望に合格できました

中学時代は不登校だった事もあり、仙台育英の通信制に入学しました。時には、挫けそうになったり、先が見えない日々もありましたが、気持ちを諦めず大学受験をし、無事合格する事ができ、安堵しています。

大学に入学してからは、高校で学んだ事や両立性を活かしながら、食に関する様々な知識を深く学び、地元に貢献できる栄養士を目指し、これからも精進して行きたいです。

後輩の皆さんは挫けそうになったり、時には何が正解か分からなくなるときもあると思います。そんな時は、自分が一番信頼している人に相談して下さい。その人はきっと支えてくれるはずで、そして踏ん張り、気持ちを強く持てばきっと良い結果が待っていると思います。ですので、どうか諦めずに頑張ってみてほしいです。

宮城誠真短期大学 保育学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 苦手なことにも挑戦することで 夢に近づくチャンスを掴めます

### ■保育士になるのが

幼い頃からの夢でした

私はこの度、宮城誠心短期大学に指定校推薦をいただき、自己PRと面接の試験を経て、合格しました。

まず私が大学進学を目指した理由として、私は将来保育士になる夢が、幼い頃からありました。そのため、専門学校に進学することも視野に入れていました。が母親の友達の保育士の方に、保育士の仕事をするなら大学卒業の資格を持っていた方がいいといった話を聞き、両親と相談し、保育士以外の資格も取得できるような大学に進学することを決めました。県外の大学なども視野に入れつつ、保育科の大学を探していましたが、私の下に何人か弟がいるため、両親との相談の結果県内の大学に進学することを決めました。

### ■苦手だった英語を頑張り

今では得意科目です

私が、指定校推薦入試で入試を受けようと考えたきっかけとして、一般で受けると弟の高校受験と時期が被ってしまい、高校卒業後一人暮らしなどを考えていたため、時期が被ってしまうと忙しくなってしまうと両親の負担が大きくなったりしてしまうと考え、家庭教師や親と相談し、仙台育英に私のめざしていた宮城誠心短期大学の指定校があったため、早めに合否が決まる指定校推薦を使おうと考えました。指定校推薦を使うために私は中学生の時、苦手意識の高かった英語の勉強を頑張りました。授業だけではなく、家庭教師で苦手な長文読解を中心に勉強しました。今では一番得意な科目で、英語と答えられるようになりました。また、校内模試では英語の長文問題だけではなく漢字を中心に、苦手な数学の過去問などを解きながら勉強もしました。

指定校推薦の入試では、私は小論文は無く自己PRと面接でした。私自身、あがり症で人見知りしてしまうことがあるため、面接は苦手で自己PRもあまりしたことがないので、不安も多かったです。しかし、担任の先生や家庭教師の方に沢山面接練習をお願いし、本番までに自信をつけることが出来ました。まだ、人前で話すことは得意とは言いきれないですが、苦手意識がだいぶ克服できたと思います。

合格までの道のりはわからないことだらけで不安も沢山ありました、しかし両親や担任の先生だけではなく、家庭教師の先生など周りの方からのサポートもあり、苦手な人前で話すことや英語なども、克服することもできました。これから受験生になる皆さんも苦手なことにも少しずつチャレンジして最後まで諦めずに頑張ってください。

宮城誠真短期大学 保育学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
山形 最上中出身

## 「胸を張って堂々としていれば大丈夫」 という先生の言葉を信じ合格できました

### ■確実に進学できるように 指定校推薦に挑戦しました

私は子ども達に寄りそえるような保育士になりたいという夢があります。保育士を目指したきっかけは、テレビで保育所の特集を見た時に心を閉ざしていた子どもが、入居してから数ヶ月ほど経った頃には年相応の子どものらしい笑顔になった姿を見た時にとても感動したことを覚えており、それがきっかけになりました。心身共に傷付いた子ども達を導くことの苦勞はとても計り知れませんが、自分もこの先生方のような優しく強い保育士になりたいと強く思いました。

その夢を叶えるべく大学に入学をより確実にするために、指定校推薦を選びました。推薦をいただくため高い評定を維持するために提出物の期限を厳守し、分からないところは分からないままにしないで、先生方に聞き少しでもテストでいい点数をもらえるよう努力してきました。

通信制課程では主に自分だけでやらなければならないので、何日までにどのくらい課題を進めるのか、どのくらい授業に出席すればよいか計画を立て実行しなければなりません。バイトと両立していたため大変でしたが、本校の先生方や学友のサポートもあり無事に現役で卒業することができました。

### ■計画を立て実行する力が 高校で養われました

当日の試験は面接のみであり、それで合否が決まってしまうのでとても緊張しました。ですが、本校の先生が試験ギリギリの日にちまで一緒に練習してくださり、最後には胸を張って堂々としていれば大丈夫だと助言くださったので、本番ではいつも通りに受け答えすることができました。

当たり前をコツコツやり続けることで入学当初と比べ、自分でスケジュールを立て、そしてその計画を実行する力がとても身についたと思います。そして力が付くことで自信にもなりました。

仙台青葉学院短期 リハビリテーション学科理学療法学専攻に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
鹿島台中出身

## 部活の入部を迷っているならば ぜひ挑戦すべきだと思います

### ■家族の闘病がきっかけで 理学療法士に憧れました

私は、将来どのような職業に就きたいか、自分には何が向いているのか分からず、高校3年生になっても悩んでいました。ですが、人の役に立ち、誰かを支えたり、誰かを笑顔にできるような職業に就くことに憧れていました。

理学療法士になりたいと思ったきっかけは兄の病気です。兄の闘病中に担当してくれた理学療法士の先生の迅速な対応や親身になって寄り添ってくれた時に強い刺激を受け、私も理学療法士になりたいと思いました。それからどの大学にするか色々な大学を調べて設備、施設、カリキュラムに魅力を感じたのが仙台青葉学院短期大学でした。3年という短期間の中で効率良く学ぶことができ、自分にも合っているなと思いました。

### ■書道部の実績が入試で 大きな武器になりました

私は、進学するかどうか元々決めていなかったのですが、進学することになった時に、希望する大学の指定校推薦を受けるために、評定が下がらないように努力してきました。定期考査に向けての勉強はもちろんしっかり計画をして取り組みました。それでも点数があまり良くない時もありましたが、その時にカバーできるよう日頃の授業態度を良くしたり、期限内に提出物を出したり、欠席しないように心がけていました。

私は、書道部に所属して主将として部の中心となり活動してきました。部活では、全国優勝など個人の部でも良い成績を収めることができ、指定校推薦を目指している上でとても大きな武器になったのではないかと思います。部活に入るか入らないか迷っている人は、少しでも興味を持っているならやっておくべきだと思います。

仙台青葉学院短期大学 こども学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
中野中出身

## 大学では同じ夢に向かう仲間と 切磋琢磨していきたいです

### ■子供と関わる仕事を目指せる 進学先を選びました

私には将来子供と関わる仕事がしたいという夢がありました。その将来の夢を実現させる為に多くの実習活動や子供と関わる機会が多く設けられている仙台青葉学院短期大学を目指しました。

指定校推薦の一枠を取るためには評定がとても重要でした。授業態度やテストでの点数が評定に関わってくるので今まではあまりやってこなかったけど予習復習を積極的に行いました。またワークで分からない問題の解き直しを何度もして、より良い点数を取れるように心がけました。私は数学が苦手でしたが、予習復習やワークの解き直しをしたことによって得意になりテストでも今までより良い点数をとれるようになりました。

その結果指定校推薦の一枠をとることが出来ました。指定校推薦だったため受験の内容は面接と口頭試問でした。面接や口頭試問は過去の先輩方が書いた報告書を見たり先生や友達に何度も練習してもらったりしました。受験本番の面接では練習の時と同じ質問が何個かされ、自信を持って答えることができました。しかし口頭試問では練習していた基礎問題ではなくグラフの読み取りが出題されましたが、自分なりにきちんと答えることができました。先生との面接練習はもちろん大事ですが、本番でいかに明るくハキハキ答えられるかがとても大事だと思いました。

### ■コロナ禍で友達との時間が 少なかったのが心残りです

私にとって高校生活とは、人生の中で一番の青春の場でした。もちろん大学進学に向けての勉強はとても大事ですが、私はたくさん友達をつくって充実した高校生活を夢見ていました。しかし新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が多くなったため、友達に会う機会が減り、そしてほとんどの行事が中止となってしまいました。

私にとって大学とは、自分の将来の夢を叶えるための場所です。高校まではみんなが同じ教科を学んでいましたが、大学は自分の将来の夢を叶えるために必要な科目がたくさんあります。また同じ夢を目指している仲間達と切磋琢磨して夢を叶えられるよう、頑張っていきたいです。またたくさん友達をつくって充実した大学生活を送りたいです。

仙台青葉学院短期大学 言語聴覚学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
高砂中出身

## 自分がその大学で学びたい理由を 書類で強くアピールしましょう

### ■オープンキャンパスには 積極的に参加しました

私は指定校推薦の受験資格を得るために、自分の学校での生活態度をよく考えるように気を付けていました。制服を正しく着用し、提出物は期限を守って提出するなど、当たり前のことを当たり前にこなすことが大事であると考えます。また、校内模試の結果も受験資格を得る上で重要になってくるので、国語・数学・英語とまんべんなく勉強することも大切だと思います。定期考査では、赤点を絶対にとらないようにし、平均点以上は取れるように日々の学習に力を入れていました。私は部活動にも参加していました。少しでも多く部活動に参加することは、推薦の内定を得ること以外にも、大学受験の際の面接での内容にもプラスになってくるので重要になってくると思います。私が受験した大学は、他と比べて専門的な学びをする学校だったので、積極的にオープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスでは、大学入学後に行う学習内容であったり、大学入学までの高校生活で何を勉強したらいいのかということや取得しておくべき資格であったりを聞くようにしていました。また、専門分野を学ぶ大学では面接でも志望理由などを詳しく聞かれる可能性があるため、大学や受けたい授業の内容なども調べておくべきだと思います。

### ■当たり前のことをきちんと こなすことが大切です

自己推薦書は、志望理由や大学入学後にやりたいことなどをできるだけ詳しく書くようにしました。どうしてもこの学校じゃないといけないのかをアピールするために、志望する大学の特色や講義内容も細かく書きました。アドミッション・ポリシーやその大学が求める人物像などに自分が当てはまっているということを主張するために、高校3年間で頑張ったことや部活動などの具体的なエピソード等を書くようにもしました。小論文や面接練習などはなるべく多くの先生にお願いをし、少しでも自信をつけられるようにすると思います。大学合格をするためには、当たり前のことを当たり前にこなすことができるようにすることが一番大切であると思います。何事も最後までやり切ることができれば良い結果も得られると思います。最後まで諦めず頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 栄養学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
川崎中出身

## 自分と向き合い目標達成に努力すれば 良い結果が待っているはずです

### ■料理の手伝いが好きなので 栄養学を深く学びたいです

私は、高校2年の終わりまで進路が決まっていませんでした。将来どんな仕事に就きたいか考えた時に、自分の好きなことで深く勉強したいと思うものを選びました。私は昔から料理を手伝う事が好きでした。栄養や調理技術について深く勉強したいと思うようになり短期大学への進学を決めました。

ギリギリで進路を決めた私ですが、高校生活で気を付けていた事があります。1つ目は高校1年生の時から良い評定を保つ事です。進路が決まっていなくても良い評定であれば進路の幅が広がります。後になって後悔をしないために授業態度や提出物で平常点は決まるのでワークやノート整理などを計画的に進めて考査直前で困らないように勉強してできました。その結果、テスト前日にみんなが焦ってワークを終わらせているなか、私はワークを何度も解きケアレスミスが減らすことができました。2つ目は出席日数です。自宅と学校の距離がかなりあり、毎朝2時間弱の道のりだったのですが、3年間無遅刻無欠席で通学することができました。出席日数も入試に響くので常に心がけておく事が大切です。

### ■同じ学科を受験した先輩方の 体験を参考に対策しました

指定校推薦は特に面接が重要だと思います。そのため面接の練習を様々な先生に頼みました。先生によって聞いてくる内容が違うので、何度もすることによってアドリブ力が身に付くと思います。アドバイスを沢山して下さったので、何度も練習をして面接というものに慣れることが大切だと思います。また、教室などに置いてある前年度や前々年度の同じ学科の先輩方の入試の面接で聞かれた内容などを自分自身も聞かれても答えられるように練習しました。

どの進路に進むか迷っていても、焦らず自分と向き合ってやりたいと思うことに向かって努力していけば良い結果が待っているはずです。

仙台赤門短期大学 看護学科に  
指定校推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
中野中出身

## コロナ禍で登校機会が減りましたが 友人と楽しく過ごした3年間でした

### ■看護師という夢を叶える為に この大学を選びました

私が仙台赤門短期大学を目指した理由は、将来の夢が看護師だったからです。

指定校推薦で指定を受けるために、1年生の定期考査から勉強をしっかりと、良い評定平均を取れるように日々努力しました。また、普段の勉強で分からない問題はすぐ先生に聞いたり、苦手な教科はなるべく紙に書いて覚えるなどして3年間頑張りました。

小論文対策では、医療系のテーマで何枚も書いて先生に何回も添削してもらいました。小論文は自分で書いてみると書くのが難しいため、多くの練習が必要だと思いました。当日では、たくさんの練習をして少し慣れていたので、各スピードが速くなり余裕をもって書けました。

### ■面接本番で厳しい質問をされ 練習の大切さを実感しました

面接練習では、最初に文章を考えて覚えることから始めました。文章を考える時は、友人と協力しながら決めて、本番のように面接練習をするために先生にも協力していただきながらたくさん練習をしました。

高校3年間はコロナで行事があまりなくて、学校に行く日も少なくなり大変だったけど、友人とたくさん話して、笑って楽しく学校生活を送れたので良かったなと思いました。

高校生活は3年間しか過ごせないなので、勉強もしっかりやりつつ楽しく充実した学生生活を送れるように頑張ってください。

# 2022 栄光への軌跡

2022年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による  
大学合格までの軌跡



## 学校推薦型選抜【公募制推薦】

宇都宮大学、帯広畜産大学、岩手大学、山形大学、  
都留文科大学、上智大学、学習院大学、東北学院大学、  
東北福祉大学、東北工業大学、東北医科薬科大学…

宇都宮大学 国際学部 国際学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
栃木 山辺中出身

## 先生や友達、家族の温かい励ましで 諦めずに頑張ることができました

### ■受験を意識した時期が 遅く何度も後悔しました

私が大学受験を通して大切だと感じたことが2つあります。

1つ目は、受験に対する準備の早さです。私は大学に進学することは決めていましたが、志望大学は決まらないまま高校1年生を終えてしまいました。2年生に進級し、模試の回数も増え、やっと受験を意識し始めた頃には2年生の10月になっていました。たくさんの大学を調べ、自分がやりたいことも考えて第1志望に固まったのが、宇都宮大学の国際学部でした。3年生になり、一般選抜での受験も視野に入れていたため本格的に受験勉強を始めましたが、科目数が多いこともあり圧倒的な時間の足りなさを痛感しました。受験に向けた応用的な問題はもちろんですが、一番侮ってはならないのは基礎的な知識です。1, 2年生で習ったことももちろん受験に関係してくるので、1年生の頃から勉強を怠ってはいけけないのだと、そのときに強く感じました。勉強に関して、もっと早くから受験を意識して準備を始めていれば…と思うことが何度もあったので、後輩の皆さんにはぜひそれを知っておいてもらいたいです。

### ■先生や友達のおかげで 集団討論対策も万全でした

2つ目は、周りの人を頼ることです。私は受験において、本当にたくさんの人に助けられてきました。推薦入試では集団討論があり、どんな対策をしたらいいのかわからず悩みました。そこで私は、先生方に過去の先輩の話を知ったり、過去の受験レポートを見せてもらったりと、たくさん情報収集をして得た情報をもとに対策していきました。具体的には、毎朝学校にある新聞を読んだり、様々な分野の文章を読んで要約し、それに対する自分の意見を2分間で述べる練習をしたりしました。また、自己推薦書を何度も添削してもらい、自分でも納得のいく文章が書けたことや、先生や友達と一緒に討論の練習をしてくれたことなども自信に繋がったと思います。気持ちが弱くなってしまうことも何度もありましたが、その度に周りの人から助けてもらい励まされたおかげで、最後まで諦めずにやり切れたのだと思います。ずっと支えてくださった先生方、友達、家族にはとても感謝しています。

大変なこともたくさんあると思いますが、早くからしっかりと準備をして、周りの人にも支えられながら頑張ってください！

帯広畜産大学 畜産学部 畜産科学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
柳生中出身

## 卒業生の進学者が少ない大学でしたが 先生方の熱心なご指導で合格できました

### ■一般受験しか考えておらず 推薦受験はとても不安でした

動物が好きで食べることも好き、両親は農水省で働き、祖父母が農業を営んでいたということもあり農学部への進学は常に私の選択肢の中にありました。農学部がある大学は数多くありますが、その中で帯広畜産大学を選んだ決め手は、2年次で学ぶ専攻を決められるところです。多くの大学は、入試の段階で専攻が決まりますが、私は動物にも、食品にも、植物にも興味があったため、帯広畜産大学のカリキュラムに惹かれました。

早い人は1年生の時から準備を始める推薦入試ですが、私が本格的に意識し始めたのは3年生の夏頃でした。さらに、一般入試1本で考えていたため、3年間で取得した資格や、生徒会、部活動といった特別活動もなく他の受験生が持っているだろう武器を私は持っておらず不安でした。

### ■農学関連の問題についての 考えをまとめて対策しました

そんな状態でも私が合格できたのは、先生方の手厚いサポートのおかげです。仙台育英では、農学部に進学する人が少なく、帯広畜産大学に進学した人はほとんどいませんでした。情報が非常に少なかったですが、先生方が小論文や面接の指導を熱心にしてくださり、感謝しています。特に小論文は苦手だったので毎日書いて先生に添削していただきました。面接は得意なほうでしたが、3人の先生方に練習をお願いし、どんどん突っ込んでいただきました。そのかいあって本番は緊張せず自分の言いたいことをすべて面接官の先生に伝えることができました。日本または世界が抱える農学に関わる問題を突き詰めて考えてことも合格できた要因のひとつです。農学は生きるために必要で国内外の自然環境、社会情勢に大きく左右される分野です。だからこそ今どんな問題があって、それを解決するために何をしています、そこから新たに発生する問題は何なのかを深掘りして考え、すべてノートにまとめました。分からないことは、農水省の方に聞いたり、本を読みました。考えたところで解決することではありませんが、そのおかげで小論文や面接もうまくできるようになり、自信になりました。

一般入試と並行しながらの推薦対策は大変ですが、自分がやるべきことを見極めて後悔のないように頑張ってください。

岩手大学 農学部 食料生産環境学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 入試対策の中で具体的に became 目標が 努力のモチベーションになりました

### ■秀光中のカナダでの研修で世界の 飢餓問題に関心を持ちました

高2の時まで学びたい学問が見つからず、何をどう勉強すればいいかも分かっていませんでしたが、小学6年生の時から国際公務員になり生活に困っている人を救いたいという事がありました。海外で働くということにただ憧れていただけなのかもしれません。この夢は高校生の時も変わりませんでした。どう叶えていくべきか分からずにいました。

具体的な国際問題を知り飢餓や貧困に関心を持ったのは、中学3年生でカナダへ研修に行った時でした。国際的な問題について知り、自分で調べて根本的な解決策を考えることが初めてだった私にとって、これは大切な経験でした。その後さらに自分で関心を深めた結果、「食」の面からこれらの問題を解決しようと決心しました。農業を営んでいる祖父の影響も少なからずあると思います。

### ■推薦入試での進路達成に 全てを懸けました

学びたい方向が決まったのは高2の冬、つまり受験間近でした。あと1年もないのに合格できるはずがない、学力が伸びる気がしないとマイナスな方向にばかり考えていたのも束の間、毎月毎週のように模擬試験が追ってきました。結果を見て落ち込みやる気をなくし、復習も丁寧にできずもう無理だと諦めかけたこともあります。ですがどうしても農学の研究をしたいと感じ、今から必死で努力すると心に固く決めました。最初は一般受験で国公立大学を受けようと思い勉強していましたが、これまで怠ってきた分高3の7月までに学力はあまり伸びず、目指していた志望大学を諦めざるを得なくなりました。その時私に希望を与えてくださったのが担任の先生です。一般受験以外にも道があること、私のレベルに合っていてやりたいことを学べる大学が他にもあることを教えてくださり、一気に道が拓けました。そしてその夏私は国公立大学の公募制推薦を受けることを決め、土壌循環学研究室のある岩手大学を第一志望としました。小論文の対策では参考書を2冊、先生からの課題プリントをこなし、週2回以上添削を受けました。面接は9名の先生に2回ほど指導していただきながら一進一退の日々でしたが、どんな質問にも素直に自分の軸を大切に答えることが重要だと学びました。

志望大学を決めるのが遅く、自分でも焦りを感じていましたが、友人や家族に支えられながら少しずつ自分の学力が上がってきていることが目に見えるようになり、すべきことをこなしているうちに具体的な目標を持つことができました。それは土壌と環境問題の関係性を学び、農業が発達している途上国の土壌を改善するという目標です。この目標は自分のモチベーションにつながり、受験本番まで頑張ってきた努力は自信へと変わりました。「地道に努力を重ね、有限な時間を大切にすること」母や先生に言われたこの言葉を胸にとめて、本番を迎え一つの目標を達成しました。これからは次のスタートに向かって努力し、夢を叶えたいです。

山形大学 人文社会科学部 地域公共政策コースに  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
宮城教育大学附属中出身

## 自宅学習の習慣を早くから付けておくと 課外活動などに取り組む余裕ができます

### ■地域の活性化に貢献できる 人材に成長していきたい

将来は、地方公務員や地域評価に関わる観光業などを通して、地域の活性化に貢献していきたいという思いが強く、就職支援もしっかりとしているこの大学を選びました。初めは一般入試でしか考えていませんでしたが、大学説明会やオープンキャンパスで学校推薦型選抜（公募制推薦）があることを知り、受験しようと決意しました。

推薦入試では評定がとても重要となるため考査で良い結果を残すのはもちろん、毎日授業を真剣に聞き、必ず予習・復習をすることを心がけました。また、毎日の勉強を確立するために、リビング学習にも力を入れ、1、2年生では基礎力の向上に努め、3年生からは共通テスト対策や二次対策に本格的に取り組み始めました。1年生のうちから勉強サイクルを確立すると、学習の負担の軽減になり、有効に時間を使うことができると思います。さらに、資格取得は受験で自分にとってプラスとなるため、2年生のうちに英検2級を取得し、地理が大好きで先生からの勧めもあったので、地図地理検定も取得しました。

学習面以外も様々なことに取り組んできました。そのうちの一つは、ボランティア活動です。高校3年生の夏休みに、高齢者施設で活動し、自分と相手の考え方・価値観の違いや社会との関わり方について学ぶことができました。推薦入試を希望しているみなさんは自主的に、多くの活動に参加し、自分のアピールポイントをつくるよう努力してください。

### ■真摯に支えて下さった 先生方に感謝しています

志望大学の合格をつかみとることができた理由としては、先生方が協力して下さったことが一番大きかったと思っています。志望理由書や読書感想文は何度も添削をしてくださり、真摯に対応していただきました。また、面接練習は多くの先生方にしつこくお願いしましたが、お忙しい中でも、時間を作っていただき、最後の最後まで熱心に指導してくださいました。本当にありがとうございました。

最後に、後輩へのアドバイスを記します。

①仙台育英について知ること。建学の精神、言えますか？ 実際に聞かれた例もあるので、しっかり頭に入れておきましょう。

②授業をしっかりと聞き、考査で点数を取ること。そのために毎日計画を立て勉強しましょう。

③何事も積極的に取り組むこと。私自身は部活動をしていませんでしたが、それ以外の学校外の活動をするのも良いと思います。

④何度も書くこと。志望理由書や読書感想文または小論文は数を積み、先生に見せて添削をもらうことをサイクルにしましょう。

以上となります。みなさんがこれを読んでためになることを切に願います。

山形大学 工学部 建築・デザイン学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
長町中出身

## 目の前にあることを頑張っておくと その努力や成果が受験で実を結びます

### ■部活動に励みメリハリをつけ

勉強することができました

入学時は、国公立大学に入りたいという漠然とした目標はありましたが、明確には何も決めていませんでした。それも、第一志望で仙台育英に入学したわけではなかったのも、勉強に対するモチベーションが低かったからです。しかし、ここで腐ってはいけないと何となく感じていたので、多くの時間を勉強に費やしたわけではありませんが、ある程度の成績は維持できるように勉強していました。今思い返してみても、やってよかったと思うことは三つあります。

一つは、定期考査を頑張るということです。当たり前のように思えるかもしれませんが、これがなかなか大変でした。しかし、定期考査のたびに、ある単元を自分のものにしておく、また、少し触れているだけでもそれをするのとしらないのでは、受験生になったとき、勉強のとっかかりやすさに大きく差が出ると思います。ひとつ前の試験でやったことを全く覚えていないというのはよくあることだと思うのですが、「私はこの単元をある程度やった！」という記憶があるだけでもだいぶ違います。受験生になるとやるが多すぎて、パンクしてしまうので、そうならないためにも定期考査を頑張ってみてください。

二つ目は部活です。特別進学コースでは講習がなければ午後4時ごろに授業が終わります。そこから夜までずっと勉強するのは私にはできませんでした。そこで、幸いにも宮城野校舎でバスケットボール部に所属することができ、部活で運動することで、メリハリをつけて勉強することができました。部活自体で苦勞することも多くありましたが、これから生活する上で、大事な経験になりましたし、推薦入試でも生かすことができました。

### ■探究活動は進路選択や

推薦書類の作成に便利です

三つ目は、探究活動で自分の興味のある分野を調べておくことです。当時はめんどくさいと思っていましたが、今になって思うと進路を決める際に役立ちました。また、現在コロナ禍で、行事がなくなることが多く、推薦に応募しようと思ったときに自己推薦文に書くことがなくなりがちです。そこで探究活動をしておくと、自己推薦文なども書きやすくなります。

このようにして仙台育英で3年間を過ごしました。もともとは一般入試で受験しようと考えていましたが、チャンスがあるなら受けようと思い、公募制推薦に応募しました。ほぼ受かることはないだろうと思っていましたが、幸いにも合格することができました。これから入学するみなさんは、不安なことがたくさんあると思いますが、目の前にあることを頑張ってみるといいことがあるかもしれません。また、その頑張りを見て、ひそかに応援してくれる人もいます。失敗しても大丈夫なので、高校3年間楽しんで過ごしてください！

都留文科大学 文学部 国際教育学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
仙台 中田中出身

## 何でもよいので経験をし学びを得て 将来に繋げていくことが大切です

### ■進路に関する情報収集を

1年次から進めていました

私は、総合型選抜・学校推薦型選抜（公募制推薦）の2種で受験し、志望大学より合格をいただくことが出来ました。進路に関しては、以前から「教育」や「子どもたちの居場所づくり」について興味があったため、それらをキーワードに1年生の頃から積極的にパンフレットの取り寄せやオープンキャンパスへの参加をしてきました。そのため、おおよそ2年生の頭頃には志望大学を決定していたと思います。コロナの影響もあり、中々身動きが取れない状況ですが、写真や文字から受ける印象とは違った雰囲気を感じることもあるので、可能であれば現地に足を運んでみることをおすすめします。進路の情報収集には、早いうちに取り掛かっておいて損はないですし、後々の精神的余裕にも繋がります。特にIB生は、EEやIAの執筆・最終試験の対策を見据え、早めに取り組むと良いと思います。

### ■志望理由に説得力を

持たせることが大切です

実際の試験には、小論文・面接・プレゼンテーションが課されましたが、どれに関しても特別な対策はしていません。最低限、過去に出題されたお題に目を通したり、作法の確認に必要かと思いますが、それ以上に私は、自分が志望する大学に入りたい理由に説得力を持たせることに力を注ぐべきだと考えます。特に総合型や推薦入試を利用する人にとって他の受験生と差がつくのは志願書（志望理由）だと思います。限られた字数の中で、自分がなぜ大学に入りたいのか、何を学びたいのか、その背景にはどんな経験があり、そこから何を学び・考えたのかを最大限に表現することに、より時間をかけるべきだと思います。そのためには、「3年生になってから」ではなく、日常の中でその材料を探す経験をする必要があります。例えば私は、カンボジアで小学校の図書館整備をするボランティアワークや日本の中学生の放課後学習支援、地域のごみ拾い活動など、1年生の頃から様々な環境や機会にチャレンジしてきました。規模の大きさは関係ありません。どんなことでもとにかく自分で経験し学びを得ること、それを将来に繋げていくことが大切です。本番の試験の出来がたとえどうであっても、自分の志望理由に100%の自信を持つことが出来ればきっと大丈夫です。最後にはなりますが、受験は3年生の1年間を懸けるものでも高校3年間を懸けるものでもありません。自分が生まれてからこれまで経験してきたことを振り返り、納得のいく・自信を持てる受験をしてください。参考になるかは分かりませんが、私の経験が少しでも力になればと思います。みなさんがベストをつくせるよう、応援しています。がんばってください。

上智大学 法学部 法律学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 未来を逆算して進路を決定することで 着実に夢に近づくことができます

### ■弁護士に必要な素養を IBDP で養いました

未来から逆算し、生きること。これは、私が人生の選択における間違いを、極力減らすために心掛けていることです。私は中学生のころから、法によって生起しうる社会的弱者を救うために弁護士になる、という夢を持っていました。この夢の実現を可能とすべく、私は人生計画について熟考しました。まず、弁護士を目指すにあたって、司法試験に合格する必要があると考え、ここで大学を受験することにしました。そして、その大学に合格するためには、高校では基礎知識のほか、他の秀でた能力を体得したいと考えました。弁護士にも受験にも有利となり得る能力を考えた際、論理的思考力と批判的思考力、そして積極性が必要であると思慮し、これらの能力を研鑽できる当校のIBDPクラスに参加することを選択しました。

当クラスには、知の理論について学ぶTOKという授業があり、ここでは前提事実の検証を踏まえて、一定の解釈の該当性があるかどうかを問う思考活動を行いました。様々な思考法を学ぶことによって、論理的整合性のある論述をすることが可能となったと思います。加えて、因果関係を整理し、さらに関係する事実に係る課題や視点を再考し探究したことで、論理的思考力だけでなく批判的思考力も錬磨することができたと信じています。更に、ディスカッションやプレゼンテーションなどの授業が多く設けられていたため、主体的に活動する場面が多く、積極性が会得できたと感じています。

### ■先に目標を設定してから 進路を考えるのがお勧めです

これらの能力を受験に活かし、私は公募制推薦という受験形態で上智大学法学部法律学科へ合格することができました。この経験から私は、皆さんに未来から逆算することの必要性を伝えたいと思います。この文章を読んでいる方の中には、将来の夢が定かではない方もきっと多いはずです。私はそんな方々にこそ、未来を逆算することで無駄な行動を制御できるという利点を知ってもらいたいと考えています。どの職業に就きたいのか、どのような人材になりたいのかという目標を具体的に設定することによって、自身にはどのような勉強や進路の選択が必要なのか、明瞭に見えてくると思います。そうすることによって、学生時代を無駄なく過ごすことができ、自身の目標にも着実に近づくことができるのではないのでしょうか。未来から逆算し、生きることの必要性をもう一度強く勤めるとともに、皆さんの大学受験の合格やその中での個人の成長を祈っています。

学習院大学 経済学部 経済学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
埼玉 大井東中出身

## いざ出願という時に困らないように 早いうちに資格取得に挑戦しましょう

### ■出願に必要な資格を取るため スキマ時間を活用しました

出願には英検2級レベルの資格が必要だったので英検を先に受けましたが、英検2級を取得することができませんでした。しかし出願期限に間に合う英語の検定試験について調べると、IELTSがあったので勉強して取得しました。IELTS取得のためには学校の休み時間や、家での時間を有効に活用しました。私は特にスピーキングが苦手だったのでオンライン英会話などを行い、資格取得に向けて取り組みました。3年生になってから英検を取らずに、早めから取ることが大切だと思います。またもし英検が取れなくても、たくさんの資格があるので諦めずにチャレンジしてもらいたいです。

試験は面接と小論文がありました。面接は先生との面接練習だけでなく両親や先輩に手伝ってもらい何回も行いました。また、面接や小論文のためにニュースや新聞を読むようにしました。

多摩美術大学 美術学部 生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
韓国出身

## 仙台育英で多くの貴い経験ができて 将来の夢に一步近づぐことができました

### ■友達や先生方のお陰で

楽しい高校生活になりました

私は日本に留学することを決め、日本人だけではなく外国人の生徒が多くて国際交流が活発にできる上に自分の進路先に合うコースを幅広く選べる仙台育英に入学することを決めました。入学した時はあまり日本語を話せなかったため授業について行けるのか、友達はできるのかのような心配がたくさんありました。しかし、クラスメイトや先生方の手助けをしてもらうことで学校生活を楽しく過ごすことができました。その上、勉強にも力を入れました。一番苦手だった国語は授業前に本文をノートに写し、その中でも知らなかった単語は事前に調べておく習慣を身につけて、授業中の先生の板書を書いたり、理解できなかった部分は先生に聞いたりしました。数学は教科書に出る公式を基にしっかり理解した上で問題を解き、間違った問題はすぐ回答を見て直すよりかは最後まで諦めずに解き続けました。英語は登校時間の間を利用して英単語を覚え、教科書の本文をノートに書いて和訳をしたり、声を出して英語の発音を練習したりしました。その結果、私は日本語検定や英検、数検のような資格を取得することができました。

### ■プレゼンテーションでは

自分らしさを表現しました

私は小さい頃から絵を描くのが好きで、日本に留学してきてからはユーザー目線で使いやすいデザインをし、身体が不自由な人、高齢者、子供など、人を助けるデザイナーになりたいと思いました。そのため私は美大を目標とし、高校2年生の夏から美大についての情報を集め、美術予備校に通い始めました。私が予備校に通いながら、一番力を入れたのがデッサンでした。色をあまり使わず鉛筆だけを使用して表し、物の形を取ったりして様々な表現の仕方を身に付けました。そして私は高校3年生になってからは志望大学を決め、学校推薦型選抜（公募制推薦）という入試方法で受験することを決めました。なぜならこれまでの学校生活と共に人間力、将来の夢、自分のデッサン力など、自分を存分にアピールすることができると思ったからです。私が志望した多摩美術大学の生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻は物のデッサンとそのデッサンをプレゼンテーションしながら面接を受ける方式の入試でした。デッサンは美術予備校で専門的に指導してもらい、その中でも普段私たちが使うものをモチーフとして正しい形で物を見ることを中心に練習しました。学校ではプレゼンテーション面接を練習しました。プレゼンテーション面接では自信を持ち、普段の自分らしさを見せることがとても大事だと思います。そして自分が描いた絵の意図や感想、重要だと思ったところをしっかりとまとめて説明することができることも大切です。

3年生の受験生になってからは心配も多くなり、時には涙を流した日もありました。しかし、仙台育英の先生方や友達が応援してくれたおかげで、志望大学に合格することができました。私は仙台育英に入学し、貴重な経験と共に自分の将来にも一步近づぐきっかけになったと思います。

文化学園大学 国際文化学部 国際ファッション文化学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 友達と一緒に受験に挑んだ3年次が 高校生活で最も充実した時間でした

### ■洋服が好きだったので 服飾系に進みました

私がこの大学を進学しようと考えたのは、今一番自分が好きなこと、興味ある分野を考えたときに、私は洋服が好きだったので、服飾について学べる大学を調べました。その際に、外国語も同時に学べるという点に魅力を感じたので進路を考えました。

この大学の公募制推薦で必要な小論文は、授業の時間を使って今まで書いてきたこととは違って、自分が影響を受けた人という課題でした。事前に大学に送るので、改めて私がこの道に進みたいと考えた理由についても考える時間になりました。文章を考えるのは得意なのですが、伝えたいことを上手く言葉にするのは苦手であったので、担任の先生にアドバイスや添削をしていただきながら、繰り返し書いて考えて作成しました。また、面接においても、先生方に時間を作っていただき、日々練習に励みました。私が苦手な、人と対面して話すことではありましたが、この大学に入りたいことを相手に伝えること、事前に質問を予想して練習することを心がけました。

### ■資格取得に積極的だったので 推薦入試に有利になりました

この受験期を乗り越えることができたのは、高校生活でできた友達だと思います。実際には一人で挑みますが、一緒に練習をしたり、考えたり、相談したり。私自身、周りの支えがないと乗り越えることはできなかったと思います。行事は殆どありませんでしたが高校3年間で一番充実した期間になったのではないかと思います。

高校1年生の時は、大学進学はあまり考えていませんでしたが、英検や情報処理など積極的に取れることを心がけていたことで、高校3年生になって進学のことを考えるようになった時には、資格を取ってきたお陰で調査書などで書けることがあり、取り組んできて良かったと思っています。高校3年間は本当にあっという間なので、後々焦るよりは、最初の頃からコツコツと取り組んでおくことが大切だと思いました。

湘南鎌倉医療大学 看護学部 看護学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
南吉成中出身

## 一つでも資格や検定を取得していると 安心するので頑張って挑戦しましょう

### ■看護系の進学説明会で 志望大学が決まりました

私は幼い頃から看護師になることが夢でした。そのため、学部は看護学部なのでそこで迷うことはありませんでした。しかし、3年生になっても行きたい学校が決まっておらず専門学校なのか、大学なのかで迷っていました。私は看護師になれるならどこでもいいと思っていました。そんな時に、様々な県の看護学校だけを集めた説明会に参加しました。その時に行く大学を決めることができました。説明会にはできるだけ多く参加してください。必ず自分に合った学校が見つかります。

高校生活は推薦を考えているのであれば休まない事が一番です。看護学校は特にそうだと考えます。なぜなら自分自身の体が丈夫でなければ患者に元気を与えることができないからです。そしてなんでもいいので検定は一つ持っているといいと思います。私は英語が苦手だったため、漢検を受けました。一つ検定を持っていると安心するのでなにか取りましょう。

### ■早めに自分の学習方法を 掴んでおきましょう

入試は筆記、小論文、面接でした。筆記は過去問がホームページに記載してあるのでまず一回解いてみて自分が何ができないか見つけます。しばらくしたらもう一回やり、できていたら次に進みます。ワークは一冊を何回もやりました。理科系は使っていたものを何回もやりました。自分のやり方を早めに掴んでおくといいです。小論文は練習あるのみです。やっていくうちに書き方も覚え、書くスピードもあがるので始め書けなくても大丈夫です。面接は練習する前にどんなこと聞かれるか調べました。看護学校は面接でこの人は看護師にむいているのかみるそうなので面接もたくさん練習しましょう。その練習は本番の時、自信につながります。

こんな些細な事ですが、みなさんの力になれば幸いです。応援しています。

神田外語大学 外国語学部 アジア言語学科中国語専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
大和中出身

## 受験に必要な「自分だけの強み」を 3年間を通して身に付けました

### ■外国語コースの特徴を活かし 多言語のスキルを磨きました

私がこの大学の公募学校推薦入試を受験することを決めたのは3年生になってからです。それ以前までは他大学の指定校推薦や総合型選抜を受験する可能性もありました。どの受験形式にも対応できるよう、志望大学の出願条件となっている英検等は短期間で集中して取得し、他の受験生と差別化を図るため「自分だけの強み」を習得することによってできるだけ多くの時間を費やしました。

具体的には、1年生のときから外部のスピーチコンテストに参加しました。外国語コースの特徴である第二外国語の授業で学んだ中国語を活かしながら、空いている時間を活用して先生と練習を重ねたことで自信が付き、受験の際のアピールポイントにすることができました。韓国語も独学して留学生と韓国語でコミュニケーションをとるように心がけました。韓国語担当の先生にサポートしていただいて韓国語のスピーチコンテストにも参加するなど、色々なことに挑戦することを通して自分だけの強みを探し、増やせるようにしました。

また、シャトルバスで片道2時間かけて通学していたため、平日に自宅で学習時間を確保することが難しかったのですが、その代わりにバス車内や放課後のバスを待つ時間を勉強に充てました。バスの中で2時間ずっと勉強するのは大変なので、寝る時間や音楽を聴くだけの時間を作るなど時間配分を工夫しました。

### ■スケジュール管理の大切さを 受験を通して実感しました

大学受験を通して、スケジュール管理の大切さを改めて実感しました。推薦入試などを受験する場合は、秋学期（第3学期）考査の期間と重なることもあります。忙しくなっても高校生活と受験の両方に全力を注げるように、1、2年生の時からスケジュール管理の習慣をつけておくといいと思います。

高校3年間でどれだけ有意義に過ごすことができるかが、大学受験やその後の将来に関わってくると思います。高校生活を楽しむことも忘れずに、仙台育英の充実した環境を活かして色々なことにチャレンジしてみてください。

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
多賀城第二中出身

## 早くから少しずつでも大学を調べて 進路の選択肢を増やしましょう

### ■大学でも学問とサッカーを 両立したいと考えました

私が東北学院大学に進学しようと思ったきっかけは、県内でも就職率が高くその中でサッカー部も東北でも上位に名を連ねる強豪で、勉強と部活動を両立したいと考えていたからです。仙台育英サッカー部には東北学院大学サッカー部へのスポーツ推薦というものがあります。私はサッカーを通して東北学院大学に入学したいと考えました。

そのために練習会に参加し、推薦資格をいただいてから入試に合格する必要があります。推薦入試では小論文と面接を行い、合否を決めます。

私は入試2週間前から小論文対策と面接対策を行いました。小論文対策では東北学院大学の過去問をひたすらやり、基礎を身につけました。

### ■臨機応変に選べるように 複数の進路を考えましょう

面接では多くの先生方に練習相手になっていただき、どんなことにも対応できるようにしました。そのおかげで入試では困ることなく自信を持って行うことが出来ました。私は高校生活で心がけたことは、定期考査の全教科で8割以上をとることや、授業中に分からないことは分からないままにしないことで、結果的にテスト勉強を楽にするなど、自分なりに工夫をしてきました。それにより推薦資格に必要な評定を獲得することが出来ました。大学では自分の時間が増えると思うので、高校生活で得たものを活かしつつ資格取得に向けた自主勉強や、部活動でのウィークポイントの改善に励んでいきたいと考えています。

大学進学を考えている仙台育英の皆さん、3年生になると二者面談や三者面談が増えてきます。面談を利用し担任の先生やご家族としっかりと相談しておくのが大切だと思います。今考えている進学できない。そんなことにも対応できるように一つに絞ることなく色々な選択肢を持っておくことが大切だと私は考えます。そのために今から自分の行きたい大学を調べるなど少しずつ始めてみるといいと思います。皆さんの高校生活が充実されることを願っています。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
茂庭台中出身

## 支えて下さった先生方や家族への 感謝を忘れず大学でも頑張ります

### ■大学でも軟式野球を続け 高い目標を達成したいです

東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科に公募制推薦で合格しました。なぜ東北福祉大学社会総合福祉学部福祉学科への入学を希望したかという、大学でも軟式野球を続けたいとかがえていたためです。高校の部活動では達成する事のできなかつた目標を達成したいと思い入学を希望しました。その中で、将来福祉関係の仕事に就きたいと考えており、東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科を志望しました。

### ■小論文の授業を疎かにし とても後悔しました

公募推薦で入学したのですが、評定と小論文と面接に力を入れました。まず、評定が基準値に達していないとそもそも受験資格を得られることができません。私は、高校1年生から、提出物の期限を守り、定期テストでしっかりと点数を取り、それ以上の評定を維持し続けました。小論文については、受験中の点数配分の半数以上を占めているので対策は必須でした。高校1年生の時から小論文の授業をきちんと受けていなくて、小論文の対策が大変だったので小論文の授業には力を入れて取り組むべきだと思います。また、小論文の練習方法に関しては、自分の志望している大学の過去問を解き、問題の傾向を自分なりに考察するのも良いと考えます。面接は、数をこなすしかないと思います。ある程度質問される可能性が高い内容もあるのでそこを押さえることも大切だと思います。一つ一つ大切な礼儀なども学べるので、集中して取り組むべきだと思います。

たくさんの人に支えてもらい東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科に入学することができます。面接練習をしてくださった先生方、大学の事について質問すると真剣に答えてくださる担任の先生、大学に行くことを可能にしてくれる両親には感謝してもしきれません。なので、人への感謝への気持ちを忘れずに生活することも大切だと思います。

東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
五橋中出身

## 3年間何かに頑張った自負があるなら 推薦入試に挑戦して損はありません

### ■部活動との両立を成し遂げ アドバンテージになりました

高校入学当初、私は将来なりたい職業も希望進路も明確にはありませんでした。ただ漠然と「私の強みは一般入試よりも推薦入試で生かされる」と考えていたため、後で困らないよう高い評定を取る為の努力は怠りませんでした。具体的には、授業をしっかりと聞くこと、提出物を完璧に提出すること、定期テストで高い点数を取れるよう勉強することの3つだけです。前者の2つに関しては出来て当然のことなので特に苦労しませんでした。定期テストで良い成績を修めるのには非常に苦労しました。宮城野校舎には至るところに自習スペースがあるため、定期テストで良い成績をおさめられるよう放課後や空き時間はそういったスペースで充実した学習に努めました。

また、特別進学コースは学業に重きを置いているコースのため部活動に所属する人はほとんどいませんが、私は10年以上続けてきた水泳を続けるため、水泳部に所属していました。学業との両立は簡単ではありませんでしたが、自分がやりたいとやっていた事なので、全く苦ではありませんでした。1年次にはまだコロナ禍でなかったため大会数も多く、私自身中規模の大会ではいくつか良い成績をおさめました。2年次からはコロナ禍で活動が制限される中、部長を任せられ苦労しましたが、最後には悔いなく引退を迎えることができました。

私が明確に希望進路、そして推薦入試を受けると決めたのは3年生になってからでした。将来について考え、調べ、ようやく目標が決められたのは良かったものの少し遅すぎるのではないかと当時は不安がありました。志望した学科は全国的にもあまり多くない特殊な学科で特に私が選んだ大学の定員はとて少なく非常に狭き門だったためです。そのため、とにかく大学が開催するイベント、プログラムには積極的に参加し、その学科に関連する職や情報を暇さえあれば調べ、準備に準備を重ねました。夏休み明けからは本格的に小論文、面接対策を始めました。小論文は出題される分野の知識はある程度身に付いていたので、過去問を何十回も書いては先生方に添削していただきスキルを高めました。面接に関しては、私の強みである対応力、コミュニケーション力を一層高めるため、たくさんの先生方に直接練習をお願いし、どんな想定外の質問にも答えられるだけの力を養うことができました。面接もある推薦入試において、不安や緊張は大敵です。そのため不安の払拭のためにもやり過ぎと思うほどに対策、練習を重ねました。

### ■何事にも手を抜かず努力し 大きな自信を手に入れました

しかし、最後に私に自信を持たせ、合格へ導いてくれたのは3年間続けた学業や部活動の努力でした。この努力は私を精神的にサポートしただけでなく実際に入試の点数として活かしたのです。大学の推薦入試の配点は300点満点中小論文が100点、面接が50点、そして学校生活に関する書類審査が150点を占めていたのです。また、その150点のうち、3年間の平均評定を10倍したものが50点、部活動に関するものが40点と配点を大きく占めていました。私は3年間、学業も部活動も一切の手を抜かず努力を続けてきたことで、比較的高い評定を維持しており、部活動もいくつか目立った成績、活動があったため大きなアドバンテージと自信を得ることができました。

推薦入試は一般入試の勉強と並行して準備していくので大変な上、リスクもあります。それでも高校での3年間で学業あるいは特別活動を頑張ってきた自負があるなら受けて損はないと思います。また、まだ進路で悩んでいる人もいつか進路を決めるときのために目の前のやるべきことに全力を注ぎ、努力することを諦めないでください。必ずプラスになります。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
松島中出身

## 早くから色々なことに頑張ることが 受験期に自信となって返ってきます

### ■短期集中型の学習方法を

自分なりに工夫しました

1年生の頃から生徒会執行部に所属し、活動してきた経験を生かしたいと思ったことが推薦制度を利用したきっかけです。オープンキャンパスや育英祭の企画・運営・入試の補助などに携わりコミュニケーション能力を身に付けてきました。目上の方と接する機会が多かったため、面接の時にも役立ったと感じています。

合格のために、普段から評定を意識して学習に励んできました。どの大学も推薦制度を利用する際には条件として評定が関わります。私が受験した大学は合否にも点数として換算します。全て「5」を取ることができるよう努力してきました。そのために定期考査に力を入れました。対策は考査まで1か月もなくなった頃から入りました。私は長期間地道にコツコツと勉強することが苦手です。短期間で集中して取り組みました。無駄な時間を過ごさないように計画を立てることを大事にしました。「今から2時間この教科に集中して取り組む」などと決めることで充実した学習になったと思います。また、教科を選ぶ際に暗記するものは連続しないよう気を付けました。例えば間に数学を挟むなど、常に新鮮な気持ちで勉強することで飽きることもありませんでした。頑張ったことは勉強だけではありません。提出物を期限内に出すことや授業には必ず出席することなど、当たり前のことを3年間続けてきました。評定は定期考査の点数だけでなく平常点も加わります。このように勉強以外の面でも怠らず努力しました。

### ■3年間の努力の積み重ねが

合格につながりました

大学合格にあたっての一番の要因は努力の積み重ねだと考えます。受験間近になってから何かを始めようと思っても手遅れです。まだ志望大学が決まっていない時期でも勉強やスポーツなどを熱心に取り組み、実績を残すことは可能です。1, 2年生の皆さんには今からでも何かに向かって頑張してほしいと思います。必ず受験期の自分の自信につながり、救ってくれます。応援しています！

東北福祉大学 教育学部 教育学科中等教育専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
仙台 中田中出身

## 積み上げてきた経験や努力が 自信に繋がります

### ■理想の教諭像をイメージし

大学を選びました

私は日本史に強い関心があり、将来は教員として多くの中高生に日本史の楽しさや奥深さを伝えたいと考えていました。そこで、教員免許を取得できる大学を探しました。免許を取得するまでの過程は大学によって様々で、多くの特色があります。私は、日本史の楽しさを伝えるだけでなく、どのような教員として生徒の前に立ちたいか、そのためには何が必要なのかを具体的に考えるようになりました。そこで、物事を多角的、多面的な視点で捉えることのできる力を持った心豊かな教員になりたいと考え、教員に必要な多くの能力を習得することができ、様々な経験をすることができる大学を選びました。どのような自分になりたいかを考えるのは楽しく、また、描いた理想像を受験勉強のモチベーションに繋げることができました。

### ■先生方のサポートのおかげで

成功することができました

私は東北福祉大学の学校推薦型選抜（公募制推薦）の入試を受験しました。東北福祉大学もですが、大学によって入試方法は様々なので、必ず細かく調べ、自分に合った入試方法で受験することをおすすめします。

受験方法は、小論文と面接でした。小論文は作文とは違うので、書き方に慣れるのに苦労しました。しかし、何度も担当の先生に添削をしてもらい、形式に慣れることができました。面接は、放課後に担当の先生や担任の先生と練習を積みかさねました。毎回、先生方が適切なアドバイスをくださるので慣れていくことができました。小論文も面接も練習を積み重ねれば慣れると思うので何度も行うと良いと思います。東北福祉大学はオープンキャンパスで小論文の対策講座を行っていたり、ホームページ上には小論文の書き方の他にも過去問が掲載されているので参考になると思います。

推薦入試では、高校生活での経験も重要だと思います。勉強も大切ですが、部活や行事、ボランティア活動等にも積極的に参加し、たくさんの経験を積んでほしいと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
玉川中出身

## 直前まで小論文を添削していただくなど 先生方のおかげで合格できました

■小論文は何を書くべきか  
全く分かりませんでした

大学合格のために面接と小論文の練習をとにかくやりました。まず、志望理由書を何度も先生方に添削してもらい完璧なものにしました。そして入試の日まで何回も担当の先生に小論文を添削していただきました。最初は何を書けばいいか分かりませんでした。何度もやるうちにやり方が分かっていき書けるようになっていきました。次に面接です。面接では、まずよく質問されることに何と返すかを考えました。そして実際にたくさんの先生方と練習しました。いろいろな先生方と練習することで柔軟に対応できるようになりました。そして本番の小論文では時間配分を気にしながら臨みました。面接では練習通り落ち着いて志望動機を答えることができました。その結果無事合格できました。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
上杉山中出身

## 3年間での様々な経験から学び成長して 目標を定めるきっかけにしましょう

### ■中学での職場体験で

薬剤師の仕事に触れました

私は、両親が医療従事者ということもあり医療を身近に感じていました。自分自身も幼い頃から医療に興味があり、医療の道に進みたいと考えていました。

薬学部を決めたきっかけは、中学生の職業体験の時の経験からでした。実際に病院の薬剤部を訪問し、薬剤師の業務を見学し、会話をさせていただく中で薬剤の面白さや患者さんとの関わりに興味と感動を抱きました。

しかし、高校入学後、総合探究の時間にさまざまな学部や進路を検討している中で、文系に行く迷いもありました。そのような中で、新型コロナの影響で社会が不安定な情勢になり資格を取得し、医療に携わりたいという気持ちが強くなったため、高校2年生の冬に薬学部に進むことを決意。以前から推薦のことも考え、評定を高く取るように取り組んでいました。志望大学として、国家資格の合格率も高く研究施設も整っていて地域医療に貢献できる東北医科薬科大学に決めました。

### ■目標を定め毎日少しでも

机に向かいましょう

公募制推薦を受けると決めてから、入試の点数配分の高い化学を重点的に学習し、化学のセミナーを4～5周程行い、センター試験の過去問題を6回分、放課後には化学の先生にわからない部分を教えていただきました。英語は通学時間や休み時間のすきま時間を活用し、英検2級も同時に取得しました。他には東北医科薬科大学の過去問を6～7年分解きました。当日の試験ではこれらの事が役立ちました。面接については、先生に練習していただき、当日は落ちついて面接を受けることができました。

高校入学後には、目標を定め、目標に向かい、一日数問でも学習をしておくことと学習習慣がついて良いと思います。高校3年間は、早く時間が過ぎていきます。勉強もしながら検定や部活、生徒会等、いろいろな経験から学びを得て、自分の成長や目標を持つきっかけにしてほしいです。最後まで諦めず、チャレンジし、努力を続けていけば必ず合格できると思います。皆さん頑張ってください！

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
高砂中出身

## 進路が決まっていなくても1年次から 全教科を偏り無く勉強しておきましょう

### ■ 家族を安心させて下さった

薬剤師の方の姿に憧れました

私が東北医科薬科大学薬学部薬学科を目指したきっかけは2つあります。1つ目は薬について学び、その知識を応用し病気の予防治療に役立てたいと考えました。また、患者さんに安心して服薬してもらいたいと思ったことです。2つ目は私が幼稚園児の頃、生まれたばかりの妹がいました。生まれつき体が弱かったため多くの薬を飲んでいました。そのとき薬剤師さんが薬について説明してくださったため、母は安心していました。この経験から私は薬剤師を目指しました。

### ■ 1年次に理科を疎かにして

後でとても苦労しました

私が東北医科薬科大学に入るまでに努力したことは特に化学と英語の2点です。公募制推薦を利用したいと考えていたため、受験科目である化学と英語の勉強は必須だと考えていました。しかし、私が受験のために具体的な勉強を始めたのは3年生になってからでした。1年生の時は模試に理科・社会が無かったため、化学の勉強はテスト前に少しやる程度でしたし、英語の方も模試の東北医科薬科大学の判定が安全圏だったため、特別勉強することはありませんでした。2年生の時から模試に理科・社会が追加されました。大丈夫だろうと高を括っていると待っていたのは悲惨な結果でした。1, 2年生の時の勉強法はテスト前のみ勉強するという方法でした。これではまずいと思い3年になり化学と英語を重点的に勉強しました。そのため、他の教科にあまり時間を割くことができませんでした。赤点こそ取らなかったものの酷い点数でした。この時、1年生の時からしっかり勉強しておけば、このようにならなかったのではないかと後悔しました。

3年生になってからの付け焼き刃程度の英語と化学では不安でしたが、せっかくの機会を無駄にするのはもったいないと思い、面接練習もしていた公募推薦に臨みました。

3年間の高校生活はあっという間に過ぎていきます。1年生だからまだと思わず志望大学が決まっていなくても後悔しないよう、とりあえず勉強しておくことを勧めます。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東仙台中出身

## 先生方の手厚いサポートのおかげで 学習の遅れを取り戻すことができました

### ■薬を服用した経験から 薬学に関心を持ちました

私は小さい頃から生き物が好きで、生き物を扱う仕事がしたいと考えていました。私が高校生になってから、医療に対する関心が増える出来事がありました。それは、30万人に一人といわれている道化師様魚鱗癬という難病の存在を認識したことです。その病気を患っているお子様のご両親が SNS を通じて難病の存在を広め、少しでもその病気に対する差別を無くそうとしていることに胸をうたれました。そして、病気の存在が人々に知られておらず、確かな治療法がないということを知り、病気についてもっと理解を深めたいと感じました。私が薬剤師になりたい理由は、薬の力に感動し、薬の仕組みを学び、それを提供したいと思ったからです。高校生になってから難病の存在を知り、医療の道へ進みたいと考えていました。

医療の中でも薬学を学びたいと思ったのは、ある病気の診断をされ、薬を服用することになったことがきっかけです。処方していただいた薬を服用することになってから、症状が軽くなり、薬の力に感動しました。そのことから薬学の専門知識を身につけたいと思い、薬剤師を目指すようになりました。

### ■進路決定が遅かったのも 余裕がなく大変でした

私が大学を目指すために努力したことは、受験に必要な科目に時間をたくさんかけることです。試験ギリギリまで範囲が終わらず、とても焦っていて不安も大きかったのですが、化学の先生のサポートにとっても助けられました。放課後や休日の先生の空いている時間に Zoom で講習をやってもらったり、声をかけてもらいました。そのおかげで大切な知識がたくさん付いたり、自信を持って受験に臨むことができました。しかし、受験生として後悔していることは、志望大学をもっと早いうちから決めておくべきだったということです。もっと大学について知ることができたし、余裕をもって勉強に取り組めただろうと感じています。

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科幼児教育専攻に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
七北田中出身

## 色々なことに挑戦して夢を見つけ 実現に向けてしっかり勉強しましょう

### ■希望の幼稚園への就職率が 高い大学を志望しました

私は志望大学を決めるうえで、一番重要なことは、卒業後に自分が何をしたいのかを考えてから、それに見合った大学を探すことだと考えます。そのため私は、大学入試において大学に合格することは目標の達成ではなく、一つ目の通過点だと捉えています。

私は大学を決めるよりも先に、就職したい幼稚園が目標として定まっていました。そのため、どの大学からの就職率が高いのかを徹底的に調べ、志望大学を決めました。将来の目標を持つことができているならば、大学での講義や実習などにも身が入り、より充実した大学生活を送ることができると思います。また、大学入試の面接の場面においても、将来への強い意思を持っているならば、戸惑うことなく答えることができ、説得力のある動機を述べることもできると思います。

### ■部活動で人を支える仕事が 向いていると気付きました

これらのことから、高校生活では、将来の夢を見つけることに時間を使うべきだと考えます。私自身も部活動でマネージャーを経験したことにより、人を支える側に立つことが向いているということに気付かされ、また、ボランティア活動を通して、子供と関わる仕事をしたいと考えるようになりました。たくさんの方が経験できる高校時代に将来の夢を見つけてほしいと思います。また、定期考査と校内模試には本気で取り組むべきだと感じました。これらでしっかりと成績を残し、指定校推薦を取れるように努力をするべきだと思います。私は指定校推薦を取ることができず、公募制推薦で受験をしました。自身の経験として、周囲の人が指定校で決まってくると、クラスの受験ムードは一気になくなります。その中で自力での受験は気が滅入りそうになることがありました。そのようにならないためにも、1年生や2年生のうちから勉強をし、指定校推薦を取れるように頑張してほしいと思います。

以上のことから、高校生活中に沢山のことに挑戦し「夢を見つけること」と「勉強」に力を入れて、楽しい大学生活を送れるようにしてほしいと思います。

函館短期大学 食物栄養学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
青森 甲東中出身

## 面接では自分の言葉で思いをぶつけ 好感触を得ることができました

### ■将来は管理栄養士として 人の役に立ちたいです

私には、やりたいことや挑戦してみたいことがありませんでした。目標もなく、ただ時間だけが過ぎ去っていきました。そんな私に、ある転機が訪れました。それは、とある女性との出会いと新型コロナウイルスの存在です。その女性は、「看護師になって国境なき医師団として活動し、1人でも多くの人々の命を救いたい」と、私に話してくれました。私はその女性の話聞くまでは、誰かのために何かをしようとする人の気持ちがよくわかりませんでした。しかし、誰かのために何かを成し遂げようとする人の姿が眩しく、美しく感じました。私はその女性に影響を受け、人々の役に立つ仕事をしたいと思いました。私は食事が好きで、これから先の時代に食事で病気を治療する選択肢が当たり前のようにある世の中を作りたいと思い、私は管理栄養士を目指そうと決意しました。栄養の知識と、食材の調理方法を同時に学べるような学校を、インターネットを使って調べ、資料請求をして様々な学校と何度も見比べました。その中に1つ、私が惹かれた学校がありました。それは、学校の雰囲気がとても良さそうで、挑戦してみたいと思う受験方法があったからです。推薦制度で、階級に応じて学校の入学金や授業料を免除してくれるという物でした。大学を受験するにあたって、両親にあまり負担をかけたくないと思い、推薦入試で進学しようと思いました。合格するために、まず勉強を頑張りました。ただ勉強を頑張るのではなく、良い成績をキープし続けることを目標として頑張りました。その結果、評定平均が4.5より下回ることは1度もありませんでした。また、資格や特技、趣味を作ることもまた、今後の進学や就職活動においても誰にでもアピールできる素晴らしい要素だと思うので、様々なことにどんどん挑戦していくことも大切だと思います。

### ■ボランティアで人と触れ合い 積極性が身に付きました

私は、全日制の学校に通っていましたが、人間関係のトラブルに巻き込まれ、仙台育英の広域通信制課程に編入学をしました。全日制の学校とは違い、無理に他人と関わらなくてもいいことが、私の心に余裕を与えてくれました。余裕ができたことで、また人と関わりを持ちたいと思えるようになりました。しかし、私の心の中には進学ができるだろうか不安の気持ちが募っていました。入試を受け、面接の瞬間、私は何をアピールすることができるのだろうかと思いました。全日制の学校とは違い、部活動も生徒会などの活動もありません。その差を縮めるため、私は地域のボランティアに積極的に参加しました。同じボランティアに参加した人と会話をしたり、地域活動に多く参加する積極性を身につけました。そのおかげか、面接の際は自信を持って堂々と会話をすることができました。

最後になりますが、これから大学に進学する際に避けては通れない面接についてのアドバイスを残そうと思います。学校や先生にもよりますが、面接で話すことを完璧に覚えて面接に挑むことはしない方がいいです。どんな優等生の人でも頭が真っ白になります。大切なのはアドリブ力です。私は暗記せず、自分の気持ちを正直に面接官の人にぶつけ、無事合格することができました。面接終了後に、「あなたのお話は聞いてとても楽しかったです」と、面接官の方に言われました。暗記していたら、この言葉が私に届くことはなかったでしょう。楽しく、笑顔で、聞かれたことについて素直に答えるということを意識して頑張ってください。

聖和学園短期大学 保育学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 技能開発コース卒  
岩切中出身

## 先生や友人、家族への感謝の気持ちを 忘れずに進路達成を目指しましょう

### ■夏季休業中の課外授業で 確実に実力アップできます

私は、自分の志望大学へ行くために学校推薦型入試(公募制推薦)で受験しました。それまでにしてきたこと、そして、改めて思ったことを書こうと思います。

一つ目は学校に毎日行く事です。何を当たり前的事を書いているんだと思われるかもしれないが、これは大切な事です。そして、できるだけ遅刻、欠席をしないこともとても大切です。これは大学・短大に限らず、どの人にも言えることです。二つ目は受験に必要な物事をしっかり練習するという事です。面接や小論文が主だと思いますが、とにかくしっかり練習をしましょう。高校3年生の夏休みに受験対策の課外授業を受けるように言われるのですが、絶対に受けましょう。確実に受験に必要な力は身に付きます。三つ目はテストで追試にならないようにする事です。要は勉強しっかりとする事なのです。

### ■周りの支えで大学受験に 向き合うことができました

ここで三つの事を書いてきましたが、全部当たり前の事だと思います。毎日学校に行って、しっかり勉強をする。当たり前だけど大事なことなのです。同級生の中には無断で学校を休んだり、ダルいからという理由で学校を早退している人もいたのですが、そんな事は自分の首を絞める事になります。1, 2年生だからいいやと思ってそういう事をすると、3年生になった時に泣くはめになります。自分の行動は全て自分に返ってきます。良い事であろうと、悪い事であろうと。

私は進路を決めるのがかなり遅く、6月か7月辺りにようやく進路が決まりました。クラスの友人達はもう進路を決めていた中で、決まったのが遅くなって少しあせってしまったのですが、先生や友人、家族に支えられて自分の決めた道にしっかり向かう事ができるようになりました。進路が遅く決まっても、それに向かっていくことの大切さ、そして、そして自分のまわりの人々に感謝するということが忘れたいではないと思います。

仙台赤門短期大学 看護学科に  
公募制推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府西中出身

## 部活動で身につけた団結力や忍耐力、 表現力を今後に活かしていきたいです

### ■コロナ禍で奮闘する看護師に 憧れを抱き進路を決めました

私は将来、周囲の人に勇気と笑顔を与えられる看護師として、多くの人の命を救うサポートをしたいと考えています。新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、毎日のように医療現場の逼迫した状況や、医療従事者の多忙な様子をニュースで目にします。過酷である状況であっても医療従事者がその最前線に立ち、命をかけてウィルスと戦い続けている姿に憧れを抱きました。そして私もその一人として、新型コロナウイルスだけではなく様々な症状に苦しんでいる人を一人でも多く助けたいと思ったことから看護師を目指そうと考え、目標とする看護師になるために大学進学を考えました。

私が高校生活で特に頑張ったことは、チアリーディング部の活動です。部活動を通して団結力と忍耐力、表現力の長所を得ることができました。チアリーディングは怪我や命に関わる危険な競技です。そのためトレーニングや自分の食生活、体調管理に気を配り、団体競技なのでチームとして日々の練習から周りを見て合わせることを意識し、声かけをして忍耐力、団結力が身についたと感じます。体調管理を意識したことで、高校生活で一年生から一度も欠席せず登校することができました。また、甲子園を初めとする応援活動やイベントに参加したことで、頑張っている人を応援し、笑顔にする、そして自分の想いを言葉ではなく、表情や態度で相手に気持ちを伝えることで表現力が身につきました。また、部活動の一環として参加したボランティア活動では、止まる車一台一台に、飲酒運転防止の呼びかけを行う飲酒運転根絶運動や、地域の児童館でチア教室を開き、子どもにチアリーディングをする楽しさや凄さを伝える活動を行いました。

### ■高校の学習の復習に励み 進学後に備えています

推薦入学合格に向け、休み時間や授業中を活用して面接練習や小論文の練習を行いました。多くの先生が面接練習に協力して下さり、難しい質問にもしっかり対応できるような力が身につき、注意されたところは忘れないようにメモを取るよう心がけていました。小論文対策では、志望大学の過去問を解くほかに、インターネットや本に記載されている他の大学の過去問題も解く練習をしました。一日に2題書くことを目標にして、家に帰ってからの行動を改め、小論文に充てる時間を多くつくりました。充実した大学生活を送るためにも休み時間をこれまでの復習の時間に充て、入学してから周りの人についていけるようにしたいです。

# 2022 栄光への軌跡

2022年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による  
大学合格までの軌跡



## 学校推薦型選抜【スポーツ推薦】

明治大学、法政大学、日本大学、専修大学、駒澤大学、  
東海大学、関西外国語大学、神戸松蔭女子学院大学

明治大学 商学部 商学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秋田 将軍野中出身

## スポーツ推薦で強豪に進学したいならば 全てのことを人の2倍努力しましょう！

### ■「明大で学生ラグビー日本一」 という目標に突き進みました

スポーツ推薦枠での入学を目指しました。私の場合は明治大学ラグビー部に入学し、学生日本一を目指すという目標がありました。そのために、明治大学に入学できる基準を調べました。

明治大学はあまり多くの部員を取りませんが、入部させる選手のハードルは高いものです。最低でも高校日本代表候補に名前が挙がる選手です。さらに、高校での学業の成績も重視されます。

初めに学業についてです。ラグビー部は試合中遠征で授業に出られないこともしばしばありますので、授業に出られる日はしっかり授業を受けることが大切です。それと、中間テストや期末テストは範囲が明示されるので、ちゃんと勉強して臨むことが重要です。

大学はテストの点数と内申点の両方を評価しますので、学業とスポーツの両方に真剣に取り組む必要があります。個人的な感覚ですが、明治大学ラグビー部に入るには内申点4.0は欲しいところです。

### ■自分でルーティンを決めて スキルアップに励みました

次に部活動についてです。普段の練習から基礎体力の向上を考えてプレーすることが大切だと思います。漠然と決められたメニューをこなしているのでは達しません。私の場合は、朝は誰よりも早く起きて北辰館食堂に行き野菜中心の朝食をとり、7時からウエイトトレーニングを1時間してから授業に出ていました。夜は練習終了後に北辰館食堂で夕食をとり、寮に帰り20時から30分間ロードワークをしていました。さらに、体づくりのために夜はプロテインパスタを作り食べていました。寝るまでの時間はラグビーの戦術についてのビデオやプロのラグビーの試合を見てプレーを研究していました。

日本代表候補に選ばれるためには実績が重要なことは一番ですが、SNSの活用もポイントだと思います。日本ラグビー協会の担当者で全国のラグビー選手全てを把握するのは難しいと言っております。そのことを知り、私はSNSに試合の写真や動画をUPしました。仙台育英に私と言う選手がいて、そこそこ活躍していることを見てもらうことが出来たのだと思います。

結びに、強豪と言われる大学に進学を希望するなら、学業、部活、PRどれも人並み以上の努力が必要だということです。これから進学を決める生徒には、全ての努力を人の2倍行うことを勧めます。そして、希望の大学に入学できることを祈念しています。

法政大学 社会学部 社会学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 志望大学よりも高い目標を設定すれば 自ずと進路達成への道が拓けます

### ■長所である野球のスキルを 大学でも活かしたいです

私は硬式野球部に所属していました。私にとって野球が一番の強みだったので、監督と相談し推薦を取るという方向にセンバツ大会が終わった後に決めました。そして、8月中に自分の野球のアピール動画を法政大学の準硬式野球部に送り推薦を頂きました。そして、11月末の面接と小論文の試験に向け、国語科の先生などに協力していただきながら準備を進めていき、無事合格できました。

大学を決め、合格するためには大きく3つのことが重要だと思います。

まず、私は野球で推薦を頂いたのですが、実力によって行ける大学も変わってくるので、スポーツ推薦で大学に合格を考えている人は自分の実力を伸ばすことをひたすら続けて行くことが大切です。希望通りの大学に合格することは難しいので、行きたい大学よりもレベルの高い大学やステージを目標に設定し練習することで、おのずと志望大学への道が見えてきます。目標を高く設定してみるといいと思います。

### ■先生等に度々見ていただき 進路について相談しましょう

2つ目は、指導者の方や先生に現状のレベルや行ける大学を自分が知りたいタイミングで積極的に聞くことです。期間を空けずに、一つの目標や数値をクリアして行く毎に指導を仰いでいくことで、大事な時期に無駄な時間を過ごすことが無くなると思います。どうしても自分だけでは分からないこともあるので、客観的に評価してもらうことが大事だと思うのでやってみてください。

3つ目は、面接練習を重点的にやることです。小論文の学習もしなければいけませんが、面接は小論文と違い、すぐに回答していくので準備不足は失敗に直結すると思います。そこで、あらかじめ聞かれそうなことや大まかな質問内容を先生方に教えていただき、それに対してどう回答するのかを決めて話す練習をしておくといいと思うのでやってみてください。

日本大学 スポーツ科学部 競技スポーツ学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
岐阜 梅林中出身

## 勉強と部活動の両立に励むことで 推薦入試の選択肢が広がります

### ■コロナ禍でもできることを 常に考えて実行していました

自分は合格するために頑張ったことが2つあります。まず、部活動に一生懸命に取り組みました。自分が、高校を仙台育英に決めたのはラグビーで全国大会に出たかったからです。また、大学もスポーツ推薦で行くつもりでした。なので高校3年間でラグビーに1番力を入れて取り組みました。2年生になってからはコロナの影響で多くの大会が中止になりました。練習時間も減ったり、できなくなったりして思うような練習ができませんでした。その中でも、チーム全員が集中して質の高い練習ができました。その中で自分もAチームでスタメンを取るために努力しました。その結果、2年生の全国大会で3試合すべてに出場できました。この年は色々な経験ができてとてもよかったです。時間が限られる状況で何ができて何をすべきなのかを考えることはとても大切だと思います。このようなことを3年生になっても継続した結果、日本大学から話があり進学することを決めました。

### ■公欠が多かったため 自学自習に励みました

部活動以外に自分は学習にも力を入れました。スポーツ推薦でも評定は落とせないので日頃から学習に取り組みました。部活の影響で大会前は公欠が多くあり、授業内容がわからないことばかりでしたが自分で学習していました。3年生になってからは小論文に力を入れました。大学進学の際には小論文を書くので何度も練習しました。最初はまったく書くことができませんでしたが段々と書けるようになりました。自己推薦文には本当に多くの時間をかけました。何度もやり直しましたが、先生の力を借りて書くことができました。面接練習もしっかりとしてもらったおかげで受験では不安なく取り組みました。

高校生活の中で、部活動と学習を両立することで色々な進路が見えてきます。スポーツ推薦だけでなく指定校推薦でも進学ができます。その中で、自分の志望する大学や自分にあった大学を探し、合格のために取り組むことが大切です。高校生活を充実させて進路達成のために頑張ってください。

専修大学 経済学部 生活環境経済学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
仙台第二中出身

## スポーツ推薦では競技の魅力を 伝える熱意とスキルが大切です

### ■プロ野球選手という夢に 近づける大学を選びました

私は専修大学経済学部生活環境経済学科へ進学します。私が大学進学を目指した理由として、たくさんの人と出会い刺激をもらうことで新しい自分を見つけることができ、それと同時に良い交友関係も築けると思ったからです。

次に、なぜ専修大学を志望したのかについてです。私自身、長い間野球というスポーツをやっており、高校でも野球部に所属し、毎日「日本一」という目標に向かって熱心に取り組んできました。そんな私には、プロ野球選手になりたくさんの人に恩返しするという夢があります。また大人に日々近づいているのを常々実感している中で、学びの多い環境に身を置き、幅広い知識を取り入れ、私自身を根本から磨いていきたいという思いがあります。それらを踏まえ、勉学を目的として全国各地から精鋭が集うとともに、部活動にも力を入れている専修大学へ進学を決めました。

### ■周りの人への感謝を忘れず 毎日を過ごしましょう

私はスポーツ推薦という形で進学をしますが、他にも指定校推薦など進学方法は様々です。私のように、スポーツ推薦を希望する人には、現在熱心に取り組んでいるスポーツの魅力を、他の誰かに熱弁できるぐらい良さをより見いだすことが大切だと思います。それと同時に高い目標を立て、その目標にひたむきに取り組む姿勢が大切だと思います。スポーツ推薦には必ず、小論文が必要になります。今のうちから、小論文の対策をしておくことで本番では余裕を持って試験に臨めると思います。小論文は難易度が高いものも存在するので、担当の先生に添削していただくのが非常にお勧めだと思います。

以上のことが非常に重要であり、面接に関しては、質問に対して、答えがわかりやすく、的確である必要があります。これも先生方とのマンツーマン指導を繰り返すことをお勧めします。最低限の心構えと準備です。

次に仙台育英での充実した3年間を送ってほしいということです。高校3年間を振り返って、長いようでとても短いと感じました。その要因は様々あると思いますが、友達との遊ぶ時間であったり、部活動で仲間と切磋琢磨した時間であったり、逆に友達や先生、親と喧嘩した時間なのかもしれません。これらのことから、沢山の人のおかげで毎日が刺激的で過ごせているということです。従って、友達、親、先生など様々な人に感謝して残りの高校生活を有意義なものにしていきましょう。

専修大学 経営学部 経営学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
岩沼西中出身

## 推薦で進学するならば学校の手本として 自覚を持つことが大切です

### ■校内行事などのサポートを 部員同士で行いました

私は、高校入学時から部活動を通して大学進学という目標を持ち、日々の生活や部活動において様々な活動をしてきました。大学進学をするには様々なすべきことや学校の手本にならなければいけません。生活面においては、他の生徒の手本になるように部活動の方でも指導していただいていたので、挨拶や礼儀はもちろん学校での態度など気にして生活していました。学校の先生や関係者のおかげで楽しい学校生活が送れているので、感謝の気持ちを忘れず、自分たちができる事を積極的に見つけて行動しました。具体的にいうと学校のイベントや行事があるときに部活動のみんなと協力して駐車場の整備や雪かきを行い、少しでもいつもお世話になっている学校の力になれるように活動しました。

この3年間で1番力を入れ、努力したのは部活動です。私は硬式野球部に所属していたのですが、日本一を目標に1日1日大切に練習や考える時間に当てました。大学でも野球をしたいと高校入学時から考えていたので、大学の野球のことを調べたり、実際に大学生の試合を見に行ったりするなどして、自分の行きたい大学を絞っていきました。いろんな大学の方とお話する機会も増え、最終的には東都大学野球リーグで野球をしたいと思うようになりました。目標が決まってからは、目標達成のため今まで以上に練習をしました。チームで掲げている日本一を目指しながら、自分の目標を達成させるために様々なことを考え、ただ練習するのではなく考えながら練習することができました。自分の目標達成のために辛くなったりしても自分のためと思いあとちょっと頑張ってみたり、後回しにしないなど様々な場面で頑張ることができました。

### ■やりたいことを実現する為に 早めに進路を決めましょう

大学に行くにあたってやる事はたくさんあると思いますが、私が大切だと思うことは、自分のやりたい事や行きたい大学などを調べて明確にする事だと思います。いつまでも迷っていて最終的に自分のやりたいことができなくなってしまうのは避けたいので、早め早めに考えたり、調べていく必要があると思います。また両親や学校があつて初めて自分のやりたいことができると思うので、感謝の気持ちと感謝を行動で示すということも忘れずにやっていく必要があると思います。

専修大学 文学部 英語英米文学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
八木山中出身

## 大学では更にレベルの高い 文武両道に邁進していきます

### ■部活動のキャプテンを務め 多くのことを学びました

高校1年生の時からスポーツ推薦での大学進学を目指しており、文武両道に力を入れてきました。英進進学コース特別選抜クラスではオンラインスピーキングトレーニングを取り入れており、入試の際の英語面接ではオンラインスピーキングトレーニングで培ってきた英語の力をしっかり発揮することができました。部活動では硬式テニス部のキャプテンを務め、インターハイ団体ベスト8を目標に日々練習に取り組んできました。目標にはあと一歩届かず、ベスト16で夏が終わってしまいましたが、この高校3年間得たものはとても大きい物だったと思います。最初はあまりコミュニケーションが取れなかったり、仲間の意識がそれぞれ違ったりしていましたが、コミュニケーションをしっかりとることを大切に、意識を高め合ったことで東北1番のチームになりつづけていると思っています。これから大学進学するにあたって、文武両道はこれからも目標であり、レベルが高い所に足を踏み入れますが、仙台育英で学んだことを最大限活かしていきたいと思っています。

### ■監督や先生方など多くの 支えのお陰で合格できました

スポーツ推薦での進学を強く志望していた私は、授業を真面目に受け、しっかりと内申点を取ることを意識していました。テストの際はテニスの練習も疎かにならないよう練習を休まないように、時間を有効活用し、隙間時間は勉強を意識し点数を取れるように考えてきました。

トレーニングも自分の足りないものをフォーカスして取り組んできました。月に1回パーソナルトレーニングを行うことによって、自分の運動能力が向上しました。私がスポーツ推薦で大学に進学できたのは、私だけの力ではなく担任の先生、コーチ、監督、トレーナーさん、携わってくださったすべての方々の支えがあったからです。高校生活で学んできたことを生かし、仙台育英出身の1人という自覚をもち、大学で頑張っていきたいと思っています。これからの4年間、苦しいことや上手いいかないことも多いと思いますが、めげずに頑張ります。

駒澤大学 経済学部 現代応用経済学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
福島いわき平第二中出身

## 勉強もスポーツも一日一日を いかに有意義に過ごすかが大切です

### ■必要とされる選手を目指し 必死で練習に取り組みました

私は、スポーツ推薦入試という形で、駒澤大学への進学を決めました。駒澤大学を志望した理由は、素晴らしい施設や練習環境が整っており、自分自身の成長に繋がると感じたからです。

部活動では、硬式野球部に所属していました。高校3年間といっても、現役として部活動に全力で取り組めるのは実質3年の夏まで、2年半しかありません。だから、とにかく時間を無駄にしないように心がけて、練習に取り組んできました。

部活動を通して学んだことは、目標を持つことの大切さと、努力の大切さです。

目標は「日本一」になること。チームに必要となる選手になるために、自分の役割は何か。今、自分に足りないものは何かを考えて練習に取り組みました。

### ■部員間の競争が努力を続ける 原動力になったと思います

私は自分を高めるために、ほぼ毎日、7時から1時間半くらいの朝の自主練習に取り組みました。もっとうまくなりたい、メンバー入りを勝ち取りたいという思いからでした。朝起きるのが辛く挫折しそうな時もありましたが、同じ目標に向かって一緒に練習に取り組んでいる仲間がいたことも励みとなりました。

また、100人近くの部員がいるため、チーム内でも常に競争がある環境は、緊張感とさらに上を目指そうという向上心に繋がり継続するための原動力にもなりました。

その他、寮生だった私は、3年間の寮生活を通して自己管理ができるようになったことも大きな成長でした。

目標を持つことで、頑張ろうという意欲が湧いてきます。そして努力することで目標が確実に近づいてきます。これは勉強でもスポーツでも同じだと思います。高校の3年間、目標に向かって一日一日をいかに有意義な時間にできるかが、一番大切なことだと思います。

東海大学 体育学部 競技スポーツ学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
神奈川 滝の沢中出身

## 高校3年間は長いようで短いので 早め早めに行動しましょう

### ■スポーツ推薦を目指して 地道に努力を重ねました

私は、東海大学への入学を目標として、様々なことを心掛けながら生活してきました。まず、大学側からスポーツ推薦を取得するために、学業の成績、部活動の成績、共に高い成績が必要でした。

そのため、高校の授業では高い成績を目指し、しっかりとノートを取り、予習復習をして、自分の知識として身につけられるように取り組みました。それにより、評定平均4.0以上の成績を残し、合格ラインに達することができました。

そして部活面では、体づくりや技術面での向上に取り組み、早い段階でスターティングメンバーに選ばれるように努力しました。具体的には、朝練習や、チーム練習後の時間を使って自主練をするなど、自分に足りないものを伸ばせるように取り組みました。それにより、私が2年次の冬の全国大会前にスターティングメンバーに選ばれることができ、ベスト16という成績を残すことができました。

### ■小論文や面接は先生方と しっかり練習しました

加えて、私は公募制学校推薦型選抜だったので、受験科目に小論文、体力テスト、面接がありました。小論文は、テスト直前にしか問題が出るのかわからないため、どんな問題が来ても対応できるように、国語の先生に協力していただき、過去に出された問題を使用して練習しました。面接では、多くの先生方に試験監督の立場になって協力していただき、練習を重ねました。体力テストでは、20m シャトルラン、50m 走、ランパス、タッチフットをやりました。どの種目も、直前に準備できるものではないので、しっかりと日々の練習から、体力や技術を身につけられるように取り組みました。それにより、東海大学体育学部競技スポーツ学科に合格することができました。

最後になりますが、学業と部活動で高い成績をおさめ、実績を持つことが大学進学への一番の近道です。高校3年間は長いようで短いので、早い段階で行動に移し、目標達成できるように頑張ってください。

関西外国語大学 英語国際学部 英語国際学科に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
埼玉 高階中出身

## スポーツ推薦を目指すのであれば 2年次の成績を意識しましょう

■コロナ禍でも常に目的を  
見失わないよう心掛けました

私は関西外国語大学英語国際学部合格しました。受験内容は、面接と事前に提出した志望動機でした。陸上競技を継続することを前提に大学を絞りました。また、学部では、教員の免許を取得出来る大学を選び、関西外国語大学に決めました。

その中で、部活動で推薦を取って入学するためには、高校生活3年間の中でも2年生の成績がとても大切だと思います。進路を考え始める時期でもあり、ほぼ選択出来る大学が決まってしまうと言って良いほど大切になります。

私は、コロナ禍の中でも限られたレースに向けての取り組みを大切にしました。個人練習も少なくはありませんでしたが、何を目的として取り組んで行くのかをしっかりと見失わないようにしました。2年の冬には、自己ベストを出すことが出来たり、全国高校駅伝に向けてチームに貢献するような走りを心がけて取り組むことが出来ました。大会がある中での勉強は厳しい時もありましたが、勉強の方も疎かにせずに行うように日々の授業から丁寧な取り組みを心がけるようにしました。

2年の結果が進路に繋がり、自分が進学したいと思える学校を選択することが出来たと思います。その時その時の取り組みが全て繋がるのですが、特に大切な2年生のシーズンを悔いなく行い、3年生の取り組みに繋げていくことが、自分の進路を広げる1つのポイントとなるので、これからスポーツで推薦を取りたいと考えている方は、今からでも部活動を精一杯取り組むことを大切にしたいです。また、勉強の方の成績も同じくらい大切になるので、評定もしっかりと取れるように文武両道も同じくらい丁寧に取り組めるように頑張りたいです。大変だとは思いますが、進路の幅を広げる一番のきっかけになると思うので、少しでも上を目指して取り組むこともとても大切だと思いました。

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 都市生活学科都市生活専修に  
スポーツ推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東華中出身

## 努力を続ければ結果が付いてくることを 仙台育英での3年間で実感しました

### ■声を掛けて頂いたことを機に スポーツ推薦に挑戦しました

私はこの度、スポーツ推薦で神戸松蔭女子学院大学人間科学部都市生活学科都市生活専修に合格することができました。

私は小学五年生の頃から、なぎなたというスポーツを続けています。私は最後のインターハイで、残念ながら結果を残すことが出来ませんでした。しかし他県の強豪校の先生方に、「あの子雰囲気があるね」、「大学はどこでなぎなたを続けるの?」と、私の顧問の先生に声をかけてくださったと聞き、それが志望大学を目指すきっかけとなりました。私はその当時、なぎなたで進学することは全く頭にありませんでした。しかし、何試合かしかしていない、活躍していない私に、わざわざ声をかけてくださったことに驚き、自分の中の何かを奮い立たせてくれました。このままで終わるのはもったいないと思い、志望大学を目指す決意をしました。

### ■先生方だけではなく友達との 面接練習が役に立ちました

私の入試選考は面接と課題型作文であったため、先生方や友人に面接沢山練習をしてもらい、課題作文は担任の先生に何度も添削をお願いしました。私は緊張すると上がってしまい、上手く話せなくなってしまう事が多くありました。面接練習の1回目も、先生に質問されていてもほとんどの質問で固まり、頭が真っ白になってしまいました。しかしそれは、ただ質疑応答の内容を暗記しようとせず、自分がなぜ大学に進学したいのかを考えて明確にし、それを伝えることで改善されていったと考えます。友人との面接練習では、友人は既に専門学校の面接を終えていたため、実際に質疑応答された内容を教えてもらいながら練習しました。先生方と練習してきた内容と違う質問も多く、気づいたことも多くあり、友達と練習したことで、より詰めた内容を入試本番でも伝えることが出来ました。また、私は元々少し声が低く無愛想に見えてしまっていると気づき、入試では声をワントーン高くすることや、リアクションを大きめにとることを意識しました。そして、いつも緊張すると上がってしまっていた事が嘘であるかのように、堂々と自分の意見を満足に伝えることができたと思います。

私は高校3年間を通して、努力すれば何らかの形で結果が付いてくるということを強く感じました。後輩の皆さん、これから進路決定において悩む事もあると思いますが、今まで自分が努力してきたことを信じて、周りの感謝を忘れずに目標に向かって頑張ってください。

# 2022 栄光への軌跡

2022年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による  
大学合格までの軌跡



## 総合型選抜

東北大学、北海道大学、宮城大学、立教大学、中央大学、  
法政大学、獨協大学、日本体育大学、同志社大学、  
東北学院大学、東北福祉大学、東北工業大学…

東北大学 文学部 人文社会学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
加茂中出身

## 最後まで粘り強く勉強を続ければ 実力が付き成果を上げることができます

### ■疑問はその日に解消し 主体的に学習しました

進路達成に向けて、中でも私が重要だと思えることを三つ紹介したいと思います。一つ目は疑問をそのままにしないことです。私が受験したAO入試Ⅱ期（総合型選抜）の小論文は知識の他に受験者の意見が求められます。さらに意見を裏付けるための根拠が必要です。当日は何が聞かれるか分からないため、いかに自分が意見と根拠をすぐ書ける状態にあるかが要です。つまり直前の詰め込みで乗り切ることができません。だからこそ私は毎日放課後残ってその日学習したことを復習し、テスト直前に勉強し直すことがないように心がけました。また、疑問に思ったことをすぐ調べ、主体的に自主学習に励みました。このように疑問はすぐに解消し、日頃から知識を取り込む習慣があったことでIBDPの最終試験と大学入試が同時期に行われても勉強の両立ができたのだと思います。日頃から知識を取り込むことで見識が広がる上に、ネタにもなるので、課題に加えて少しだけ調べ学習をすることをおすすめします。

2つ目はホームルーム以外のコミュニティに所属することです。私は写真部、茶道部そしてダンス同好会に所属していました。様々な人たちと関わりを持つことで協調性や礼儀が身につきました。私はたくさんの人たちと関わる環境に身を置いたことで、正しい言葉遣いが身につき、結果的に面接試験で役に立ちました。仙台育英では多くの機会があるため部活や学外のコミュニティに積極的に参加すると良いと思います。

### ■少しずつでも伸びていると 言い聞かせて勉強しました

三つ目は時間の管理です。私は昨年度の入試の募集要項をみて、志望理由や他の提出書類作成の計画を立てたことで、HSK3級、TOEFLや英検準一級などの資格を取得し余裕をもって出願することができました。特に協調したいのは、受験期はあつという間にやってくることです。総合型選抜などは一般入試よりも出願時期が早いので資格取得、大学にアピールできる活動を早いうちにすることをおすすめします。

最後に強い意志を持って受験勉強に励むことが大事です。勉強の成果が出ないときに、私は指数関数的に成長するのだと言い聞かせて励みました。最後まで粘り強く第一志望に向かって継続的に勉強した者が飛躍的に成長し、成果を上げることができると思います。

皆さんもそれぞれの夢に向かって大変な思いをしますが、自分を信じて頑張ってください！

東北大学 医学部 保健学科看護学専攻に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
南方中出身

## 1年次から勉強サイクルを確立し 着実に基礎学力を身に付けました

### ■入学当初から東北大学に 憧れ志望大学に決めました

私がAO入試Ⅱ期入試（総合型選抜）で合格することができた要因は1年生のうちから、自分なりの勉強サイクルを確立できたことです。私の場合は、朝に授業の予習を行い、放課後は復習・疑問点の解決に取り組みました。自習場所としてはオークルームを活用し、友達と一緒に勉強することで集中力を保っていました。以上のような勉強サイクルを確立したことで、高校2年生までに大学受験に必要な基礎学力を身につけ、定期テストや模試では安定して得点することができるようになりました。そのため、AO入試Ⅱ期の受験を決めたのは高校3年生の夏と少し遅めだったのですが、評定平均をクリアしていたおかげでスムーズに出願することができました。現時点では、総合型入試を考えていない人でも、定期テストや提出物にも真面目に取り組んでおくことをおすすめします。

2つ目の要因は、積極的に受験に関する情報収集を行ったことです。疑問や不安なことがあれば、東北大学の先輩に質問をしたり話を聞いてもらっていました。自分が志望する大学の先輩にアドバイスをもらうのはモチベーションが上がったり、前年度に受験生だったからこそその効率的な勉強法を教えてもらったりするのでおすすめです。

高校入学当初から、漠然と「東北大学に入りたい」という気持ちがあり、1年生の夏にオープンキャンパスに訪れた際のキャンパスの雰囲気や、施設に惹かれて、本格的に東北大学を志望し始めました。また、訪問看護ステーションの研究を行っていることや、実習先である東北大学病院が臨床研究中核病院に指定されていることも決め手の一つでした。志望大学を早めに定めることも合格への近道だと思います。

東北大学 法学部 法学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
石巻中出身

## 学校の環境を最大限利用し 1年生から勉強習慣を身に付けました

### ■弁護士をめざし、誰よりも1時間以上多く 勉強するのが目標でした

将来は弁護士になるという目標の実現に、東北大学は最適だと思いました。法曹コースなどの弁護士になるための教育が充実しているからです。

志望大学に合格するため、1年生の頃から毎朝オークルームで1時間ほど自習をしたり、赤本をコピーして家で解いたり、仙台育英の環境を最大限利用して勉強しました。長期休業中は何人かの友人に勉強時間を尋ね、誰よりも1時間以上多く勉強することを目標にして勉強し続けました。

合格できたのは、受験勉強を始めるのが早かったからだと思います。1年生のうちは成績が思うように伸びなかったのですが、勉強をする習慣をつけることができました。そのおかげでコロナによる休業中も勉強が続けられたし、それ以降も成績が伸び続けたのだと考えています。

### ■勉強が出来る人は 人一倍努力しています

1年生の時に学年1位だった友人が、勉強のし過ぎで腕の腱鞘炎になったことを知りました。誰よりも勉強ができるのに誰よりも努力していることに驚きました。それまでは、自分は勉強ができる人たちと比べて才能で劣るから、努力しても敵わないと考えていました。しかし、勉強ができるのは人一倍努力しているからだを知り、自分も努力をすればもっと成長できるのではないかと前向きに考えられるようになりました。

1年生の時に偏差値30台を取ったこともありましたが、努力し続けた結果、東北大学に合格できました。自分には才能がないと最初から諦めず、全力で取り組んでみて欲しいです。

北海道大学 理学部 物理学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
涌谷中出身

## 受験に挑戦する道を選んだことは 成長の糧になります

### ■メリハリをつけて効率良く 時間を使う工夫をしましょう

私が北海道大学理学部物理学科に進学しようと思ったきっかけは純粋な好奇心によるものです。私の場合は中学生の頃から北海道大学に憧れていて、大学で物理をより深く学びたいと思い挑戦しようと思いました。そして、この純粋な気持ちを常に抱くことが、大学受験を突破する上で非常に重要なピースだと思います。なぜなら、受験勉強は長い期間継続する必要があり、精神的に苦しくなる時期がきっと来ます。その時、確固たる大学進学への動機があると「もう一踏ん張りしよう!」という勉強へのモチベーションにつながります。ですから早い時期から自分は将来何をしたいのか?どんな人間になりたいのか?を考えておくことが大切だと思います。

さて、ここからは私が高校生活を送る上で大切にしてきたことについて話したいと思います。まず、何事も自分にプラスになるような環境をつくりましょう。というのも、誰でも学校生活を送っているともっとこうだったらいいのに…と不満を感じることもあると思います。しかし、そのようなマイナスの感情をつのらせても何も生まれません。できることは今ある環境でどのように充実した時間を過ごすことができるかを考え、実践することです。私は通学時間と授業が始まるまでの2時間を勉強時間として確保するようにしていました。また、勉強仲間を作ることもオススメです。自分一人で勉強することが基本ですが、どうしても分からなかった時に友達に相談したり、教え合うことは互いの学力向上につながると思います。友達とコミュニケーションをとることは、孤独と思われがちな受験勉強において一息つくことができる良い機会です。勉強とのメリハリをつけて効率化を図りましょう。

### ■無駄なことは一つもないので 自信を持って生活しましょう

最後に、皆さんがしてきたこと、今後することに無駄なことなんて一つもありません。全て経験として蓄積されていきます。ですから、自信を持って生活を送ってください。受験勉強に関して言えば、きっと受験日が近づくにつれて緊張するし、不安も増大します。それはきっと「実力を出し切れなかったらどうしよう…」、「志望大学合格のレベルに達するのだろうか…」といった思考から来るものだと思います。これに関して私が言えることは、一つの真実です。「受験」＝「挑戦」することです。挑戦した後の結果には成功または失敗があります。受験で言うところの合格と不合格です。しかし、挑戦しない者には成功も失敗も訪れません。つまり受験しない人は不合格になることはありませんが同様に合格になることも絶対にありません。皆さんが挑戦しないという楽な選択肢があるにも関わらず、受験するという過酷な挑戦の道を選んだこと自体にとっても価値があります。「挑戦」することを恐れず、自信を持ってください。その経験は必ず自分自身を成長させるための糧になります。ぜひ自分の信じる明るい未来へと突き進んでください!!

宮城大学 事業構想学群 地域創生学類に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
中山中出身

## 友人との時間や授業など勉強以外にも 受験に必要な力を磨くことができます

### ■物事を順序立てて話す力を

小説を読んで培いました

私は数学が大の苦手ですし、文系も特別得意というわけではなく、成績はいたって普通でした。私がなぜ総合型選抜で合格することができたのか。総合型選抜は評定点をよく見ますし、非常に大事になってきます。しかし私には評定でのアドバンテージが無かったので、話術で面接やグループディスカッションでアドバンテージをとろうと考えました。話術を高めるため、私は多くの小説を読みました。よく論理的な文章を読むという方がいますが、理解するまでには時間がかかる場合があります。ミステリー小説などであれば十分論理的ですし、欲しいのは状況を大まかにくみ取る力と、順序立てて話す力なので十分小説でまかなうことができます。図書館の本を利用するのもいいと思います。勿論小説もたくさんありますし、パソコンもあるので何か調べごとをするのにも使えるので在校生の方々は積極的に利用することをおすすめします。また話術を高める上で友人の存在は非常に大きかったと思います。本を読んでいれば、それはどんな本なのかと聞いてくれたり、詳しく教えてほしいなど、自分が今読んでいることを簡潔に説明することを日々行っていたので、まとめる力というのがついたように思えます。

### ■グループワークの本番で

現代文の授業が役立ちました

また総合型選抜におけるグループワークでは、相手の意見をまとめる力が必要になります。この力をつけるには、私は特に現代文の授業を在校生の方々にはしっかり受けてほしいと思います。何故現代文なのかというと、現代文の先生方は生徒に問いかけをよくしてくれていると思っています。生徒の答えはバラバラでも、つまりこういうことだろうという一本の筋が共通してあります。それを見つけ、先生に確かめるを繰り返すことで相手の言いたいことを簡潔に説明する力をつけることができます。また、話の筋を捉える力をつけることができ、これは総合型選抜において最重要なので、3年間真面目に現代文を受けてきて良かったと素直に思います。

私は一人でも多くの後輩がこの体験記を読んで希望を持って欲しいと思います。諦めてほしくありません。評定点が低かったら正直難しいかもしれませんが、でも、尖ることで道を開くことができます。机に向かって行う勉強もとても大事ですし、基盤になりますが、人と付き合うのも勉強だと知ってほしいと思います。皆さんが望む道を望む形で進まれることを願っています。

立教大学 コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
東向陽台中出身

## 自信をもって本番を迎えられるよう 簡単なことから準備を始めましょう

### ■レベルの高い環境で自分を 磨ける大学を選びました

私は立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科に進学します。私が立教大学進学を目指した理由としては、勉強、部活動ともに高いレベルに触れることができると考えたからです。勉強、部活動ともに高いレベルに触れ、自分を磨き上げることで更なる高みを目指すことができると考えました。私は、スポーツでの推薦入試という形で進学しました。スポーツだからと言って部活動を頑張るだけでは合格できません。スポーツ推薦には、必ずと言っていいほど、面接試験と小論文があります。短期間でできるほど簡単なものではないので、毎日コツコツと勉強することが大切だと思います。面接練習としては、毎回同じ先生に練習をお願いするのではなく、普段あまりかかわることのない先生方にもお願いしたほうが、緊張感も出ていい練習になると私は思います。毎日2回ずつ、試験二か月前から準備しておけばあまり緊張せずに試験を受けることができるはずです。また、絶対に質問されると思われることを深掘りして、対応力をあげておく必要があると思います。

### ■家族への感謝を忘れずに 受験準備に励みましょう

小論文は、たくさん書いて小論文に慣れることが大切だと思います。簡単な題から難しい題まで一つ一つ丁寧に書き、その都度先生に添削してもらおうようにしましょう。また、小論文では、最近の出来事がお題になることが多くあります。したがって、新聞を読む習慣を身につけていたほうがいいと思います。現代社会に起こっている問題やそれに対する解決方法、どのようにして行けばよいかなど考えることができます。毎日5分でいいので、政治に目を向け自分の考えを伝えることができるようにしておけば、書く内容に詰まってしまうことはないと思います。小論文は、自分の考えを述べるのが一番重要だと思うので、そこはしっかりと理解していたほうが合格につながると思います。そして、私は大学受験をするにあたってきっと一番迷惑をかけてしまうのは両親だと思っています。両親が一番の味方なので、自分がうまくいってなくても支えられていることに感謝し、努力することが大切です。まだまだだと思わずに、簡単なところから手を付け始め自信をもって試験当日を迎えられるように最善の準備をしましょう。

中央大学 国際経営学部 国際経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
佐沼中出身

## ハイレベルな環境で学校生活を送り 主体的に行動できるようになりました

### ■新聞や本を読み物事に対して 意見を持つ習慣が付きました

私が中央大学国際経営学部を志望大学として選んだのは、高校3年生の6月でした。志望大学の決め手は、国際経営学だけではなく、中国語や中国の地域研究を学ぶことができる点に魅力を感じたことでした。出願の際には英語の志望理由書があり、また試験では英語での面接が行われました。どちらもまずは日本語で文章を考え、それから英語の文章にするなど、入念な準備をしました。

入試を通して強く実感したことは、新聞や本をたくさん読むことの大切さです。入試本番では経営学に関することが問われ、事前に経営学に関する本を読んでおいてよかったです。そして、毎日新聞を読み、それを踏まえて自分の意見を持つようにしていたため、小論文対策にもなりました。

### ■部活動や留学、検定など 早くから色々挑戦しました

高校入学当時、英語のクラス分けは下のクラス、期末テストの順位は下から数えた方が早い、という状況でした。また、周りのクラスメイトには、留学経験がある生徒や英語が流暢に話せる生徒が数多くいました。このようなレベルの高い環境だからこそ、自分を変えられたと感じています。ハワイ研修への参加や自主学習のおかげで、高校2年生のときには英検準1級を取得することができました。志望大学の出願条件でもあったため、早めに出願条件を満たすことによって、入試の負担を少しでも軽減することができました。そして学習面だけではなく、さまざまなことにも挑戦したことも志望大学合格に大きな力を与えてくれたと考えています。私はバドミントン部に所属し、ボランティア、インターンシップなどにも積極的に参加しました。これらの活動を通して、高いコミュニケーション能力と主体的に行動する力を養うことができました。

法政大学 国際文化学部 国際文化学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
韓国出身

## 留学生との学校生活やIBDPなど 仙台育英での経験が進路に繋がりました

### ■国際関係や国際文化について

大学で更に深く学びたい

私は分野優秀者選考（総合型選抜）を受験し、11月末に法政大学の国際文化学部に入学することが決まりました。私が法政大学の国際文化学部を志望したのは高校3年生の4月頃のこと、特に「国際文化」という言葉に強く惹かれたのは高校での経験が理由ではないかと思っています。

一つ目は、日本に留学しているながら、日本と韓国だけでなく世界様々な国からの友達と出会った経験です。中国、インドネシア、ベトナム、タイ、ニュージーランド、ウガンダなど、私自身も韓国人の留学生として、彼らと出会う機会が特に多かったです。彼らと友情を築いていく中で、本格的な「国際交流」を楽しんできたと思います。

そして二つ目は、IBDPを履修しながら身に付けてきた学びが、そういった国際交流と国際文化についての更なる考えを深める契機となりました。Historyの授業で国際関係を考えてみたり、English Bの授業で英語圏の文化にも触れたり、またはCAS科目を通して国際文化を自ら企画することもありました。

### ■志望理由書の作成は余裕を持って

取りかかりましょう

では、私が特に分野優秀者選考を受験できた理由に関しても述べていきたいと思います。法政大学で実施している分野優秀者選考は、国際文化学部のみを受験方法となり、国際文化学部のカリキュラムから学べる学問に特技を持っている人を選抜します。例えば、英語、ドイツ語、韓国語、中国語などの語学の資格を持っている人や、各種大会で受賞した人を対象としています。その中で私は英語の資料を提出しました。

私がこの受験方法を通して求めていたのは、単に「学習能力の優秀さ」ではなく、それまで私が法政大学を目指して何をどのように、どれほど臨んできたか、更には学部についてどれほど理解して、どれほど志望していたかをはっきりアピールすることでした。志望理由書の作成にあたって苦労したのは、「経験に基づく志望理由」と「大学の特徴による志望理由」をうまくつなげて、原稿用紙に上手く収めることでした。担任の先生に確認していただきながら、何回も内容と構成が変わったりして、ぎりぎりですべて整いました。もっと早めに始めればよかった、もっと上手く書けばよかったと、合格を確定している今のところにも悔いに残っています。

法政大学 GIS（グローバル教養）学部に  
自己推薦で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
インドネシア出身

My experience entering Hosei University was not the most difficult. Instead of an entrance examination, Hosei University instead uses the process of a one-on-one interview. I was privileged enough to know several people who also entered the same faculty of Global Interdisciplinary Studies (GIS) in Hosei University. Being well acquainted with them, I was able to ask for their advice when entering the university. They did their best to advise me by telling me the many possible questions that may come up during the interview. I listed those many questions to use for reference when practicing for the interview.

My experience of being able to enter Hosei University was not my effort alone. I asked several different teachers to assist me in practicing for the interview. By providing the list of possible questions and some general information about the faculty I would like to enter, my teachers were able to simulate a situation similar to a real university interview. As I had asked for the assistance of several different teachers, they were able to ask me a range of different types of questions and give me different forms of feedback. These factors have given me the opportunity to be more prepared for a wider range of questions that may have been asked during the real interview and to further improve my way of answering the questions.

The assistance of others was able to help me greatly during my effort to enter Hosei University, but my years of being part of the International Baccalaureate Diploma Programme (IBDP) was the factor that I think had helped me the most. The curriculum of the IBDP has enabled me to become comfortable speaking to or with an audience in an academic and formal manner. In addition to that, through the two years of stress and piles of work, the experience has allowed me to become aware of what I may or not be good at. This realization has helped me in answering the questions that may be related to myself and to avoid my flaws when answering questions during the interview. One of the many objectives of the IBDP is to develop students who are open-minded and aware of the issues in the world surrounding them. After being part of the IBDP, I can say that it has most definitely enabled me to be more aware of many issues in the world, which has greatly aided my in practicing for this interview.

獨協大学 国際教養学部 言語文化学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 仙台育英での経験が進路のきっかけや 受験における支えになりました

### ■語学スキルを更に向上させ

異文化理解を深めたい

私が大学進学を目指した一番の理由は、英語を学ぶことが好きであったからです。特に中学3年時にカナダ研修に行った際、決して流暢とは言えないような私の英語が、コミュニケーションのとれるものであることを嬉しく思った経験もあり、もっと言語を学びたい、異文化に触れたいという思いに繋がったと思います。

受験生になり、日頃の学習との向き合い型の大切さを実感することになりました。例えば、私の受験方法は総合型選抜でしたが、その出願条件には外国語系の検定スコアや英語教科の評定の規定が設けられていました。私は高校2年時の進路を決めていない段階で、取得した英語検定のスコアを利用して出願することができました。また、授業の予習や課題に手を抜かず取り組むことを継続していたことも、評定をクリアできたことに繋がっていると考えます。

### ■コロナ禍で部長を務め

精神的に強くなりました

次に、私が受験期を乗り越えることができた理由として、部活動の経験が非常に大きかったです。私は中学1年時から引退するまでの5年間、オーケストラ部に所属しました。特に最後の1年間はコロナ禍初年の部長となり、思い通りいかない日々を過ごしました。しかし、その経験は、不測の事態が起きた際の対応力や、自分の精神面を強化することに大きな役割を果たすことになりました。勉強に集中したいという理由で部活動を途中で辞めてしまった仲間もいましたが、私は、机に向き合うだけでは得ることが出来なかったであろう経験や力を身に付けることができたと思います。

最後に、秀光6年間のあらゆる経験が、進学を決めるきっかけや、受験生としての自分を支える要素になっていました。過去を振り返って「あの時やっていたら良かった」ではなく、「あの時やっていた良かった」と思えるように有意義な中学・高校生活を過ごしてください。応援しています！

國學院大学 文学部 日本文学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
利府中出身

## 「逆転の仙台育英」で高校受験の 悔しさをバネに合格できました！

### ■自宅でも学校の時間に合わせ 勉強し集中できました

入試までの期間、必要なことに力を注ぎました。特に面接練習を頑張りました。先生には、面接練習を自信が持てるまで何度も指導していただいたり、相談して多くの場面で助言をもらい、助けていただきました。推薦入試が始まるまでの期間は、一般入試のことも視野に入れ、両立していました。推薦と一般を両立しながら対策することは簡単ではありませんでしたが、この大学に入るという気持ちで一生懸命勉強していました。私はあまり勉強にすぐ取りかかるのが苦手なので、家ではいつもスマホについているタイマー機能やキッチンタイマーを使い、学校の時間通りに勉強と休憩をはさみながら取り組んでいました。そうすることで、学校に行っているような雰囲気になり、自然と集中力が上がりました。このやり方が合ってきたころには、前と比べて少しずつ成績が上がっていました。「逆転の仙台育英」という言葉を入学前に聞き、その通り逆転できたと私は仙台育英での3年間で過ごし感じました。私は高校受験で失敗しとても悔しい思いをしました。入学してからの授業は中学校と比べものにならないくらい速かったため、ついていくのがやっとでしたが、私が第一志望にしていた高校に行った人たちを見返そうという思いで努力しました。

### ■受験資格を得られるように 特に評定を意識していました

私は3年間で特に評定を意識していました。入学当初から行きたい大学が未定でした。ですが行きたい大学が決まった際に評定が足りていなくて受験をする資格がないということを防ぐため、評定が必要になってもいいように5や4をとるように心がけていました。仙台育英は5や4が取りやすいと言っていましたが、少しでも怠けてしまうと危ないので、怠けずにしっかりと授業を受けることが大事だと思います。3年間はあっという間なので有意義に過ごすことが大切です。

杏林大学 保健学部 救急救命学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
丸森中出身

## 「大丈夫、絶対合格できる！」と思い 気持ちで負けないことが一番です

### ■英文の読解試験対策として 授業の予習に注力しました

私が将来の夢を決めたのは高校3年生の春です。医療に道に進もうと決め、各地方の大学を沢山調べ資料を集めました。進学説明会にも毎回参加し、気になる大学を徹底的に調べ質問するように心がけ、私は東京の大学に決めました。入試方法は総合型選抜にしました。総合型選抜とは主に小論文と面接を受ける入試方法です。なぜ総合型選抜にしたかということ、私は将来の目標を明確に持っているためそれをアピールできるのは面接のある総合型選抜だと思ったからです。

ただ、私の目指した大学は、小論文・面接だけでなく、さらに英語の長文読解がありました。対策のため大学の過去問題を探しましたが公表しておらず、勉強方法に悩みました。そこで私が取った勉強方法は単語をとにかく覚えること、そして英語の授業は必ず単語の意味調べ、文法、主語、動詞のチェック、日本語訳に直すこと。これを毎日事前に家で行ってから授業に臨みました。

### ■国内外のニュースについて 意見を持つことが大切です

面接練習は圧迫面接、普通の面接を計6回行いました。面接は相手に伝わるよう棒読みにはならないように話さなくてはなりません。そのため伝えたい要点だけをメモに書き、自分の言葉で話せるようにしました。面接は「笑顔で堂々とはっきり大きな声で」を心がけることがポイントです。事前に質問されることを予想して対策しておくことが自分でできる対策だと思います。

小論文は直前までお題が何か分からないため、授業の小論文はもちろんのこと、新聞やニュースを見て自分の意見を持つことが大切だと考えます。日本のことだけではなく他国でどのようなことが起きているのか世界全体の広い視点で、様々な分野の知識を入れるようにしました。実際の入試のお題はやはり日本のことではなく他国を含む内容で「新型コロナウイルスのワクチン接種について貧困国のために先進国はどのような対策を取らなくてはならないか次の文を読み、解決策をそれぞれ2つずつ書きなさい」という内容でした。

最後に、入試当日に大切にすべきことは焦らないこと、悪いイメージを持たないことです。自分なら大丈夫、絶対合格できると思い込んで自信满满で受けることが大切だと思います。まずは気持ちで負けないことが一番です。後輩の皆さん応援しています。

桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 アビエーションマネジメント学類に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
蛇田中出身

## 海外研修や部活動への挑戦で 学んだことを受験で発揮できました

### ■充実した高校生活が 受験での強みになりました

私は総合型選抜で志望大学に合格することができました。私が志望大学に合格できた理由として外国語コースと部活動での活動が大きく関わっていると思います。

まず、外国語コースの特徴である海外研修で、私は高校1年生の時にフィラデルフィア研修に参加しました。私はこの海外研修から異文化理解や語学力の大切さを学んだことを活かし、一次審査である書類審査では国際性をアピールすることができました。また、第二外国語として選択していたスペイン語は、面接での英語以外の言語についての質問に柔軟に対応することができました。

さらに、高校3年間所属したチアリーディング部での経験は受験をするにあたって私にとって一番大切なことだったと思います。チアリーディングを通して学んだ笑顔は面接でも意識をし、明るい印象をつけられるようにしたり、チアリーディング部だったからできたスポーツ応援やイベント出演などの経験を活動報告書として大学に提出することができました。

私が受験を通して、学んだことは挑戦することの大切さです。海外研修や部活動など、自分から行動しなければ身に付けられなかったことが高校3年間で経験することができました。それに加え、志望大学を1年生や2年生のうちに決めたり、調べたりしておくことは3年生になって受験に対して落ち着いて準備をすることができる方法だと思いました。高校で経験したたくさんのことを活かして大学でも色々なことに挑戦していきたいです。

日本体育大学 体育学部 体育学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 3年間野球に集中して取り組み 成長できたと実感しています

### ■自分の実力で大学でも野球を 続けられる進路を選びました

私が大学進学を希望した理由は幼い頃から続けていた野球を続けたいと考えたからです。進路を意識した時期は2年の冬頃です。プロを目指していましたが現時点では無理だと思ったので進学に切り替えました。大学が明確に決まったのは3年の8月頃。立正大学の野球部に入りたいという思いで練習会に参加しましたが声がかからなかったのであきらめました。そこで自分のレベルでもいける大学を探し、なおかつ環境が整っている所で野球をやりたいと思い日本体育大学を選びました。

明確に大学が決まってからは大学の受験形式を調べそれに向けて勉強をしました。私の場合、小論文だったので一から書き方を学び少しずつできるようになりました。まずはセオリーを覚え、時間通りに書くことが大切です。また、分からない単語なども調べておくことより便利です。もう一つは面接練習です。面接はまず自分の意志や目標を言葉にして文字に起こすことが大切です。それをまずは暗記すること。そして一番大事なのは繰り返し練習することです。そうすることで慣れが出てくるので余裕が生まれてきます。

### ■普段から授業に集中し 考査対策を怠りませんでした

学校生活で意識していたことは、しっかりとノートを書くことです。提出前になり急いでやっても意味がありません。また、テストでしっかり点数を取ることが大切で評定に大きく関わってくるのでテスト対策をしっかりとやるべきです。

また、仙台育英フレックスコースはとても部活動に力を入れることができ、3年生になってからは、一日2時間のオンライン授業でした。なのでみっちり野球に取り組むことができとても成長することができました。コロナの影響もあり他の生徒と関わることはあまりできませんでした。それぞれのコースに特徴がありその人に合った成長ができると思います。生徒数も多いので多くの人と関わる事ができれば社会に出た時にとても活きると思います。

日本体育大学 体育学部 体育学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 部活動では主将として奮闘し 大きな価値のある3年間になりました

### ■目標である野球指導者への 第一歩を踏み出しました

私が大学進学を選んだ理由は、自分自身の一番の目標に大幅に近づくことが出来ると考えたからです。大学に進学することで、様々な資格、多くの経験を4年間で積むことができ、社会に出るための学びを得ることができるという利点があります。

高校卒業後は、それぞれ自分の進みたい道に進みますが、高校3年間を無駄にしてはいけないと改めて感じています。なぜなら、この3年間で大人になるからです。私は部活動に力を入れることができるフレックスコースで3年間を過ごしました。もちろん勉強との両立をしながらも部活動で結果を残すために日々練習に励んでいました。意味のある時間を作るためには、環境と人との繋がりが重要だと強く感じます。そのため、野球を通して自分自身の限界や最低ラインを知ることができました。最高学年になってから主将を務め、チームをまとめるということと、結果を出すという二つのことが求められましたが、人との繋がりを大切に、チームがまとまるための環境を作り、結果が出るための環境を作りました。どれも上手くはいきませんが、一つの解答ではなく複数の回答を自分の中で持つことができたので、乗り切れることが多かったです。今ではあの経験は何にも変えられないものになっています。だからこそ毎日時間だけが過ぎていく無駄な生活をせず、さまざまな経験を積み成長していくことが、高校3年間の大きな価値のあるものになると考えています。

私は、自分にとって学びたいことが多く揃っている日本体育大学に進学します。進学後は指導者を目指すために、硬式野球部に入部し多くの部員と繋がりを持つと考えています。高校3年間の経験が必ずその先に生きてくると信じて、後輩たちには時間を大切に頑張ってもらいたいと思います。

日本体育大学 体育学部 体育学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
南光台中出身

## 部活動で鍛えた精神力と先生方の支えで 入試本番に落ち着いて臨めました

### ■日本一にふさわしい人間を 目指し3年間を送りました

私の高校生活の中心は野球でした。小学生の頃から仙台育英硬式野球部に憧れ目標にしていたので、入部できた時は本当にうれしかったのを今でもはっきり覚えています。

しかし、入部してみると、自分の想像を超えるレベルの高さに圧倒されてしまいました。先輩達は、誰一人として手を抜くことなく練習に取り組み、真剣な姿からは必死さが伝わってきました。甘くない現実、辛く激しい競争、本当に厳しい世界なんだと思いました。

私は入部してから、自分の心と体に向き合うようになりました。野球の技術や身体作りはもちろんですが、自分の生活習慣や生活態度を考えるようになりました。

仙台育英硬式野球部には「日本一からの招待」という言葉があります。日本一にふさわしい人間にならなければ日本一からは招待されないという意味です。

コロナ禍の中、思うように練習が出来なかった時も、大会が中止になった時も、気持ちを切らすことなく集中できたのは、日本一にふさわしい人間にならなければと思ったからです。この気持ちは、私にとってとても大切なものになりました。

### ■夢に向かって進むのに 楽な道はありません

部活を引退し、私は日本体育大学に受験することに決めました。小論文と面接。先生方には放課後に添削を何度もお願いし、対策や傾向を一緒に考えてもらいました。面接練習では細かいところまでしっかりチェックしてもらい、自分一人では気付かなかった話し方のクセや姿勢なども直してもらいました。

入試当日は緊張しつつも、落ち着いて出来たのは、野球部で鍛えられた精神力と先生方に頂いた数々のアドバイスのおかげだと思います。ありがとうございました。

夢に向かって進む時は、努力しなければなりません。楽な道はありません。一日一日の積み重ねが大切だと思います。努力し続けることは簡単ではありませんが、頑張っていれば、自然と道が出来てくると思うので、後輩の皆さんも頑張ってください。

文化学園大学 造形学部 デザイン・造形学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
高知 明德義塾中出身

## 受験が人生のすべてではないので 失敗を恐れずチャレンジしましょう！

### ■後悔のない選択と

綿密な計画が大切です

私は文化学園大学を目指し、AO入試2期を受けて大学に合格しました。大学入試において最も重要だと思ったことを紹介したいと思います。

大学入試において一番重要なのは、「決定」だと思います。自分自身がやりたいことを決めなければならないからです。そのためには、高校3年生になるまえに色々なことを経験してみることで自分の好きなことを探さないといけません。そのため、新しいことに対して恐れずに、チャレンジする心がけが必要です。

私の場合は、高校3年生の5月ぐらいに私の進路を真剣に考える期間を持ち、中学生の時から考えて来た夢ではなく、まったく違う分野に進むことを決定しました。高校3年生になってから進路を変えたり、新しい挑戦をすることは危ないし、恐ろしいと思うかもしれませんが、後悔しないための決定はとても重要だと思います。

二番目に重要だと思うことは計画だと思います。受験において、試験対策や入試情報はすごく重要だと思います。特に、私は計画を立て、その通りにできなかった記憶があるため、時間のマネジメントを良くし、健康な日常生活を維持し、自分の体力を考えながら受験に取り組むことが大切です。

大学は人生の全部ではないし、人生には大学以外にも様々な機会があると思いますので、失敗しても絶望せずに前向きになりましょう。しかし、大学入試は高校3年生だけの時期に経験できることであり、後悔がないように頑張りましょう。

東京国際大学 商学部 経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
中国出身

## 合格した瞬間や大学で学ぶ自分の姿を 想像するとモチベーションに繋がります

### ■日本語のスキルアップに励み

面接試験に備えました

私の父が会社を経営している影響で、私は子供の頃からずっと会社の経営に興味を持っています。私は父をととても尊敬し、父のような人になりたいと思ってきました。先生と一緒に努力して、東京国際大学の総合型入試に合格しました。東京国際大学で国際的な視点や経営に関する知識をしっかり身に付け、将来父を超えるような社長になりたいと思っています。

私の入試方法は総合型入試です。志望理由書の中に私がこの大学に入学したら、資格取得をして将来に役立てたいという思いを書きました。また、今まで取得した資格やこの大学の魅力や自己PRなどを書きました。自分をアピールするところだったので、私のできることをしっかりアピールしました。私は留学生なので一番大変なのは面接時日本語で大学の先生と交流することだと思います。自分の日本語能力を高めるために、私は毎週月曜日から金曜日まで日本語のオンライン授業をしています。そして、毎週日曜日には塾へ日本語を学びに行きます。平日はクラスでクラスメイトと積極的にコミュニケーションします。また、2021年7月に行われた日本留学試験で、日本語を260点取得しました。この点数は日本語能力試験のN2レベルを相当しているので、大学への書類を提出する時、この成績も提出しました。試験の前の2週間、私は毎日違う先生と面接の練習をして、2週間の練習の後、私に面接の自信を持たせました。

### ■親身にご指導下さった

先生方に感謝しています

この大学に合格したいという気持ちが何よりも大事だと思います。この大学で勉強している自分、それが無理なら合格して喜んでいる自分を想像すると勉強も頑張ることができ面接でも対応しやすくなります。

クラスの担任先生や国際センターの先生や公文の先生はとても親切と思います。私の大学の書類と志望理由書は先生達がとても真剣に直してくださいました。そして、面接も根気よく指導してくれました。本当に先生達の援助にととても感謝しています。

敬愛大学 経済学部 経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
成田中出身

## しっかりした考えをもつことと 準備の大切さを入試を経て実感しました

### ■入念な面接練習で想定外の 質問にも対応できました

敬愛大学を受験するきっかけは、高校から続けている硬式野球を高いレベルで継続できること、学習面では専門分野の勉強に多く取り組むことができ、設備や環境なども充実しており将来の夢に近づくには自分にとっても合っていると考えたからです。

受験方法としては、総合型選抜スポーツ2期で受験しました。試験内容としては面接官2人と自分1人の個人面接でした。時間としては15分程度で8つの質問に答えました。内容としては、志望動機や高校時代に頑張ったことなどで、対策したものが多く出ました。最後の質問で、千葉県の最低賃金の値上げについての文章の音読とそれについて自分の意見や考えを発表がありました。予想していなかったので多少戸惑いましたが、自分の意見をしっかりと発言し、冷静に対応することができました。私は練習の際に幅広い分野の質問を先生からしていただき、多くのものに対応する力をつけることができました。また、ニュースや新聞をたくさん見ることを心がけ、世の中で起こっている出来事などの知識を身に付けました。自分が志望する学部に関係するニュースなどをしっかり調べておくと、入試の時にはもちろん、合格後に渡される課題などにもいかすことができると思います。

### ■提出書類は自信を持てるまで 何度となく練り直しました

入試までの期間で、準備力と自分の考えをしっかり持つことが大事だと改めて思いました。事前に提出する書類関係は、自分も添削してくださる先生も納得がいき、これで完璧と自信を持てるまで何度も繰り返すことがとても大切です。また、自分の印象や良さを上げるためにも自分自身を客観的に見ることを意識するといいたと思います。そうすれば不安なく受験に取り組むことができます。

部活動や勉強に一生懸命に取り組めば、それが結果となり進路の幅を広げることができ、大学を選ぶ際の候補を増やすことができます。今後、自分がやりたいことを目指しているものを実現するためにも一日一日を大切に充実させることを意識してみるといいと思います。

淑徳大学 看護栄養学部 看護学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東向陽台中出身

## 自分で決めた道に責任を持ち 感謝を忘れず成長し続けていきます

### ■多くの人達の支えのお陰で 第一志望に合格できました

私が、数多くある看護大学の中で淑徳大学看護栄養学部看護学科を目指した理由は国立病院機構をはじめとする充実した施設や設備、国家試験対策などが恵まれた教育の場などの環境から目指すことを決めました。

私は総合型選抜で、合格を決めることができました。主な受験内容は小論文と面接で、受験日まで様々な対策を行いました。まず小論文では、受験日が近づいてきた頃には一日に一回は必ず小論文を書き、担任の先生だけでなく何人かの先生に見てもらい、様々な視点から意見をもらいました。また、看護大学の受験だったので医療に関する基礎的な知識を学べる資料を読むことや、題材も医療や福祉に関係あるものを選んで取り組みました。そして、面接対策では小論文と同じように、一日一人の先生とは必ず、そして時間があるときは一日に二人の先生に面接練習をお願いしました。本番がどんな先生との面接かわからないため、どんな質問にも対応ができるよう、多くの先生方に面接練習をお願いしました。二分間の自己アピールでは、特に部活動で学んだことなどについて話しました。約2年間半の部活動は様々な経験をすることができ、努力や仲間との協調性についてなど、自分が成長していく中で大切なことについて学ぶことができました。この経験を、決して無駄にせず、これからの目標にどう活かせるか自分自身でしっかりと考えたうえで話せるようにしました。

大学に合格できたのは、部活動での経験はもちろん、私自身が努力し続けることができ、そして周りのサポートがあったからこそだと思います。県外の大学に行くことを応援してくれる家族、練習に沢山付き合ってもらった先生、応援してくれた友人など多くの人たちに支えてもらいました。これからが一番辛く大変な時期が多くなると思いますが、自分で決めた道に責任を持ち、多くの感謝を忘れず成長し続けていきたいです。

白鷗大学 経営学部 経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 大学でやりたいことを明確にすれば 今何をすべきか気付くことができます

### ■皆の見本になるような行動を 生活面でも心がけていました

私は、高校入学時から部活動に打ち込み、その中で野球を通して大学進学をするという目標を持ち、日々の学校生活で様々な活動をしてきました。自分の目標とする大学に入学するためには何が必要なのかを自分で考えて計画してきました。生活面においては、他の生徒の見本になるように部活動の方でも指導していただいたので、挨拶や礼儀はもちろんのこと目上の先生方や先輩などに対する気遣いなど、多くのことを意識して生活してきました。また、学校のイベントや硬式野球部で開催しているイベントなどに積極的に参加しました。イベントの企画や進行など参加する人が楽しめるように協力して取り組みました。また、学校行事が行われるときは駐車場の整備など普段お世話になっている学校の力になれるよう積極的に取り組みました。

### ■周りへの感謝を言動と行動で はっきり示しましょう

この3年間で一番力を入れて取り組んできたのは部活動である、野球です。チームとして日本一になるという目標をかかげて取り組みました。チームとしては個人の実力を底上げすることをはじめとし、チーム内競争を活性化させることでチームを強くしてきました。個人としては、大学でも硬式野球部を継続したいと考えていたので、それに見合った実力を持つように自分に何が足りないかなどをよく考えて練習しました。また、大学進学を見据えて、自分は大学で何を学びたいか、何をしたいかを明確にする作業を続けてきました。私自身、野球を継続するという事は明確だったので、その中で学習面でどのようなことを学びたいかを考え、大学や学部、学科の選択をしました。

大学に進学するにあたってやるべきことは多くありますが、一つ一つやることを明確にしていってクリアしていけば、自分が本当にやりたいことに気づけると思います。また、自分を支えてくれる方への感謝の気持ちは行動、言動で示していく必要があります。なにより大切なことだと強く感じました。

白鷗大学 教育学部 発達科学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
福島 中村第一中出身

## 大学では常に卒業後を意識して過ごし 社会で必要とされる存在になりたいです

### ■進学を決意し野球はもちろん

勉学にも一層励みました

私はこれまで硬式野球部として活動してきました。野球を通して人間として成長することができました。高校3年間野球に真剣に向き合い探求を続けているうちに、更に上のレベルで野球がしたい、もっと多くの経験をしたいと思うようになり大学進学を目指すようになりました。

進学を目指すように決めたことで、以前よりも野球はもちろん勉学に励むようになりました。野球をプレーする時は、自分だけでなく他人のプレーや考え方に対して、なぜ、どうしてという感情が強くなりました。バッティングや守備の基礎的な部分だけではなく、配球や作戦などにも疑問を持つようになり、野球を深く考えるようになったと実感しています。

勉強に関しては、私の志望大学の入試内容が英語と面接だったので、その二つを重点的に勉強し、練習を重ねました。英語は基礎の文法から見つめ直し、イージーミスを絶対にしないよう心がけました。面接練習は野球部の部長やコーチに面接官をしていただき、実践練習を多く取り入れました。

試験当日は緊張はしましたが、これまで練習したこと勉強したことに自信を持ち、自分で納得できる試験をすることができました。

### ■仙台育英での学びを活かし

大学で一回り成長したいです

私は大学生活をしていく上で高校生活よりも更に頑張りたいことがあります。それは社会人になる準備することを目標にすることです。高校生活では、野球に向き合うことで精一杯になってしまうことがありました。大学では大人に最も近い学生として常に社会人を想定し、社会に出たときに必要とされる存在になれるよう努めたいと考えています。高校で学んだことを最大限活かして人間として一回り成長できるよう充実した有意義な生活を送りたいです。

山梨学院大学 法学部 法学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
桃生中出身

## 先のことで悩む時間があるなら 目の前のことに全力で取り組みましょう

■柔道日本一という夢を  
大学でこそ叶えます！

私が大学進学を志望した理由は、インターハイで優勝を目指して日々稽古に励んでいましたが3位と言う結果に終わり、悔いが残ってしまったからというのと、もう一度大学の柔道生活で日本一を目指して稽古をしたいと思ったからです。私は大学側からスポーツでの推薦をいただき総合型選抜で受験しました。

私はインターハイの前までは大学進学など一つも考えておらず、就職試験の勉強を毎日していました。そのため、高校の柔道生活を悔いなく終える為に毎日本気で無駄のない稽古に励んでいました。インターハイで優勝して柔道生活を終えたかったのですが、負けてしまいとても悔しくて、日本一になりたい気持ちと大好きな柔道をまだ続けたい気持ちがあったので、大学でも続けることを決断しました。ありがたいことに大学からは何校かお声がけをいただいていたので自分に合った大学を選びました。

大学合格した今になって思うことは、大学進学を志望する為に日々の練習に臨むのではなく、今自分のできる最高のパフォーマンスをしていた事が私は良かったと思いました。なので、どちらの道を選んでいても必ずその努力は報われると思いました。だから、先のことを考えるのではなく、まずは目の前のことに集中して取り組む事が大事だと思います。私が大学進学を決断する時は本当に大学に行って後悔しないか、もしくは就職してもいいんじゃないかととても悩みましたが、日本一を目指して練習できるのはとても貴重だし、目指せる人は少ないと思い、大学進学を決断しました。親や周りの人から意見を言われることもあると思いますが、自分の人生は自分で創っていくものなので、自分で決めたほうが良いと思います。どの道を選んでも後悔しないよう、全力で目の前のことに励んで頑張ってください。

山梨学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
神奈川 高浜中出身

## 質の高い学習を効率良く行い 成績を維持することができました

### ■学習は環境や時間を工夫し 部活動と両立しました

私は、ラグビー部に所属しています。私が山梨学院大学を志望した理由はラグビーを全力でできる環境、そして自分が学びたいスポーツ関係のことを深く学ぶことができる、この二つが共に揃っていると思い志望しました。私が山梨学院大学合格に向けて学校生活を送るうえで意識したことは、時間の効率化を図るということです。私はフレックスコースに所属していました。そのため、部活がメインの生活になりがちですが、少しの時間でも質の良い勉強をすることでいい成績を収めるように努力してきました。例えば、勉強をやる際には自分の部屋でしていると色々な誘惑があると思います。ゲームや携帯、本など、そのため気が散ったりしやすく勉強の質が落ちることがありました。そこで、私は勉強を図書館などですることによって集中できる環境を作り、勉強の質をあげるようになどしてきました。また、大学ではパソコンを使った授業などが増えると考えタイピングの練習なども空いた時間などにしたりして、大学に行っても使える知識や技術を取得していくよう努力もしてきました。ですが、部活が忙しく勉強ができない日などもありました。そのために週で勉強を何時間するかなどを決めて足りない時間を他の日で埋めるなどの努力もしてきました。大学ではさらに勉強の難しさも上がり大変になると思いますが、変わらず時間の効率化を図って質の良い勉強をしていきたいと思っています。

### ■大学で実力を発揮できるよう 体力づくりに励んでいます

また部活動の部分では、2年生の全国大会前に怪我をしまい悔しい思いをしました。そのため、3年時には、怪我をしない体づくりを目標とし徹底してウエイトトレーニングなどに励んでいきました。そのため、3年次には、怪我をせずに全国大会に出ることができました。大学では、部活動のレベルもより高いものになるので、更に怪我をしないということが大事になってくると思います。ウエイトトレーニングや日々のストレッチなどを徹底して大学でもラグビーを全力で取り組めるように努力していきたいです。

中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
北海道 緑陽中出身

## 必要なことや足りないものを把握し 余裕を持って早めに準備しましょう

### ■環境面と雰囲気の良いに 惹かれて志望しました

私はアスリート特別入試（総合型選抜）という形で中京大学に合格することができました。硬式野球部に所属していた私は、大学でも硬式野球を継続したいと考え進学を志望しました。

その中でも中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科が夢を実現するにあたって環境や施設などが高いレベルで備わっていると感じたことと、部活動の雰囲気がとても良いと感じたので受験しました。スポーツ面が主として見られていますが、学業も最低限のことをクリアできていなければなりません。高校3年間で文武両道をしっかり体現することが大切だと感じました。

### ■目標達成から逆算して 計画を立てましょう

アスリート特別入試では部活動の成績や実力が必要となってきます。私は3年間硬式野球部に所属し、目標達成のために毎日一生懸命練習を積み重ねました。しかし、目標達成のために漠然と練習をしていても可能性は高くなりません。具体的な工夫や短所を一つでも克服し長所を最大限に伸ばすことなど明確な意図を持つことで成長は早まると思っています。学業でも一つ一つの授業を大切にし、その積み重ねが良い成績につながってくると思います。自分の行きたい大学や学部・学科などがあるのであれば、そこに行くためにどうしたら良いかを逆算して、計画を立てて実行することが大切です。

目標の実現には準備が何よりも重要です。何が必要か、何が足りていないか、何が求められているかなど目標実現のために具体的な準備を余裕を持って早めに行動してほしいと思います。良い準備のために今からできることを一つ一つ積み重ねて、後悔のないように精一杯がんばってほしいと思います。

同志社大学 国際教育インスティテュート (ILA) に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
タイ出身

As an international student, my first year in the foreign language course was difficult. The first year was the time that I was searching on all the universities that I would possibly go and I found out that most of the universities require Japanese proficiency test N2 level in order to get in. During the first year, my Japanese level was way far from N2. I just passed N5 before I came to Japan. Also, I would be joining International Baccalaureate Diploma Program (IBDP) which I would be studying all classes in English from my second year so I knew that I would not have much time to study Japanese. I had decided to try my best and managed to get N2 before I moved to IB program.

My second year was not as hard as my first year but I would say that it was very challenging as studying English has not gone hand in hand with my historical pursuits because I just started to study English seriously once I attended IB program. Choosing the right program is also very important. During the study of the International Baccalaureate Diploma program, I have studied a wide range of subjects which has provided me with a breadth of knowledge. International-mindedness is also encouraged in the International Baccalaureate Diploma program which helps me to reflect on my perspectives, identities and cultures. IB program, therefore, provide students with opportunities for sustained inquiry into a range of local and global issues and ideas which help me to prepare for my future university.

I would say that motivation is the key to success. Surrounding yourself around supportive, motivating people will push you to do better and work towards reaching your goal. Studying is important but I believe that you should not take your teenage life or society away from yourself. You still need to break and have fun sometimes or else you may be too stressed that you could not concentrate on your study. However, you have to make sure that you would manage your time wisely. Also, for me, telling people about my goals, helped me to put a moderate amount of pressure on myself in order to achieve them and made me stay motivated. I hope my experience would help you and I pray that you will move on to the future you are aiming for.

西南学院大学 法学部 国際関係法学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 外国語コース卒  
滋賀 松原中出身

## 振り返ったときに充実していたと 思えるような高校生活を送りましょう

### ■部活動で主体性や協調性を 養い受験にも役立ちました

私は滋賀県の中学校に通っていましたが、IBプログラムなどの外国語コースのカリキュラムに大きな魅力を感じ、仙台育英に入学しました。しかし、周りに圧倒されてしまい自分に自信が持てず、トライアルに参加する勇気が出ませんでした。今でも挑戦しなかったことを後悔していますが、この経験を元に挑戦することの大切さについて学び、スピーチコンテストへの出場や資格取得に積極的に取り組むなど、その後の高校生活の送り方や将来を考える良いきっかけになりました。

部活動は、仙台育英獅子太鼓部とILCに所属しました。どちらも生徒が主体となって運営していくことが多かったため、自分の役割を考え、行動する力や主体性、協調性を養うことができ、大学受験での面接の自己アピールでも役に立ちました。また、獅子太鼓部の活動では、地域での演奏を通して社会貢献する楽しさや大切さを実感し、今後の目標も見つけることができました。

### ■寮生活では自分で何でも行い 自己管理能力が磨かれました

私は実家が県外だったので、3年間寮生活をしていました。思春期真っ只中で両親と離れて生活することができ、最高に楽しかったです。その反面、自分の身の回りのことは全て自分でやらなければならないため、一つ一つの行動に責任があることや、親のありがたみを強く感じました。寮生活では、自分自身と向き合う時間が多くなったため、自己管理する力が身についたと思います。

私が過去の自分にアドバイスをするとすれば、目的を持って毎日を過ごして、ということです。毎日何となく過ごしていると、3年間はあっという間に過ぎます。何でもいいので何か全力で取り組むことのできるものを見つけ、振り返ったときに、高校生活充実していたなと思えるように一日一日を大切に過ごしてほしいです。高校3年間はもう二度と戻ってきません。自分の将来を考えながら、仙台育英で高校生活を全力で謳歌して下さい。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
愛知 福地中出身

## 課題提出などできて当たり前のことを しっかり取り組むことを徹底しました

### ■人に寄り添い助ける仕事に 就くために進学しました

わたしが大学を目指したきっかけは、大学のパンフレットを見ていた際に気になるコースがあったからです。それは人間健康学科の認定心理学プログラムというものです。わたしは不登校を経験して学校に行くのが難しくなり現在は通信制の高校に通っています。その不登校の時に沢山悩んだりしたこと、友人とのトラブルなどを生かしたいと思い、心理学プログラムというものに興味を持ちました。それと同時に不登校や人間関係のトラブルで悩んでいる人たちに寄り添えるような仕事に就きたいと思うようになりました。この認定心理学プログラムでは臨床心理士という精神的なことで悩んでいる人たちを助ける職業を目指すことができるということで受験することに決めました。

入試はお題に沿って小論文を書くというものでした。わたしは元々文章を書くことが苦手だったので不安でしたが、何度も練習し、担任の先生に確認しながらしっかりとやり遂げることができました。また、ニュースを取り上げてそれに対する自分の意見を述べるというお題だったので新聞やニュースを見るようにしていました。そしてその記事を覚えてしっかり受験当日に記事を書けるように何度も練習していました。

### ■考えを明確に伝えるために 面接練習に励みました

わたしは通信制の高校に通っているのですが部活などはありませんでしたが、基本的なこと、例えば授業が始まる5分前に席について勉強するなどを徹底して行いました。また出された課題は絶対にやって提出していました。当たり前で簡単なことだからこそしっかりやろうと思い生活していました。自己アピールをする際はまず自分が大学でしたい事、目指す事、なぜこの大学に入りたいかをはっきりさせてそれを伝えることが一番大切だと思ったので考えをまとめてメモを取るなどしていました。自分の考えを相手に伝える練習をする、面接練習などをするのもとても大事だと思います。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 通信制課程卒  
青森 北稜中出身

## 仙台育英での多くの出会いを通して 人間的に成長できたと実感しています

### ■悩める生徒に寄り添える 養護教諭になるのが夢です

私が八戸学院大学健康医療学部人間健康学科に入りたいと思った理由は、将来養護教諭になるために、看護や県内唯一私立大学の中で養護教諭の資格を取ることができると聞き、入りたいと思ったからです。

私が中学生のとき、保健委員会の先輩が保健委員会だよりを作っていたり、体育祭などで具合の悪い人の看病をしていたりと、その姿を見て私も保健委員会に入ろうと思いました。保健委員会に入って、怪我をした人や具合の悪い人、何か悩みがある人に優しく声をかけている先生の姿をよく見るようになりました。その姿を見て、私も困った人に優しく声をかけ、生徒に寄り添える養護教諭になりたいと思いました。

そのために養護教諭の資格を取るために必要な勉強を深く学ぶことができ、養護教諭や食生活アドバイザーなどの資格を取得するサポートをしてもらえる人間健康学科を希望しました。それに、高校生活でボランティア活動をしたので、大学生活でもボランティア活動をしたり子ども食堂などに食料品を送ったりする活動をして、幅広く活動し、多くの人に役に立つ活動をしたいと思います。

私は総合型選抜で合格するために小論文と面接練習を行いました。最初は大学のパンフレットをよく見て、その中で分からないところがあった時は調べてメモを取り知識を深めました。小論文では、様々な内容の新聞記事で何回も練習し文章の理解力を高め、面接は何を質問されても自分の中で明確に思っている事を伝えられるように努力しました。

私が総合型選抜を受けるために、面接練習や小論文対策に協力や応援してくださった学校の先生には感謝しています。通信制課程に来て、いろいろな人と出会い、アルバイトも始めて、もっとたくさんの出会いがありました。それによって、人間的にとっても成長できたと感じます。通信制課程に来てから充実した高校生活が送れました。これからも頑張ります。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 プロダクトデザイン学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 秀光コース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 本番までやってきたことと先生方を 信頼して最後まで頑張りましょう！

### ■書類作成のための自己分析は 意外と難しかったです

私は総合型選抜で東北芸術工科大学を受験し合格しました。総合型の中でも私が受験したのは体験授業型というもので、事前を書くエントリーシートや面接の他にグループワークがありました。

まず、エントリーシートと面接では、自分がいかに志望する大学の生徒としてふさわしいかを伝えられるよう意識しました。短所を聞かれても、それをどのように克服しようとしているかを明確にし、伝えるようにしました。そのために、まずは自己分析を改めて行いました。意外と難しいです。面接ではエントリーシートの内容も聞かれます。エントリーシートと面接で主旨を変えないよう心がけました。また、面接練習をたくさんしました。緊張はしましたが、多くの先生からのご指導をいただき安心して本番に臨めました。

### ■本番のグループワークでは まとめ役を務めました

次に、グループワークは、テーマに沿って皆で話し合うというものでした。私は高3の夏にここに志望大学を変えたので、あまり知識がありませんでした。そのため、多くの知識を得るための本を読み、分からない専門用語は調べてまとめました。自己主張が苦手な私にとってグループワークはあまり得意ではありませんでした。さらに初対面の人とやるということもあり、誰がグループをまとめるのかも決まっていなく不安だらけでした。しかし、事前にグループワークの練習を行ったり、文房具に関するレポートを書いたりして、不安を取り除くようにしていました。受験当日、正直、不安と緊張で頭が真っ白なほどでしたが、グループワークでは自分がまとめる役を率先してやったりと、悔いの残らないように一生懸命取り組みました。

これから受験学年を迎える皆さんは不安に思っていることも多いと思います。これまで自分がやってきたことと先生方を信頼して、最後まであきらめず、頑張ってください。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 グラフィックデザイン学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
蛇田中出身

## 面接で自己アピールするためには 自分とじっくり向き合うことが大切です

### ■ 2年次の研修で訪れたのが 進路決定のきっかけでした

私が最終的に美大への進学を決めたのは3年生の夏で他の人よりだいぶ遅い時期でした。2年生の時に校外研修で大学を訪問した際、外観から心を惹かれ興味を持ったのがきっかけです。なのになぜこんなに決めるのが遅くなってしまったのかというと、幼い頃から絵を描くことが好きでしたが、趣味は将来役に立たないのではないかと思い、なかなか踏み切れずにいました。しかし、自分の諦めきれない気持ちや両親が背中を押してくれたおかげで、殻を破って新しいことに挑戦してみようと決意することができました。

私が受験した総合型選抜入学試験は、今年から「専願型」から「専願体験型」に変更されました。事前課題や提出物、面接時の資料や作品等の持ち込みが廃止され、体験授業と面接のみの受験になり、試験当日の姿勢や意欲を見て評価するのでいつもと迷う雰囲気の中でも自分をアピールすることができるので大事になってきます。

体験授業は他の大学にはない特殊な試験内容なので対策の仕方が難しいと思います。そこでおすすめするのはオープンキャンパスに参加することです。オープンキャンパスで体験授業の模擬体験ができるので一度参加して自分の肌で直接感じるのが一番だと思います。また、大学側のYouTubeやホームページで試験についてのコツや情報を得られるので随時確認していました。私は陸上競技部でキャプテンを務めており、自分の意見を言語化したり、周りの人の意見を踏まえて発言するなどといった機会が多かったため、部活動を通して身につけた力がとても役に立ちました。この試験に答えはないと思います。積極的に話し合いに参加し、自分の個性、想像力、発想力を最大限に活かしましょう。

### ■ 面接官を味方だと思い 自分自身を表現しましょう

面接では言葉のキャッチボールが大切になってくると思います。大学側は悪いところを見つけたいのではなく、良いところを探してくれるとおっしゃっていました。自分をアピールするためには、自分のことをよく知っておかなければなりません。私も自分のことを知った気になってただけで漠然としか理解していませんでした。時間は沢山あると思うので自分はどんな人間なのかをじっくり向き合ってみてください。周りの人に聞いてみるのも良いと思います。また、ニュースや新聞を見て今起きていることに触れておくことも大切です。面接官の方々を味方だと思って緊張せずにリラックスしていつも通りの自分を出してください。

私の書いた文章が少しでも参考になれば幸いです。最後まで読んでくださってありがとうございました。応援しています。

東日本国際大学 経済経営学部 経済経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
福島 浅川中出身

## 志望大学を隅々まで調べることが 学習のモチベーションになりました

### ■最初にスケジュールを立てて 計画的に入試対策をしました

私は、総合型選抜で志望大学を受験しました。受験内容は、小論文と面接だったので始めにどの日に何をするか計画を立てて、毎日、勉強や練習に励みました。私が受験する上で一番大切だと感じたことは、大学のことを隅々まで調べることです。志望する大学はどのようなカリキュラムがあり、どのような考えを大切にしているのか、他の大学と比べて何が優れているのかを調べることで、その大学に行きたいというモチベーションを保ちながら学習することができました。加えて、面接のときになぜこの大学を志望したのかをはっきりと話すことで面接官に良い印象を与えることができます。小論文では、回数を重ねるごとに文章の書き方や自分の考えを文章にすることができたので、繰り返し練習することが必要だと思いました。また、世の中では何が起きているのかということや、身近な地域の生活の変化を知るために新聞を毎日読むことも必要だと思います。

### ■地元と感動を分かち合った 高校野球は決して忘れません

私が日頃の学校生活で大切だと思うことは勉強と部活を両立させることです。どんなに部活動が忙しくても、自宅や寮で勉強する時間を少しだけでも作り、毎日の予習・復習するという習慣をつけました。大変なこともありましたが、次の授業にスムーズに入ることができたので、取り組んでいて良かったと思いました。また、私は授業で分からない箇所があった場合は、積極的に発言したりして先生や友達に分かるまで聞いたりしました。そうすることによってテストや試験への不安がなくなるので、積極的に発言・質問することは大切であると思います。

東日本国際大学への出願は9月上旬に出すようになりました。かなり早いので早めに準備をして備えておきましょう。

私は、大学でも野球を続けようと思っています。野球だけでなく、高校野球で学んだ地域の皆様と感動を分かち合うことなどを忘れず、充実した大学生活を送れるようにしていきたいと思っています。

最後に受験するにあたって大切だと思うことは準備です。大学のホームページやパンフレットに目を通して、早い段階で理解を深めて情報などをたくさん入れておいた方がいいと思います。

東日本国際大学 経済経営学部 経済経営学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
富谷第二中出身

## 野球を続けながら社会人に必要な 幅広い知識を大学で身に付けたいです

### ■高いレベルで野球が できる環境に惹かれました

私が、東日本国際大学への進学を希望した理由は、部活動と学業の文武両道がとても出来やすい環境だったからです。学業の方では社会の仕組みや経済と経営、スポーツ、公務員になる方法など、様々なことを学べることにとても魅力を感じました。部活動の方では強化指定部である硬式野球部への入部を考えております。硬式野球部の施設は部員が百人以上いても十分に練習ができるほどの広さ、雨天時でも練習ができる室内練習場があります。なお、硬式野球部では全国大会に多く出場しております。そのような高いレベルで活動している部活動を4年間活動することができれば私にとってとてもプラスになります。そのため、学業と部活動どちらも全力で取り組める東日本国際大学を希望しました。

### ■記述問題は過去問に取り組み 先生に助言を頂いていました

次に私が合格のために取り組んだことを紹介します。まず一つ目は、当たり前のことですが入試対策をしっかりやるということです。入試では集団面接と記述式総合問題がありました。クラスの担任の先生や野球部の先生などにお願ひしてあらゆる質問をしていただき、本番で言葉が詰まらないように対策しました。記述式問題では大学のホームページに過去問が載っていたので、その問題を繰り返し解き、先生に確認していただくなどの対策を行いました。その結果、本番では失敗することなく自信をもって入試を終えることができました。

2つ目は野球の練習です。8月に練習会があったので、そこに向け技術力アップをテーマにかかげて練習に取り組んでいました。その結果練習会では、いつも以上に自分の力を発揮することができ、しっかりとアピールすることができました。

東北学院大学 文学部 英文学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
桃生中出身

## 得意な教科の成績を伸ばすことが 志望大学の決定に繋がります

### ■得意分野の英語を

より専門的に学びたい

私が、大学進学を目指した理由は得意分野だった英語をもっと専門的に学びたいというのが一番の理由でした。また、将来なりたいものが英語を扱う職業だったのでそれも理由のうちの一つでした。

大学進学をするにあたって。まず私が進学を決めようと考えていた時は新型コロナウイルスが流行していました。もともとは関東圏の大学、短大、専門学校を視野に入れていましたが、新型コロナウイルスがいつまで流行するのかわからなかったし授業がずっとオンラインだったりしていたのでわざわざ県外に行かなくてもいいのではと考えるようになりました。大学を絞り込むためには自分がどんな分野を専攻したいのか、自分がなりたい職業に必要な力を身につけることができるのかを第一に考えました。そこから絞り込んだ大学の中からそれぞれその学校でしか学べないことを探し比較しました。そうして、自分に合いそうな大学をピックアップし資料請求やオープンキャンパスに行きました。そして両親とも進路について話し合うようにしました。そうして受験大学を決めました。

### ■ストレスを溜めることなく

体調管理を徹底しましょう

普段の授業については、正直、1年生の頃は良い成績とは言えませんでした。そこから2年生は新型コロナウイルスの影響で家にいる時間も多くなり勉強する機会が増え、割と成績が良くなりました。当たり前のことなのですが授業を集中して聞くと頭によく入ります。これは本当に成績アップにも繋がります。期末テストの勉強方法は、自分自身に合う短期集中で勉強していました。ここで大切・大事だと思ったことは、自分自身に合う勉強方法を探し得意分野の教科をのばすことです。得意分野の教科から大学選びに繋がることが必ずあります。

次に資格取得について。私は2年生の時に英検準2級を取得しました。勉強方法としては英検のワークを3分の2、残りの3分の1は、洋楽・海外ドラマ・映画からリスニングを、洋楽を聴き歌詞を見ながら同時に頭の中で和訳をするのが個人的に効果がありました。普段から何でもいいので英語に触れて聞き慣れることが一番良いと思います。

これから受験の皆さん、たくさん食べて寝てストレスを溜めずに体調に気をつけて下さい。応援しています。

東北学院大学 法学部 法律学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
向洋中出身

## 総合型選抜入試では大学での学びへの 熱意を存分にアピールしましょう！

### ■受験が決まったら直ぐに 探究学習の準備をしましょう

私が東北学院大学の法学部を目指した理由は、身近にある法律が自分たちの生活にどのように作用しているか学びたいという思いがあったので法学部に進むことを決めました。大学を選ぶときは、自分の興味のあることや将来やりたいことに沿って選ぶと良いと思います。

私は総合型選抜を使って受験をしました。もともと指定校推薦を狙っていましたが、枠が少なかったことと、校内模試への対策不足で指定校推薦の選考には落ちてしまったので、受験方法を総合型選抜に切り替えて準備をしました。

東北学院大学の総合型選抜はエントリーシートや探究学習、一次選考と二次選考に分かれています。エントリーシートと探究学習、そして一次選考の対策は夏休みごろから取り組み始めました。担任の先生に添削をお願いして最終的な完成は夏休みの終わりごろでした。もう少し早めに取り掛かれればよかったと後悔しているので、進路が決まり次第早めに準備を始めていくと良いと思います。特に探究学習はかなり深く調べていくことをオススメします。

### ■一次の面接には時事問題への 対策が有効でした

一次選考は、面接とプレゼンテーションがあります。プレゼンテーションは自分の学部に関係した自分の興味のあることを事前に調べて発表します。これも面接官に深く突っ込まれるので、よく調べていってください。面接はニュースに関連する質問が多くあったので、面接の対策として幅広い分野のニュースを見ることを入れるといいと思います。

二次選抜では、小論文と面接があります。私は一次選抜の結果から面接が免除になったので小論文に力を入れました。添削には、担任の先生や国語科の先生方に協力してもらいました。私は、過去問やほかの問題集を使って練習をしていました。時間配分や内容が問題からそれていないかなどに気を付けながら進めました。本番では落ち着いてできたので良かったです。

このように受験に向けて様々な準備をしました。総合型選抜は、この大学に入りたいという熱意や、自己アピールが大事になってくると思います。合否が決まるまで不安になるかもしれませんが、自分のやってきたことに自信を持って必ず結果がついてくると思います。受験生の方、頑張ってください！

東北学院大学 教養学部 情報科学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
多賀城中出身

## 厳しい状況に置かれても諦めずに 努力を続けて合格できました！

### ■大学卒業後を見据えて 進路を決定しました

東北学院大学への進学を目指した理由は、宮城県の就職に有利であることと、情報科学科の中のアプリケーション開発について学びたいと思ったからです。

高校生活では、評定の4か5を取れるように頑張りました。そのために定期考査対策をしました。授業中に先生がこの部分は大切だと言ったところを赤ペンで線を引いたり、授業で分からなかった所を復習をするようにしていました。普段の生活は、毎日約1時間勉強をするようにしていました。

入試は、1次試験は、願書と面接約30分でした。私自身、入試について真剣に取り組んだのは、3年生の夏休みの終わり、8月下旬ぐらいからでした。1次試験の願書の提出の2週間前からでした。そのため、急いで取りかかりました。毎日毎日、願書を書いて、担任の先生に添削してもらいました。何十回以上書き直しました。後輩の皆さんは、私みたいにならないために3年生の春や2年生の冬から取り組んだ方がいいと思います。面接については、願書に書いた内容を詳しく聞かれると面接練習で言われたので、特に重点的に練習をしました。

### ■コロナ禍は自分を見つめ直す 貴重な経験になりました

2次試験も願書と面接約10分ですが、AからBかCではないと受けられません。私自身はC判定でした。そのため、受験をするかしないか悩みました。理由は、C判定では、合格率が30%であるため難しいこととこのコースでは合格者がいないと聞いたからです。しかし、受けることにしました。試験のために毎日面接練習を行いました。私自身、試験が終わった後不合格だと思っていました。しかし、合格することができました。なので、最後まであきらめないでやれば努力は報われるのだと感じました。経験したので思うのですが、何事もあきらめないで取り組むことが大切だと思います。

仙台育英での3年間は、あっという間だったと感じました。新型コロナウイルスの流行により、2年生の時はほとんどがリモートや分散登校でした。しかし、これらの経験は重要だったなど感じています。誰もが分からないようなことを体験したことで何が自分自身に足りないのかという自分自身を見つめ直すことができたからです。高校生活一日一日を大切に過ごすことが人生のためになると思います。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
大沢中出身

## 東北福祉大学主催のプログラムは 福祉に関心がある方にお勧めです

### ■大学で社会福祉士について 深く学びたいと考えました

私は高校入学時から福祉系の大学に進学することを目標としていました。職業について調べていく中でも社会福祉士という仕事を知り、高校1年生の冬に、福祉について深く学ぶことができる東北福祉大学を志望大学に決めました。私は高校生活で部活動には所属していなかったため、自分をアピールする上で不利になってしまうかもしれないと思いましたが、この大学に入学したいという思いが強かったため総合型選抜で受験しました。実際に受験をして、総合型選抜では自分の考えや大学入学後、卒業後に何をしたいかを全て伝えることが重要だと感じました。

### ■大学のプログラムに参加し 将来像が明確になりました

私が自分の考えを深める際に役立ったと思う経験は2つあります。

1つ目は、オープンキャンパスに参加したことです。東北福祉大学のオープンキャンパスは学科紹介の他、総合型選抜入試対策や小論文対策について聞くことができます。オープンキャンパスでの話は将来のイメージがつきやすく、入試方法や入試の際に大学側が見ているポイントを知ることが出来るため、積極的に何回も参加する方がいいと思います。

2つ目は、リエゾン教育プログラムに参加したことです。このプログラムは大学が行っているもので、模擬講義を受けてレポートを提出します。私はこのプログラムを通して自分になりたい将来像を明確に想像することができました。入試の面接は1次試験と2次試験の2回行われ、志望理由書や面接で答えた内容からとても深く質問されました。福祉について普段から考えていないとすぐには答えるような質問もあったため、このプログラムで福祉について専門的に学ぶことができたのはとても良い経験になったと思います。毎年行われているため、福祉に少しでも興味を持っている人は積極的に参加することをおすすめします。

受験当日は、とても緊張すると思いますが、高校3年間の経験を信じて頑張ってください。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
特別推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
岩沼中出身

## ゆとりをもって本番に臨めるよう 詳細な計画を立てて準備しました

### ■大学の教育プログラムを受け 第一志望を決めました

私は東北福祉大学を第一希望に考えていました。推薦の条件を確認し、成績の評定平均値を3年間で上げていく事と目標にしました。集中して授業を聞き、ノートをまとめ、分からない所はすぐに先生に質問するといったサイクルでその日、学んだことはその日のうちに習得する癖を身につけました。その結果、自分の目指していた成績を取る事ができました。結果的に学校推薦型選抜で受験する事に決め、受験する学科を迷っていたため、いろいろ調べるとリエゾン教育プログラムがあり、直接教授陣の指導を受けることができると分かり、教育プログラムに参加して第一希望の学科を決めようと考えました。プログラムに参加する事により、興味をもった講義、また受けたと思う教授に出会う事ができ、私は社会福祉学科を第一希望に決めました。課題が多く大変だったけれど、大学を目指す上で自分にとって良い経験となりました。

### ■客観的な自己分析が 面接には必要です

受験方法は、書類審査、小論文、面接でした。私は小論文が苦手だったため、テーマを決めて何度も書く練習をし、書き終わった小論文の添削を先生にお願いして、論文の書き方を学びました。色々なテーマで書けるように、世界で問題になっているニュースに目を通しました。面接では緊張してしまうため、先生方に面接をお願いし、色々な質問に答えられるように質問事項をまとめ、暗記をしました。自分自身を客観的に観察し、分析することも必要であると思います。

受験勉強で私が力を入れた事は、計画的に勉強を進められるよう、毎日の時間割を細かく立て、受験まで間に合うように準備を進めた事です。土日などの休日の時間にはリフレッシュをしながら受験勉強をし、ストレスをためないようにする事も大事だと思います。体調管理に気を付け、不規則な生活にならないよう整える事が必要であると思います。一日一日を大切にしながら目標に向かって進んで下さい。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
東向陽台中出身

## 後悔しないように進路を決める前から 高校生活にしっかり取り組みましょう

### ■大学で専門知識を習得し

将来に生かしていきたいです

私は専門的な知識を学び、将来に生かしたいと考え大学進学を目指しました。普段の学習評価のために、全教科まんべんなくできるように授業に取り組むことを心がけました。3年生になるまで志望大学が決まっていなかったため、どんな進路になっても自分が後悔しないためにできるだけ評定を落とさないようにしました。さらに英検や部活動の成績は、活動報告書に書くことができたので、日々の勉強以外にやっておいて良かったと思いました。

志望大学を絞り込むときには、自分が取得を目指したい資格など、より具体的な目標を考えました。その大学で資格取得を目指すことはできるのか、どの位の人が受験していて合格率はどの位なのかなどの情報を集めました。さらに、興味のある分野がある大学のパンフレットを読み比べ、それぞれの特色について調べました。調べた大学の中で気になる大学のオープンキャンパスに参加しました。実際に行ってみて、大学の雰囲気を見てから決めました。

### ■日々の努力の積み重ねが

目標達成に繋がりました

志望大学が決まってからは、受験に使う教科を重点的に勉強し始めました。目標が決まってからは勉強がしやすくなりました。オープンキャンパスでもらった過去問を解いて復習したりしました。面接対策では、本を読んだり、ニュースを調べたりして用意しました。取得したい資格のことや、大学についての情報など幅広い質問に答えられるようにより詳しく調べました。また、大学のアドミッションポリシーをよく読み、自分をアピールできるようにしておきました。

私は志望大学が決まっていなくとも、後で自分が後悔しないように日々の活動に取り組むことが大切だと思います。高校での日々の活動の積み重ねで私は目標を達成することができたと思います。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
塩竈第一中出身

## 時には心が折れそうになっても 強い信念で乗り越えることができました

### ■東北福祉大学に何が何でも 入学したいと思っていました

この大学に入るために、まず受験教科である国語と英語に力を入れて高校で学びました。英語が苦手だったため、理解できるまで何度も問題を解いたり、先生に質問をしたりしました。大学側が提示している過去問を何度も解き、対策をしました。私はずっと志望していた大学なので、何が何でも入りたいという気持ちを持っていました。勉強は辛かったり、心が折れそうになったりしたときもめげずに合格に向けて取り組むことができました。強い信念を持って受験に取り組んだことが合格できた秘訣だと思っています。

### ■チアリーディング部に入部し 笑顔に自信が持てました

この他にも面接試験対策を行いました。私が仙台育英に入学した頃の頃、笑顔が苦手でした。しかし、入学後、チアリーディング部に入部し、世界が変わりました。苦手だった笑顔も、見てくれている多くの人を笑顔にしたいという思いから自然と笑えるようになりました。自然に笑えるようになってから私の周りは笑顔が増え、楽しい高校生活になりました。面接試験の際にも、私が笑顔で面接官の質問に答えていたら、面接官の方から「笑顔が素敵ですね」と言われました。私はこの言葉がとても嬉しく、チアリーディング部に入部してよかったと思いました。

大学受験をしようと考えている人は、今取れる資格を取っていた方がいいと思います。私は英検から逃げてきて、3年生で焦り始め急いで取ったからです。3年生になってから後悔しないためにも、資格には挑戦して行って欲しいです。また、分からないところをそのまま放置するのではなく、自分自身が納得できるまで質問し、受験勉強に取り組んでほしいです。努力は必ず報われる。この言葉に嘘はないと思います。自分を信じて頑張ってください。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
仙台第一中出身

## 大学では部活動と専門資格の取得に励み 充実した毎日を送りたいです

### ■吹奏楽部が全国レベルの 大学を選びました

東北福祉大学を目指したきっかけは、吹奏楽部のレベルが高く、将来目指したい仕事があったからです。小学生の頃から吹奏楽を始め、中学生の頃に全国大会に行き、高校でも全国を目指そうと思っていましたが、新型コロナウイルスの影響でコンクールがなくなり思い描くような部活動ができませんでした。私は、全国大会の舞台上で活躍したい、経験を多く積みたいと思い東北で全国大会出場の実績が多い東北福祉大学を目指しました。また、将来医療ソーシャルワーカーとして医療と福祉を繋ぐパイプ役として働きたいと目指していた為、自分の希望する学科と部活動があるので目指しました。総合型選抜スポーツ文化推薦で受験したのですが、試験内容は小論文・面接・実技でした。小論文は3週間前から国語の先生に添削していただきました。最初は何をかいてあるのかわからないと赤ペンで書かれてばかりでしたが、枚数をこなすと成長していくことができ本番で実力を発揮することができました。面接は1カ月前から練習して圧迫面接の練習もしましたが、本番の試験監督は優しい方で、自分の自己アピールを存分に発揮することができました。予想外の質問もありましたが、落ち着いて話すことができました。実技では、自由曲を3分間の演奏だったのですが、曲名が頭の中で混乱して間違ってしまったのですが、演奏が完璧な形で終わることができたので良かったです。私の場合大学に入学した後は部活に入ることが決定しているので、両立していきたいと考えています。部活動では全国大会を目指し、勉学では資格取得を目指して頑張っていきたいです。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
秀光中等教育学校 前期課程出身

## 将来像を確立し道筋を立てることが 志望大学合格への近道になります

### ■悩んだ末に大学進学後も

野球を続ける決意をしました

私は、大学へ進学するにあたり野球を続けるかどうか迷っていました。小学2年生から続けてきた野球を辞め勉学に専念するか、これまでと同様に大学でも野球だけに真剣に向き合うか、高校3年生になってからずっと悩んでいました。最終的に野球を続けることに決め、スポーツ文化総合型選抜で大学に合格しました。

試験内容は、面接、小論文、そして野球の実践でした。面接、小論文対策としては、試験当日の1,2ヶ月程前から様々な先生にお願いし面接練習をしてもらったり、コツなどを自分で調べ、実践したりしました。ここで一番大切だと感じたのはとにかく数を重ねることです。とにかく練習すれば身になります。もう十分だと感じてからも少し練習することで自信が付き、確実なものとなります。

### ■練習は大変でしたが成長を

感じた時は嬉しかったです

私は、この3年間、野球漬けの毎日でした。目標を立てそこに向かって進む日々はとても大変でしたが、少しずつでも成長を感じるととても嬉しく、やってきて良かったと感じることができました。また、野球は団体競技なので全員が協力し、意識統一をしなくては勝ったり、上を目指すことはできません。そういった面でも学びがあり、野球部としての3年間はとても濃いものになりました。日々の学習面では、部活動が忙しい中でも真面目に取り組みました。一つ一つの学習の内容や態度が後に大学進学への布石になると思います。

目の前のことだけに夢中になるのも大切ですが、先のことも視野に入れておかないと痛い目に遭います。自分のなりたい姿を確立し、そこを目指して道筋を立てることが志望大学合格への近道になると思います。夢や目標は人それぞれなので自分らしさを大事にして後輩たちにはがんばってもらいたいです。

東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科に  
特別推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
川崎中出身

## 目標が明確であるほど推薦入試での 自己アピールに説得力が生まれます

### ■どんな小さな経験でも 自己成長に繋がります

私は、東北福祉大学健康科学部保健看護学科を学校推薦型選抜〔高大連携〕で受験し、合格することができました。この試験は東北福祉大学のリエゾン教育プログラムを受講し、受講修了者に出願資格が得られるというものです。定員が5名と少ないのですが、一般入試と違い自己アピールが存分にできる入試です。私は学校の部活動には所属していませんでしたが、その分地域のボランティア活動の一つであるジュニア・リーダーを中学1年生のときから6年間続けました。また、各種検定は学校で受けられるものが多くあるので、資格取得のため、積極的に受験しました。そして育英祭での実行委員などの経験を含め、学校生活で得ることができた多くの事を入試の面接でアピールしました。やはり、学校生活で様々なことに参加し、資格や経験を得ることは、どんな小さなことでも自分のためになり、自分自身を成長させることができる良い機会になると感じます。後輩の皆さんも必ず無駄にはならないので、今のうちにできることを積極的に挑戦してください。

### ■覚悟を持って看護師という 夢に向かって努力します

この大学・学部を受験するにあたり、私は明確な夢と目標を持ち挑みました。私は将来地元の病院で看護師として働き、地域に貢献したいです。周りの方々のあたたかさに支えられ今まで生きてきて、高齢化やコロナ禍といった問題に直面し、医療が絶対的に必要な状況となり、そこで私ができることは看護であると気付きました。看護師は少しのミスも直接命に関わり、体力、精神面においても過酷な職業であると考えます。それくらいの覚悟、明確な目標を持ち看護師を志すことでより説得力がある自分で面接でも生かせると私は思います。後輩の皆さん、努力は結果にかかわらず自分のためになります。しっかりと自己を持ち挑戦し続けてください。応援しています。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科に  
特別推薦で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
富沢中出身

## 校内外の多くの人との出会いが 推薦入試においてはとても大切です

### ■大学の軟式野球部との練習が 進路決定に繋がりました

私は、東北福祉大学に学校推薦型選抜入試で合格しました。軟式野球部に所属していたことから実績が評価されたのだと思っています。

私は、2年生の夏に軟式野球部の主将になりました。正直、最初は不安ばかりでチームの目標である「明石制覇」に導けるのか何度も悩みました。集団の一番上に立つことが人生で初めての経験でした。ですが、自分たちは本気で日本一を取るために日々練習を重ね、チーム力を向上させてきました。そして、この一年間で東北福祉大学の軟式野球部と練習試合や合同練習をしたときに先輩方のプレーやどのような野球をしているのかを見て、自分自身の技術向上、人としての成長に繋がると思い、東北福祉大学で野球を続けることに決めました。

野球を東北福祉大学でやりたいという気持ちが強くあっても入試で合格しなければ意味がないのです。小論文と面接の2つの試験がありました。小論文と面接は多くの時間練習することが必要だと考えます。1ヶ月前ではとても遅いです。私自身が経験した中で1年生の頃からもっと小論文を練習し、向き合うべきだと受験が終わって感じます。作文に自信があっても小論文は全く別のものなので関係ないと私は思います。今のうちに文章力を身に付け、小論文の対策を早めにやっておくべきだと思います。

### ■自分を磨く努力を続ければ 必ず誰かが認めてくれます

また、部活に入っているだけでも全く違います。運動部であれば練習試合や大会などで出会いがたくさんあるため、その場で自分の力を発揮することで大学への推薦に一步近づけると 생각합니다。見てくれている人は絶対いるので必死に練習して結果を残すことが大事です。大学関係者から声をかけてもらうことができれば、自分自身の自信にも繋がります、これからもっと伸びることができると思います。文化部の人と同じく自分自身を大きく表現することで周りからの評価は高くなるでしょう。推薦は多くの人との出会いが大切だと自分は考えます。部活動に入っている人は、今からでも遅くはないです。最後の最後まで諦めずに自分自身を磨き、結果を残すために必要なことを徹底的にやれば見ている人は絶対いるはずなので推薦されるよう頑張るべきです。

スポーツ推薦で大学に入るためには、他の推薦と同じく小論文や面接が入試に関わってきます。スポーツ推薦に関しても小論文や面接には多くの時間が必要です。高校での3年間はあっという間に過ぎます。時間は待ってくれないため時間を大切に有効に使うべきだと自分は考えます。小論文は特にです。何度も書いてそれを添削してもらい参考書などを使って練習することが大切です。面接も同じく先生方と練習をし、何を質問されてもそれを具体的に話せることで本番で不安なく受けられると思います。この期間で頑張ればこの後の人生でも活かされるので必死に練習することが大切だと自分は考えます。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
成田中出身

## 向上心を持ち続け3年間やり通した 部活動を受験でアピールしました

### ■人と関わる仕事に就きたいと 考えて大学進学を決めました

私は進路選択をするにあたって、今までの生活が大きく関わっていました。小さい頃からサッカーをやっていて、多くのスポーツにも親しんできました。そこでスポーツ選手を支えるスポーツトレーナーになるために専門学校に進むか、大学に進学するか、3年の夏休みまでずっと悩んでいました。その中で私は大学進学を希望することを決めました。迷っていた中で大学進学を希望した経緯は、今まで様々な人と関わってきたからです。将来、何をしたいか考えた時に人と関わる仕事がしたいと考えていました。そこで大学に進学し、マネジメントや周囲とのコミュニケーションの力を身につけたいと思い、志望大学を決めました。

### ■高校生活で学んだことを 面接でしっかり伝えました

私は8月に志望大学を決めてから総合型選抜を利用することにしました。受験内容は学力テストとプレゼンテーションと面接を1次試験と2次試験でした。志望大学を決めるのが遅く、あまり時間はありませんでしたが、逆に危機感を持って短期間で集中して取り組むことができました。決して楽ではありませんでしたが、この受験方法を選択した理由は部活で向上心を持って取り組んだ実績があり、成績も高評定を3年間キープでき、その点をアピールしたいと考えたからです。部活の面では怪我が多く苦しいことばかりでしたが、3年間何とかやり通すことができました。また、3年次にクラスの室長を経験するなど、充実した学校生活を送ることができました。面接ではそのような3年間で体験、経験したことをしっかり伝えることができ、合格できたので良かったです。

自分の受験を通して体験したことをどう活かし、言葉にして相手に伝えることは難しいと思いますが、頑張っしてほしいと思います。大学生活も楽しく有意義なものにしたいです。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 情報科学コース卒  
岩切中出身

## 先生方の手厚いサポートのもと 入念に準備し実力を発揮できました

### ■要介護の家族との生活を機に 福祉職に関心を持ちました

私は認知症を患った祖母と同居したことをきっかけに介護の大変さを知りました。そこから、少しでも福祉をサポートできる仕事に就きたいと思い、東北福祉大学の総合型選抜I期受験し、総合マネジメント学部情報福祉マネジメント学科に合格することが出来ました。

試験は第一次選考で書類審査と学力検査、面接、第二次選考で課題レポートとプレゼンテーション、口頭試問を含む個人面接と、2回に分けて行われました。書類審査は志望理由書と活動報告書で判断されるため、夏季休暇後半ごろに書き始め、担任の先生に添削していただきました。学力検査は国語と英語でした。大学のホームページに範囲だけでなく具体的な出題方法や勉強方法のアドバイスも載っていたため、それを参考にしながら担任の先生に頂いた過去問を解いて勉強し、落ち着いて試験に臨むことが出来ました。課題レポートは最近注目を集めているeスポーツについてでした。Wordでのレポート作成でしたが、MOSの試験勉強で身に付けた技術を役立ててレポートを作成しました。プレゼンテーションはレポートを基にPowerPointを使用して作成しました。試験前に配布資料と共に実際にプレゼンテーションを行い、先生に評価、添削して頂いた為、本番では安心して発表することが出来ました。

### ■合格後は大学に提出する 課題に取り組んでいます

面接では、志望理由や取得した検定、部活動、高校で学んだこと、将来について等、志望理由書と活動報告書から多く質問が出されました。事前に質問されそうな内容についての回答を考えていた為、少し余裕をもって答えることが出来ました。

合格後の現在は大学から毎月出される入学前課題とレポートに取り組み、大学への準備を着々と進めています。福祉をサポートするという夢を叶えるためには、大学でしっかり勉学に励みたいと考えています。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
田子中出身

## 総合型選抜は高校生活全体が大事なので 受験を意識して日々を過ごしましょう

### ■保育士という夢に着実に 近づける進路を選びました

私が東北福祉大学教育学部を志望した理由は、保育士になりたいという夢を叶えるために、自分が学びたいことを追求し、理想とする形で実現することができると思ったからです。私は高校1年生の頃から、大学進学を考えており、最終的な進路は高校2年生の頃に決めていました。なので、3年間、学期末のテストや、日々の自主学习など力を入れて取り組みました。しっかり基礎を固め、努力を積み重ねたことが合格に繋がったのではないかと考えています。

### ■予想外の質問に備えて 十分に面接練習をしましょう

私は、総合型選抜で受験しました。選抜方法は、一次試験が国語と英語の筆記試験と面接、二次試験が課題レポート提出とその内容に関するプレゼンテーション、グループディスカッション、最終面接でした。特に難しかったのは、プレゼンテーションです。専門的な問題について問われたため、ボランティア活動で学んだことや、実際に教育現場で働く方にお話を伺ったり、本やインターネットで十分な知識を身につけ、自分の言葉で伝えることができるよう、何日も試行錯誤を繰り返し、練習しました。総合型選抜では、何より伝えることが大切だと感じました。私は人とコミュニケーションを取ったり、意見を伝えることが苦手なため、本番当日まで、何回も面接練習をしたり、積極的に会話することを心掛けました。結果、本番の面接やグループディスカッションでは、入学したいという思いや自分の意見をはっきり伝えることができました。特に面接では、専門的なことや大学のことをよく知っておかないと答えられない質問など、予想外のことが多くあったため、十分に対策をして臨むと良いと思います。また、自己アピールでは自己分析をして自分の強みを理解することが大切です。私は11年やっている書道で培った集中力や継続力が強みとなりました。総合型選抜は高校3年間の生活や成績が大事となってくるので、日頃から受験を意識して生活してみてください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
吉田中出身

## 優しい先生方や充実の生活環境など 仙台育英での3年間は大満足でした！

### ■アプリの仕組みに興味を持ち 情報系への進学を決めました

私はとてもゲームが好きで、学校から帰った後や休日など時間が空いたら親に怒られない程度でゲームをするなど、とても熱中していました。そんな中、ゲームをする上で欠かせないのがプレイ中の友達との会話。そのためには、オンラインで通話するためのアプリなどが必要になってきます。私が特に使用していたアプリは discord といったアプリで、音楽を自動で流したり、文字を入力すると代わりに喋ってくれたりする、bot という AI を導入することができるアプリでした。そこで気になったのが、どのようにしてそのような AI を作成し、ネット上から導入しているのだろうか、情報系の大学へ進学し学んでみたいと思ったことが、志望理由の一つとなりました。

なぜ推薦にしたのかというと、単純に自分をアピールできる入試方法だったからです。私が進学した大学では、AOVA 入試といった入試法が取られていて、事前に送る志望理由書と、大学に直接行き小論文と面接をするといった内容でした。その試験のために特に力を入れたことは面接練習です。先生に放課後時間をお借りして、面接室で一对一で質疑応答をしていました。よく聞かれる質問や、前年度の先輩方が書いて下さったレポートなどを元に聞かれやすい質問や、大学ならではのことも取り入れた練習をしていました。試験当日では、肩に力が入りすぎてしまったのか、志望理由のところで詰まってしまい、内心焦っていましたが他はすらすら言えたため、結果合格することができました。面接本番で特に合格に近づけると思ったことが一つあります。それが、面接官とは自然と話すことが大事だということです。もちろん、敬語を使うことが大前提ですが、面接官の方々も同じ人です。そのため、緊張することなく会話をするような感じで受け答えるのが一番です。

### ■コロナ禍のオンライン授業や 行事も思い出に残りました

仙台育英での生活はとても充実した3年間でした。もちろん、コロナウイルスで行事がほぼつぶれて、とても悲しかったですが、2年の頃にはスキー合宿などがあったり思い出も作れました。授業は感染対策でオンライン授業に切り替えられ、問題なく受けることができたので、とても良かったと思います。

後輩へのアドバイスとしては2つほどあります。1つ目は自習スペースなどの活用です。仙台育英には自習できるスペースがとても多いです。放課後にも講習があったりと勉強に困りません。先生も優しいので、いつでも質問にいくといいと思います。2つ目は購買や食堂を活用して欲しいということです。仙台育英の購買は品揃えがとても良いです。そして何といってもランチメニューがおいしく安い。一度は食べてみてください。とても楽しい3年間になりました。ありがとう仙台育英！

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
向陽台中出身

## 総合型選抜では入学への熱意を 最大限に伝えることが最も重要です

### ■苦勞して完成させた作品を 面接でアピールできました

東北工業大学ライフデザイン学部産業デザイン学科に合格することができました。東北工業大学の入試では、小論文と面接が受験内容でもあります。産業デザイン学科の受験者は、作品を持ち込むことが望ましいとされていました。そのため、前々からカフェのチラシをデザインしてみたいと思っていたので、良い機会だと思い、チラシを作ってみることにしました。しかし、一度もやってみたことがなかったため、やり直したり、アイデアが思いつかなかったりして、時間がかかり大変でした。ですが、経験者である兄に指導してもらいながら、チラシを見た人がどう捉えるかどう感じるか考えたりして、想像したものと近い良い作品を作れたと思います。面接の際には、作品をアピールし、作品についての質問も工夫したところや、一番見てほしいポイントなどをうまく説明することができたと思います。

### ■面接で成功できたのは 先生方のご指導のお陰です

面接と小論文では、大学のホームページから過去問を見ることができたため、そこから抜粋して出そうな問題に取り組み、面接練習では、二人の先生に指導をしていただきました。面接に関しては、止まることなく受け答えが出来て良かったのですが、小論文は緊張していたのもあったのか、内容の理解に時間がかかってしまい十分な時間で解くことができず、今になってもっと重点的に小論文の勉強をしておくべきだったと後悔しました。ですが、私が受験に合格できた一番要因だと感じたのは、面接です。受け答えや、身なりを整えること、三年間での勉強の成績や経験したことはもちろん大切ですが、私が一番大切だと感じたのは、うまく表現することが出来なくても自分が大学に入りたいという強い気持ちを伝えることだと思います。小論文で失敗してしまいましたが、面接で自分の大学への気持ちを強く、最大限に伝えることができました。高校受験の時はいままでできなかった面接での受け答えも、大学受験では先生方に教えていただいたことを忘れずにベストな状態で挑むことができました。本当にありがとうございました。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 フレックスコース卒  
鳴瀬未来中出身

## 進路の選択肢が多いという仙台育英の 強みを活かし目標を定めましょう

### ■進路調査委員会の活動が 進路決定に繋がりました

私が大学を目指すのを決めたのは、かなりギリギリになってからでした。なかなかやりたい仕事や勉強したいことが見つからず、大学、専門、就職どの道に進むべきか決めかねていました。そんな時先生に進路調査委員会なるものに入ってみないかと誘われました。大変な仕事でもありましたし、正直「自分のことで精一杯なのにな」とも思いましたが、引き受けることにしました。その仕事で進学や就職について多くのお話を先生方などにいただき進学相談会などにも足を運んだことで、結果的に自分の進学先を決めるきっかけになりました。今は委員会に誘っていただいたことに感謝しています。

### ■真面目に学校生活を 送ることを心掛けました

課外活動は進学でも就職でも書類の活動記録に書くことが出来ます。活動を通して何か進路を決めるきっかけになるかもしれないし、自分にとって必ずプラスになることがあると思うので積極的に参加することをお勧めします。高校生活では、正直勉学に自信がなかったので最初に書いたように課外活動や出席日数、提出物などの基本的なところから真面目に生活することを心掛けていました。これだけは、高校生活でしっかり出来ていたというものをつくりたかったからです。大学に出願する際3年間の出席日数やどんな活動をしていたかを詳しく書類に書き込まれて提出するので、2年間の積み重ねが大学合格につながったのかなと思いました。

仙台育英には進路の選択肢がとても多く、親身にサポートして下さる先生方がたくさんいらっしゃいます。後輩には、この強みを活かして進路の視野を広くもってほしいと思います。

仙台育英に入学し、親しみやすく頼りになる先生や素晴らしい仲間に出会い充実した3年間を送ることができました。ありがとうございました。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科社会学専攻に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城中出身

## 難しいと思うことも諦めることなく 自分を信じて頑張りましょう

### ■頑張った結果成績が向上し 努力の大切さを実感しました

大学を目指したきっかけは自分の夢を叶えるためと就職に有利になると思ったからです。自分が将来就きたい職業に自分の選んだ大学が合っていたから選びました。

普段の学習評価のために払った努力は期末テストなどで赤点を取らないようにすることです。中学生の頃はテストで赤点を取ることが多くて成績が下がることも多かったのですが、高校に入ってから苦手だった勉強を頑張って努力して赤点を取ることが少なくなっていくことができました。中学の頃よりも成績が上がっていて成長を感じることができました。これがきっかけで、努力をすることの大切さを実感することができました。このことを大学に進学しても活用していこうと思いました。

受験に成功した一番の要因は自分を信じることだと思います。成績は高校に入ってから上がったのですが大学に入るのには厳しいと思っていました。ですが自分は大学に入って自分の夢を叶えるために諦めずに面接の練習や話す練習を一生懸命頑張りました。そして受験当日、練習してきたことを殆ど出せて上手くやることができました。その結果受験に合格することができました。これは自分を信じて難しい面接の練習や自己アピール入試の練習を頑張ってきた結果だと思いました。来年の受験生もどんな難しいことでも諦めずに自分を信じて頑張りたいです。

### ■大学ではいろいろなことに 挑戦していきたいです

自分にとって大学は学校生活の集大成だと思っています。大学生になったら高校生の時よりも自由度が高まるし、挑戦することも増えていきます。自分はこの3年間挑戦をすることがなかったので、大学生になったらたくさんすることに挑戦していきたいと思っています。大学を卒業すると大卒の資格を手に入れることができ、就職や社会的立場においてもとても有利になります。そのために大学生になっても努力を続けて、成績を落とさずたくさんすることに挑戦していきたいと思っています。

最後に仙台育英で過ごした高校生活についてです。仙台育英に入学して一番学んだことは自分に自信を持ち他者に干渉しないことです。3年間で人を見切れる能力がとても向上したと思っています。それと同時に仲間の大切さも改めて考えました。自分はこの3年間何にも挑戦や新しいことをしないで過ごしてしまいました。高校で出来なかったことを大学で全部成し遂げたいと思います。

宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高崎中出身

## 遅い時間まで受験対策をして下さった 先生方に心から感謝しています

### ■教員を目指すという

夢のために進学しました

私は部活動での推薦で仙台育英に入学し、入学時から常に部活動と勉強の両立を心がけていましたが、だんだんテストの成績が下がって両立することが困難だった時期がありました。勉強時間が確保できなかったため部活がOFFの日や空いている時期を有効に活用して短期間でコツコツと勉強し、何とか良い成績を維持することができました。私が志望した大学への進学を決めたのは3年生の夏でした。それまでは正直部活に熱中していたため進路についてはあまり深く考えておらず、担任の先生との二者面談の結果、今までずっと諦めていた高校教師になるという夢を実現するため、宮城学院女子大学の総合型選抜を目指すことになりました。

### ■早いうちから自分なりの

勉強方法を見つけましょう

進学を決めた頃にはもう既に総合型選抜の入試要項が発表されており、急ピッチで大学に提出する書類を作成し、何とか一次選考の出願締め切り日までに間に合わせることができました。一次選考では、面接と提出課題についての質疑応答がありました。二次選考では、提出課題についてのプレゼンテーションをしました。提出課題やプレゼンテーションの添削や面接練習は3学年の先生方にして頂きましたが、時には閉門時間ギリギリまで残ってくださったこともあり、先生方にはとても感謝しています。おかげさまで志望大学に無事合格することができ、私は高校の社会科の教員を目指しているので、そのために必要な材料を蓄え、次世代の生徒に提供していきたいです。

このように、私は大学進学に向けて時間を上手く有効に活用して部活と勉強を両立させることができ、無事に志望大学に合格することができました。皆さんも大学を進学するにあたって1, 2年生のうちにある程度成績をとっておかないと後々後悔します。早いうちから自分なりの勉強方法を見つけ出し、良い成績を維持できるように頑張ってください。応援しています！

仙台白百合女子大学 人間学部 心理福祉学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
青陵中等教育中出身

## 総合型選抜での受験を志すならば 一つでも自分の強みを作しましょう

### ■プレゼンは複数の先生から アドバイスをいただきました

2年生の後半頃心理学を志すことを決め、3年生の夏休み前のオープンキャンパスで正式に志望大学に決めました。試験は10月だったため、受験対策に当てられる期間は3ヶ月ほどしかありませんでした。受験内容は小論文とプレゼンテーションと面接でしたが、小論文は日頃から学校で授業を受けていたため、そこまで苦労はしませんでした。プレゼンはこれまで経験がなく、少し不安でした。プレゼンのテーマは試験の40日前に発表されるため、発表されてからはなるべく早くパワーポイントを作りました。自分で時間を計って練習もしましたが、やはり他の人に聞いてもらうのが一番効果的だと思います。担任の先生はもちろん、他の先生にも聞いてもらうと別の観点から新たな発見を得られることもあるので、複数の先生と練習しました。面接に関してはこれまで何度か経験があるのであまり不安な点はありませんでしたが、プレゼンの質疑応答はきちんと答えられるか不安でした。実際には特に難しいことは聞かれなかったため、落ち着いて答えることができました。

### ■室長の経験を強みに 面接に臨みました

高校生活では部活動などでの目立った活躍がなかったため、せめて最低限の成績は維持できるようにしました。テストの結果がよくても平常点を引かれてしまえば本末転倒なので、課題は確実に提出するよう心がけました。日ごとの授業もちろん大切ですが、とくにテスト前の授業は先生がヒントを教えてくれることもあるので、聞き漏らすことのないようにしました。また、心理福祉学科の小論文の試験は小論文と国語のテストを掛け合わせたような問題です。もともと国語は得意でしたが、定期テストでも漢字の問題で点を落とすことが多いため、漢字に力をいれて学習しました。生活面では2年生で副室長、3年生で室長を経験しました。クラスのリーダーになることは責任感も芽生えますし、自分自身の成長だけでなく、面接の際にも面接官の方のほうから室長とはどんな役割なのかと質問していただけました。私はボランティア活動などもできなかったため、室長の経験は面接での大きな強みとなったと思います。全ての受験生に言えることではありませんが、総合型で受験する方は特に一つでも自分の強みが作れるといいと思います。頑張ってください。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 特別進学コース卒  
七郷中出身

## 分からないからこそ勉強するという 姿勢が苦手教科の克服に繋がります

### ■ 苦手教科は隙間時間を活用し 毎日基礎固めに励みました

入学当初から大学に進学したいと考えていましたが、なかなか志望大学が決まらず勉強と大学探しを同時進行で行いました。そのような中、私が勉強していく上で心がけたことは「苦手なことをそのままにしないこと」と「隙間時間を有効活用すること」です。私は古典と数学が苦手です。1年生の頃は進んで勉強しようとはしませんでした。しかし、2年生になり度重なる模試の結果を見て、このままではいけないと思い苦手教科の勉強と復習を始めました。模試の結果を分析すると苦手な教科には基礎が足りていないことが分かったので、私は基礎を固めるために教科書を見ながら苦手な範囲の問題を繰り返し解きました。また、私は徒歩と地下鉄で通学していたので、地下鉄の待ち時間や信号待ちの時間に古典の単語や文法の勉強をしました。これらの勉強を毎日継続したことにより、1年生の頃はほとんど読めなかった古文が読めるようになり、数学で苦手だった範囲の問題を解くことができるようになりました。苦手だから、やってもわからないから勉強しないのではなく、わからない、苦手だからこそ勉強するという姿勢が大切だと思います。

### ■ 面接練習を重ね自分の考えを 伝えられるようになりました

3年生になり志望大学や受験方法が決まるとすぐに準備に取り掛かりました。私は仙台市役所の職員になりたいと考えていたので、それをもとに面接の準備を行いました。初めはうまく伝えたいことが伝えられず悩むこともありましたが、先生方に何度も面接練習をしてもらい、明確に伝えられるようになりました。面接では、自分が進学したいと思った理由や学びたいことを明確に伝えたり、高校生活で頑張ったことなどをアピールすることが重要です。そのため、事前に大学のことをよく調べたり、勉強を頑張ったことを示すために資格などを取得しておくといいと思います。

当時はとても緊張しましたが、今までやってきたことに自信を持って受験し、合格することができました。どんな努力も無駄になることはありません。必ず力になり自信につながると思います。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
六郷中出身

## 大学では社会に出るために多くを学び 自分自身を高めていきたいです

### ■授業に集中し学習内容を 理解するよう努めました

仙台育英は部活動が盛んな学校であると、みなさんもよく知っていることと思います。私もその中で高みを目指し一生懸命取り組むことを決め、部活動に入部することになりました。部活動をやっていることで、勉強する時間が少なくなるのではないかと、定期考査では思うような点数が取れないのではないかと、そういった不安も確かにありました。そのようなことから、できるだけテスト前に勉強を一生懸命やることはもちろん、その復習の時間を減らすように授業中で内容を把握するように努めました。その結果、高校1年生から3年生まで部活動を全力で頑張りながら勉強も全力で取り組み、定期考査では常に上位にすることができました。正直、普通に努力を積んでいけば結果が伴ってくる、この高校はそういう場であると思います。授業は寝ない、定期考査前はしっかり勉強する、これが普通にできれば点数が取れて、評定も上がっていくと3年間を通して私は確信しています。

### ■大学で成長して周りの人に 少しでも恩返ししたいです

大学進学を決めたきっかけとしては、将来のことを考えた際に今の自分ではまだ未熟であると感じたからです。きっと現時点で社会に出たとしても対応できずに日々を過ごして行くことになると思います。大学で多くのことを学び、たくさんの経験を経て、自分のランクを一段も二段も上げていきたいと思っています。もちろん学力だけでなく、人間力という点においてもです。そんな中で、自分にはどんな大学が合っているのかを考えて志望大学を決めていきました。自分の将来の夢を達成するために学べる、たくさんの人と関わる場がある、大好きな地元である、大きく分けるとこのようなことを考えて大学を決めていったと思います。大学に行くためには一般受験でなくとも、それなりの努力が必要です。提出する書類であっても、担任の先生などに何度も確認していただき、難度も書き直しました。私の場合、面接試験等もあったため夏休みや放課後を使い、色々な先生に見ていただきながら徐々に改善を重ねていきました。きっとこの作業をしっかり取り組み、普段の生活（勉強や部活動を含め）を全力で取り組んだからこそ、合格を勝ち取ることができたと思います。

私は高校生活、受験を含め本当に充実していたと思っています。それは家族や友人、担任や各教科の先生、部活動の先生方、その他支えてくれた全ての方々のおかげです。これから、立派な大人になって少しでも恩を返していけるよう、感謝を忘れないで一生懸命頑張っていきます。

尚絅学院大学 心理・教育学群 子ども学類に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
多賀城第二中出身

## 何か一つでも目標を掲げて取り組めば 入試での自己アピールになります

### ■部活動では責任を持つことの 大切さを実感しました

将来の夢は保育に携わることです。就職を考え、実習が多くできて保育に関わることを学べる子ども学類がある大学を志望しました。きっかけは中学校の職場体験を通してもっと専門的な知識を学びたいと思ったからです。

高校3年間は部活と勉強の両立を心がけて過ごしました。特に部活では、試合の中で部員をまとめる立場になり責任を持つことの大切さを実感しました。また、普段の練習や試合後にプレーに関する意見を出してもらおうよう呼びかけ、より上手いくためのコミュニケーションを取ってきました。この部活動で学べたことをこれから子どもから大人と関わっていく上で大事にすべきことだと思いました。学習では、1年次から定期考査の対策を友達と協力しながら取り組んできました。総合型選抜で行くと試験方法を決めたのは3年次のはじめ頃でした。私はぎりぎりまで悩んでいましたが、1年次からある程度評定を取っていたことで自分に合った試験方法で少し余裕をもって選択することができました。

### ■専門分野に関する記事を まとめる練習をしました

総合型選抜での内容は授業体験型審査と面接でした。授業体験型審査は実際に授業を行い出された課題について400字以内で答える形式です。そのため、授業では新しく専門的な言葉を習うとしても、自分の考えを400字にまとめるということが大事だと考え、この分野に関する記事を読み、まとめる練習をしました。面接では自分の考えを持ち、その大学へ伝えたい思いをはっきり言うことを意識し練習しました。また、練習から本番のように慣れるよう努力しました。大学側もどのような人物がどのような思いがあり志望したのか、という歓迎する気持ちで面接をしてくれているのではないかと思います。

大学入試には、資格取得や部活動に入るなど何か一つでも目標を持って取り組んだものがあると、自己アピールの自信になります。練習は行った分だけ良い結果につながっていくと思います。

聖和学園短期大学 キャリア開発総合学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
松島中出身

## 将来の夢が明確であるならば 総合型選抜でアピールしましょう！

### ■ホテルスタッフとして

早く社会で活躍したいです

小さい頃からずっとディズニーに関わった仕事をしたいという夢がありました。その中で私はホテルのスタッフに興味を持ち、ディズニーのホテルスタッフになろうと思いました。大学説明会にも何回も参加し、私の将来にあった勉強ができる大学の説明を聞き、聖和学園短期大学キャリア開発総合学科に決めました。キャリア開発総合学科では、9つの「系」と32の「ユニット」を自由に組み合わせて学ぶことができるので、ホテルスタッフについて学ぶのはもちろんのことですが、PCの勉強もできるので就職の幅を広げられると考えたので、その大学にしました。

なぜ短大にしたのかと思う人もいると思います。私が短大を選んだ理由は、2年間で資格などを取れるよう勉強し、早く社会に出て仕事をし、優秀な社員になりたいと考えたからです。

### ■面接は笑顔で自分の考えを

はっきり伝えましょう

入試方法は総合型選抜にしました。なぜ総合型選抜にしたかという私は将来の夢を明確に持っているためそのアピールができるのは総合型選抜だと思ったからです。入試内容は面接15分だけでした。面接練習は1カ月前から練習しました。いろいろな先生に面接練習をしてもらい圧迫面接もしてもらいました。圧迫面接をもらったので本番はとても気楽に面接することができました。面接のポイントとしては、自分のペースでいいのではきはきと相手に伝わるように話し、笑顔でいた方が印象が良く見えます。また、面接前にはネガティブな気持ちにならないことが大切だと思います。後輩の皆さんがんばってください。

聖和学園短期大学 キャリア開発総合学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
七ヶ浜中出身

## 偏差値など考えるべきことは多いですが 本当に行きたい大学を目指しましょう

### ■面接は複数の先生と練習し 場に慣れておきましょう

私は、春から聖和学園短期大学に入学します。この大学を選んだ理由は、キャリア開発総合学科では9つの系から自分の学びたいものを組み合わせて単位取得をできるところに魅力を感じたのがきっかけです。

私は、総合型選抜（AO）で受験しました。試験内容は面接のみで約15分程度でした。受験対策として学校で取り組んでいたことは、面接の内容をしっかりと考えておくことと色々な先生にお願いしてたくさん練習をするということです。面接の内容をしっかりと考えておくことによって本番で聞かれた時にスムーズに答えられ焦ることも減るので自分の強みになると思います。そして、色々な先生と面接練習することによって一人一人違う面接を受けられるので特定の人だけで練習するよりも耐性をつけることができると思います。

受験当日、緊張を少しでも無くすためには何を聞かれてもいいようにしっかりと準備することとたくさん練習することだと私は思います。

私にとって大学とは、自分の将来の夢を叶える第一歩でもあると思います。なので、偏差値や学費など色々考えることはあると思うけど、一番は自分の行きたい大学に行くということが大切だと思います。

高校3年生は、受験の年なので勉強も大切だけど最後の高校生活を友達などと一緒に楽しく過ごして素敵な思い出を沢山作ってください。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
向洋中出身

## 推薦枠は生活面で最終判断されるので 普段の過ごし方が最も大切です

### ■将来は看護師として 地域医療に貢献したい

私には看護師になり、地域医療に貢献したいという夢がありました。なので、確実に力を身に付け、早く大学を卒業したいと考えていました。この条件に一致していたのが仙台青葉学院短期大学でした。この学校では私が学びたい地域医療について、とても広く視野に入れていました。また充実した設備とコロナ禍において可能な限り実践に即した授業等、現場に入っても即戦力として活躍できると確信したのでこの大学を選びました。

自分の志望大学に合格するために特に力を入れていたのは定期考査と面接練習です。定期考査は結果が評定となるのでとても重要です。特に自分が行きたい進路の主体となる教科は高い点数を取れるように心がけていました。私の場合は主に生物が重要だったので、評定は4か5を取れるように心がけていました。また、授業態度と提出物も気をつけていました。どれだけテストの点数が高くても、平常点が低ければその点数よりも低くなってしまうことがあるからです。そうならないためにも、普段から良い授業態度をとり、提出物の期限は必ず守るということを3年間心がけていました。

### ■面接は練習するほど力が 付いてきたと実感しました

面接練習は3年生から始めたのですが、とても大事だと思いました。面接は書類ではわからないその人のことを知ることができると聞いたので、何回も練習しました。いろんな先生にお願いしてご指導いただき、様々な種類の質問をストックするようにしていました。回数を重ねた分だけ落ち着いて話せるようになっていたり、用意していなかった質問にも即座に返せるようになっていたり、確実に力が身に付くのを実感できるのでたくさん練習することをお勧めします。

力を入れた方がいいことはたくさんありますが、一番大事なのは日常生活だと思います。最終的に普段の生活の過ごし方で先生方は評価するので、問題のないようにしていることが受験の姿勢に繋がると思います。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
高崎中出身

## 入試で活かすことができるよう 3年間で多くを学び経験しましょう

### ■家族が志望大学の決定を 後押ししてくれました

私はなかなか志望大学を決められずにいましたが、まず始めに自分は何をしたいのか、そしてそれを実現するためには何が必要なのかを考えました。最初からやりたいことが的確に決まっている人は少ないと思います。なので、この進路に決めるのもとても苦労しましたが、私が進路を決められたのは親の存在がとても大きかったです。進路を全く決められず悩んでいたときに、たくさん相談にのったり時には助言をしてくれました。そのおかげで気づくこともたくさんあったし、自分が少し甘かったと現実を見ることができ、自分の行きたい志望大学を決めることができました。

試験本番までは、たくさん準備することがあります。まず調査書発行のため自己推薦書の作成があります。時間に余裕をもって書き、先生方にチェックしていただきます。調査書の発行には約1週間程時間がかかるので、余裕をもって早めに仕上げるのがいいと思います。

### ■面接は Web や動画を 活用して練習しました

私の志望大学はエントリーシートの課題と試験本番は面接と口頭試問がありました。面接の練習では、学校から配布された過去年度の面接内容が書かれたプリントを使いながら先生に面接練習をしていただいたり、自分でインターネットなどを使いよく聞かれる質問などを調べ、それに対する答えなどを考えたり、家でも YouTube などを使って面接のシミュレーションや疑似面接などを行っていました。

口頭試問では自分が3年間で学んできたことを、特に基礎的なことは復習しておくのが大切です。

試験本番は、3年間で学んできたことや、経験してきたことが必要になる場なので、これまでのことを活かし、頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
利府中出身

## 面接で分かりやすく伝えることを 意識して臨んだのが合格の要因です

### ■コミュニケーション能力を 大学で高めていきたいです

私は仙台青葉学院短期大学に総合型選抜で受験し、合格しました。大学進学を目指したきっかけは、私は医療事務や、金融、会計などの様々な分野を学びたいと思ったからです。私は人と話すのが得意ではないので、コミュニケーション能力も学びたいと思い、仙台青葉学院短期大学の進学を志望しました。

推薦入試合格のために心がけたことは、入試1週間から始めた面接練習です。始めは何を言えばいいのかわからず、志望動機をうまくまとめられることができませんでした。毎日学校終わりの放課後に面接練習をして、志望理由や自分の長所や短所、口頭試問など言いたいことを分かりやすく伝えられるように努力し、本番に備えて何度も面接練習をしました。私自身、受験に成功した一番の要因は、大きな声でハキハキと喋ることと自分が伝えたかったこと、言いたかったことを一から分かりやすくまとめることを意識したからだと思いました。

仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科理学療法専攻に  
総合型選抜で合格

令和4年3月 英進進学コース卒  
女川中出身

## オープンキャンパスは大学を深く知り 教授に覚えていただけるチャンスです

### ■授業に付いていくために

学習習慣の確立に励みました

私は、仙台育英に在学してから3年間第一志望に向けて何事も全力で取り組んできました。特に頑張った面が二つあります。

一つ目は、学習面です。1年次にはジャンプクラスに所属し、学習に励んでいました。ですが、ジャンプクラスはレベルが高く、私自身が中学校の頃から勉強するという習慣がなく、基礎が固まっていない状態で授業に臨むのはとても苦しかったです。クラスメイトとの学力に付いていけないということに焦り、私は勉強をするという習慣を身につけるよう努力してきました。家での勉強時間を作ることはもちろんのこと、特に隙間時間を利用し勉強に励みました。私は毎日、約1時間かけて通学しています。私はその時間を有効に使い、ノートを見て授業内容の確認や英単語を使い、少しでも語彙力を増やし、英作文や長文読解で活用できるように励んできました。勉強をしていくにつれて徐々に授業内容も理解していけるようになっていきました。そして並行して実用技能英語検定の勉強にも励み、在学中に準2級を取ることができました。私はこの学習する習慣を大学に進学した際にも引き続き継続していきたいです。

### ■学科長に覚えていただき

本番に自信を持ってました

二つ目は、土日や長期休暇などにも大学進学に向けて活動しました。1年次から興味を持った大学や専門学校のオープンキャンパスに参加してきました。学年主任の先生から「気になった大学には、教授が顔と名前を覚えられるよう参加しなさい」という言葉を言われ、私は第一志望の短期大学のオープンキャンパスに何度も参加しました。オープンキャンパスに参加して5回目には、学科長から声をかけられ励まされました。学科長の先生から認識を得たことにより、受験の際にも自信を持って取り組めたと思います。オープンキャンパスは、学校の雰囲気や他の学校との違いを多く知ることができる機会です。私は1年次からオープンキャンパスに行ったことが大学合格の近道になったと思っています。

私はこの仙台育英で学んだことや、そこで得た多くの人脈をかけがえのない時間と思い、大学生活においても何事にも努力していきたいと思っています。